
1984
手続要覧

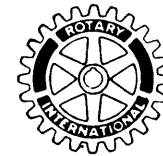
国際ロータリー



手続要覧

下記の資料を集録

- 国際ロータリー定款および細則
- ロータリー・クラブ定款および推奨細則
- 語彙（ロータリー用語）



国際ロータリー

EVANSTON, ILL., U.S.A.
ZURICH, SWITZERLAND
STOCKHOLM, SWEDEN
SAO PAULO, BRAZIL
SYDNEY, AUSTRALIA
TOKYO, JAPAN
DELHI, INDIA

手続要覧

ロータリアンの手引き

1984年手続要覧は、クラブ、地区、国際レベルでロータリアンがより使いやすいように、広範な改訂、再編集の手を加えた。

本書には、年次国際大会、規定審議会、R. I. 理事会が開発した方針と手続の主要事項が記載されている。要覧には国際ロータリーの定款と細則および標準ロータリー・クラブ定款の全文が収録されている。この三つの文書は、規定審議会または国際大会の決定のみが、これを改正することができる。この文書の意味、解釈について疑義を生じた場合、英文が正文となる。

要覧は3年ごとに数ヵ国語版が出版され、各ロータリー・クラブとR. I. 役員に1部送付される。本書について何かご意見があれば喜んで拝聴し、次回の版の参考としたいと思う。ジョージ・アーセノー、Jr. およびウィリアム T. (ビル) サージェント元副会長が構成する理事会委員会、並びに元事務総長ハリー A. スチュアート氏が、この1984年版に多大の尽力をされたことに心から感謝の意を贈るものである。

ハーバート A. ビグマン
事務総長

目 次

第 1 部—管理

第 1 章—ロータリー・クラブ	9
第 2 章—ロータリー地区	29
第 3 章—国際ロータリー	55

第 2 部—プログラム

第 4 章—総論	73
第 5 章—職業奉仕	75
第 6 章—社会奉仕	77
第 7 章—国際奉仕	85
第 8 章—青少年への奉仕	93

第 3 部—国際的会合

第 9 章—国際大会	103
第 10 章—地域大会	109
第 11 章—協議会	113
第 12 章—研究会	115
第 13 章—規定審議会	119
第 14 章—会議運営手続規則	123

第 4 部—ロータリー財団

第 15 章—組織および目的	133
第 16 章—プログラム	137
第 17 章—財務および表彰に関する事項	143

第 5 部—雑則

第 18 章—名称および徽章	149
----------------	-----

第 6 部—組織規定

国際ロータリー定款	161
国際ロータリー細則	167
標準ロータリー・クラブ定款	211
推奨ロータリー・クラブ細則	221

ロータリー用語語彙	231
索引	237

第 1 部

管理

(ADMINISTRATION)

第 1 章—ロータリー・クラブ

第 2 章—ロータリー地区

第 3 章—国際ロータリー

第1章

ロータリー・クラブ

(The Rotary Club)

国際ロータリーの会員組織

(Membership in R. I.)

国際ロータリーは、国際ロータリー定款および細則に従って現に存在するロータリー・クラブによって構成される。ロータリー・クラブがR. I.に加盟するに当たって、クラブ定款として標準ロータリー・クラブ定款を採択しなければならない。但し、1922年6月6日前に加盟したクラブを唯一の例外とする。このようなクラブの中には、R. I.細則の規定の下に現在認められている特別除外例に従って、標準定款でないそのクラブ独自の定款を持っているところもある。

クラブの名称と区域

(Club Name and Territory)

各ロータリー・クラブは、ある一定の場所(地域)に結成されなければならない。その地域とは、クラブ定款に定めるところの区域限界を意味する。

標準クラブ定款の本文中、それぞれのクラブの名称および区域限界については、R. I.理事会の承認を得て、クラブが記載する。但し、その後の変更は、R. I.理事会の承認を得なければならない。

クラブの名称または区域限界の変更手続は、標準ロータリー・クラブ定款第14条第4節に規定されている。

社会的貢献をする仕事に活発に従事している実業人および専門職業人がいて、その事業場または住居が互いに近接しており、かつ、その数においてもロータリー・クラブとして

活動できる適当な広さの区域であれば、国際ロータリーはこれを前記のような地域と認めることができる。このような地域にクラブを結成する場合には、国際ロータリーでクラブの区域の限界を定めこれを定款に記載して当該クラブの区域を規定するものとし、以後は、国際ロータリーとクラブ双方の同意がなければ変更できないものとする。

仮ロータリー・クラブは、それぞれ、その名称に所在地を表す文言を用い、これを定款の中に入れるものとし、この名称はあらかじめ国際ロータリーの承認を得なければならない。この承認を得た後は、国際ロータリーおよびクラブ双方の同意によるほかこれを変更することはできない。

クラブの区域限界が、クラブの所在する市町村名もしくは他の自治体名によってのみ表示される場合は、そのクラブの区域限界は、クラブの所在する市町村もしくは自治体の行政上の境界と同一とする。

クラブの区域限界の表示が、その地域の行政上の境界と一致している場合、その後その地域の行政上の境界が拡大されても、クラブの区域はこれに従って自動的に拡大されることはなく、従来のままとする。区域限界を拡大するにはR. I.組織規定に従ってクラブが改正措置を講じなければならない。

ロータリー・クラブの区域限界に関する文書中の「近接区域」とは、特定のロータリー区域にじかに接している、つまり直接地続きになっている区域に限定される。ロータリーの区域とは、ロータリー・クラブの結成並びに運営を成功させるために当然必要と考えられる広さを持つ地域で、住民が自己の社会、市民、事業上の諸種の活動並びに共通の利益

をもたらす奉仕を行う主たる場とみなすことのできる地域を指す。

農村区域に関しては、ロータリー・クラブの区域限界は、クラブ定款に明記されている通りのものである。正会員を選挙できるクラブの区域は、定款に具体的に明記した地域のみである。しかし、ロータリー・クラブは、次の地域に事業場か住居のある男子を正会員として入会させることができる。すなわち、そのクラブの隣接区域で、他のいずれのロータリー・クラブの区域限界外の地域。クラブの所在する市の行政区域内。直接に隣接するクラブの区域限界内。

区域の割譲または共有

(Relinquishing or Sharing Territory)

R. I.の承認のもとに、クラブはその区域の一部を割譲するか、或は、同一区域を共有してアドイショナル・クラブを結成することができる。

クラブが区域限界に関し自己の定款の規定を改正すると決議報告書を理事会に提出し、その承認を求めるに当たっては、改正理由説明書を添付するものとする。他のロータリー・クラブが近接地にある場合、改正案について近接クラブと協議し、近接クラブの区域限界を検討し、この改正の結果、他クラブの区域限界と対立が生じないことを確認した説明書も合わせて添付しなければならない。

ロータリーの理想と原理を他の地域社会にも均衡を保った組織的な方法で押し広めて行くためには、もしそのクラブの区域限界が不明確であったり、必要以上に広い場合は、クラブの現会員の地位に影響しないという条件のもとにクラブはその区域限界を調整または縮小することを考慮するよう要望されている。

クラブの会員身分

(Membership in Clubs)

各クラブは、国際ロータリー定款および細則に規定されている資格条件を備えた男子から構成される。ロータリー・クラブの会員身分はあくまで個人個人のものと考えられるべきであって、個々の会員が代表している共同企業体 (Partnership) または法人 (Corporation) のものではない。

事業場または住居の所在地

(Location of Business or Residence)

クラブの各正会員は、クラブで分類される職業に、自らかつ現実にあらずさわり、そしてその事業場またはその住居がクラブの区域限界内にあることを要する。但し別段の規定による場合はこの限りではない。

ロータリー・クラブが事業場乃至住居を基準とする正会員に関する定款細則の規定を実施する場合の参考並びに指針として、正会員候補者を審査するに当たって他の条件がすべて同等である場合には、クラブは、クラブで分類される予定の職業にクラブ区域限界内で自らかつ現実にあらずさわり、かつまたその事業場をクラブの区域限界内に持つ候補者を優先させなければならない。

ロータリー・クラブの正会員身分に関連して述べられる「事業場」とは、正会員または推薦されている正会員候補者が通常自己の実業または専門職業活動をなし、責務を果たす所を指すものと了解されている。

ロータリー・クラブの正会員の資格条件に関して定款細則中で「住居」と述べる場合および「所属クラブの区域限界内或はその周辺地域内に居住するロータリアン」と述べる場合、それは、その個人の主たる居住地を指すものと了解されている。

クラブは、事業場または住居がクラブの区域限界内もしくはクラブが所在する市の行政区域内または直接に隣接するクラブの区域限

界内にある男子を会員として入会させ、或はまたその地位を存続させることができる。

他の団体の会員

(Membership in Other Organization)

ロータリー・クラブにおける会員の責任を果たすためには、ロータリアンは他の奉仕クラブの会員となるべきでない。

会員身分は、クラブ理事会が十分な理由があるとみなした場合、クラブ理事会によって終結させることができる。所属クラブ会員が他の奉仕クラブにおいて引き続き会員であるために、所属ロータリー・クラブに対する義務を果たしていないとクラブ理事会が判断した場合それは、その会員の身分を終結させるに十分な理由とみなすことができる。

移籍会員

(Transferred Members)

あるロータリー・クラブの会員が他の別のロータリー・クラブに当然に移籍できるといような規定は存在しない。

名誉会員

(Honorary Membership)

名誉会員の資格はロータリーの理想推進に著しい功績のあった人だけに限定し、これを濫用しないようにすべきである。名誉会員の地位はロータリー・クラブが与える最高の榮譽であり、従って特別な場合にのみ与えられるべきものである。もし名誉会員を安易に承認すると、ロータリーの会員選考の規定を完全に守ろうとする試みは徒勞に終わろう。

クラブ会員候補者を推薦する特典を名誉会員が持つことは、国際ロータリー定款細則の規定の精神に反するものと考えられているので、その特典を名誉会員に与えることは許さ

れない。そして各ロータリー・クラブは、会員候補者の推薦はクラブの瑕疵なき正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員によってのみなすという規定を設けるように、その細則を改正するよう示唆されている。

ロータリー財団奨学生等を名誉会員にすることはとりわけ望ましくない。

同一のクラブで同時に正会員および名誉会員になること

(Active and Honorary Membership in Same Club)

同一のクラブで同時に正会員と名誉会員を兼ねることは、そのような会員の権利、特典、責任を決定するに当たってクラブ内に常に混乱を引き起こすものになる。国際ロータリー定款、細則および標準ロータリー・クラブ定款のいずれにも、同一クラブで同時に正会員と名誉会員を兼ねてはならないという規定はないけれども、各種規定の趣旨を勘案すれば、このような二重会員制は、明らかに否定されていると思われる。

シニア・アクティブ会員

(Senior Active Membership)

シニア・アクティブ会員身分の条件の中に示された「15年以上」「10年以上」または「5年以上」という年数は連続的でなくてもよい。

元ロータリアンがシニア・アクティブ会員に選ばれるためには、かつてシニア・アクティブ会員であったか、或は会員でなくなった時に既に国際ロータリー細則および標準ロータリー・クラブ定款に定められた規定によってシニア・アクティブ会員となれる条件を備えていた者でなければならない。

シニア・アクティブ会員は、出席条件その他の会員としての義務を果たす限り、居住地にかかわらずシニア・アクティブ会員身分を続けて保持できる。

アドレシヨナル正会員

(Additional Active Members)

アドレシヨナル正会員に関する規定はあらゆる方法で強調されなければならない。各クラブはこの規定を利用し、より多くの人々をロータリーに入会させてロータリーの特典を享受させ、同時に会員数を増やすようにすべきである。各クラブはまた、アドレシヨナル正会員の資格条件は正会員のそれと同一であること、およびかかる資格条件を有する者のみが正会員にせよアドレシヨナル正会員にせよ、ロータリーに入会を考慮されるということに留意しなければならない。

ロータリー・クラブは、他の地域社会へ移転するロータリアンにその会員身分を引き続き保持させ、それによって、所属クラブ地域外へ移転のために会員身分を喪失するロータリアンの数を少なくする一つの方法として、国際ロータリー細則第3条第3節の規定によりアドレシヨナル正会員を選挙できることに留意すべきである。

国際ロータリーの細則第3条第3節(b)項の「アドレシヨナル正会員」に関する規定について、「いずれかのロータリー・クラブ」、「かつて属していたクラブ」と言っているのは、会員候補者が元正会員であったところのクラブを含め、あらゆるロータリー・クラブを意味するものと解されている。

クラブの内部拡大

(Extension Within the Club)

次の諸点に重点を置き、クラブの内部拡大の重要性を強調されたい。

- 1) 会員選考委員会と職業分類委員会の委員の継続性を図ることが望ましい；
- 2) 地元地域社会に有益な業種で、代表者をクラブに入会させるべき業種を度々調査する。併せて、恒久的かつ最新の充填未充填職業分類表を整備する；
- 3) 未充填の職業分類は、全部を大部の一

覧表にして発表するより少しずつ分けて公表すべきである。

あらゆる活動分野でより効果的に奉仕するために、明確かつ継続的会員増強計画を開発し、積極的にこれに取り組むことが必要だが、そのよりどころとしてクラブは、最新の職業分類調査を整備・活用するよう奨励されている。最新の充填未充填職業分類表は会員増強に不可欠の手段であり、それは会員増強に成功するための方途として有効である。

ロータリー・クラブが地元地域社会と完全なつながりを持ちかつ地域住民の要望に応えるためには、クラブの区域限界内に事業場または住居を持つ適格な人物を一人残らず会員に迎えることが極めて大事である。従って、クラブが勝手に会員数を制限したり、或は、会員増強に関心なため、もしくはクラブ会員増強の方途についてまたは新会員の推薦および同化に関する手続についての情報もしくは理解が不足しているために会員を増強できないということ、ロータリーの原則に沿わないし、また反することもである。

重要なことは、各クラブが、適切な純増員数を確保できるような会員増強の方途を設定しこれを維持することである、そして各クラブは、会員数の増加ということは、会員の質の低下につながるものでもないし、また、そのような結果をもたらすことにはならないということに認識しつつ、会員増強に対して積極的な姿勢をとるべきである。会員増強は常に、クラブが、ロータリーのプログラム推進に確実に寄与してもらえと思われる真に適格な人物を会員に選挙することによってのみ達成されるべきものである。

ロータリーの目的の本質は、個人による奉仕の理想の実践という責任の受諾にある。そして、また重要なことは、この責任の中には個々のロータリアンが他の人達とロータリーを分かち合いかつ適格者をロータリー・クラブ会員に推薦することによってロータリーの拡大に助力するという義務も含まれていることを認識することである。

「5名で1名の新会員」計画としてよく知

られている次の計画は、クラブ会員を増やす上で効果的な方法である。

クラブ会長は、全会員を5名ずつのグループに分ける；各グループは、可能な限り、新会員1名、比較的会員歴の長い人1名、元会長1名、理事または元理事1名と委員会委員長1名で編成される；そして各グループごとに会合し委員長と書記を決める。

委員長と書記の任命後できるだけ早く各委員長は、自宅または他の適切な場所であらゆる会合を開かなければならない。各グループは数回会合を開き、次の計画を推進する。

- 1) 年度内、できれば上半期中に、新会員1名を獲得すること；
- 2) グループ・メンバーに、プログラムおよびプロジェクト案を考え、提出するよう勧め、クラブの健全かつ円滑な発展に役立つクラブ運営、並びに活動面に関する提案もしくは建設的批判を提出するよう勧めること。このような全提案および勧告は、グループ書記が適切な書式に作成し、クラブ理事会に提出すること。

クラブ会員増強委員会（またはクラブ会長の任命した総括委員長）は全グループおよび全体的プログラムを統轄し、次のことに注意を払う責務を負わなければならない：

- 1) 委員長と書記の指名後速やかに会合が開かれているか；
- 2) プログラムが推進されており、かつ各グループからの勧告事項が会長および理事に達しているか；
- 3) 5人編成のグループは適格な候補者を推薦しているか。

均衡のとれた会員組織

(Balanced Membership)

特定の実業または専門職業グループに片寄ることを避けながら、しかも同時に、地元社会の業界を代表する人を洩らさぬ均衡のとれた会員組織を維持しようと努めるに当たって、その地域の実業または専門職業グループ

が一つかまたは少数に限られているような場合、クラブはその互いに関連ある職業グループの中から各職業分類ごとに何名の正会員、アドレシヨナル正会員を入会させるべきか、その限界を決定しかねることがしばしばあろう。しかし、多種多様な事情を考慮すると、このような状況においてクラブが上限をどこに設定するかは、関係クラブが決めることであって、R.I.理事会が、全体に適用する上限を定めることはできないし、また、すべきではない。

各ロータリー・クラブは職業分類並びに会員選考の原則に従って可能な限り、クラブの地元地域社会にある、一般に認められたすべての実業、専門職業または団体の各代表者を会員に持つべきである。

ロータリー・クラブ内に、その地域社会の実業および専門職業活動が適切に代表されるようにするため、いずれのロータリー・クラブも、その会員組織において、クラブの区域限界内に事業場を有する会員の十分な数と均衡を保つよう努力しなければならない。各ロータリー・クラブは、居住地に基づく正会員数は総数の50パーセントを超えないものとする規定を採用することを勧告されている。

1人でも多くの適格者にロータリーに入会したいという興味を与えるため、またクラブ会員の減少を防ぐため、クラブは次のことを行わなければならない。

- 1) 内部拡大のための現行規定を十分に利用すること；
- 2) クラブの社会奉仕活動を常にその地域社会のニーズに合致させかつ奉仕を更に一層有意義なものとするに絶えず努力すること；
- 3) 個々の会員を効果的に参加させるようなそして会員の関心を引きつけるようなクラブ活動を行うこと。

更に

- 1) 各クラブは自己の会員増強の傾向を調べ、満足すべき成果を上げているか否かを検討し、それによって健全な発展をなしとげるための方法を講じなければならない；

2) 地区ガバナーその他の人々は、ありきたりのおごりな勧告に終始することなく、より一層会員増強を遂げるために助力を必要とする個々のクラブを対象に、なぜ会員が増えないのか、その根本の原因に真正面から取り組む努力をすべきである；

3) ローターリー・クラブは、「貴地域社会へ移転するロータリアンに関する通知状」という書式を利用してほしい。また、元ロータリアンの移動先のローターリー・クラブは、そのような元ロータリアンと積極的に接触し彼の関心や新しい地域社会のローターリー・クラブ会員として適格かどうか評価をしてほしい。

ローターリーに新会員を引き付け、現会員をローターリーに留めておく上で、適切な広報がいかに重要であるかを、ローターリー・クラブ、特にクラブ会員増強委員会に強調し続けなければならない。

やむを得ない事情で退会した元ロータリアン

(Involuntary Past Rotarians)

R.I.の定款および細則に、このような事態に関する規定がない以上、理事会が、このような元ロータリアンの団体をR.I.と何らかの関連のある団体と認めることは明らかに不可能である。R.I.の定款および細則がこれについて規定するよう改正されるまでは、R.I.との関係は存在せず、またしてもならないのであるから、R.I.との関係を示すような名称をこのような団体が使うことは理事会として承認も奨励もできることではない。

不本意ながらクラブが解散した後の会員の地位

(Status of Rotarians Following Involuntary Dissolution of Clubs)

ローターリー・クラブが不本意ながら解散した後のロータリアンの地位に関する問題であるが、自国から避難してきて、移転先で実業

または専門職業にたずさわっている場合、その地のローターリー・クラブの会員に選ばれることができるし、また、よく選ばれている。しかし、これは、ローターリー・クラブが自己の定款の下に自ら決定することである。

ただこの場合当人が、ローターリー・クラブの所在地の生活に同化せず、ローターリー入会から生まれる親密な親睦と奉仕の機会を享受しないなら、ローターリー・クラブ会員となっても無益と思われる。自分の落度でもないのに不本意ながら一時的にローターリーの友好を奪われた人々の心の中に、ローターリーは依然として残っていると考えるのであるが、自分の良く知っている都市以外の都市のクラブで形式的に会員の地位を与えられることによって、失ったローターリーの友好が償われるとは考えられない。更に、ローターリーとの正常な関係が復活したときに元ロータリアンに面倒な事態が生じる場合もありうるのである。

非公式の友好グループ

(Informal Fellowship Groups)

有意義な娯乐的、趣味的、または職業的諸活動に共通の関心を抱くロータリアンがグループを結成して、既定のローターリーの方針に反しない諸活動を通じ知己を広め交友を深めることは奨励されている。但しローターリーの名称および徽章は、このようなグループの、多少とも既定の方針に反する諸活動に関連して使用されてはならない。またその管理責任と経費はそれぞれのグループにおいて負うべきものである。

ロータリアン・グループが、通常のローターリー・クラブの任務またクラブ活動とは別の活動、例えば、世界親睦活動にたずさわろうとする場合、グループ側が責任を負わなければならない事態が生じるおそれがあるので、その活動を法人組織にすることが望ましい場合もある。しかし、そのような活動を法人組織にすることが適切か否かは、地元の状況に照らして、活動にたずさわるロータリアン自

身が決めることである。親睦その他の活動にたずさわるロータリアン・グループを法人組織にすることに異議はないが、法人定款に次のことを記載しなければならない：

1) その活動は国際ローターリーを代行するものではない；

2) その活動と国際ローターリーにはいかなる関係もない；

3) 国際ローターリーは、いかなる責務をも免ぜられ、何の義務も負わない。

ロータリアンの婦人親族の団体

(Organizations of Women Relatives of Rotarians)

多くのローターリー・クラブは、ロータリアンの奉仕活動並びにローターリー・クラブの諸活動に協力し、それを支持するロータリアンの婦人親族をもって構成される、婦人の委員会もしくはその他の組織を有し、その恩恵に浴してきた。理事会は、そのようなグループの有益な働きを奨励し、称賛するものである。

会員候補者をクラブ例会に招待

(Inviting Prospective Member to Club Meetings)

会員候補者を数回クラブ例会に招待してから、会員申込用紙に署名を求める慣例をクラブに取り入れることが望ましい。

新会員の入会式

(Induction of New Members)

1) 新会員のクラブへの入会式を厳粛に行う手続は、各クラブが自クラブに合わせて考案しなければならない。

2) 標準もしくは一定の入会式次第が作成されることはないし、クラブに示唆されることもない。

3) クラブは、新会員を直ちに一つ以上の委員会の委員に任命し、その委員会の委員長

が、新委員を然るべく同化させる責務を負うべきものとする。

4) ガバナーは、更に一層ローターリー教育を行わなければならないことを強調し、そして、この面においてR.I.事務局から有益な助言が得られる旨クラブの注意を喚起しなければならない。

5) ガバナーは地区内のクラブをどこか一つ選び、地区協議会で、10分間、そのローターリー・クラブ例会で行っている厳粛な入会式を実演させるよう要請されている。

6) 事務総長に要請すれば、数種類の入会式次第を指針としてガバナーに送付する。

若い人に入会の機会を与えること

(Providing Membership for Young Men)

各クラブはあらゆる努力を傾けて若い人を会員とすべきである。特にアディショナル正会員の規定を利用すること、また、正会員がシニア・アクティブ会員となり、空席となった職業分類を若い人で充填することが望ましい。

元ロータリアンを会員に選挙

(Election of Former Rotarians)

引退者が特に多数居住している地域のローターリー・クラブにおいては、自己の地域に移転してくるシニア・アクティブ会員、バスト・サービス会員、元ロータリアンで会員資格条件を備えた人を会員に選挙するよう奨励されている。

会員資格とローターリー財団寄付

(Membership and Rotary Foundation Contributions)

ローターリー・クラブは、ローターリー財団への寄付を入会条件としてはならない。

出席

(Attendance)

ロータリー・クラブ会員は、標準ロータリー・クラブ定款第8条第5節に述べる出席条件を満たすことができないと会員身分を失うことになる。しかし、同節は、クラブ例会を補填する具体的方法について記載している。

陪審員の職務その他による欠席

(Absence for Jury Service, etc.)

陪審員としての職務：陪審員としての任務を果たすためクラブ例会を欠席した会員を出席扱いにできる規定はない。

州議会：州議会に出席しなければならないためクラブ例会を欠席した会員を出席扱いにできる規定はない。

非公式の会合：定款および細則には、船上、避暑地、同業者大会等で開かれる非公式なロータリアンの会合を出席と認める規定は存在しない。

他の奉仕クラブの会合：ロータリーの目ざすところは、ロータリー・クラブ出席から得られる利点であって、ロータリー・クラブ以外のどこかのクラブに出席すればよいというものではない。従って、他の奉仕クラブの例会出席を、ロータリー・クラブ例会出席とみなすと規定しても何の目的も達しないであろう。

賜暇

(Leave of Absence)

会員が例会に欠席する場合は前もって欠席許可を求める、という規定を設けることは現実的でない。

職業分類

(Classifications)

ロータリー・クラブの各正会員は、自己の実業もしくは専門職業に従って職業分類される。「職業分類」はロータリアンの所属する商社、会社または団体の主要かつ一般世間がそのように認めている事業活動を示すものでなければならない。また、もしロータリアンが独自に実業または専門職業にたずさわっている場合ならば、その職業分類はロータリアンの行う主要かつ一般世間がそのように認めている職業活動を示すものでなければならない。クラブは、かかる限定のもとで、区域内の実業および専門職業活動を表す適切な職業分類を設定すべきである。

ロータリー・クラブは、R. I. 定款第4条に規定する原則のもとに、できる限り、地元地域社会の、一般に認められたあらゆる実業、専門職業または団体活動の代表者を会員に迎えるべきである。

組織的な職業分類表——充填されたものもあり、未充填のものもある——はクラブ発展の理論的基礎である。この表はクラブ所在地の徹底的な職業分類調査を行うことによってのみ作成できるものである。というのはこの表はクラブの区域境界内の職業活動を網羅していなければならないからである。

活動または奉仕で地位ではない

職業分類は、特定個人の占めている地位によってではなく、むしろその事業活動もしくは社会的に果たしている仕事によって定められるものであるということが、はっきりと理解されていなければならない。換言すれば、銀行の頭取の場合、その職業分類は、「銀行頭取」ではなく「銀行」業である。

実業または専門職業にたずさわる会員有資格者に対して設定、貸与される職業分類を決定するものは、その事業場で行われている主要かつ一般世間からもそのように認められている事業活動である。例えば、鉄道会社、鋳

業会社、製造会社、病院、診療所等における常勤の電気技師、保険清算人、支配人などは、その人が直接担当している特定の仕事を代表する会員とされるのではなく、その人が、専門的な仕事に専従している商社、会社または団体の代表者として会員資格をもつものとされるのである。ただ、専門的な仕事一般の人々を相手とするものである場合に限り、その個人の職業活動は、これに対して職業分類を設定し得るものとして取り扱われる。

産業の区分：ほとんどの産業は、それぞれ他のものと明らかに異なる事業形態をもった次の四つの部門に分けることができる。

生産（または製造）Producing
(or Manufacturing)

配布 Distributing
小売 Retailing
サービス Servicing

これら四つのグループは、すべてこれをロータリー・クラブにおいて代表させることができる。

配布：用語を簡潔かつ統一するために、「配布」という語は、ここでは、次に掲げる市場活動のすべてについて、これらを指称する言葉として用いる。すなわち、卸売、仲買、委託販売、ブローカー、輸出および輸入を指すものとする。どのような場合に上記の言葉の一つを職業分類用語としての配布という言葉に替えて用いることにするかは、各ロータリー・クラブの職業分類委員会の賢明な判断によって決定されるべきことである。

職業分類の調査

各ロータリー・クラブは、その職業分類委員会によって、8月31日までのなるべくロータリー年度の早い時期に、その地域社会の職業分類調査を行い、その調査から、職業別電話帳その他の事業別名簿を用いて、充填未充填職業分類表を作成するよう勧められている。分類表には、ある職業分類にかかわる事

業活動がたとえクラブの区域内で行われていなくても、その職業分類を貸与されている会員がクラブの区域内に居住している場合には、その職業も記載されなければならない。

一事業体内の独立部門

国際ロータリー定款および細則並びに標準ロータリー・クラブ定款に用いられている「実業」「専門職業」「職業」「企業」或は「会社」等の用語の意義を明確にするため、国際ロータリー理事会は、これらの用語について次のような解釈をしている。

ロータリー・クラブで職業分類表を設定する場合において、

- 1) 商業的活動
- 2) 工業的活動
- 3) 専門職業活動
- 4) 団体の活動

のいずれかに属する事業活動で、たとえ、その二つ或は三つの業務にまたがって財務に関する管理権限とか財政政策に関する最終決定権が、一つの法人または個人事業主に帰属している場合でも、その各々の業務全般にわたる運営方針の決定、任務遂行について十分な独立性をもつならば、その事業活動を、一つの「実業」「専門職業」「職業」「企業」「会社」等の事業活動として取り扱うことができる。但し、必ず、当該事業活動が、それ自体、一般社会の人々に対して、完全な一つの事業と認められるものでなければならないものとする。

一例を挙げれば、大規模の大学内に、各々はっきりと独立した三つの学部が存在し、各学部ごとに学部長と教授会があり、それぞれ学部の運営一般に関する独自の方針の決定と責任遂行とについて十分な独立性をもっている場合には、クラブは、充填未充填職業分類表に、各学部別に、それぞれの主要かつ一般世間からもそのように認められている活動に対応して次のような職業分類を設定すべきである。例えば：

医学部

工学部 法学部

大規模な大学内の明らかに独立した各学部の職業分類の設定に用いられたこの原則は、また、大規模な法人において各別にはっきりと独立している部門の職業分類の設定についても適用されるであろう。

職業分類の貸与

ある人を特定の職業分類の下に会員とするためには、本人が、その商業、工業、専門職業または団体にかかわる活動の少なくとも60%を、本人の職業分類となっている事業(実業、専門職業、職業、企業または会社)に捧げており、かつ本人が主として当該実業または専門職業活動に従事していることがその地域において一般から認められていなければならない。各ロータリー・クラブはこのような規定を採用するように勧告されている。

均衡のとれた会員組織の維持

ロータリー・クラブは、どんな実業や専門職業にも偏ることなく、均衡のよくとれた会員組織をもつことが極めて大切である。

相互に関連もしくは類似する事業、または同一の法人その他の事業主の所有もしくは管理に属する事業を職業分類とする正会員およびアドレシショナル正会員の数は、当該クラブの正会員およびアドレシショナル正会員総数の10%を超えないことが望ましい。

クラブが所在する区域内の特殊な事情のため、10%を超えることとなってもやむを得ないとされる場合も考えられるが、しかし、均衡のとれた会員組織の原則はあくまで維持されるべきである。

古いクラブで、現在、充填されている職業分類が均衡を失っている場合には、均衡のよくとれたクラブ会員組織にするため、ほかの職業分類の正会員およびアドレシショナル正会員の数を増加するように努めなければならない。

新クラブ

ロータリー・クラブを結成する場合には、様々な分野から会員を得られるよう考えておくことが大切である。従って、結成の時に、相互に関連のある職業分類グループから、一つの職業分類だけを充填するようにすることが望ましい。但し事情によっては、このような職業分類を二つ以上充填しなければならないような場合も考えられるが、しかし創立会員となる正会員の総数の10%を超えてはならない。クラブ会員の職業分類の均衡を保つことには十分注意を払うことが肝要である。

職業分類の原則固守

(Adherence to Classification Principle)

職業分類の原則を守ることが、最も重要である。職業分類は、明確に異なる、独立性のある、十全な事業活動を公共の場において行っているかどうかを基礎として設定される。ロータリー・クラブは、その会員を商社または団体内における会員個人の仕事や地位によって分類するのではなく、会員がたずさわっている商社、会社、団体等の主要かつ一般世間がそのように認めている活動によって分類するのである。

一人一業の職業分類の原則の下では、ロータリー・クラブの結成または維持が困難または不可能と見えるような地方においても、これを、この原則の厳守から逸脱する理由にはならない。

その地域社会に明確に異なる別個の事業があつて、それが主要な事業を独占している一つ或は極く限られた数の会社によって統制されているような場合でも、国際ロータリー定款、細則および標準ロータリー・クラブ定款に使われている「実業」、「専門職業」、「職業」、「商社」、「会社」等に関する理事会の解釈および説明に基づいて、職業分類を設定することができる。

報道機関、宗教および外交官

(News, Religion and Diplomatic Service)

定款および細則は、一つのロータリー・クラブ内における報道機関、宗教および外交官の職業分類を代表する会員の数に制限を設けていない。

会社合併

(Merged Companies)

会社の合併に関連して起こる職業分類の問題を処理するための指針を次に挙げる：

職業分類：1) 許容される場合：職業分類は会員が属している商社、会社或は団体等の主要かつ一般世間がそのように認めている活動によって決められる。一つまたはそれ以上の会社が合併されてできた企業体で、たとえ財務が一つに統制されているとしても、その各事業所がそれぞれ独立して製造販売を営み、かつ既に職業分類表に載っている職業分類とは明らかに異なる業務を社会に提供している場合には、クラブは正会員、アドレシショナル正会員を選ぶために、新たな別々の職業分類をその職業分類表に追加することができる。

2) 許容されない場合：合併された会社が、一つの経営管理の下で一個の製造工場および販売所に統合された場合には、職業分類は一つだけしか設けることはできない。そして、この職業分類は合併された一つ一つの会社の業務でなく、合併されてできた会社全体の業務を表すものでなければならない。

3) この指針は新旧会員に適用できる：上述の指針は新会員に対してのみ実施されるのではなく、合併されたそれぞれの会社の主要な業務を表す職業分類の下で既に以前から会員である人々にも適用されるものである。

4) 職業分類は重複してはならない：この原則は上述の指針に従って許容された職業分類がクラブ内に既に存在する他の職業分類と

現実に重複しない場合にのみ適用されるのである。

5) これらの勧告によって既に会員である者が無理にその会員身分を剥奪されることはない。

シニア・アクティブおよびパスト・サービス会員のバッジと職業分類

(Classification on Badge of Senior Active or Past Service Member)

シニア・アクティブおよびパスト・サービス両会員のバッジには、「シニア・アクティブ」または「パスト・サービス」の文字の下に、括弧で囲んだ(前職業分類_____)という欄を設け、その会員がシニア・アクティブまたはパスト・サービス会員になる直前まで、保持していた職業分類を書き込むようにし、更にこの職業分類をクラブ会員名簿やその他氏名、職業分類を必要とするクラブ記録類に書き入れておくようにされたい。

クラブ役員

(Club Officers)

ロータリー・クラブの役員、その資格、任務、選考方法は、ロータリー・クラブ定款と細則に規定されている。

標準ロータリー・クラブ定款の規定によると、理事会はクラブの管理主体である。理事会は、少なくとも月1回会合を開くものと期待されている。

クラブの役員は、会長、会長エレクト、1名または数名の副会長(以上の人は全員、理事会のメンバーとする)、更に、幹事、会計、会場監督(この3者は、クラブ細則の定めるところに従って、その全員または一部が理事会のメンバーであってもよいし、そうでなくてもよい)である。

クラブ会長には、明確かつ非常に重要な資格と任務がある。

資 格

(Qualifications)

クラブ会長は：

クラブの瑕なき正会員、シニア・アクティブ会員、またはバスト・サービス会員であって、更に正会員、アドレショナル正会員の場合にはその職業分類について疑問のない者。

クラブ全体を指導する能力を有し、かつ同僚たる会員の尊敬と信頼を有する者。

地区協議会に出席し、かつ、いつでもクラブを指導し、クラブの事務をとるのに必要な時間と労力を捧げ得る者。正当な理由により地区協議会に出席できない場合、所属クラブから指名した代理を派遣し、その報告を受けなければならない。

自己のクラブの理事、または一つ以上の主要な委員会の委員または委員長、或はクラブ幹事を務めたことがあり、また前年度に会長のための完全な訓練課程である指定任務を果たした者。

1回以上地区大会に出席したことがある者。

自己のクラブの定款・細則およびロータリーの綱領について実際の知識を有する者。

(なおできれば、就任前に少なくとも1回は国際大会に出席した経験を有する者であることが望ましい)

任 務

(Duties)

クラブ会長は：

クラブの諸会合の議長を務める。

各例会に当たって入念に立案し、開会および閉会の時間を厳守するよう配慮する。定例理事会(少なくとも月1回)の議長を務める。

任務にふさわしい人をクラブ委員会委員長および委員に任命する。

各委員会はそれぞれ明確な目標を持ちつつそれぞれの働きが調和するようにする。

各委員の任命後、できるだけ早い機会に第

1回のクラブ協議会(Club Assembly)を開催する。

地区大会(District Conference)に出席する。

次期会長として地区協議会(District Assembly)に出席する。

クラブ内および地区内のロータリーの諸問題に関し地区ガバナーと協力し、かつ諸通信を速やかに処理する。

例年の会計検査は勿論、クラブ予算の編成および会計事務の完全な履行を監督する。

地区ガバナーの公式訪問に際し、各委員長より文書による報告が提出されるよう注意する。

国際ロータリー事務局から得られる情報および有益な示唆を利用する。

「国際ロータリー・ニュース」(R. I. News), 「ガバナー月信」(Governor's Monthly Letter)その他国際ロータリー事務局、地区ガバナーからの通信、刊行物等から得られる重要な情報が確実に各会員に伝達されるよう注意する。

地区大会および国際ロータリー大会に、クラブから適正な代表者が出るよう注意する。

1月にはロータリー年度第2半期の各委員会の活動とその目標の検討会を指導する。

6月にはクラブの財政状態および当該年度のクラブの目標達成状況について、総括的な報告をクラブに提出する。

退任前に次期会長と会談する。

クラブの新しい管理事務が順調に発足できるようにするため、また同時にクラブ管理の継続性を保つため、新旧理事の合同会合を開催する。

クラブ役員を選出

(Selection of Club Officers)

役員が無期限に留任しないように、会長および幹事の職はもとより、理事、委員長の職も代わるがわる就任するという原則を、かなりの程度まで守ることができれば、クラブの

ためにこの上なく役立つであろう。

クラブ役員が2年続けて同一役職に就くことは奨励されていないし期待されてもいない。しかし、事情が許すなら、引き続き2年目に同一役員を選んだり、期間を置いてクラブの元役員を再選することがクラブに役立つ場合もある。

クラブは会員の潜在的指導力を慎重に調べて会員達を委員に任命するのみでなく、時には例会の司会をさせたりして、大いに会員の能力を発揮させることに努めるよう示唆されている。

役員 の 就 任 式

(Officer Inductions)

各ロータリー・クラブは、各ロータリー年度の初めに役員就任式を開かなければならない。このような会合は、クラブ役員や委員が、所属団体の目標に献身する熱意を新たにし、再確認する機会を提供するものと認められるからである。また、このような会合は、地元地域社会にロータリーの目的と目標を知らせる広報の機会ともなるのである。

クラブ・プログラム

(Club Programs)

各ロータリー・クラブは、その細則中に親睦並びに報告事項その他の特別プログラムに対して具体的に規定した、明確なクラブ例会議事順序を規定することが重要である。

単に関心の高いテーマまたは娯楽を意図したプログラムより、ロータリーに関するプログラムを心がけるよう尽力しなければならない。このようにしてロータリー・クラブを単なる昼食クラブとする風潮を覆さなければならない。

奉仕プロジェクトの交換およびクラブ間の円満な関係を増進する手段として、ロータリー・クラブは、その例会に来賓として同一

地区内の他のロータリー・クラブ会長を招待し、来訪会長にそれぞれのクラブのプログラムと活動について簡潔に報告する機会を提供するよう奨励されている。

名を呼び合う習慣

(First Name Custom)

ロータリアン同士が互いに相手の姓ではなく、名(first name)で呼び合うのは単なる習慣である。クラブがこの習慣を採用するかどうかは自由である。この習慣がそのクラブの存在する国の人々の一般の習慣と一致しない場合もある。

ロータリー・クラブ例会への来賓

(Guests at Rotary Club Meetings)

ロータリー・クラブは、個々の会員を促して、特に興味をそそるプログラムが予定されているクラブの例会にロータリアンでない地元の人を招待させることによって、一般の人々にロータリー・クラブの役割とその究極の目的を周知させるように、特別の努力を払わなければならない。報道関係者または他のロータリー・クラブ会員は別として、クラブまたはクラブ会員が長期間同一人を来賓とすることは望ましくない。

クラブ例会への学生招待

(Students as Rotary Club Guests)

クラブは、大学および各種学校の学生に関心を持ち、学生にロータリーの理想と原則を知らせるよう配慮してほしい。学生をゲストとしてクラブの昼食に招待する計画は奨励するが、学生は、それだけでロータリー・クラブの会員とはなれない。ロータリー・クラブには、定款および細則に規定されている会員種類だけしかない。

講演者への謝礼

(Paying Expenses of Speakers)

国際ロータリーでは国際ロータリーの元役員および現役員を各クラブに派遣しその費用を国際ロータリーが負担しているが、もし、これ以外に各クラブが国際ロータリーの現または元役員或は他のロータリアンを招く場合は、そのクラブが費用を負担しなければならない。招かれた講演者の方から、費用の支払を請求しなければならないような羽目に陥れて講演者を当惑させてはならない。このような費用の支弁について分からないことがあれば中央事務局は助言をいとわないであろう。

来訪ロータリアン

(Visiting Rotarians)

クラブまたは会員個人に招待された場合を除き、来訪ロータリアンは、ロータリーで行われている慣行に従い食券を自分で買うものとする。

クラブ例会に他クラブから来訪ロータリアンが出席した場合、クラブ幹事はそのビジターの所属クラブの幹事に早速その旨を通知しなければならない。もし本人から要求があれば電話または電報によって通知しなければならない。勿論この場合の費用は来訪ロータリアン自身の負担である。

にせロータリアン

(Impostors)

他の町から来たロータリアンだと称する男がクラブや会員個人を訪れてくるのがよくある。もっともらしい不幸な出来事の話をして金を要求するのである。訪ねられた方では仲間のロータリアンを助けたい気持から金品を与えたり世話をしたりするのであるが、これが実は「にせ者」だったということが後でわかることがある。ロータリアンと称する未

知の来訪者から援助を求められた場合には、本人が会員だと称するクラブに電話か電報で確かめるのが一番良い。本当のロータリアンであったらこのような照会に異存はない筈である。

クラブ例会における祈禱

(Invocation at Club Meetings)

世界中のロータリー・クラブには、色々な宗教的信仰或は理想を持った会員がいる。また、ロータリアンは自己の宗教的信条に忠実であるとともに、他人の信仰に対しても誠実で寛容な、変わらない尊敬をはっきり示すよう期待されている。各ロータリー・クラブは自治的なものであるから、各自の良き判断に基づいて、全会員の宗教的信念を尊重するような方法で例会を行うべきである。

例会場

(Meeting Places)

各クラブは、自己の権限で例会場を決定できる。しかし、各クラブの正会員、シニア・アクティブ会員、或はバスト・サービス会員は、いずれも他のロータリー・クラブの例会に出席する権利があるから、各クラブは、世界のどのクラブのどの会員でも出席できるような場所で例会を開くことが期待されている。

例会における酒類飲用の可否

(Alcoholic Drinks at Meetings)

ロータリーの会合で酒類を供することが妥当であるかどうかは、各クラブが決定すべき問題である。

この問題に関してロータリーは何ら公式の方針を持っていないと言われるかもしれないが、長い間の経験と多くのロータリアンが表明した意見によって、少なくとも、酒類を食

他の奉仕クラブとの連合会

(Joint Meetings of Service Clubs)

ロータリー・クラブが他の奉仕クラブと合同例会を開くことが、クラブのプログラムおよび活動を最もよく推進するとは思われない。従って、理事会は、ロータリー・クラブが他の奉仕クラブと週例会を合同して開くことに反対である。しかし、理事会は、特別の場合に、他の奉仕クラブと合同例会を開くことがあってもこれに反対するものでない。

富くじ類による資金募集

(Raising Money by Lotteries or Raffles)

ロータリー・クラブの活動は、当然、会員であるなしを問わず、すべての人にロータリーに対する十分な尊敬の念を抱かせるようなものでなければならない。従って、いかなるクラブも、富くじ等によって資金を集めることは、そのような行為が全面的に支持されている国でない限り、避けるべきである。

ロータリー情報

(Rotary Information)

会員のロータリー知識と理解を広げるような適切なロータリーの考え方を会員に伝えるために各例会の初めの3分乃至5分間を充てることがいかに有益であるかという点についてクラブの注意を促したい。クラブのロータリー情報委員会は、全会員、特に新会員が、ロータリーを正しく理解し、ロータリー会員の特典と責務を了解するのを強力に援助しなければならない。年間を通じ少なくとも毎月1回、奉仕の四つの部門のそれぞれについて、ロータリアン個人の知識と行動を増幅するようなプログラムを提供しなければならない。

ガバナーは、ロータリー教育の格段の必要性を強調し、この方面において R. I.事務局から有益な助言が得られることにクラブの注意

事の一部として供する習慣のない国においては、ロータリーの会合では酒類を供しない方がロータリー運動のために良いであろうと言えることができる。

例会の取消

(Cancellation of Weekly Meetings)

ロータリー・クラブは標準クラブ定款に定められている場合を除き季節的または祭日の理由により例会を取り消すことはできない。

クラブが他の団体に加入すること

(Club Membership in Other Organizations)

国際ロータリーの構成員として、クラブは他のいかなる団体にも加入すべきでなく、また、他団体の会員としての義務を負うべきものでもない。クラブの役員および委員が他の団体の役員や委員と会議を開くことはよいし、また、そうせねばならぬ場合もあるが、しかし、クラブを束縛する権限はない。

ロータリー・クラブが奉仕プロジェクトの後援に協力することが必要もしくは望ましいと思われる場合、これを行うことは当を得たものであるが、しかし、理事会の認識によると、どのような目的のものであっても、国際ロータリー管理組織の外にロータリー・クラブ提携団体を設立することについては、国際ロータリーの定款、細則にその規定がない。ロータリー・クラブには、その会員を、他のどのような団体に加入させたり、結びつけたりする権限はない。従って、ロータリー・クラブ・グループが正式なロータリー・クラブ提携団体を設立し、またはロータリー・クラブがかかる団体に加入することは、国際ロータリーの組織規定に抵触するものである。

を喚起しなければならない。

各地のクラブは地元の報道機関の代表者ができるだけ入会させよう奨励されている。

クラブのロータリー情報委員会は、ロータリー情報をあくまで大きく幅広く修得整理し、これをクラブ全会員に絶えず伝達すべき責任を持っている極めて重要な高い地位に置かれるものである。従ってロータリー情報委員には、考え得る最高の適任者を任命すべきことが強力に推奨されている。またクラブは、1年を通じて定期的にクラブの業務活動その他の諸問題を討議するためだけの例会を開催することも推奨されている。

クラブ資金の取扱

(Handling Club Funds)

ロータリー・クラブは、クラブ財政を実務的に処理するよう要請されている。クラブ資金の実務的処理については、支払小切手に対する副署と、毎年度の会計監査が求められている。

保険と法人組織

(Insurance and Incorporation)

クラブは、クラブ自体（またはその活動）を法人組織にするか、或は適切な賠償責任保険に加入することによって、クラブ・プロジェクトと活動から発生しうる事故や損害に対する賠償責任から保護する保険の必要性につき、法律顧問または責任保険の顧問から助言を受けるよう要請されている。

クラブのパナー

(Club Banners)

ロータリー・クラブおよびロータリアンの間で世界的にパナーの人氣が高まり、広く使われている点を考慮し、理事会は、ロータ

リー・クラブのパナー、旗、ペナントなどの交換が適切で有益な目的を果たしていることを認識しているが、このような記念品交換の慣例の誤用および濫用が、不必要な財政的負担をロータリー・クラブにかける場合がある。また、クラブの基本的奉仕活動を妨げ、かつ、活動縮少をもたらして、交換の真の目的を破壊しかねない場合もよくあるのである。

このような記念品交換に参加するすべてのロータリー・クラブおよびロータリアンは、交換準備に当たって、慎重で、節度ある、適切な判断力を行使しなければならない。

このような交換を実施しているクラブは、パナー、旗、ペナントに、クラブの所在地、国、地域を明瞭かつ適切に強く表現することを心がけつつ、デザインを入念に研究することによってプログラムの効果を高める機会に恵まれるであろう。

会員カード

(Membership Cards)

各クラブは、幹事を通じて、各会員に会員証を発行するものとする。ロータリアンが個人的に知られていないクラブを訪問する際には必ずこの会員証を提示して自己紹介をしなければならない。

ロータリアンでない者に対する証明書その他の発行

(Credentials, etc. for Non-Rotarians)

ロータリー・クラブは原則として自己のクラブの会員以外の者に対して信用証明書、身分証明書或は紹介状を発行すべきではない。ロータリアンはすべてそのクラブに所属しているからその会員証を持っているのである。

ロータリーと政治

(Rotary and Politics)

国際ロータリーとその加盟クラブは、党派的政治声明を発表することを控えなければならない。かつ、ロータリアンは、政府もしくは行政当局にいかなる団体的圧力もかけてはならないのであるが、次のことを行うのはロータリアンの義務である。

1) クラブ内で：世界理解と平和というロータリーの目標の追究と、自己の職業および地元地域社会への奉仕に影響を及ぼすものに限り、地元地域社会および世界各地の政治状況を検討する。そしてその問題を公平な立場で全体で討論し合った後、各会員がそれぞれ自分自身の結論を下せるように、釣り合いのとれたプログラムと討論を通じて、ロータリアンは、信頼できる情報を得られる筈である。

2) クラブ外で：人間の尊厳の認識および個人の必然的権利の尊重を言葉ばかりでなく立派な行為で推進するために、できるだけ多くの合法的グループおよび団体で個人として積極的に行動する。

ロータリー・クラブへの配布

(Circularizing Rotary Clubs)

いかなる団体も国際ロータリー加盟クラブに文書その他を一律に配布することはできない。

しかし、国際大会の決定或は国際ロータリー理事会の勧告によって定められる限度内において、営利に関係のない事柄に限り、他のロータリー・クラブにこれを配布することは許されている。

但し以下の限定条件による：

1) いかなる事項に関しても、他のロータリー・クラブの協力を得ようとする加盟クラブは、まずそれぞれの地区ガバナーに対して、その目的と計画を提出し、その承認を得なければならない。

2) いかなる加盟クラブも、まず国際ロータリー理事会の承認を受けるまでは、他のロータリー・クラブ或は、自クラブの会員以外の、個々のロータリアンに財政的援助を求めてはならない。

国法の遵守

(Club Compliance with National Laws)

各ロータリー・クラブは、クラブが存在し、その機能を果たしている国の法律に従うことが期待されている。自国の法律が R. I. 組織規定と矛盾する場合は、関係クラブは必ず理事会に問題を提出し、助言と指導を仰ぐものとする。

クラブ協議会

(Club Assemblies)

クラブ協議会は、クラブのプログラムと活動について協議するために開かれるクラブ役員と理事、委員会委員長の会合であるが、クラブの他の会員も出席を要請される。

クラブ協議会は、地区ガバナーの訪問時および他の適切なときに数回開かれる。その内1回は、地区および地区内他クラブのプログラムと活動に関する報告が受けられるように地区大会終了後に開催するよう奨励されている。

ロータリアン誌の購読

(Subscriptions to The Rotarian)

米国およびカナダ内の各クラブは、そのクラブの正会員、シニア・アクティブ会員およびバスト・サービス会員がすべて機関雑誌の有料購読者となること、そして会員資格を保持する限り購読を続けることを、会員資格取得の条件としている。

米国およびカナダ以外のクラブは、その正

会員、シニア・アクティブ会員およびパスト・サービス会員のそれぞれが、国際ロータリーの機関雑誌または国際ロータリーの理事会が承認し、当該クラブに対して指定したロータリーの地域雑誌の有料購読者となり、そして本人が会員となっている限り、その購読を続けることを、会員身分保持のための条件としなければならない。但し、会員が機関雑誌およびクラブ用に定められた公式地域雑誌に用いられている言語を読めない場合は、理事会によって、そのクラブに対する前記の規定の適用が免除される。

レビスタ・ロータリアの購読

(Subscriptions to Revista Rotaria)

機関雑誌スペイン語版、レビスタ・ロータリア(または、承認し、指定した地域雑誌がある場合は、その地域雑誌)の購読はスペイン語を用いている国のクラブ会員に義務づけられている。

ロータリーの広報の目的

(Purpose of Rotary Public Relations)

ロータリーの広報プログラムの目的は、ロータリーの綱領とプログラムへの理解、認識、支援を育成するにある。そのプログラムは、ロータリアンの中に、次のような意識を高めるものでなければならない。つまり、良い意味での宣伝、好ましい広報、肯定的イメージは、ロータリーの人々への奉仕を拡大するために、ロータリーにとって望ましく不可欠の目標であるという意識を高めるものでなければならない。

広報における個々のロータリアンの責務

(Responsibility of the Individual Rotarian in Public Relations)

各ロータリアンは、ロータリーの綱領、プログラム、活動に十分精通し、ロータリーの意図と業績を、その交友および職業上の知己に対し広く知らせる機会を求めることを期待されている。

広報におけるロータリー・クラブの責務

(Responsibility of the Rotary Club in Public Relations)

各ロータリー・クラブは次のことを期待されている：

- 1) 建設的な報道機関関係を維持する；
- 2) 成功を収めた奉仕プロジェクトや活動でロータリーの意図と業績を明らかに示すものを報道機関を通じて広報する；
- 3) ロータリアン誌/レビスタ・ロータリア、ロータリーの地域雑誌および他の推進方法を利用して、ロータリーの意図と業績を地域社会内に広める；
- 4) ロータリーの意図と業績を家族、友人、知人に知らせるようロータリアンに勧める；
- 5) ロータリーとその綱領、規模、プログラム、活動を知ってほしい地域社会の指導者、青少年、関係団体の理解を助長する；
- 6) ロータリーの声価を損ない、その効果を制約しかねない地域社会内もしくはクラブ内の状態を防止、矯正するための積極的措置を講じる。

広報における国際ロータリーの責務

(Responsibility of Rotary International in Public Relations)

会長は、国家元首、政府の指導者、市民の

指導者、報道機関、一般社会の人々に、ロータリーの意図と業績を知らせるものとする。

地区ガバナーは、クラブの広報と対地域社会活動が効果的に運ぶよう激励、指導、支援するものとする。地区ガバナーは、広報分野に経験豊かなロータリアンを含む広報委員会を設置しなければならない。

R. I.事務局は：

- 1) 一般社会にロータリーを紹介、説明、推進する；
- 2) 会長、理事会、事務総長が効果的な広報プログラムを立案・実施するのを援助する；
- 3) 効果的な広報プログラムを推進、実施するためにロータリー地区およびクラブを動機づけ、手法を示し指導する。

不利な広報

(Adverse Public Relations)

各クラブは、ロータリーの声価を損なう、或は、損ないかねない、もしくはロータリーの効果を制約するような地域社会内もしくはクラブ内の状態を防止し、また矯正する積極的措置を講じなければならない。ロータリーの目的もしくは活動への誤解から否定的な世論が生じた場合、クラブは、正確な一般向け情報並びに対地域社会関係の改善、更に必要であれば、奉仕プログラムの強化によってこの誤解の是正に努めなければならない。

他のクラブまたは国際ロータリーに影響を及ぼすような事態が存在したり、或は、問題が発生した場合、クラブはできるだけ早い機会に地区ガバナーに報告し、協力してその問題に対処できるようにしなければならない。地域社会との関係において問題の発生を抑制し解決するためにクラブに助言および援助を与えるのは地区ガバナーの責務である。事務総長は、R. I.会長およびR. I.理事会に絶えず報告し、もしその審議を必要とする問題であれば、これをR. I.会長およびR. I.理事会に回付して、地区ガバナーやクラブを援助す

る。

広報によってロータリーに人々の注意を引くこと

(Attracting Men to Rotary through Public Relations)

ロータリー・クラブは次のことを行わなければならない：

- 現在その数を増しつつある、実業および専門職業分野で責任ある地位を占める若い人達にロータリーへの関心を深めさせる手段、方法を見出す；
- ロータリーの綱領をよりよく伝えかつ表現する、適切なロータリー・クラブ例会プログラムを発表するための方法を講じる；
- 広報の効果を一段と高める方法として、より明確に広報に焦点を合わせた活動を採用することを考慮する；
- 理事会は、新会員をロータリーに引きつけ、現会員を引き止めておくのに広報が重要であることを、ロータリー・クラブ、特に、クラブ会員増強委員会に対して強調し続けるべきである、と考えている。

広報とクラブ・プロジェクト

(Public Relations and Club Projects)

いずれのロータリー・クラブも毎会計年度に主要な社会奉仕活動の一つ提唱することが望まれる。

成功裡に完了した奉仕プロジェクトは、ロータリーに対する一般の人々の認識、理解を普及徹底させるのに非常に効果的な方法の一つと考えられている。従って、ロータリー・クラブによって見事に遂行されたプロジェクトについてこれを一般の人々に広く知らせるための活動はロータリー広報にとって不可欠である。

ロータリーに対して否定的な態度を示す傾向があり、それがロータリーのプログラムに

好ましくない影響を与えていると思われる地域に対しては絶えず注意を払わなければならない。また、そうした地域にあるクラブには、建設的な奉仕プログラムを開始して、このような否定的態度を一掃するよう要請しなければならない。

ロータリーと報道機関との関係

(Rotary and News Media Relationships)

ロータリー・クラブと地区ガバナーは、ロータリーと報道機関との関係改善のために適切な措置を講じ、更に、地域的、社会的、文化的諸条件と地元の報道機関との関係を考慮に入れ、両者の関係を改善するために、次のようなクラブ並びに地区の活動に着手するよう要請されている：

- 1) ロータリー・クラブにおける報道機関の関係者による報道機関の役割についての講話；
- 2) 少人数のロータリアンと報道機関の関係者で構成されるグループによる討論会；
- 3) ロータリアンと報道機関の関係者が出席するフォーラムとセミナー；
- 4) ロータリー・クラブが青年ジャーナリ

ストにその見聞を広めさせる目的で奨学金を支給し、その奨学金を受けたジャーナリストが、研修終了後研修に関する報告書をクラブに提出するという青年ジャーナリスト対象のロータリー・クラブ奨学金制度；

5) ロータリー財団研究グループ交換チームに報道機関の代表を参加させること。但しその選定は、ロータリー財団の他のすべての奨学金または補助金受領者に対するのと同様に、慎重に考慮して行うこと；

6) 報道機関の代表者をロータリー・クラブ会員に加えるよう尚一層の努力をすること；

7) 地区ガバナーは、行動基準を高め、理解を深め、関係を更によくするための促進方法を探求するために、地区内の適格なロータリアン達と報道機関の指導的な地位にある人との討論会を手配すること。

講演者の斡旋

(Speakers Services)

ロータリー・クラブは、ロータリーについて効果的に話のできる講演者を、地元の様々なグループに斡旋しなければならない。

第2章

ロータリー地区

(The Rotary District)

地区の役割

(Role of the District)

地区とは、国際ロータリーの管理の便宜上まとめられた一群のクラブの所在する、一定の地理的区域であり、ロータリー地区の活動並びにその組織は、個々のロータリー・クラブがロータリーの綱領を推進するのを助けることを唯一の目的とするものであり、地元レベルにおいてロータリー・クラブや個々のロータリアンが提供するいろいろな奉仕を減殺するようなことがあってはならない。

地区の編成

(Districting)

理事会は、新しく地区を編成し、また現存地区の境界を変更する権限を有する。但し、地区境界の変更は、それによって影響を受ける地区の過半数のクラブの反対を冒して行われてはならない。(国際ロータリー細則第13条第1節)

地区編成に関して統一ある実施方法を確立するため、地区間の境界の修正が効力を発生する日は、1月1日および7月1日の内、事情により都合の良い方を選ぶものとする。

理事会は、新たに編成された地区の境界が決定、発表されてから1ヵ年間は、同地区の境界の修正を考慮しないものとする。

新しいクラブが、現在の地区の境界外において国際ロータリーへの加盟を許されたときは、それを地区に編入すべきか、それとも、無地区クラブ群の中に入れるべきかについて、決定が行われるものとする。効果的な運

営を行うために、全ロータリー・クラブは、究極において、地区に所属すべきものとする既定方針に従って、無地区クラブ群は、できる限り速やかに、地区に編入されるべきものとする。

国際ロータリー細則の規定(第14条第9節)によれば、常任地区編成委員会(Standing Districting Committee)は、細則第13条第1節に規定する地区の境界とその編成並びに発表について、理事会および会長を助けることになっている。

地区編成委員会は、理事会の採択した地区編成の方針に従って、次のような任務を果たす：

1) 国際ロータリーの地区編成委員会は、国際ロータリー会長が必要と認めた場合、第3回定例理事会の会合に先立ち、なるべく11月または12月中に開催するものとする。

2) 地区編成委員会は、その会合において、予測しうる将来に地区編成を要すると思われる世界中の地区の事情を検討しなければならない。この検討は、当該地区に関連して入手した事実に基づく情報を基盤とする。この検討に基づき、委員会は、特別の研究を要すると思われる地区を選び、次の国際協議会会期中、それらの地区のガバナー・ノミニーに対し地区編成委員会と協議するよう求めなければならない。前記のガバナー・ノミニーには、それぞれの地区内における地区編成問題について、あらかじめ研究しておくよう要請すべきである。

3) 地区編成委員会は、国際協議会会期中に会合し、地区ガバナー・ノミニーとそれぞれの地区内における地区編成問題に関連して協議できるようにしておかなければなら

い。協議の対象に選ばれた地区のガバナー・ノミニーとの協議について具体的に取り決め、できれば、その人達にあらかじめその会合の時と場所を通知するものとする。

4) 次期地区ガバナーは、国際協議会から自分の地区に帰ると、直ちに地区内クラブ再編成に関する計画遂行に関し、地区内のクラブ会長その他の適格なロータリアンと協議すべきである。必要と認められた場合には、地区内に地区編成委員会を設け、これにクラブ再編成に関する明確な計画をたてる責任を持たせることとすべきである。

5) 地区ガバナーは、クラブ公式訪問の際とかその地区内のクラブまたはロータリアンとの接触の際に、手短かに地区編成の問題を話し合うべきである。地区編成に関するこのような接触の目的は、その地区に関する地区編成問題について、クラブやロータリアンに良く知ってもらい、その結果、これらクラブで受け入れることのできるクラブ再編成計画を国際ロータリー地区編成委員会に提出することを容易かつ速やかにするためである。

6) ある地域のクラブ再編成が二つまたはそれ以上の地区に影響する場合には、関係地区ガバナーは会合して、その地域内のクラブ再編成計画をたてるため、必要と認めた場合、それらの地区からの代表者で連合委員会を設置すべきである。

7) 地区ガバナーは、国際ロータリー地区編成委員会に、現在の地区運営上当面する諸問題について説明し、次に挙げる諸点を明確に示して、地区としての計画を提出すべきである：

- (a) 関係地域の広さと被提案地区の境界線を示す地図；
- (b) 現在のクラブ数、各クラブの会員数、および各被提案地区における拡大の可能性；
- (c) 各被提案地区における地区大会開催都市に関する情報；
- (d) 各被提案地区の交通機関；
- (e) 政治および経済事情。

8) 国際ロータリー地区編成委員会は、地

区ガバナー提出の計画を、なるべく11月または12月開催の委員会において、或は通信によって、研究し、委員会としての勧告案を、審議してもらうため、理事会に報告しなければならない。

9) もし国際ロータリー理事会が、審議中の1地区または数地区内のクラブ再編成を決定したときは、国際ロータリー細則第13条第1節の規定により、国際ロータリー会長は関係地区のクラブに、その決定された事項について通知するものとする。

10) 影響を受ける当該地区内クラブの過半数が、国際ロータリー理事会の示す期間内に異議を申し立てない場合には、国際ロータリー事務総長は、その地区ガバナーに、理事会の決定が確定したことを通知し、また、その地区ガバナーは、関係クラブにその旨を文書で通知するものとする。

地区内のクラブ数

(Number of Clubs in a District)

地区を構成するクラブ数の最大限および地区の地理的な面積に関する厳格な規定を設けることはできない。地区は、国際ロータリーに対して財政的に不当な負担をかけるような規模であってはならないし、また、地区が大きすぎてガバナーが任務を正しく遂行するのに過労となってもいけないというのが原則である。これらの両極端の中間が、決定要素と言えよう。

地区編成を決めるのは一定のクラブ数でも、一定の面積でもないが、一般的な考えでは、今後3年間に加盟見込みの新クラブを含めてクラブ数が40未満の場合は地区を設定してはならない。

国家間に跨る地区

(International Districts)

言語、風習および距離が許す場合、国家間

に跨る地区を新たに編成することは、原則として、望ましいことである。しかし現存の地区の境界を改編し、2以上の地区或は地区の一部を結合して国際的な地区を編成することは、関係クラブにとっても、また、国際ロータリーの全般的運営にとっても望ましいことではない。このような国家間に跨る地区の編成は、慎重な考慮を払って行われなければならない。

地区ガバナー

(District Governor)

地区に編成されている地区内のクラブは、地区ガバナーの直接監督の下に管理される。

地区ガバナー制度を効果的に運営するためには、地区における国際ロータリーの役員として地区ガバナーの職に選ばれるロータリアンが、完全な適格者であり、その任務および責任について精通しており、注意深く選ばれ、健康上その他でその任務および責任を喜んで果たすことができるということが、不可欠である。地区ガバナー・ノミニーの選考に当たっては、地区ガバナー職の資格および必要条件を明確に理解しかつ十分に考慮を払うことが必要である。

地区内のクラブは、ロータリーの原則に合致した厳密で信頼できる方法で、地区ガバナー・ノミニーを選出しなければならない。地区ガバナー候補者の支援活動は、地区ガバナーの重要かつ重大な職務にふさわしいものでなければならない。地区ガバナー候補者支援の文書の内容は、写真および本人のロータリー活動、市民としての活動、そして実業または専門職業活動の説明に限定されるべきである。このほかに本人の立候補を後援、推進するいかなる処置も講じるべきではない。

R. I. 細則第10条第12節の規定によると、選挙によって任命される国際ロータリーの役職に就くために選挙運動もしくは投票依頼を行ったロータリアンは、被選資格を失うことになる。この規定は、地区ガバナー候補者に

も適用される。

地区は地区ガバナー・ノミニーの選出を、地区ガバナーに就任する前々年中に行うよう奨励されている。その場合、地区ガバナーを務める年度の前年度に地区ガバナー・ノミニーは：

1) 地区ガバナーから、その地区の各種委員会または地区組織に関し、特別の任務が与えられる；

2) 地区ガバナー・ノミニーを参加者として指定していないすべての地区会合にオブザーバーとして出席するよう、地区ガバナーから要請される；

3) 地区大会のプログラムにどのような任務で参加するかを地区ガバナーによって考慮される。

地区ガバナーは、次期地区ガバナーの適応指導、教育を行い、更に職務に対する意欲を刺激するという責務を負わなければならない。そしてそのために元地区ガバナーおよびロータリー研究会等の会合を利用すべきである。

地区は、クラブ群または地理的地域の間で回り持ちによって地区ガバナーを指名する、という従来の方式に傾わされない手続によって、地区ガバナーとして最適の人を探し、指名するよう要請されている。

既存地区のクラブが、新地区に再編成される場合は、新地区は、できれば、再編成前に当該クラブが使っていた手続と同じ手続で、新地区発効前に、地区ガバナー・ノミニーを選出するものとする。

このような手続が実施できない場合、理事会は郵便投票の実施を承認し、地区ガバナーにその任に当たらせるものとする。

新地区が発効すると、地区内のクラブは、最初の地区大会で今後の地区ガバナー・ノミニー選出手続を正式に採択する機会を与えられるものとする。

地区ガバナーの身分、任務および資格
(Status, Duties, and Qualifications of District Governor)

地区ガバナーに最適の候補者を得るために、地区ガバナーは、毎年、所管地区内のクラブに対し、次のことを要請してほしい。入手できる資料を調査すること並びにガバナーにふさわしい候補者を推薦すること。

地区ガバナーは、地区内の全クラブに対し、地区大会前に、推薦案と候補者の履歴および資格を伝達しなければならない。

このような指名に対する被推薦者並びに推薦者が地区ガバナーの責務に精通できるように、毎年、地区ガバナーの身分、任務および資格に関する次のような文書を全クラブに配布している。

身分 (Status)

地区ガバナーは

- 国際ロータリーの役員である；
- 所管地区内のクラブによって指名され、国際ロータリー大会によって選挙される；
- 7月1日に就任し、1ヵ年間または後任者が選挙され、資格が確定するまでその任に留まるものとする。

資格 (Qualifications)

地区ガバナーは

- 指名を受ける地区内のクラブの名誉会員以外の瑕疵なき会員であることを要する；
- 会員規定の厳格な適用に照らして、完全に会員資格を有する者でなければならない。そしてその職業分類の正当性が疑問の余地のないものでなければならない；
- 地区ガバナー・ノミニー候補者として推薦された年度の前の会計年度末において、国際ロータリーに対して負債残高を持たない瑕疵なき、義務機能を果たしているロータリー・クラブの有資格会員でなければならない；
- 地区ガバナーに就任する時点において一つまたはいくつかのロータリー・クラブで、通算7年以上会員であった者でなければならない；

い；

- クラブ会長としてその任期を完全に務めたことのある者でなければならない；
- ここに規定する地区ガバナーの任務と責任を喜んで果たす意思があり、身体的にもその他の意味においてもこれを果たすことができる者でなければならない；
- ガバナーに選挙される前の国際協議会に全会期を通して出席しなければならない。国際大会への出席は極めて望ましいことである；
- 所属クラブの尊敬の的であり、かつ信頼されていなければならない；
- 本人の実業または専門職業の経営において示された経営力を持つ、職業上命名ある男子でなければならない；
- ロータリーの仕事を遂行するのに必要な時間を提供できるように、自己の実業または専門職業をうまく編成しなければならない；
- 本人並びにその近親者の品行が非難の余地のないものでなければならない；
- ロータリーとその目的、綱領および規則をよく心得ており、国際ロータリーに対し忠実であることが認められているロータリアンでなければならない；
- ロータリーのあらゆる面において信服させる方法で論ずることができ、自己の所信を、私的にも、公的にも、簡潔、直截、かつ真摯な言葉で表現できなければならない。必ずしも雄弁家である必要はない。

任 務 (Duties)

地区ガバナーは

- 理事会の全般的統制と監督の下に職務を行うその地区における国際ロータリーの役員である。担当地区のクラブに対する直接監督の責任を果たすについて、地区ガバナーは、国際ロータリーの綱領を推進する特別の任務を課せられており、身をもって次の諸項を実行しなければならない。
- 担当地区の新クラブ結成を指導監督すること；
- 担当地区内の既存クラブの強化を助成すること；

- 担当地区内クラブ相互間の友好関係およびクラブと国際ロータリー間の友好関係の増進；
- 担当地区の地区大会と地区協議会を計画、推進、主宰すること；
- できるだけ年度の早い時期に、担当地区内の全クラブを公式訪問すること。(この訪問は急いでではない。ガバナーは、有意義なクラブ協議会を開いて協議し、またロータリーに関する包括的な講演をなしうるよう十分な時間をかけるべきである)；
- 担当地区内の各クラブ会長および幹事にマンスリー・レターを発行すること；
- 国際ロータリー会長または理事会から要請があった場合は、速やかに国際ロータリーに報告すること；
- クラブ強化のための勧告案とともに、地区内クラブの状況に関する詳細な情報を後継者に提供すること；
- 後継者に代々続けられている地区記録を引き継ぐこと；
- 地区における国際ロータリー役員としての責任に属しているその他の任務を遂行すること。この中には、会長および理事会が定めたプログラムと活動を実施する責務も含まれる。

しかしながら、グレート・ブリテンおよびアイルランドにおいては、地区ガバナーの任務は、R. I. B. I. 審議会の指示のもとに、R. I. B. I. 定款並びに細則に則り、当該地域の伝統的慣行に従って遂行されるものとする。また、国際ロータリー会長或は理事会から要請があった場合は、速やかに国際ロータリーへ報告をし、そして地区における国際ロータリー役員としての責任に属するその他の任務を遂行しなければならない。

このほか、地区ガバナーは、次のことを遂行すべきものと考えられている；

- ロータリアン誌、レビスタ・ロータリア、承認され、指定されたロータリー地域雑誌、国際ロータリー・ニュース、事務総長書翰、その他国際ロータリー事務局から発行されるすべての公報、文献類、および地区内各クラ

ブの出版物などに目を通す；

- 各クラブに対し、少なくとも毎年1回は都市連合会に参加するよう奨励する；
- 国際ロータリー大会への出席を勧奨する；
- 必要があれば、クラブ会長と幹事のいずれかまたは両者の特別会議を開催する；
- 毎月担当地区内クラブの出席報告の摘要を作成し、この地区報告を国際ロータリー事務総長に送付する。

指名に必要な資格の取得

(Qualifying for Nomination)

地区ガバナーのノミニーとして資格条件を認められるためには、その職に指名された候補者は、細則に定められている地区ガバナーの資格条件、任務および責任を熟知した上で、事務総長の手を通じて国際ロータリーに対して細則に列記された地区ガバナーの資格条件、任務および責任を明確に理解していることおよび地区ガバナーとして資格条件を備えており、ガバナーの任務と責任を引き受け、これを忠実に果たす意思があり、それができる状態にある旨の声明書に署名して提出しなければならない。

国際ロータリー細則は、同細則に規定された資格並びに必要条件に合致しない地区ガバナー・ノミニーの指名は拒否されるべきものとし事務総長はこれを選挙のため国際大会に提出しないものとするを規定している。

もしも、前述の規定の通り地区ガバナー・ノミニーから署名ある声明書を受理したにもかかわらず、そのノミニーが細則に定める任務と責任を十分に果たすことができないであろうと、理事会が信ずる理由があれば、理事会はその指名を一時保留することができる。このような一時保留が行われたならば、地区ガバナーとそのノミニーに、その旨通告しなければならない。そして、そのノミニーは、地区ガバナーおよび事務総長を経由して、地区ガバナーとしての任務と責任を取り、忠実にこれを遂行することができることについて

の再度の申立を理事会に提出する機会が与えられるものとする。かかる申立を含めすべての関連事情を審議した上で、理事会は、3分の2の多数をもってそのノミネーの指名を拒否するか、或は一時的保留を解除するものとする。

もし上述の規定のいずれかに基づいて地区ガバナー・ノミネーの指名が拒否された場合は、事務総長は、関係地区の地区ガバナーに、その旨、並びに理由を通告しなければならない。そして地区ガバナーは、これを当該ノミネーに通告しなければならない。そこで、時間が許すならば、その地区は、細則の規定に従って、地区ガバナー指導のもとに、地区大会または郵便投票のいずれかにより、地区ガバナーのノミネーをもう1名選ばなければならない。地区が、地区ガバナー・ノミネーとして理事会の満足するような適任者を選出することができなかった場合、ノミネーは、国際ロータリー細則第13条第5節(h)項の規定に従って選出されるべきものとする。

地区ガバナー・ノミネーの国際協議会出席

(Attendance of District Governor-Nominee at International Assembly)

地区ガバナー・ノミネーが国際協議会に出席することは、長い経験から照らしても、また、所定の方針・手続に沿うという面からみても、国際ロータリーの地区レベルの管理に不可欠である。

更に、各地区ガバナーが、その地区における国際ロータリーの代表者として効果的に行動し、かつ国際ロータリーの役員としての地区ガバナーに期待されている所管地区内クラブの指導、指揮および助言を行おうとするには、国際協議会に参加することから得られる基本的経験と訓練を受けることが必要である。

各地区ガバナーは、地区ガバナー候補者全員および地区内の全クラブに対し、次のことを強調すべきである。ガバナー・ノミネーは

地区ガバナーとして必要な準備をするため国際協議会に出席しなければならないこと。また、候補者が国際協議会にその全期間出席できかつ実際出席するのでなければ指名は承認されないこと。

理由のいかんにかかわらず、地区ガバナー・ノミネーが国際協議会に出席することができない場合は、その人自身およびその地区のクラブに対し公平に考え、かつ、世界を通じての国際ロータリーの最善の利益のために、その人は、国際協議会に全期間出席できかつ事実出席する被指名者の選択ができるようにするため、直ちにその指名を辞退することが期待されている。

地区ガバナー・ノミネーに再度指名された場合には、2回目の国際協議会に、地区ガバナー・ノミネーとして出席することはできるが、2回目からの協議会出席の費用は、特殊な事情のある場合に限り、またその国際協議会開催に先立ち理事会が特別に承認した場合に限り、国際ロータリーにおいてこれを支弁するものとする。

経費

(Expenses of District Governor)

国際ロータリーは、各ガバナー・ノミネーに対し、国際協議会出席に伴う必要かつ適正な費用を弁済することになっている。

各ガバナーは、任期の初めに、R.I.理事会承認の予算を与えられる。その予算の対象範囲は、ガバナーの任務遂行に必要な経費である：例えば、公式訪問、地区協議会、地区大会、地区研究会に伴う旅費、マンスリー・レター発行、事務員、文具、郵送料、電信電話料に関わる適正な経費。事務費は、地区内のクラブ総数に基づいて見積もられる。

旅費は、地区内のクラブ数、旅行距離、運賃に基づいて見積もられる。R.I.は、地区内の旅行に対してガバナー個人にかかった費用だけを支弁し、地区外の旅行に対しては、かかる費用も支弁しない。但し、ガバナー・ノ

ミネーとして国際協議会に出席した費用は例外とする。

国際ロータリーは前記出費を、この割当の範囲内においてのみ各ガバナーに弁済する。グレート・ブリテンおよびアイルランドにおいては、地区ガバナーがその任務遂行上生じた費用は、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー加盟クラブが国際ロータリーに納入した人頭分担保金からR.I.B.I.に割り当てられてR.I.B.I.が保有している資金から、地域単位R.I.B.I.によって支払われる。

ガバナーに対する予算割当額は、全クラブに公平かつ適切な援助を提供しうるような予測額に基づく。資金予算および割当は、各種活動を考え合わせた上で決められるが、各地区の年々の割当額と大きくかけ離れることはない。

R.I.が支弁するガバナーの経費は、ガバナーの予算総額を超えてはならない。不測の事態が生じて、追加資金が必要と思われる場合は、地区ガバナーは、かかる出費を招く前に、割当額増額申請書を提出し、理事会の承認を得なければならない。

地区ガバナーの職務管理に関する方針

(Policy on Administration of Office of Governor)

地区ガバナーの職務管理に関する方針の一部として、国際ロータリーの定款並びに細則は、地区ガバナーが遂行する具体的任務を規定している。

しかし、グレート・ブリテンおよびアイルランドにおいては、地区ガバナーの任務は、R.I.B.I.審議会の指示のもとに、R.I.B.I.定款並びに細則に則り、当該地域の伝統的慣行に従って遂行されるものとする。また国際ロータリー会長或は理事会から要請があった場合は、速やかに国際ロータリーへ報告を提出し、そして地区における国際ロータリー役

員としての責任に属するその他の任務を遂行しなければならない。

地区ガバナーの職務管理にたずさわる人の参考および指針とするため、次のことをこの方針の一部として掲げておく：

1) 地区ガバナーは、地区内において国際ロータリーの管理役員と認められている唯一の人物であるが、地区内のクラブ数および地区の地理的範囲に応じて、地区内の隣接しているクラブを二つ乃至それ以上の地域に区分して、各地域にガバナー代理として適格なロータリアン(直前クラブ会長を優先的に)を任命すべきである。この代理は、日常の管理事務についてガバナーを補佐し、その地区内のクラブおよび地区ガバナーの非公式の助言者として行動するものである。地区ガバナーは、また、その監督の下に、地区内のロータリー・プログラムを推進する地区諮問委員会を一つ乃至いくつか設置することができる。

2) 分区代理または地区諮問委員会を設けようとする地区ガバナーの参考として以下にその詳細を述べる：

a) ガバナーの分区代理：

本質：地区内においてあらかじめ決定した分区にある各クラブの管理責任者を援助するための非公式なガバナー代理。

これらの代理は、その分区内のクラブ会長とガバナー間の連絡員で、公式の権限をもつものではない。

ガバナーは、自分が直接責任をもつべきものと考えられている職務を分区代理に委任してはならない。

資格：元会長；所属クラブの管理者として特に成功した人々。

方法：地区は、その地理的状態およびその広さにより、3クラブから7クラブの基準で区分される。

分区代理の一般的任務：分区内のクラブに、年2回か3回位非公式の訪問をする。これらのクラブ内部の発展状況をガバナーに知らせる。分区内の都市連合会を計画準備する。分区内または他の分区との出席競争を準備する。非常事態の発生した場合、特別訪問をす

る。クラブ役員に講演者の斡旋その他有用な援助を与える。地区ガバナーの要請事項や勧告事項の実行を推進するようクラブを督励する。クラブの充填未充填職業分類表作成に助力する。クラブが会員数を徐々に確実に増加させるためには上手に立案されたプログラムを作成することがクラブにとって大切であることを、役員並びに必要な場合には会員にも理解させるのに協力する。地区大会のプログラム委員会の委員として活躍する。

経費：クラブ間の距離が接近しているため、経費は普通あまりかからないので、通常各代理の自己負担とする。

長所：未来のガバナーを養成することができる。ガバナーの資格で出席することが好ましくないような場合に、非公式に援助できる。分区代理のいない場合よりも多く都市連合会を開催できる。出席率を高める。分区内のクラブの全般的管理が改善される。地域社会における有益な一般に認められた実業並びに専門職業活動の真の横断面をクラブ内に実現するために、上手に立案されかつ管理される計画がいかに大切かを分析、検討するようクラブを督励できる。ガバナーに援助と、思いやりと、刺激を与え、かつ、地区内に健全な道徳を樹立するのを助ける。

b) 地区諮問委員会：

地区諮問委員会は、ガバナーの直接の監督と指導を受けて活動するために任命されるべきもので、その目的は地区管理のあらゆる面についてガバナーに助言することにある。本委員会の委員は地区内の元 R. I. 役員の中から選ぶよう提案されている。

3) 一般：

ガバナーは、地区を管理する役員であるから、所管地区内クラブに関する権限および責任をいささかも軽減させることはできない。ガバナーは、分区代理または地区諮問委員会が存在しないかのように、各クラブを訪問し、クラブの報告を受ける等々のことをしなければならない。国際ロータリーは、分区代理または地区諮問委員会の仕事に付随する経費の請求には応じない。地区ガバナー自身によるク

ラブの直接監督という一般に認められた方針を乱すような副ガバナー、代理ガバナー、常任の地区幹事、またはいかなる正式な組織の設置をも承認しない。

事情が許せば、ガバナーは、地区内の弱体クラブを強化するため、慎重に選考された補佐（元国際ロータリー役員その他）の奉仕を活用すべきである。分区代理または地区諮問委員会が既に任命されている場合は、弱体クラブの強化に当たってガバナーを援助する補佐を、上記の分区代理または地区諮問委員会委員の中より任命しても差し支えない。

国際ロータリー理事会により随時特に勧告され、そしてその示された方法により構成された委員会を除き、次期ガバナーの権限または責任をいかなる方法でも弱める結果となるような継続的役員、組織、または委員会などを地区内に作ってはならない。

新クラブ結成と認証状伝達に関連してガバナーが必要とする旅費の弁済は、ガバナー予算の前記割当額には含まれていないので、別に国際ロータリーから支給される。新クラブ結成並びに認証状伝達に関連して加盟金の半額を超える経費を必要とする場合、ガバナーは、その経費が得られるか否かを確認するため、中央事務局と協議すべきである。

国際ロータリーの資金は、種々の地区委員会に関係するいかなる経費にも使用してはならない。

地区組織

(District Organization)

いかなる地区においても、恒久的地区組織を設け恒久的地区幹事をおくことは賢明なことではない。適切な広さの地区であれば、一人のガバナーで管理することができる。援助を要するときには、ガバナーは、いつでも非公式に元ガバナーや他のロータリアンの助力を請うことのできる特典を持っている。ロータリー世界の至る所で定型な地区管理または地区運営組織を持つことは得策でないし、

効果もない。

地区ガバナーは、種々の地区委員会の委員長の人選に際して経験豊かなロータリアンを任命しなければならない。また地区委員会組織は、地区ガバナーが地区におけるロータリー・プログラムの効果的推進に必要と考える、その程度の規模でなければならない。

地区ガバナーは、次の指針に従った上、地区組織を通じて責務を委任するよう奨励されている：

1) 地区ガバナーは、地区組織の継続性を図るよう要請されている；

2) 地区ガバナーによる分区代理の任命および活用を絶えず推進すべきである；

3) 地区ガバナーに対し、地区組織図試案が地区の必要事項、プログラムおよび地形に応じて修正しうるよう立案されている弾力的プランであることを強調する；

4) 地区ガバナーは、その就任前に地区幹事を選定するよう奨励されている。地区幹事になる者は、ロータリーに通曉しかつ地区会合の経験も豊富なロータリアンで、地区会合の準備、適切な書簡処理、諸地区会合の議事録の編集、諸種の記録保存等の日常の管理事務の面でガバナーを助けてガバナーをそのような仕事から解放することができる者でなければならない。但し同一人を通算5年を超えて地区幹事に任命してはならない。

多地区合同組織

(Multidistrict Organization)

同一国内の数地区もしくは全地区を含む機関、その他の組織体制、管理体制を設置することは好ましいとは思えない（「多地区合同活動」の項参照）

元ガバナーの利用

(Utilizing Services of Past Governors)

ガバナーは地区内における国際ロータリー

の公式代表者である。ガバナーの任務または管理上の権限の一部を元ガバナーもしくは他の人に委任することは賢明でない。

しかし、地区の元ガバナーは才能と経験の豊富な泉と言えるので、必要な場合は元ガバナーの援助を利用すべきである。

地区ガバナーは、元 R. I. 役員に次のことを含む援助と協力を求めるよう奨励されている。

1) 為し遂げ難い職務に直面したとき、ガバナーの努力を補う。

2) プログラム資料を必要としている地区内の弱体クラブを訪問して弱体クラブを強化し、財務について助言し、委員会組織およびクラブの適正な職務遂行を援助するなど補佐（元 R. I. 役員他）役を務める。ガバナーが、クラブに元ガバナーを招待したらどうかと言ってもよいし、元ガバナーの来訪を歓迎するかどうか尋ねても差し支えない。

3) 関係地区にふさわしい方法で地区ガバナーに助言する元地区ガバナーの定期的会合を開く。

4) 諮問委員会およびロータリーのプログラムの特定の面に関係のある他の委員会の委員を務める。「ガバナー協会」「ガバナー審議会」「ガバナー諮問委員会」その他類似の元地区ガバナー達のグループが、ロータリー・プログラムおよび地区ガバナーの援助に大きな貢献をなしうることが認められている。但し、かかる元国際ロータリー役員公式な組織は、地区ガバナーの指揮、監督の下におかれ、いかなる面においても、地区ガバナーの権限または責任を軽減しないものとする。

5) 拡大努力、次期地区ガバナーの指導、国際大会推進を援助する。

6) 地区協議会と地区大会で何らかの役割を果たす。

7) 組み合わせ地区およびクラブ・プログラム、青少年交換、世界理解月間、他の国際交流・国際協力分野など地区外の接触に関する活動に力を貸す。

クラブには元ガバナーまたは元 R. I. 役員がいるかもしれないということに各クラブ会

長の注意を促す。この人達は、ロータリーの仕事に経験も能力もあるので、困難と思われるクラブ問題のあるものの解決に、または、クラブ会長が然るべく運営しにくいクラブの任務の一部に助力してもらうのに適切であろう。

ガバナーの記録および書類

(Records and Files of Governor)

退任するガバナーは、その後任者に対し、その地区において最もロータリーのためになるようにその任務を遂行する上に参考になると思われる情報をすべて引き継ぐよう期待されている。

地区ガバナーは、代々相伝の地区記録を全部後継者に引き継ぐべきものとする。

地区ガバナーは、ガバナーの就任準備と地区の問題の処理やその他の責務の遂行に役立つ情報を、簡潔に付記した地区記録または手引書を作成することを奨励されている。なおかかる書類は、ガバナーが常に最新の状態に整備し、後任地区ガバナーに引き継ぐべきである。

地区ガバナーの半期報告

(Semiannual Reports of District Governor)

地区ガバナーは、年2回報告書を提出する。第1回報告は、7月1日より12月31日の期間にわたるもので、ガバナーは、その中で、地区内のロータリー管理に関する所見、観察および示唆を提示して、国際ロータリー会長に提出する。この報告は、3通作成し、1通は国際ロータリー会長事務所に、1通は日本支局に送り、そして1通は地区ガバナーのファイルに保管するものとする。

第2回、すなわち6月1日付の最後の報告は、国際ロータリーに提出されるもので、地区の一般状況、および地区内の具体的活動および事態について記載し、かつ、総括的な所

見、観察および示唆を提供する。この報告は、1通は国際ロータリー事務総長に送り、1通は次期ガバナーに送り、1通は地区ガバナーのファイルに保管する。

ガバナーのマンスリー・レター

(Governor's Monthly Letter)

ガバナーのマンスリー・レターを個々のロータリアンに送ることには国際ロータリーの資金は十分でない。地区の費用でガバナーのマンスリー・レターを個々のロータリアンに送ることにするかどうかは、各地区が決定すべきことである。

ガバナーのマンスリー・レターは、各クラブの会長、幹事だけでなく、全会員がこの書翰に書かれている地区の活動とその他の重要な情報を得られるよう、毎月クラブ理事会でこれを読むこと、また、ある部分をクラブ例会でも読むようにすることを、全クラブに対し提案する。

地区ガバナーがそのマンスリー・レターでクラブ会員数の増減を報告するときは、前月の報告との比較増減の代わりに、またはそれに加えて、当該ロータリー年度の7月1日以降の会員の増減を示す数字を入れるよう勧奨する。

地区ガバナーは、それが適切と思われるならば、そのマンスリー・レター第1号に、日本語版で入手可能なロータリー文献に関する記事を載せるよう要請されている。

ガバナーのクラブ訪問

(Governor's Visit to Club)

ガバナーは、自己の地区内全クラブを公式訪問しなければならない。この訪問は急ぐべきではない。効果的なクラブ協議会を催したり、クラブに対し総合的なロータリーのスピーチをしたり、或はまた、クラブ内にロータリーに関する知識を普及強化する目的でク

ラブ・フォーラムを開いたりすることによって、クラブと協議する機会が持てるように、十分な時間をかけるべきである。

地区ガバナーに就任してから6ヵ月の間に国際ロータリーに加盟したクラブがあり、ガバナーが自身の判断で、そのクラブを公式訪問する必要があると認めた場合に、事前に事務総長の承認が得てあれば、そうした訪問に要した費用は国際ロータリーから支弁してもらうことができる。

直前ガバナーが、その任期の最後の3ヵ月間に加盟した新クラブを訪問することに異議はない。但し、あらかじめガバナーの承認を受けなければならない。

ガバナーが所管地区内の外国に法律上入国できない地区においては、国際ロータリー会長は、ガバナーと相談の上、理事或は他の適格なロータリアンにガバナーに代わってこれらの国のクラブを訪問させる権限を持っている。

地区出席競争

(District Attendance Contests)

各地区ガバナーは、その地区内のクラブ間の出席競争を実施し、かつ、クラブからガバナーに提出される月例の出席報告に基づき、マンスリー・レターにこの競争の結果を発表することを要望されている。

活動の同格部門3点

(Three Point Coequal Avenues of Activity)

ロータリーが最大の影響力を発揮できるようにするために、地区において、次の同格部門3点を実行することはガバナーの責務であると強調しなければならない。

1) どこであろうと、クラブが成功裡に維持される見込みのあるあらゆる地域社会にロータリー・クラブを結成すること。

2) 各クラブの職業分類をできるだけ多く充填すること。空席の職業分類に最良の候補者を確保することに重点をおく。一つの職業分類においてすべての条件が同一である場合には、若い候補者を選ぶこととしてクラブの平均年齢を下げる。

3) 国際ロータリーのプログラムおよびロータリーの綱領を個々のロータリアンが推進することを強調すること。

クラブの意義ある業績の表彰

(Recognition for Significant Achievement of Clubs)

ロータリー・クラブの意義ある業績を、それにふさわしい証明書によって表彰するプログラムは、各地区の地区ガバナーが受賞クラブを選ぶものと定めている。

地区ガバナーが意義ある業績賞の受賞クラブを選定する場合の参考規準を次に挙げる：

- 1) プロジェクトは、その土地において、或はその土地のみに限らず、誰の目からも重要とみられている問題またはニーズを対象とするものでなければならない。
- 2) プロジェクトは、単なる金銭的な奉仕でなく、クラブ会員の大半または全員が直接参加するようなものでなければならない。
- 3) プロジェクトは、他のロータリー・クラブもこれと競争して行うことができるようなものでなければならない。
- 4) プロジェクトは当該年度に始められたものであることを要しないが、そのプロジェクトが、現に実施中のものであること、もしくは、その表彰の行われるロータリー年度に終えられたものであることを立証するものを提出しなければならない。
- 5) いかなるクラブも、同一プロジェクトにつき、重ねて業績の認証を受けることができない。

次に、地区で選定を行う場合に適切な手続

方法を掲げる：

- 1) 毎ロータリー年度の8月1日までに、地区ガバナーは、地区選考委員を選任し、この選考委員会においてすべての表彰の申請を受理すべきことを告示する。地区ガバナーは、この委員会の、職権上の委員となるものとする。
- 2) 地区ガバナーは、そのマンスリー・レターで、選定規準とともに、この委員会に関する発表を行い、申請書の委員会必着最終期日を公示するものとする。
- 3) 地区選考委員会は、当該ロータリー年度の12月1日までに会議を開き、5クラブまでを限度として受賞候補クラブを選び、これを地区ガバナーに送達する。
- 4) 地区ガバナーは、前記5クラブの中から選定する。選定するクラブは1クラブのみとし、特別な事情がある場合に限り、3クラブまでの選定を考慮することとされたい。
- 5) 地区ガバナーは、国際ロータリー事務局に対して自分の行った選定を証明する手続をとり、事務局は、これに対する正式の認証状を作成してガバナーに送付する。
- 6) 地区ガバナーが受賞クラブに認証状を贈る場合には、これを広く一般の人々に知らせる適当な方法をとるようにされたい。もしできれば、この贈呈式を地区大会の行事に加えるべきである。

地区協議会

(District Assembly)

地区協議会は、次期会長、幹事および理事会が指名したその他の次期クラブ指導者に各自の責務と奉仕の機会についての理解を深めさせるため、活動意欲を刺激し、感動を与え、ロータリー知識を伝え、クラブの管理業務を教示することを目的として開催される。

地区は、毎年、国際協議会終了後に地区協議会を開かなければならない。但し、その時

期は、地区協議会参加者が国際大会に出席できないような時期であってはならない。

地区ガバナーは、地区ガバナー・ノミニーと協力して地区協議会を準備する。地区ガバナー・ノミニーは、地区協議会の立案と実施に積極的に関与するものとする。1984-85ロータリー年度より、地区ガバナー・ノミニーが、地区ガバナーと協力して、新ロータリー年度開始前5月31日までに地区協議会を計画・実施することとなる。

地区協議会の催しに力を貸してくれる人を選考するに当たっては、地区内で最資格の人を選考すべきである。

地区協議会のプログラムから娯楽およびレクリエーションをすべて除外しなければならない。

会長を務める資格を得るために、次期会長は、標準ロータリー・クラブ定款第6条に規定されているように、地区協議会に出席しなければならない。正当な理由により、出席できない場合は、正式の代理を派遣し、その代理の報告を受けるものとする。また、次期幹事はその所属クラブに対し地区協議会に出席することを誓約しなければならない。次期会長および幹事の地区協議会出席に要する費用は、クラブまたは地区が支払うよう勧告されている。

ガバナーは、次年度のクラブ会長および幹事が地区協議会に出席することの重要性を特に強調しなければならない。また、クラブ役員がロータリーのプログラムに関する知識を得て、感激と決意を胸にクラブに戻り、さらに、クラブ協議会を通じて、個々のロータリアンに至るまで、ロータリーのプログラムを浸透させることに特に努力を払わなければならない。

次期クラブ会長並びに幹事は、地区協議会開催に先立って、所属クラブの会員増強の形態を調べておき、健全な発展を約束する計画について討議できるようにしておいてほしい。

クラブ会長エレクト研修セミナー

(Club Presidents-elect Training Seminars)

クラブ会長エレクト研修セミナーは、知識を与えるプログラムであり、地区ガバナー・ノミニーがR.I.に費用をかけずに地区ガバナーと協力・調整して立案・組織・実施するものである。その目的は：

- 1) R.I.会長が発表したテーマおよび国際ロータリーの新プログラムと継続中のプログラムを実施する；
- 2) 次年度のクラブおよび地区のプログラムと活動を立案する；
- 3) クラブ会長に自己の指導的役割を開発・遂行する意欲を与える；
- 4) クラブ会長に地区の運営と活動について情報を提供する；

1983-84ロータリー年度においては、地区ガバナーは、ガバナー・ノミニーと全面的に協力して、クラブ会長エレクト研修会を準備するものとする。ガバナー・ノミニーは、クラブ会長エレクト研修セミナーと地区協議会のプログラムに積極的に関与することになる。

1984-85ロータリー年度以降においては、地区ガバナー・ノミニーが地区ガバナーの協力を得て、できれば国際協議会后1ヵ月以内に、クラブ会長エレクト研修セミナーを計画・実施するものとする。

実行可能であれば、クラブ会長エレクト研修セミナーは、多地区規模で実施して差し支えない。

クラブ会長エレクト研修セミナーと地区協議会は、時期を違えて開催しなければならない。但し、距離、天候、経費の点で、別個に会合を開くことが实际的でない地区を除く。この場合、同一の場所で連続して開催することができる。

地区大会

(District Conference)

ロータリアンの地区大会は、各地区で、毎

年、地区ガバナーと地区内過半数のクラブ会長が同意した時期と地区内の場所において開催される。但し前記の開催時は、地区協議会、国際協議会または国際大会に選ばれた時期と重ならないようにしなければならない。

地区大会の目的は、交歓と、感銘深い講演と、地区内クラブおよび国際ロータリー全般に関する問題の討議によって、ロータリーのプログラムを推進することである。大会は、理事会から提出された特別な問題或は地区内で生じた問題について審議する。

地区大会は立法機関ではないが、時として、大会での討議の結果起草された立法案を規定審議会に提出して審議を求めめることもある。地区大会は、所定の年度には、規定審議会に送る代表議員を1名選出する。大会はまた、地区ガバナー・ノミニーを選出する。

地区は、地区大会を開催する期日の少なくとも1年前、地区大会が非常に早期に行われるよう計画されていない限り、なるべく前地区大会において、次の大会の期日と場所を選ぶよう奨励されている。

地区ガバナー・ノミニーが地区によって選出され、国際ロータリー事務総長にこれが証明されたならば、そのガバナー・ノミニーがガバナーを務める年度のその地区の大会はあらかじめ計画することができ、その開催地は、そのガバナー・ノミニーと地区内クラブのその時点における会長の過半数との合意によって決定することができる。

ある種の地区大会委員会は、できるだけ早期にガバナー・ノミニーによって設置されるよう示唆されている。しかしながら、諸計画の最終的決定は国際協議会の終了後まで保留すべきである。

地区ガバナーが地区大会の成功を確実にするというその基本的責任の遂行に必要な時間を十分に取るように、できれば、地区大会開催期日を、ロータリー年度内のガバナーのクラブ公式訪問完了後（大抵は年度後半）に予定することを勧奨する。

連合地区大会の開催：国際ロータリー細則

第2章 ロータリー地区

の規定によると、国際ロータリー理事会は二つ以上の地区の連合地区大会の開催を認めることができる。

可能な場合、二つ以上の地区の連合大会の開催が奨励されている。

2年続けて連合地区大会を開くことは望ましくない。

大会プログラム： 大会プログラムの立案・推進はガバナーの責務であり、ガバナーのみが、プログラムを終始管理すべきである。

大会の期間は最低2日とする。大会のプログラムを準備するに当たり、ガバナーは、ロータリーの話題が主となるようにし、ロータリアンでない講演者がプログラムに登場する場合には、講演の主題をロータリーの綱領に直接関連させるよう努めなければならない。

地区ガバナーは、地区大会プログラムを計画するに当たり、地区内のロータリアン並びに来賓が経済的理由から大会出席を思い止まることのないよう経費を最少限にとどめることが得策であることを考慮に入れなければならない。

地区大会の会期は、最少限2日、最大限3日とすべきである。地区大会プログラムは、昼食、宴会および娯楽を除き総計9時間を本会議並びにグループ討論会に充当しなければならない。理事会は、1日の大会ではロータリーのプログラムを十分織り込むことができないと考えている。

前述の規定に合致しない地区大会を開いた地区では、地区大会の立案・推進・主宰にかかる地区ガバナーの経費はR.I.から支払われない。

大会の出席率を高め、最大の効果を上げるため、ガバナーは次のことを行うよう要請されている。

- 1) 新クラブすべての会員がことごとく大会に出席するよう特に努力する；
- 2) 地区のほぼ中心に位置する都市で大会を開催するよう努力する；
- 3) クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の各協議会を開くよう準備する；

4) 大会プログラムの立案に当たっては、 unnecessaryな娯楽番組や競技類をやめ、主題を厳格にロータリーの議事日程に限るようにする；

5) 婦人およびその他すべての大会参加者が、本会議の全部に出席するよう強調し、婦人達のための催しも本会議出席を妨げないような時間のみ行うよう準備する。

地区ガバナーは、地区大会会場に展示場を準備して、地区内全クラブに少なくとも一つのクラブ・プロジェクトを展示するよう要請し、優れたプロジェクトは表彰するようにしてほしい。尚、併せて地区レベルのプロジェクトも展示されたい。

会長代理の地区に対する挨拶は、最も重要なものである。従ってこの挨拶はプログラム中最も重要な地位を与えられるべきである。しかしながら、会長代理の挨拶を大会プログラムに組み入れる前に、ガバナーはプログラム参加に関し会長代理の意向を聴くべきである。

ガバナーは、大会番組の一つとして、少なくとも1回、ロータリーに関する討論会或はタウンミーティングを開催すべきである。

可能な場合、地区内に居住する国際ロータリーの元役員であるロータリアン夫妻のために、何か社交的な集い、宴会、昼食会、或はレセプションのようなものを開くのがよいと思われる。このような集いは親睦と社交のためだけに限るべきであって、ガバナー或は他の国際ロータリー元役員が地区大会の仕事や方策を組織したり支配したりしてはならない。

ロータリーの効果的なパブリシティの方法として、地区ガバナーは、地区大会のプログラムの中に知名の士を1名乃至2名加えて、それらの人々のメッセージまたは出席によって大会をニュース性のある行事とすること、そしてその人達のメッセージをロータリーの活動やロータリーの綱領に関係づけることに尽力しなければならない。

立法案： 地区大会は、R.I.細則によると、地

区内の重要な事柄について勧告を採択することができる。但し、このような勧告は、R.I.定款および細則と一致し、ロータリーの精神と本質に沿うものでなければならない。従って、地区大会で採択された決議は、R.I.定款・細則およびR.I.理事会決定事項に盛り込まれているR.I.の所定の方針に調和したものでなければならない。

各地区ガバナーは、立法年度には、地区集會を開く手配をしなければならない。地区内クラブの代表者は、1) R.I.国際大会で審議する立法案の理解を深め、2) 規定審議会に地区から派遣される代表議員に立法案の各項に関するクラブの総意を得させる、この二つを目的として、この地区集會に招かれる。できれば、このような集會を地区大会のプログラムの一端として計画すべきである。

規定審議会のクラブ代表議員と、立法案の採否が投票に付せられる場合の国際大会へのクラブ代議員は、立法案に対する地区またはクラブの総意ばかりでなく、審議会や国際大会の場での討議討論を公平に判断して、討議に加わり、投票できるものとする。これがR.I.にとっても最もためになる方法である。従って、審議会のクラブ代表議員と、立法案の採否が投票に付せられる場合の国際大会のクラブ代議員に、案件の賛否投票を指示して、その決定を制約すべきでない。

会長代理： 地区大会および地域大会にはR.I.会長代理が任命されて出席する。会長代理の個人的旅費はR.I.が支弁する。夫人同伴の場合は夫人の旅費もR.I.が支弁する。

会長代理夫妻の地区大会出席期間中は、夫妻のホテルおよび他の大会関係の費用は地区大会が負担するものと期待している。

会長代理をどのように歓迎してほしいか、また、プログラム参加回数、時間、種類については、会長からガバナーに連絡するのが普通である。地区ガバナーはこの意見を注意深く守るものと期待されている。

いかなる事情があっても、地区大会において会長代理に対し金銭を贈ってはならない。

地区大会が会長代理の自国以外の国で開かれる場合には、可能な限り、大会の直前または直後に同地区内の数クラブを訪問できるよう計画すべきである。但し、会長代理がその地区のロータリアンの使用する言語を知っていることが必要であり、また、訪問するクラブはガバナーが選択すべきである。

地区の諸会合の席次

(Order of Precedence at District Meetings)

地区ガバナーが、地区の公式会合の立案・推進・主宰者であることを認めた上、次の席次を指針として勤める：

(注：次に挙げる人の多くがあらゆる会合に出席するわけではないが、参加した場合に備えてここに含める)

R.I.会長または会長代理

R.I.会長エレクト

R.I.副会長

理事会のメンバー

事務総長

R.I.会長ノミネー

理事ノミネー/次期理事

ホストを務めている地区ガバナー・ノミネー

元R.I.会長(先任順)

他地区の地区ガバナー

地区ガバナー・ノミネー(ホスト地区を除く)

元理事

元事務総長(先任順)

その他のR.I.役員(元地区ガバナーを含む)

会長または会長代理のエード

会長エレクトのエード

現職による席次の方が過去や未来の役職によるものよりも優先する。2以上の席次に該当する人は、そのうちの最も高い席次を占めるものとする。

同行している妻の席次は、夫と同じになる。

地区の諸会合の日程

(Scheduling of District Meetings)

地区大会および地区協議会は、それぞれ特定の目的を持っているのであるから、それぞれの会合は別個に、関連なしに、開かれるものとする。

しかしやむを得ぬ事情により、もし地区大会がロータリー年度の最後の3ヵ月中に開かれる場合は、地区協議会と地区大会とを継続した会合として開くように考慮しても差し支えない。但し、このように会合を継続して開く場合は、地区大会を第二番目の会合として開くこと、また、各会合は別個の会合として各会合に必要な時間を削減することなく、各会合の本質的特色を十分に重んじて、開くように考慮すべきである。

地区の面積が非常に広大で、旅行の都合上全区協議会に全クラブの代表が必ずしも出席できない場合には、ガバナーは、必要とする数のグループ或は分區協議会を開くよう奨められている。

多地区合同会議

(Multidistrict Meetings)

ロータリーのプログラムを推進するために、二つ乃至三つ以上の地区の合同提唱による多地区合同会議を開くことに何ら反対するものではない。但し、このような会合は、地区大会或は地区協議会とは別個のものとする。

多地区合同活動

(Multidistrict Activities)

多地区合同プロジェクトおよび活動によってロータリーのプログラムの推進が最高の成果を上げられるという場合を除いて、理事会はこのような活動を勧めない。このような場合における、地区ガバナーおよびクラブの指

針として、理事会は次の声明を採択した。

一つまたは二つ以上の地区内のクラブが参加するロータリー後援の多クラブ合同活動は、関係各クラブが、そのような活動は個々のクラブの活動の効果を高める上に役立つと考えた場合に、下記条件の下に、実施されるものとする：

1) かかる活動またはプロジェクトの性質および規模は、地区内のクラブおよびロータリアンがクラブ・レベルのロータリーのプログラム増進においてクラブ活動の規模および有効性を妨げまたは減じることなく、これを成功裡に遂行する能力の範囲内にあるべきこと；

2) その活動またはプロジェクトは、地区内クラブの3分の2によって承認されたときのみ実施され、1年を超えて、財政上その他の義務または誓約を一切負わせないものとする；

3) 活動またはプロジェクトは、財政援助だけでなく、ロータリアンおよびクラブが直接参加する機会を提供するものであること；

4) ロータリー・クラブおよび/または個々のロータリアンの活動またはプロジェクトへの参加は任意とし、クラブまたは個々のロータリアンの参加費用は最少限に止めること；

5) クラブまたは個々のロータリアンの活動またはプロジェクトへの財政援助は任意とし、人頭分担金またはクラブ或はロータリアンに強制する賦課金などの形で徴収することを強要しても、ほめかしてもならないこと；

6) 活動またはプロジェクトへの寄付を依頼するときは、任意寄付で、強制力のないことを明確にすること；

7) 一つまたはいくつかの地区のクラブの参加する活動またはプロジェクトの監督、および、このような活動またはプロジェクトのために募金もしくは徴収した全資金の保管は、たとえ関係地区のロータリアンから成る委員会が設置され、このような資金の管理を援助するとしても、関係地区ガバナー（1名

または数名）の責務である；

8) 二つ以上の地区が参加する活動またはプロジェクトは、関係地区ガバナーが事前にR.I.理事会の承認を得て、本声明の規定に従って着手するものでなければ、共同活動またはプロジェクトとして着手してはならない。

二つ以上の地区のクラブが共同活動またはプロジェクトに参加することが望ましく必要と考えられる場合、その準備および関係クラブの参加を含め、活動またはプロジェクトを妥当な範囲内に留めるよう注意を払わなければならない。また、地区ガバナーが、活動またはプロジェクトおよびクラブの参加を直接監督すべきものとする。このような活動またはプロジェクトは、扱いきれないほどの規模であってはならないし、また、関係地区およびクラブの通常のロータリー・プログラム推進活動を直接間接妨げるほどの規模であってはならない。そのような活動またはプロジェクトに関して、クラブは、関係地区ガバナー（1名または数名）の承認を先に得たのであれば文書を配布してはならない。

理事会は、二つ以上の地区のクラブの関係する機関または他の管理組織を設置することを好ましいとは思わない。しかし、理事会は、二つ以上の地区内のクラブの協力を必要とする規模のプロジェクトまたは活動があることを認めているので、地区ガバナーが、数地区のクラブに対してこのような活動の運営に力を貸すための諮問グループまたは調整グループの設置を承認することに異議を唱えない。但し、二つ以上の地区の参加する活動またはプロジェクトは、多地区合同活動に関する理事会の方針に記載されている規定に従うものとする。

地区資金

(District Funds)

定款・細則は地区内で徴収、管理される資金に関する規定を設けていないが、理事会は、ロータリーを適切に運営、推進していくため

に、このような資金を必要とする地区があることを認めている。同時に、理事会はロータリーにおける会員の費用を最小限に保つ必要性を強調している。個々の地区がその決定をすることができる。しかし、資金を集める地区では、次のことを必ず配慮しなければならない。(1)予算を提出し、地区大会もしくは地区協議会で承認を得ること。(2)資金は一個人で管理しないこと。(3)収支の監査報告を次の地区大会もしくは地区協議会に提出すること。手続例を参考として次に掲げる：

地区財務委員会が設けられ、地区運営に必要な費用を検討、調査するものとする。ガバナーは、1年任期の委員を1名、2年任期の委員を1名、3年任期の委員を1名任命する。翌年からは毎年、在任中のガバナーが、3年を任期として1名のロータリアンを任命し、空席を補充することとする。地区ガバナーと協力し、同委員会は地区経費の予算を作成し、予算案を地区大会もしくは地区協議会の最低4週間前にクラブに提出し、地区大会もしくは地区協議会の次期クラブ会長の会議で承認されなければならない。地区資金への寄付の要請は、出席した次期クラブ会長の4分の3の承認を得た場合に限って、これを行うことができる。

資金は地区の名義で銀行口座を開き、地区ガバナーと財務委員会委員1名が管理するものとする。この委員は会計係を務め、収支の記録をつける。この記録は委員以外の人、できれば会計士などの資格を持つ人が監査し、収支報告書は、毎年地区協議会か地区大会に提出するものとする。

資金を合同地区青少年交換などの特定の目的のために集めた地区では、経費予算を作成し、地区ガバナーと財務委員会に提出し、その承認を得るものとする。そして、この資金も地区資金委員会から地区協議会または地区大会へ提出される会計報告に含まれるものとする。このような資金は別の銀行口座を設け、合同青少年交換委員会委員長もしくは関係委員会委員長を署名者の1人とするのが望ましい。

地区会費の支払が義務づけられていない間は、ロータリーは民主的な団体なので、上記の手続で地区内のクラブが必ず従うと思われる。

ロータリーの後援者

(Patrons of Rotary)

ロータリーを支持する人々に謝意を表するために適切な称号を授与することを希望する地区においては、そのような称号の授与は、政府の最高指導者、王室の人々、またはその地区のロータリアンによって適切とみなされるような上記の人々の代理に当たる人のみに限ることとする。

地区講演者幹旋

(District Speakers Services)

理事会は、地区内に講演者幹旋所のある地区ガバナーは、講演者リスト中に、ロータリー以外のグループにロータリーの話の効果的に話せる人の氏名を加えておくよう勧めるものである。

クラブ会員の増強

(Club Membership Development)

地区ガバナーは次のことを行うよう勧められている：

1) 地区会員増強委員会を設置する。同委員会は：

a) クラブの会員増強委員会、特に会員数が減少しているか或はほとんどまたは全く増加していないクラブの会員増強委員会と直接に協力活動すること；

b) 地区の会員増強の進展に関する情報をあらゆる地区会合並びにロータリー地域研究会に提供し、また求められた場合はそれらの会合やクラブにおいて会員増強に関するプロ

グラムを提供する責任を負うこと；

c) 地区会員増強委員会の目標達成に適切と考えられるその他の活動をなすこと；

2) 地区ガバナーは、会員増強のための諸活動に関連して分区代理をより効果的に利用し、分区代理を任命したならば、会員増強に関する分区代理の任務と責任の範囲を明確に定めること；

3) クラブに、会員増強委員会を設けかつそれを積極的に活動させるよう奨励する、そしてクラブ会員増強委員会による会員候補者推薦ということは決して、会員個人の新会員推薦の責任を免除するものではない点をクラブに力説する；

4) 週例会、座談会、フォーラムでのスピーチ、およびクラブ会報に記載することによって、会員への情報伝達に大活躍するようロータリー・クラブ情報委員会に要請する。

5) 最高の会員増加率を示したクラブを適切に表彰することを考慮する。

クラブ幹事は、会員減少の原因に関する情報を地区ガバナー並びに地区会員増強委員会に提供するよう要請されている。そして次に、地区ガバナーおよび地区会員増強委員会は、クラブの会員減少防止措置を講じる。

居住地に基づくロータリー・クラブ正会員身分の規定は、国際ロータリー出版物を通じてまた地区協議会や地区大会のプログラムにおいて絶えず広報すべきである。またクラブが理事会推奨の範囲内でこの会員増強方法を利用するのを努めて援助しなければならない。

会員の増加と若い熱心な会員を獲得する方法としてアディショナル正会員規定の利用を最も強調しなければならない。

クラブの会員増強委員会の任命に当たっては、推奨ロータリー・クラブ細則に定められている手続に基づいて、委員会委員に継続性を図らなければならない。

会員数の最少限

(Minimum Number of Members)

ロータリー年度の最初の月にロータリー・クラブが会員数20名未満と報告した場合、地区ガバナーは同クラブと連絡して会員数減少の理由を確認し、どのような再建措置が講じられているか確認するものとする。

地区ガバナーは、その調査結果を国際ロータリー会長に報告し、かつ会員数の問題の解決に対して、いかなる援助をクラブに与えたか明らかにするものとする。

世界親睦活動

(World Fellowship Activities)

共通の趣味を抱くロータリアン・グループの活動は、友情と知り合いを深め、ロータリーの綱領のクラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕の各方面の推進に大きく寄与する。

従って、地区ガバナーは地区親睦活動委員会を設置するよう奨励されている。同委員会は、委員長と最低3名の委員から成り、地区内クラブの各種組織的親睦活動および他地区の同種の活動と該当する国際親睦活動との交流の責務を負う。

拡大

(Extension)

各地区ガバナーは、国際ロータリー理事会の全般的監督の下に自己の地区内における新クラブの結成を監督する特別な任務を託されている。

地区拡大カウンセラー

(District Extension Counselors)

各地区ガバナーは、地区拡大カウンセラー・セミナー・プログラムを設けるよう要

請されている。それぞれの地区には、3名の拡大カウンセラーのチームが任命されている。3名の拡大カウンセラーが地区拡大委員会を構成する。拡大カウンセラーの任期は3年で、毎年1名が任命され、任期の3年目に当たる委員が拡大委員会委員長となる。(最初は、1名を任期1年、他の1名を任期2年として任命するようにする)

毎年、それぞれの地域内の各地で会期1日の拡大カウンセラーのセミナーが催されることになっている。それには、20乃至30の地区のそれぞれから1名の拡大カウンセラーが参加するものとし、拡大に関するあらゆる問題に詳しい司会者が任命され、この司会者がセミナーを運営する。カウンセラーは、費用を自分で負担するかまたは地区の負担で参加することになっている。

拡大に関する一般方針

(General Policy on Extension)

クラブは、ロータリーのプログラムを推進し、ロータリーの綱領を実現する媒体である。従って、ロータリーが広大な影響力を最も発揮できるために、クラブの保持が成功しうると無理なく見込むことのできる場合は、どこでも、いつでも世界中に新クラブを進んで設立すべきである。

ロータリー・クラブは、ロータリーの基本原則を何の制約も受けずに守ることのできる地域であれば、どこにでも設立されることが出来る。但し、次のことを念頭に置かなければならない：a) ロータリー・クラブのない国もしくは地理的地域へのロータリーの拡大は、理事会の明確な承認を得て初めて企てるものとする。b) その地域に住んでいるか、関係地域の永続性のある、定着している実業もしくは専門職業界を代表する実業人および専門職業人から主としてその会員を構成できる地域においてのみ、ロータリー・クラブを結成するものとする。c) 新クラブおよびその会員がたやすく連合体に同化できるよう

に、新クラブは前記のような地域に位置し、会員は前記のように構成されなければならない。

クラブの区域

(Territory of a Club)

クラブはある一定の“Locality”場所(地域)*に結成され存在しなくてはならない。社会的貢献をする仕事に活発に従事している実業人および専門職業人があってその事業場または住居が互いに近接しており、かつその数においてもロータリー・クラブとして活動できる適当な広さの区域であれば、国際ロータリーはこれを前記のような地域と認めるであろう。このような地域にクラブを結成する場合には、国際ロータリーでクラブの区域限界を定めこれをクラブ定款に記載して当該クラブの区域を規定するものとし、以後は、国際ロータリーとクラブ双方の同意がなければ変更できないものとする。クラブは、国際ロータリーの同意を得て、アディショナル・クラブ結成のためにその区域の一部を割譲すること、もしくは区域を共有するアディショナル・クラブの結成を承認することができる。

ロータリー・クラブの区域限界は、境界設定時に存在する行政上または自然の境界ばかりでなく街路または道路によっても定めることができる。仮クラブが、現存クラブから割譲された区域に結成されることになった場合、事務局は、求められれば、その関係資料を提供し、スポンサー・クラブの区域割譲計画の立案に協力・援助するものである。

* この“Locality”場所(地域)という言葉には、市、区、町、村等の種々の名称で呼ばれているものがすべて含まれている。また、大都市の各部分、或は二つ以上の小さい町村の隣接したものも含まれている。米国内においては“Community”(社会、都市町村)という言葉がクラブの区域を示す場合に使用されるがその場合はLocalityと同義である。しかし、Localityという言葉が、地理的な領域と位置を示す意味を含むのに対して、Communityは共通の利害を有する人々のグループを意味する。これらの用語は、他の類似の用語の場合と同じく、しばしば相互に置き換えて用いられている。

将来クラブを結成するのに有望な地域 (Prospective Localities for Clubs)

まだクラブが結成されていない地域(住民数は問題でない)で、一般に認められた有益な実業または専門職業の持主、共同経営者、法人役員または支配人であって善良な男子が多数居り、ロータリーの職業分類の原則の下に少なくとも20人の会員を持ち立派なロータリー・クラブを永く持続する可能性を確保するための最少限40の職業分類を有する場所は、すべてクラブの結成に有望な地域であると考えてよいであろう。

一つ以上の既存クラブと区域限界を同じくする新クラブの結成を考慮する場合、最少限40の職業分類がなければならぬ。新クラブはこの40の職業分類から既存クラブ会員とかち合うことなく、適格の会員を優に入会させることができるであろう。そうすれば、少なくとも20名の会員を有す成功を収めるクラブを必ず長く維持できることになる。

ある地域が、クラブをうまく持続して行くことができそうだと考えられる場合、早くクラブを結成すればするほど、クラブのためにもまたその地域のためにもよいのである。その地域がロータリーを欲しているという気持ちを外に示すまで待つという考えは正しくない。ロータリーを欲する気持ちをつくり出すのがロータリアンの義務である。ロータリーを拡大しているロータリアンは、与えることを求めているのであって、何かを得ようとするのではない。どのような地域でもロータリーの結成を控えるより、失敗を恐れず敢えて結成しようとする方がよいのである。

しかし、僻地でクラブを結成する場合、その地域の住民からクラブ設立の明確な要望が出されるまで、クラブ結成を待つものとする。

近接地域に二つ以上の小地域社会を含む地域に仮クラブが結成され、R. I.に加盟を申請する場合、R. I.加盟条件を満たしていれば、そのクラブの加盟は承認される。しかし、それぞれのケースに応じてその都度考慮されることになる。

調査 (Surveys)

地区ガバナーは、できるだけ早く、なるべく前半の6カ月間に、まだクラブを有しない地域の調査を行い、かつその結果を記録すべきである。そして、その地域に貢献する立派なクラブを結成できるかどうか決定すべきである。もしクラブがその年度中に結成されない場合は、その調査記録は、後任の地区ガバナーに引き継ぐべきものとする。

新ロータリー・クラブを結成しようとしているすべての地域については、人口にかかわらず、調査を行い、ガバナーの承認を得てから、結成活動に着手しなければならない。

クラブの結成に取りかかる前に、クラブを成功させる地盤かどうか納得するために、ガバナーが有望な地域を訪れることが望ましい。人口5,000人未満の地域、また、既存クラブ(一つまたは二つ以上)と同一区域を共有するアディショナル・クラブで、既存クラブの承認を受けた地域の場合は、特にそうである。このような訪問が、かなりの費用と時間を伴う場合は、調査、および、その地域に詳しい1名または数名のロータリアンから得た報告と助言を大いに参考にしてクラブの結成準備をしてもよい。

特別代表 (Special Representatives)

あらゆる機会を利用して、立派な新クラブを結成することはガバナーの義務であり、これに協力するのは、あらゆるクラブとロータリアンの義務である。

地区ガバナーが自ら新クラブ結成の仕事を目指できない場合には、近隣のクラブから、それもなるべくスポンサー・クラブから十分事情を心得ている会員1名をガバナーの「特別代表」に任命して新クラブ結成の任に当たらせる。

このガバナーの代表は勿論ロータリーの理

想に精通していなければならないし、この理想を説明することができ、自己のロータリーへの熱情を他人に伝える力がなければならない。またロータリー・クラブの組織と機能について実際に役立つ十分な知識を持つことも必要であるし、この仕事をするのに必要な時間を捧げることのできる人でなければならない。

特別代表は、クラブの結成に至るまでの細目についてガバナーを代表して事を行う権限を有している。時には、(常にとは限らないが)最終の創立総会にガバナーに代わって出席するようガバナーから要請されることもある。できれば、加盟認証状(Charter)はガバナーが自ら伝達すべきである。

ガバナーは退任に際して、次期ガバナーに自分の任命した特別代表のリストを引き渡すべきである。これらの代表は新ガバナーが就任後30日以内にその任命を更新しない限り自動的にその任を終わるものとする。

ロータリーの用語で特別代表“Special Representative”とは、仮クラブの結成についてガバナーを代表する者のことをいう。

地区ガバナーの拡大補佐 (Governor's Extension Aide)

「地区ガバナーの拡大補佐」という用語は、クラブ結成の仕事に経験のあるロータリアンで、特別代表が援助なくしては任された地域のクラブの結成を完成することができないように思われる場合、およびガバナーが必要な援助を与えることができない場合に、近隣地域に住む特別代表に援助を与えるようガバナーから指名された者を意味する。特殊な事情がある場合には、この「補佐」が自らクラブの結成に当たった方がよいと思われることもありうる。

しかし、クラブを結成しようとしている土地の各々に対して異なった「補佐」を任命せよというのではなく、また補佐が任命されても、ガバナーが自己の地区の全部または一部

における、その拡大の責任を委譲することにはならない。拡大補助の必要かつ妥当な実費はガバナーの申請により国際ロータリーによって支払われる。

スポンサー・クラブ (Sponsor Clubs)

特別代表の所属クラブが新クラブの「スポンサー」となるのが普通である。スポンサー・クラブは次の責務を負う：1) 特別代表の立案・実行を助けて、新クラブの結成を成功させる；2) 新クラブの初期のプログラム；3) ロータリー運動の1単位として、発展し始めた新クラブの指導*。

スポンサー・クラブは慎重に選ばなければならない。できる限り、新ロータリー・クラブを結成するスポンサー・クラブとして選ばれたクラブは、円滑に機能している瑕疵なきロータリー・クラブで、少なくとも、新クラブ結成に必要な会員数を有し、国際ロータリーに負債がなく、釣合のとれたロータリー奉仕プログラムを実施していなければならない。

仮クラブ (Provisional Club)

結成集団は、毎週定期的に会合を開くことを条件として、その結成グループの第1回会合のときよりそれが国際ロータリーの加盟クラブに認められるまでは“仮ロータリー・クラブ”と呼ばれる。

* 一つ以上の既存クラブがその区域限界内にアドビショナル・クラブの結成を承認した場合は、常に必ず既存クラブ(複数の場合はその中の一つ)が新クラブのスポンサー・クラブになるものとする。

標準ロータリー・クラブ定款 (Standard Rotary Club Constitution)

仮クラブは標準ロータリー・クラブ定款およびそれに調和した細則を採用しなければならない。

クラブの名称 (Name of Club)

仮クラブは、それぞれ、その名称に所在地を表す文言を用い、これを定款の中に入れるものとし、この名称はあらかじめ国際ロータリーの承認を得なければならない。この承認を得た以上は、国際ロータリーおよびクラブ双方の同意によるほかこれを変更することはできない。

毎週の会合 (Weekly Meetings)

仮クラブは標準ロータリー・クラブ定款の規定に従い毎週定期的に会合を開くように定めなければならない。標準クラブ定款にクラブの例会を毎週開くように定めた主な理由の一つは、ロータリーの親睦と友情が、もし2週間に1度の例会で多少は進められるものとするれば、毎週例会を開けば更に好結果が得られるはずだからである。1年間に26回同僚ロータリアンと接触する機会を得るだけでは、年に52回接するほどには仲間を知り、ロータリーを体得し、国際ロータリーの目的を推進するとともに各クラブが関心を有する社会奉仕を進めて行くことはできないであろう。更に、年に52回例会を開いたとしても、会員の時間を不当に費やすというものでもないのである。このことは実際の経験によって既に証明されている。

クラブの結成または結成監督の責務を負うR. I.代表者は、毎週例会を開くことに同意しないクラブはR. I.に加盟できないということを知っていなければならない。

創立会員 (Charter Membership)

20名以上の創立会員名を記載した申し分のない名簿を提出しなければならない*。

仮クラブの創立会員の中に「アドビショナル正会員」または「シニア・アクティブ会員」を含めることは、少なくとも過半数が「正会員」で、パスト・サービス会員が10パーセント以下である場合には差し支えないものとする。

創立会員は、職業重視の観点からいって多種多様であることが大切である。故に新クラブ結成のときは、できる限り、関連のある一群の職業分類中の一つの業種だけを充填することが望ましい。事情により特別の場合として、このような職業分類を二つまたはそれ以上充填することを考える必要があるかもしれない。しかし、創立正会員総数の10パーセントを超えないものとする。

創立会員名簿にはクラブ区域限界内居住に基づく会員名が載っていることもあるであろう。しかし、なるべくなら、創立会員の少なくとも50パーセントはクラブの区域内に事業場を有する者とするのが望ましい。

ある職業分類に2名の候補者が推薦された場合、他の条件がすべて対等であれば、クラブの平均年齢を引き下げするため、若い方を選ぶべきである。

年長者または隠退した人がもともと多い地域に関して、正当な事由がある場合、理事会はその裁量で最少限25名の創立会員の中シニア・アクティブ会員が12名を超えていないクラブの国際ロータリー加盟を承認することができる。国際ロータリー加盟が承認されたときに、そのクラブの創立会員であるシニア・アクティブ会員は、新加盟クラブのシニア・アクティブ会員でありながら同時に他のいずれかのクラブの正会員、シニア・アクティブまたはパスト・サービス会員の籍を保持することはでき

* 特別の場合には、加盟承認委員会はその自由裁量によって創立会員が20名未満のクラブの加盟を承認することがある。

きない。

新クラブの国際ロータリーへの加盟を承認するに当たり国際ロータリー理事会は、既存のクラブに見られる違反逸脱行為や誤解のために生じた特別な妥協の前例を顧慮することなく、クラブ内の会員資格に関する規定を厳守する義務があり、また厳守する所存である。もし地区ガバナーやその特別代表が同じように会員資格に関する規定を厳守しない場合には、創立会員の何名かが会員資格の規定に従わないで選ばれているという理由で、クラブの加盟が拒否されたり、延引されたりするような困った事態が生ずるであろう。

クラブの加盟申請書の一部として国際ロータリー理事会に提出された会員名簿は、クラブの創立会員全員の名簿とみなされる。加盟に関する国際ロータリー理事会の決定が行われるまでは、この名簿に載っている以外に新たに会員を入会させることはできない。

入会金および会費 (Fees and Dues)

米国およびカナダにあるクラブで、少なくとも\$20の入会金、\$25の年会費を徴収しないクラブには理事会はその加盟を認めない。その他の国々では、地区ガバナーが、米国およびカナダの新クラブに対して理事会が決定した金額に等しい購買力のある金額によって新クラブの入会金および年会費を定めるものとする。

加盟金 (Charter Fee)

R. I.に加盟するためには、仮クラブは、理事会の随時定める加盟金を申請書に添えて提出するものとする。加盟金は現在米貨200ドルである。

加盟認証状

(Club Charter)

クラブが国際ロータリーに加盟を認められたときには、国際ロータリー会長、事務総長および地区ガバナーの署名のある加盟認証状(Charter)が中央事務局からそのクラブへ発行される。この加盟認証状は大切に保存しなければならない。なるべく額に入れてクラブの本部か例会会場或は幹事の事務所の目につきやすい場所に掲げておくのがよい。

理事会によって国際ロータリーに加盟を許された日からクラブは国際ロータリーにおける公式の構成単位クラブとなるのであって、これは認証状が伝達された日とは関係がない。

スポンサー・クラブ

(Sponsor Clubs)

国際ロータリー加盟直後の数ヶ月間の新クラブを援助することは、極めて重要なものと考えられている。そこでスポンサー・クラブに対して、少なくとも1年間は新クラブを援助することが強く要請されている。

新クラブのプログラム

(Programs for New Clubs)

ガバナーまたはクラブ結成者は、近隣クラブその他を通じて新クラブの最初の8週間乃至10週間までの例会プログラムを提供する責務がある。勿論、これは、スポンサー・クラブが誕生間もないクラブの世話をする義務を免除するものではない。このような例は、ロータリーがまだしっかりと根を下ろしていない国のクラブに特に当てはまる。

アディショナル・クラブ

(Additional Clubs)

ロータリー世界の人口変動の結果、大都市中心部に著しく人口が集中することとなった。そのような地にアディショナル・クラブを結成することが賢明であることは、そのようにして結成されたアディショナル・クラブの活力と成功によって、また、区域を割譲したクラブの様々な面に、ひいては、ロータリー全体の発展に、これと関連して生じる利点によって、実証されている。

R. I. 細則の当該規定に従って、既存クラブがその区域を割譲するか或は区域を同じくするアディショナル・クラブの結成を承認することによって、既存クラブの現区域内にアディショナル・クラブを設立することはロータリーのために最善のことである。地区ガバナーは、ロータリーの職業分類制度の下に少なくとも20名の会員を持つ強力かつ活動的なクラブとして永続しうると合理的に判断される場合は、必ず、大都市にアディショナル・クラブを結成することを奨励すべきである。

同一区域限界を有するクラブが三つ以上ある場合は、クラブの過半数がアディショナル・クラブの結成を承認することが必要である(クラブが二つのみの場合は、細則の特別規定を適用する)。区域の割譲または共有の提案が関係クラブによって否決された場合、地区ガバナーまたはR. I. 理事会は、再審議を求めることができる。その場合、否決を再確認するためには、当該クラブの会合に出席し投票した人の3分の2の投票が必要とされる。

不明確または必要以上に広範な区域を有するクラブは、その区域の一部を割譲するか、または区域を同じくするアディショナル・クラブの結成を承認して、ロータリーの会員の特典をその地域社会の更に多くの人々に与えるようにすべきである。

会員24名以下のロータリー・クラブの所在地にアディショナル・ロータリー・クラブを結成することは、割譲であろうと共有であろうと、原則として、好ましくない。

都市の行政区域内で、その市の主要な商業または取引の中心から離れたところに二つ以上の「商業上の中心」があり、そのいずれもが強力かつ活動的なロータリー・クラブに必要な多種多様な会員を持ちえない場合は、これらの中心を2ヵ所以上含む割譲地域に、一つのクラブを結成することができる。これらの中心が併合されると、国際ロータリー細則第1条第1節(c)項に定義されている“区域”を形成することとなる。

他の奉仕クラブのある地域社会

(Communities with Other Service Clubs)

ある地域社会にロータリー・クラブを結成しようとする試みがうまく行かない場合の主要な原因として、既にその土地に奉仕クラブがあるという事実が挙げられる例がある。しかし地域社会に既に奉仕クラブが存在することは、その地域社会がロータリー・クラブを保持できないということを決定的要因とはならない。

国際ロータリーへの加盟

(Admission to Membership in R. I.)

申請書類が完備するよう注意を払うことは、ガバナー(ガバナーが結成グループの会合に欠席した場合は特別代表)の責務である。

理事会は、国際大会…つまり、全ロータリー・クラブ…に対して、加盟承認されるクラブが基本的加盟資格を備えているようにする責任がある。従って、理事会は、この資格の厳守を力説しなければならない。

クラブが加盟を承認されると直ちに事務局から地区ガバナーにその通知が送られ、更に地区ガバナーがクラブに対し国際ロータリー加盟が認められた旨を通知することになっている。

加盟申請書が事務局から理事会に提出されるのと同様に加盟認証状(Charter)も事務局

から地区ガバナーに送付される。地区ガバナーがこの加盟認証状に署名した後、加盟祝賀の特別会合において地区ガバナーもしくはその特別代表から認証状がクラブに伝達される。

グレート・ブリテンおよびアイルランドのクラブに対する加盟認証状は、R. I. B. I. に送付され、その会長および幹事が署名した上、各クラブに伝達されることになっている。

クラブに対して発行される加盟認証状は、理事会が国際ロータリーの公式用語として認めている英語で書かれることになっている。

国際ロータリー加盟が認められた時にクラブに加盟認証番号(Charter Number)を与える方式は、1951年7月1日をもって取り止められた。

新クラブが地区ガバナーの居住地から遠距離の地にある場合には、加盟認証状伝達式をその公式訪問と同じ時に行うとか、また特別代表もしくは他のスポンサー・クラブの会員が地区ガバナーの代理を務めることによって、国際ロータリーの資金を節約するよう留意しなければならない。

新クラブへの激励

(Encouragement to New Clubs)

新クラブの国際ロータリー加盟については地区内の近隣のクラブおよび国際ロータリーの元役員にこの旨を通知するとともに、元役員および近隣クラブ会員の訪問は新クラブへの激励になると伝えるべきである。

ロータリー地区或は地域の出版物

(Rotary District or Regional Publications)

1. ロータリー地区乃至地域の出版物は、米国以外の地区においてのみ必要或は望ましいものである。

2. 全地区を通じて、ロータリーの名称を

付したいかなる出版物も、必ず国際ロータリーの管理下にあるのであり、かつ、その地区における国際ロータリー代表であるガバナーの直接の監督を受けなければならない。

3. ガバナーがロータリー地区乃至地域出版物を出版することができず、しかも地区内のクラブが地区出版物を望んでいる場合には、ガバナーの直接監督の下に刊行することのできるロータリアン個人に、国際ロータリーから、出版許可を与えるものとする。

4. 既に公認されているもの以外に、このような出版物を出す場合には、それに対して許可を与える前に、地区内の全クラブで投票を行い、ロータリー地区乃至地域出版物を持つことを過半数の会員が望んでいるかどうか、どのような雑誌が望まれているか、そして財政をどうするか等を調査すべきである。

ロータリーの地域雑誌の定義：

ロータリーの地域雑誌は、ロータリーのあらゆる面にわたってロータリーの綱領を推進するためである。次の基準に合致するロータリー出版物をロータリーの地域雑誌と認めることができる：

- 1) その雑誌は2地区もしくは2国以上の地域を対象に発行されるものであること。
- 2) その雑誌の出版については、全面的に、関係地区ガバナー（1名または数名）か或は地区ガバナー（1名または数名）の任命した委員会が直接監督すべきこと。
- 3) ロータリーの地域雑誌編集者には、ロータリーの方針の基本的枠内において、完全な編集の自由が認められてはいるが、出版責任者である地区ガバナー（1名または数名）もしくはその任命した委員会による、編集並びに経営の面における適切な監督を受け入れるべきこと。
- 4) その雑誌の編集内容は国際ロータリーの方針に合致していなければならない、そし

て、少なくともその50パーセントはロータリー或はロータリーと関連のある事柄に関する記事でなければならないこと。

- 5) 地元或は地域性格のニュースに加えて、国際ロータリーに関する情報を掲載し、かつR.I.会長から要請される話題や特別教示事項の発表を考慮に入れるべきこと。
- 6) その雑誌は1年間に4回以上発行されなければならないこと。
- 7) その雑誌は、ロータリーの品位と特質にふさわしく、全体的に格調の高い内容と魅力的な外観を保つべきこと。
- 8) その雑誌は、その目的と経済的自立発展を維持できるよう、対象とする地域のロータリアンのほぼ過半数に達する発行部数が確保されなければならないこと。
- 9) その雑誌は、R.I.に財政的負担をかけずに、経営しうるだけの資金を持っていないなければならないこと。

地区ロータリー出版物に対する指針

地区ロータリー出版物は、ロータリーのあらゆる面にわたってロータリーの綱領を推進するためである。地区ロータリー出版物は下記の基準に合致するものとする：

- 1) その出版物は特定の1地区を対象に発行されるものであること。
- 2) その出版物は、あらゆる面において、当該地区のガバナーの直接監督下になければならないこと。
- 3) 当該地区ガバナーは、編集者に任命されたロータリアンとともに、地区出版物の編集内容に対して共同責任を負うものとし、かつその内容は国際ロータリーの方針に合致すべきこと。
- 4) 局地的或は当該地区全体に関するニュースに加えて、国際ロータリーに関する情報およびR.I.会長から要請される情報および特別教示事項を掲載すべきこと。

第3章

国際ロータリー

(Rotary International)

国際ロータリーは、世界中のロータリー・クラブの連合体である。R.I.は、組織規定によって課された義務をたゆまず遂行する加盟ロータリー・クラブによって構成される。

ロータリアンは、それぞれのクラブの会員であり、ロータリー・クラブは国際ロータリーの会員である。国際ロータリーの目的は：

- 1) 全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、そして管理すること；
- 2) 国際ロータリーの活動を調整し、一般的にこれを指導すること。

(R.I. 定款第2条)

ロータリーの定義

(A Definition of Rotary)

ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ること奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを旨とした実業人および専門職業人が世界的に結び合った団体である。

ロータリーの綱領

(Object of Rotary)

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；

第2 実業および専門職業の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な職業は尊重され

べきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；

第3 ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；

第4 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

(R.I. 定款第3条)

ロータリーの基本的特色

(Fundamental Characteristics of Rotary)

ロータリーは、奉仕の理想を個人として、また、団体として、現実に応用することを奨励するために、実業人および専門職業人がロータリー・クラブにおいて世界的親交を結ぶ場である。

ロータリーは、奉仕の理想に基づき、世界中の人々の間に理解、親善、平和な関係を推進、奨励、助長することに関心がある。

ロータリー・クラブは、地域社会の生活面を広範に代表し、ロータリーの綱領を推進するために、職業分類に基づき、その会員を選考する。

会員身分の継続には、少なくとも所定数はクラブ例会に出席しなければならない。知り合うことと親睦を永続的友情への第一歩として育むことができるようにするためである。

ロータリー・クラブは、会員に個人活動および職業活動において高度の道徳的水準を実証する機会を提供する。

ロータリアンの宗教的、政治的信念は、個人の問題とみなされる。

R. I. の管理

(R. I. Administration)

国際ロータリーの管理の基本原則は、加盟ロータリー・クラブの大幅な自治である。

管理に関する定款および手続上の制約は、ロータリーの基本的かつ比類ない特色を保持する上で必要最少限に留められている。その範囲内で、特に地方レベルで、R. I. の方針を解釈、実施するに当たって最大限の融通性が認められている。

ロータリーを通じて国際理解、親善、平和を推進するためには、世界中の加盟クラブの国際親睦を保持、推進することの重要性が広く認められることが必要である。これは、国家や地域的クラブ・グループでなく、加盟クラブが国際ロータリーに直接つながり、共通の責任を負うということに基づくのである。

国事に関する方針

(Policy in National Affairs)

R. I. は国際団体で、その役員は世界的運動に奉仕するのであって、その運動に属す特定の国の奉仕者ではない。

どの問題を審議し、会員の理解を深めるかについては各ロータリー・クラブが自ら決定しなければならない、ということがロータリー組織における管理の基本原則の一つである。

どこかの政府もしくは国家のプログラムを是認、奨励すると、当事国以外のロータリアンには受け入れられない場合もあるし、推奨された政策に心から賛成できない当事国のロータリアンを当惑させる場合もある。

標準ロータリー・クラブ定款第9条には、クラブがこの点についてどのように自己を律すべきか具体的に規定している。

国際ロータリーと他の団体

(Rotary International and Other Organization)

国際ロータリーは、その加盟クラブの活動が他の団体の活動にしばしば類似していることを認識している。しかしながら、国際ロータリーの方針としては、他の団体の価値ある活動に関心を抱き、賞讃するが、その活動がどんなに賞讃に値しようとも、国際ロータリー自体が団体として積極的に参加したり、支持することはない。特に、次のことは国際ロータリー或はその加盟クラブの行動範囲内にあるとはみなされない。

- 1) 他の団体の会員となること；
- 2) オブザーバー資格で代表者を送ると決定したとしても、他の団体の活動に団体に参加すること；
- 3) 他の団体にクラブ或はロータリアン名簿を提供すること、もしくは、他の団体のために文献を配布すること；
- 4) 他の団体のプログラムもしくはその他の活動を支持すること。

国際ロータリーが、人間の苦しみ、疾病、文盲、欠乏を減少させるために設立された諸機関と協力することが適切な場合もよくあるが、その場合でも、国際ロータリーは、本質において、完全な独立性を明確に保たなければならない。

国際ロータリーの資金は、加盟クラブによってロータリー自体の目的のためにのみ提供されたものである。従って、他の団体の活動に寄付することはできない。同時に、国際ロータリーは、その加盟クラブを通じ、個々のロータリアンが地域社会において立派な奉仕活動を支持しかつ個人的に参加することを奨励するものである。

R. I. のいかなる役員も、R. I. 理事会の承認なしに、他の団体の役職、会員籍とともに R. I. 役職名を公表することは許されない。

国際的レベルにおけるロータリーの共同事業

(Corporate Rotary Projects at International Level)

ロータリーの目的は、個々のクラブおよびロータリアンの活動を通じて最も効果的に現れる。その活動はロータリーの各種奉仕部門にわたるもので、各クラブが、自己の能力、資力、および、会員がどのような特別なニーズと奉仕に関心を持っているかを考慮して決定する。しかし、そうではあるが、国際ロータリーが、クラブの連合体として、ロータリーの綱領の推進に役立つプログラムやプロジェクトで、しかもそれに参加を希望するロータリー・クラブ（複数）と個々のロータリアン達との協同活動によって有益な結果が得られると思われるものを時々発表することは、妥当と言える。

理事会

(Board of Directors)

理事会は R. I. の管理主体で、17名のメンバーから構成される；理事会の議長である会長、会長エレクト、15名の理事。15名の理事は、細則に明記されているゾーン、地理的集団もしくは地域のクラブから指名され、国際大会で選挙される。

各理事は、特定のゾーン、地理的集団もしくは地域のクラブから指名されるが、国際大会で全クラブによって選挙される。従って、各理事は、ロータリーの管理において全クラブを代表する責務を負う。

理事会は、定款・細則に準拠して R. I. の業務と資金の監督、管理に当たる。R. I. の全役員および委員会を総括的管理および監督する。理事会は、国際ロータリーの目的推進およびロータリーの綱領達成のために必要であるあらゆることを行う任務を負っている。理事会の決定は最終的であり、国際大会に提訴する以外は、これを覆すことはできない。

理事会は、3名以上5名以下の理事会のメンバーから成る執行委員会を設置する。理事会は、この委員会に、理事会の会合のない間、理事会に代わって、R. I. の方針が確立している執行または管理に関する事項を決定する権限を委任できる。毎年、理事会は、執行委員会の具体的職務権限を定める。

国際ロータリーの役員

(Officers of R. I.)

R. I. の中央役員は、会長、副会長、財務長、理事、事務総長である。他の R. I. 役員は地区ガバナー（それぞれの地区内における R. I. 役員）、グレート・ブリテンおよびアイルランド（R. I. B. I.）内国際ロータリー会長、直前会長、副会長、名誉会計である。この役員達は R. I. 細則の規定に従い指名、選挙される。

R. I. 会長は、組織の最高執行者であり、国際ロータリーの業務および活動を監督する。会長は、理事会のメンバーであるとともに議長であり、理事会を主宰する。常任委員および特別委員は、すべて会長によって任命される。会長は、会長指名委員会を除くすべての委員会の職権上の委員である。会長は、また、国際ロータリー国際大会および地域大会の議長となり、会長職に付随するその他の任務を行う。

会長は：

- 事務総長の業務を監督し、事務総長および事務局の業務遂行を評価し、これを定期的に理事会に報告する。
- 不在が2週間以上に及ぶ場合は、R. I. 本部で監督に当たる副会長または理事を指名できる。
- 地区ガバナーが国際協議会で適切に指導されるよう配慮し、地区ガバナーの業務遂行を観察し、助言、指導する。
- 地区大会に会長代理を派遣する。会長が

指示する任務と責務を有する個人的代理を任命することができる。

一理事会が定めた予算と方針の範囲内で世界各地を訪れるプログラムを立案、実行するよう望まれ、奨励されている。

一在職年度中、R.I.中で遵守する適切なテーマもしくは重点を選ぶことができるし、選ぶよう奨励されている。

一国の元首、政府および市民の指導者、報道機関および一般社会の人々に対してロータリーの代表者となる。

一会長は、その職務に関して会長を直接補佐するエードを1名おくことができる。

一理事会またはその執行委員会が開かれていないときもしくはこれを招集できないときに生じた緊急事態については、会長は、国際ロータリーの定款、細則の定めるところに従い、理事会に代わって決定を行うことができる。

会長エレクトは、理事会のメンバーとなったことから生じる任務のみを負うが、会長もしくは理事会からさらに任務を課される場合もある。

副会長は、毎年国際大会終了直後に開かれる暫定会合において次期会長によって選ばれる。会長の地位が空席となった場合は、副会長が会長の地位を継承し、さらに、その他の理事会のメンバーの中から新たに副会長を選任する。

理事は国際大会で選挙され、その任期は2年間である。理事会のメンバーとなったことから生じる任務および責務を負う。

理事会はR.I.の管理主体であり、会長はR.I.の主たるスポークスマンである。同時に、一

般の人々は、理事会の他のメンバーを同様にロータリーの代弁者とみなしている。従って、理事会の全メンバーは、ロータリーの方針を明瞭かつ正しく説明できるように、尋ねられると思われる方針に十分に精通するよう期待されている。

事務総長は、会長の監督と理事会の統制の下に実務を執行する国際ロータリーの常務役員である。事務総長は直接理事会に報告を行い、その年次報告は理事会の承認を経て国際大会に提出される。理事会は、事務総長の任期の最終年の3月31日までに、7月1日に新たに事務総長に就任する者を選任する。事務総長の任期は5年以内とする。但し、これには再選が認められている。

財務長は、理事会の定める方式に従ってR.I.資金を支払い、理事会の委任するところの財務長職に付随するその他の任務を遂行する。理事会が要求する報告を理事会に行い、国際大会に年次報告を提出する。財務長は理事会によって理事会のメンバーの中から選挙され、次年度の7月1日より1年間、同職を務める。

財務長はまた：

一財務委員会の会合に出席し、理事会と委員会の連絡役を務める。

一国際ロータリーの財務に関する事項について財務委員会とともに理事会に助言する。

一4年間の収支見積額の作成に当たって財務委員会と協力する。その見積額を基礎として、財務委員会と協力して、理事会に目標と目標達成措置案を伝える。

地区ガバナーは、理事会の総括的監督下に置かれる。

国際ロータリーの各役員の任期は、会長、

国際ロータリー役員 の 席次

それと同一とする。

公式なロータリー行事の準備、或いはそれに出席される国際ロータリーの現役員、次期役員、および元役員のための指針として、理事会は、下記の席次を承認し、標記に関する従前の決議（手続要覧の1984年版の59ページに記載されています。）を修正いたしました。

会長（または会長代理）

会長エレクト

副会長

理事会のメンバー

事務総長

会長ノミニ

次期理事

理事ノミニ

元会長（先任順）

地区ガバナーと他のR I 現役員

元理事

元事務総長（先任順）

他の元R I 役員（先任順）

会長エイド

会長エレクトのエイド

次期地区ガバナーおよび地区ガバナーノミニ

* 現役職の席次は元役職より上席となり、元役職の席次は将来の役職より上席となる。2つ以上の役職にある人の席次は、そのうち最高の席次につくものとする。

* 夫人が同伴する場合、その席次は主人の

理事および事務総長を除き、その選挙された国際大会終了直後の7月1日に始まる。会長および理事の任期は、その選挙の行われた年の次の歴年の7月1日に始まる。但し、会長は、会長エレクトとして、その選挙の行われた直後の7月1日から理事会のメンバーとなる。

特殊な事情のもとにおいては、理事会はガバナーの任期が7月1日後に始まるものとすることができるが、これを10月1日後とすることはできない。

国際大会で選挙される役員は理事を除き、すべて任期1ヵ年とする。理事の任期は、2ヵ年間とする。会長も理事会のメンバーを2ヵ年——1年は会長エレクトとして、次の1年は会長として——務めることとなる。

理事、クラブおよび地区

(Directors, clubs and districts)

それぞれのゾーンの理事と地区ガバナーは、相互に絶えず接触するよう奨励されている。理事の役割は、すべてのロータリー・クラブおよび地区を代表することであることは明らかであるが、自分を指名したゾーンに親近感を持ち、また、特によく知っているのは当然である。この特別な関係をロータリーのプログラムを高めるために活用することができる。理事会のメンバーは、次のようなことについて非公式に協議するために地区ガバナーと連絡を密にすべきである。例えば、理事会の決定事項の説明、地区または地区間の深刻な問題、将来必要な場合もありうる理事会との正式連絡などについてである。また、指名されたゾーンの地理、慣習、慣行、住民を直接知っていることが役立つような件については、理事会の他のメンバーに助言する心構えが必要である。

国際ロータリーの理事は、事情の許す場合、自分が指名されたゾーンまたは地域内の地区を、国際ロータリーに負担をかけないで、訪問することを奨励されている。このような訪

問を活用して、地区ガバナーや地区内の国際ロータリーの元役員に会い、またクラブ会長にも会って、ロータリーのプログラムの推進について意見を交えたり、激励すべきである。

地区ガバナーは、自分のゾーンまたは地域選出理事を招き、地区訪問の日程を組み、地区内の元 R. I. 役員やクラブ会長と話し合うための会合を1回もしくは数回手配するよう奨励されている。また、理事のこのような訪問に要した旅費と雑費を地区が負担するよう地区ガバナーから示唆していただきたい。

理事会のメンバーが個々のクラブの講演依頼を承諾するには、できれば、クラブで都市連合会を準備することが必要である。できるだけ多くのクラブやロータリアンと接するためである。

国際ロータリーの席次

(Rotary International Protocol)

次の席次が、正式行事に出席する国際ロータリーの現役員、次期および元役員のために指針として承認されている。

会長（または会長代理）

会長エレクト

副会長

理事会のメンバー

事務総長

会長ノミネー（上席）、理事ノミネー／次期

理事

元会長（先任順）

その他の現 R. I. 役員

元役員 ~~理事~~

元事務総長（先任順）

その他の元 R. I. 役員

会長エード

会長エレクト・エード

現職の席次が元役職より上席である。2以上の役職を保持している人は、高い役職の席次に着くものとする。

妻が同行している場合、その席次は夫と同一となる。

国際ロータリー役員を選出

(Selection of Officers of R.I.)

会長 (President)

会長職の指名は、会長指名委員会、クラブ、もしくは、その両者によってなされる。指名委員、その委員の補欠者、元会長または国際ロータリー理事は、指名委員会によって会長に指名される資格を有しない。指名委員会の構成および会長指名手続は、細則第10条第1節と第2節に詳細に規定されている。手続の概要は次の通りである：

委員会は各クラブに対し、会長指名に関し委員会の考慮を求める提案を出すよう招請状を出す。各クラブからの提案は10月31日までに中央事務局に到達しなければならない。

指名委員会の会合は11月30日までに開かれる。委員会はこの会合において委員の1人を委員長に選ぶ。この会合において委員会は会長ノミネーを選ぶ。

全クラブ宛の委員会の報告は、委員会会議後10日以内に委員長から事務総長に証明される。事務総長は、本報告受領後10日以内に、その写しを、各クラブに送付すべきものとする。

委員会による指名に加えて、各クラブは、クラブの指名決議書を1月15日までに事務総長に提出することによって、国際大会における会長選挙のため提出されるべき会長ノミネーを選ぶことができる。

1月15日までにクラブによる指名が提出されていないときは、会長は指名委員会の指名する者を会長ノミネーと宣言する。会長ノミネーが唯一名である場合は、国際大会における選挙人は口頭投票によって、そのノミネーに全会一致の投票を行うよう事務総長に指示することができる。

しかしながら、1月15日までにクラブからの指名が受理されており、かつその指名が1月25日まで有効である場合は、全会長ノミネーが国際大会において投票に付されるものとする。

国際ロータリー会長ノミネーの選出は、

もっぱら、会長指名委員会の責務である。同委員会の主な目的は、求める最も有能な人物を指名することであるから、この点について委員会の外部から委員会の決定に、直接、間接、影響を及ぼそうとしてはならない。

会長選出投票

(Balloting for President)

会長ノミネーが国際大会で投票に付される場合、投票に先立って、各ノミネーに関する次の情報が大会日報に発表される。

ノミネーの氏名および所属クラブ名
ノミネーを推薦したクラブ名

或は

指名団体の名称
ノミネーの以前の職業分類
所属商社名
商社における地位
ロータリー歴
ロータリーにおける現在の役職
ロータリーにおいて過去に占めたことのある役職

理事ノミネー

(Directors-nominee)

指定されたゾーン、地理的集団、地域内のそれぞれの理事ノミネーは、グレート・ブリテンおよびアイルランドを除き、指名委員会手続によって選出される。指名委員会が選出した候補者のほかに、1名または数名の候補者がクラブから推薦された場合、理事ノミネーは、細則第10条、第3節(c)項の規定に従って、その候補者の中から郵便投票によって選ばれる。理事候補者が3名以上いる場合、投票は単一移議式投票による(解説については国際大会の章参照)

国際ロータリー理事ノミネーの選出は、もっぱら、理事指名委員会の責務であると認めているので、理事会は、この点について委

員会の外部から委員会の決定に、直接、間接に影響を及ぼそうとする動きに好意を寄せない。また、委員会は、指示や拘束力のある誓約を受け入れたり、またこれによって候補者の審議に制約を課されず、委員会の慎重な討議の後、全候補者の適正な資格条件を厳正に審議し、それに基づいて決定を下さなければならない。

理事指名委員会への指針として、理事会は次のような意見を述べている：もし理事指名委員会の判断で、推薦された候補者の支援活動が厳正かつ責任ある候補者推薦としての範囲を逸脱すると考えられる場合、このような候補者の推薦を無視することは委員会の特権事項に属することとする。

国際ロータリー細則は、理事ノミネー候補者に関して次のように規定している。国際ロータリーから配布される写真および履歴書以外の文書は、理事会が特に認めた場合を除き、候補者自身が、もしくは候補者のために他人が、当該ゾーン、地理的集団または地域内のクラブもしくはクラブ会員に配布してはならないものとする。

選挙運動および投票依頼

(Campaigning and Canvassing)

いかなるロータリアンも、選挙によって任命される国際ロータリーの役職に就くために選挙運動もしくは投票依頼を行ってはならないし、代わりの人に選挙運動させてもならない。本細則で特に定められているもの以外にパンフレット、印刷物、または書状を、クラブまたはクラブ会員に、ロータリアン自身或はロータリアンに代わって配布もしくは回覧させてはならない。但し、理事会が特に認可した場合を除く。理事会は、これらの規定に違反した疑いのあるものについて独力で、もしくは理事会が設置した実状調査機関の援助を受けて、審議するものとする。但し、当該ロータリアンに聴聞の機会を与え、事実を審査してから、その決定を下す。理事会が、当

該ロータリアンはこの規定に違反したと判断した場合、理事会は、当該役職の被選資格を剝奪するものとする。かかる決定は全関係者に直ちに通告され、理事会の決定は、次期国際大会に提訴する以外、これを覆すことができないものとする。かかる提訴は、細則第4条第2節の規定にかかわらず、当該国際大会開会の少なくとも5日前に事務総長に提出されなければならない。

R.I.細則中のR.I.被選役職候補者の選挙運動および投票依頼の禁止は、ロータリアンが候補者になると意志決定した時点から適用される。ロータリアンのいかなる運動(氏名を正式に提出する前における)も、後日の立候補の選挙運動を主たる目的としている場合、細則の精神およびロータリーの原則に反するものであり、失格の理由となる。

ロータリアンがR.I.の被選役職に立候補する際のR.I.細則の規定の解釈と適用の指針として次の原則が定められた。

国際ロータリーの被選役職の候補者になろうとしている人、または候補者であるロータリアンは、細則の形式と精神を共に守るものと期待されている。細則は、立候補を宣伝し、支援を乞うことによって他人に影響を及ぼそうとするあらゆる活動を禁じている。

細則の規定を守るに当たって、ロータリアンは次のことを期待されている：

1) 立候補を発表したか、または、正式に氏名を提出したかにかかわらず、選挙運動および投票依頼に関する細則の禁止規定に従う。

2) 活動が細則の字句に厳密に従っているかどうかにかかわらず、R.I.の将来の理事として自己の氏名および/または資格を売り込み、現実または意中の立候補への支援を求めることを真の目的としている全活動を不適切なものとして退ける。

3) 禁止されている活動は、自分ばかりでなく、自分のために活動している人にも禁じられているとみなす。このような活動が、自分の知らないうちに、または、同意を得ずに他の人によって始められたならば、その活動

R.I.の被選役職候補者への通知

R.I.理事会は、R.I.の被選役職に立候補しているロータリアンの指針の一つを改正しました。手続要覧62ページの左欄上から6行目から9行目を削除しました。

これを決定するに当たって、理事会は次のような規定を加えました。「ロータリアンがR.I.の被選役職候補者になると決めたのちは、選挙手続が完了するまで、同役職に対する他の候補者より有利になるようなロータリー任務を引き受けないものとする」。手元の**手続要覧**にこのことを書き留めて下さい。

を知るやいなや直ちに、その活動に従事している人にやめるよう指示する。

4) 同一役職の候補者である同僚ロータリアンの弱点をつかない。いかなる事態にも四つのテストを適用する。

「前記の原則の適用において、理事会は、ロータリアンが自己の生き方を変えたり、または、自己にふさわしいロータリー役職要請を辞退するとは思っていない。」

被選役職の候補者のための活動に関する方針は次の通りである：

1) 国際ロータリーの被選役職に指名される候補者の推薦に伴い、事務総長がクラブその他に情報と資料を送付するに当たって、候補者自身或は候補者に代わって行われる活動を禁止している細則の規定に言及し、細則の規定に完全に従わない場合、候補者は細則に違反したものと宣言され、被選資格を剥奪される、と勧告する。

2) 被選役職に対する候補者自身または候補者に代わってなされる活動を禁じている細則の規定に違反していると指摘する情報を国際ロータリー会長、理事会メンバー、または事務総長が受け取った場合、また、このような情報を会長と事務総長が受理していないなら、直ちに回付してから、事務総長は、次の措置を実施する方式と範囲を決定することについて会長と協議するものとする。

3) 当該候補者は、選挙運動のために自ら、または本人に代わって行われた活動に関する訴えを直ちに伝えられる。そして、国際ロータリー細則の規定に違反している、本人または本人に代わって行われる活動の結果、候補資格を失う恐れがあると警告される。

4) ある程度の期間内に候補者の返答を受理し、その返答を審議した後、会長は、理事会に代わって、国際ロータリー細則、第10条、第12節に従って、訴えを調査し、違反しているかどうか決定し、その結果を理事会に報告するために実状調査機関を設置するものとする。

5) 事務総長は、実状調査機関の事務局長を務めるものとする。

6) できる限り速やかに、実状調査機関は、訴えと全関連事項を審議し、理事会に報告するものとする。(注：候補者自らまたは候補者に代わって文書が配布されたかどうか、また、選挙運動または投票依頼が行われたかどうかを決定するばかりでなく、そのような活動が当該候補者の了解および同意を得て実施されたか、そのような行為は選挙運動を目的としているか、を決定することが、実状調査機関の当然の任務である)

7) 実状調査機関が違反を発見しなかったなら、訴えを提起した側に、事務総長から機関の調査結果および理事会に提訴できることを知らせるものとする。

8) 実状調査機関が違反ありと決定した場合、事務総長は候補者にその旨告げ、理事会に提訴できることを知らせるものとする。違反と判定された候補者が提訴しなかった場合、理事会はその候補者を失格させるものとする。

9) 訴えを提起した側と違反と判定された候補者のいずれかが提訴した場合、理事会は、できる限り早い時期に提訴を審議し、決定を下す。その決定は、細則に規定されているように、最終とする。

中央役員を選出投票

(Ballots for Election of General Officers)

国際ロータリーの中央役員を選挙するための投票用紙には、指名委員会選出の候補者を最上部に記載し、他の候補者がいる場合は、その候補者の氏名をアルファベット順に記載する。但し、指名委員会から推薦された人がいない場合は、全候補者の氏名の記載順序を投票用紙ごとに変えて記載するものとする。

国際ロータリーの委員会

(Committees of R. I.)

細則に規定されたゾーン、地理的集団およ

び地域から推薦され、選ばれた15名の委員により会長指名委員会が構成されるという規定が設けられている。

常任委員会は細則に明記されている。委員は、会長が任命する。会長は、また、自身の判断もしくは理事会の判断で必要と思う特別委員会を設置できる。特定の目的を達成するまでを任期として設置された特別委員会はアド・ホック委員会と呼ばれる。特別委員会の任期はアド・ホック委員会を除き、設置されたロータリー年度の終了とともに終わる。アド・ホック委員会の任期は、その委員会が任命された特定の目的が達成されたとき、または理事会がこれを解任したときに終わる。

会長は、自分が設置した各委員会の委員長を指名し、このような委員会の欠員を補充する権限を有す。会長は会長指名委員会を除く全委員会の職権上の委員である。

会長指名委員会を除き、すべての委員会の決定は、理事会の承認を受けなければならない。委員会は、所定の職務権限が別段規定する場合を除き、本来、管理機能を持たず、もっぱら理事会に助言するものとする。

委員会の会合

(Committee Meetings)

R. I.の各委員会は、会長が承認し、指定した時と場所もしくは細則、理事会の特別決議によって定められた時と場所で開く。しかし、委員会の会合は、会長または理事会が十分な根拠があると考えないならば、会長によって開催を承認されない。

R. I.の委員会の会合は通例エバンストンの事務局で開かれる。例外的な状況下では、会長は、他の場所で委員会を開くことを認める権限を有す。

通信による投票

(Voting by Communication)

細則、或は国際大会または理事会による特別の決定に基づき別段の規定ある場合を除き、委員会は郵便、電信、無線電信、電話によって議事を処理することができる。このような方法で決定される提案に対する投票は、委員の過半数の投票が30日目までに返送された場合には、30日目をもって締め切るものとする。但し、委員の過半数がそれより以前に賛成または反対の投票を終えていた場合には、30日目以前に締め切ってもよい。

委員会報告

(Committee Reports)

理事会は、執行委員会に、理事会の会合と会合の間に諸委員会の報告を検討し、必要であれば、報告書に記載されている事項に何らかの措置を講じる権限を与えている。但し、理事会が定めた執行委員会の職務権限の範囲内で行なければならない。

委員の代理

(Substitute Members of Committees)

正式に任命された委員がその委員会の会合に出席できないときは、会長はその代理をおくことができる。但し代理として任命された委員はその会合の間だけ委員であるものとする。この代理として任命された委員は自分が代理する委員の見解を代表するように努力するものとする。しかしすべての点において委員会の開かれている間は自分の代理する委員と同じ権利と責任をもつ委員である。

クラブの監督

(Supervision of Clubs)

クラブの管理は、次のいくつかの直接監督に加えて、理事会の総括的監督下にある：

1) 地区に編成されている地区では、地区ガバナーによるクラブの直接監督。

2) 理事会によるクラブの直接監督。

これは無地区クラブのために規定された監督形式である。(無地区クラブの詳細については次の項を参照)

3) 地理的に隣接している二つ以上の地区から成る地域内のクラブの場合は、地区ガバナーの監督に加えて、理事会が適切と考え、国際大会が承認した方式による監督。

グレート・ブリテンおよびアイルランドにおける地区ガバナーの任務は、その地域の伝統的慣行に従い、R. I. B. I. 審議会の指示の下に、R. I. B. I. の定款並びに細則に基づいて、遂行される。グレート・ブリテンおよびアイルランドにおける各地区ガバナーは、国際ロータリー細則並びに R. I. B. I. 定款の規定により、自己の地区の監督につき、国際ロータリー理事会および R. I. B. I. 審議会に対して責任を負うものとする。

グレート・ブリテンおよびアイルランドにおける地区ガバナーは、その地区のクラブによって指名のために選ばれ、R. I. B. I. 年次大会において指名され、国際ロータリー国際大会において出席投票する選挙人によって選挙される。

選挙される R. I. B. I. の役員は、会長、直前会長、副会長および名誉会計である。会長、副会長および名誉会計は、毎年 R. I. B. I. 大会によって指名され、国際大会において出席投票する選挙人によって選挙される。

無地区クラブの管理

(Administration of Non-districted Clubs)

地区を構成するには数の足りない無地区クラブの集団が理事会の直接監督下にある場

合、会長は、その集団内(特殊な事情のある場合は、集団外)のクラブ会員1名を折々指名して、その年度中、名誉職の管理顧問を務めさせることができる。

管理顧問を務めるロータリアンの機能と任務は、次の通りとする：

1) 集団内各クラブの管理進展状況並びに当該区域におけるロータリーの拡大に関し、常に中央事務局を通じて理事会に報告する。

2) 集団内の各クラブに対し、管理その他の問題につき助言を与える。

3) 毎年1回各クラブを訪問し、クラブ会長、理事会および各委員長と会談し、その相談に応じ、また個別的にもクラブ役員達と相談し、更に例会でロータリーのプログラムを主題としたスピーチをする。

管理顧問がこのような職務の遂行に関して支払った妥当かつ必要な事務費並びに旅費は国際ロータリーにより弁済されるものとする。

会長が管理顧問を決定できるように、理事会は、管理顧問指名の基盤となる無地区クラブのグループ編成をする。

非公式な地域的クラブ或はクラブ集団

(Unofficial Regional or Section Groupings of Clubs)

非公式な地域的クラブ或はクラブ集団は、目的が何であれ、組織の統一を減少させる第一歩になりうると見なされている。従って、これは理事会の要注意事項、場合によっては対策を講じなければならない問題と見なされている。地域に関する事柄、或は、クラブ集団を強化することを目的とする活動を過度に強調し、これに専念することによって、クラブと地区ガバナーの機能と活動が制約されるのを恐れるからである。このように機能と活動が制約されると、世界中のクラブの連合体を通じて理解と親善を築く、もっと大きな機会にクラブと地区ガバナーが有効に参加できないという結果が生じるであろう。

事務局

(Secretariat)

事務総長が、職員とともに、国際ロータリー事務局を構成する。中央事務局は米国イリノイ州エバンストンにあり、理事会が必要とし、承認した支局はロータリーの世界の各地にある。支局の所在地並びに住所は、公式名簿最新号に記載されている。

機関雑誌

(Official Magazine)

国際ロータリーの機関雑誌は、理事会の認める数だけの言語版が刊行されている。現在は2種類であり、すなわち基本版である英語の THE ROTARIAN およびスペイン語版の REVISTA ROTARIA がそれである。現在世界各地にいくつかの地域雑誌がある。その中には公式地域雑誌となっているものがある。(53—54頁参照)

R. I. の機関雑誌であるロータリアン誌の基本目的は、理事会がロータリーの目的を推進し、ロータリーの綱領を達成するのを助ける媒体の役割を果たすことである。

ロータリアン誌の目標：

1. R. I. 会長のテーマや所信および理事会が承認した特別プログラムを支持しかつそれを広めること。

2. R. I. の重要な会合および各種の公式ロータリー「月間」への参加推進をはかりかつそれらについて報道すること。

3. ロータリー・クラブやロータリー地区の指導者達のためにプログラム・アイデアの源泉として、またロータリー知識の宝庫としての役割を果たすこと。

4. 世界各地においてロータリー・クラブやロータリアンが行った、四奉仕部門での活動の実例を報道することによって、ロータリアンに刺激を与えその意欲をかきたてて、奉仕活動の向上、強化に助力すること。

5. 国際友好の推進、強化に寄与すること。

6. ロータリー関係および非ロータリー関係の両面における重要な諸問題を取り上げてフォーラムを開催し、それらの問題に対する参加ロータリアン達の見解、関心を特集して、ロータリアン一般のロータリーに対する信念を刺激し、深め、そして強めることに役立たせること。

7. ロータリー地域雑誌、地区出版物およびクラブ会報の協力を得て世界全域にわたるロータリーに関する情報のネットワークの整備に指導的な役を務めること。

8. 魅力的かつ新鮮で、時事に関する事柄や、ロータリアンのことまた彼らの生活に関連する記事も載せた雑誌を編集することによって、読者の関心をかき立てる。

レビスタ・ロータリアの顧問

(Advisers of Revista Rotaria)

会長は、ロータリー・クラブのあるスペイン語圏およびポルトガル語圏のそれぞれの国に居住するロータリアン1名を指名して、レビスタ・ロータリアの編集者との連絡係を務めさせる権限を有する。このようにして指名されたロータリアンは、レビスタ・ロータリアの顧問と呼ばれる。任期は1年であるが、2年務める場合もある。

ロータリーの雑誌月間

(Rotary's Magazine Month)

毎年、4月は「雑誌月間」に指定され、クラブはその月間中に雑誌に関するプログラムを実施しなければならないことになっている。このようなプログラムを作成するための資料は、中央事務局雑誌部から提供される。

国際ロータリー・ニュース

(R. I. News)

R. I. 事務局(中央事務局)から、R. I. ニュースが定期的に各クラブの会長に送付されている。この R. I. ニュースは、クラブ役員に対する公式通達その他一般的なまたその時々重要なニュースを伝えることを目的としている。

毎月1部をクラブ会長宛に郵送し、会長はクラブ幹事に回覧する。そのほかに、40名以上の会員を有するクラブは、40名を超える20名につき1部の割合で追加分を入手することができる。クラブはこの無料追加分の郵送を受ける会員を知らせるものとする。

事務総長は、クラブ会長または幹事から請求があった場合は、無料で、国際ロータリー・ニュースを、クラブ会長または幹事の指定するクラブの主要委員会の委員長に送付することができる。

国際ロータリー・ニュースはすべての国際ロータリー役員および委員に送られている。なお、多くの元国際ロータリー役員および委員長にも送られている。これらの部数は、クラブ割当分には含まれない。

国際ロータリー・ニュースは、一般に配布することを目的としたものではない。クラブの会員個人は、一定の購読料で購読することができる。

国際ロータリー・ニュースは、中国語、英語、フィンランド語、仏語、独語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語およびスウェーデン語で出版されている。

名簿

(Directories)

国際ロータリーは、各ロータリー年度の始めに世界中のクラブ、その会長および幹事の氏名および住所、例会場、例会曜日、時間、国際ロータリーの役員および委員の氏名、住

所の一覧表、その他名簿に一般的な事項を載せた公式名簿を発行する。

この名簿は、クラブ役員、国際ロータリー役員および委員の使用並びにロータリアンが旅行する時の便宜に供するために発行されるものである。この名簿はロータリアン以外の人に配布するためのものではない。ロータリアンが営利を目的としてこれを利用するのは妥当でない。

公式名簿は、新版が出るたびに各クラブの幹事宛に1部無料で配布されるものとする。クラブは追加分を幾部でも購入することができる。

公式名簿には著作権が設定されている。

旅行するロータリアンのため、公式名簿には、ロータリアンの所有または経営しているホテル、もしくはロータリー・クラブの例会場または事務所のあるホテルの有料広告を載せている。また、クラブ幹事その他がロータリーの徽章のついた商品を購入するような場合の案内として、この名簿には、ロータリー、インターアクトおよびローターアクトの名称や徽章入りの物品の製造または販売を国際ロータリーが特に認めている会社の一覧表も載っている。

地区または地域が、その地区または地域内のロータリアンの名簿の発行を望む場合には、これを行って差し支えないが、その経費は、国際ロータリーの費用外で賄わなければならない。

いずれの地区、地域またはクラブも、ロータリー名簿を発行する場合、その名簿の中に名簿はロータリアン以外の人に配布するものでないこと、また営業用の名簿に使用されてはならない旨の注意書きを明記しなければならない。

パンフレット

(Pamphlets)

特定の題目を取り扱った各種パンフレットが国際ロータリーから発行されている。その

全目録については、国際ロータリー事務局および日本支局から入手できるすべての出版物、用紙類、提供品等の価格が掲載されている「カタログ」(019-JA)を参照のこと。

理事会または国際大会の決定によって特に発行が認められているパンフレットを除き、事務総長は、新しいパンフレットをいつ、いかなる言語で出版するか、また、現在出版されているパンフレットをいつ廃刊にするかを決定する権限を有する。

ロータリー文献の翻訳

(Translation of Rotary Literature)

R. I. の公式用語である英語以外の言語版の国際ロータリー出版物に関する国際ロータリーの方針は：

1) ロータリー文献は、R. I. の優先リスト案に基づき R. I. 資金の許す限り、またはクラブおよび地区資金の許す限り、ロータリアンが使っている言語版を作成するものとする。

2) 経費節約のため、理事会は、ロータリーの任務の基本となる R. I. 出版物で、事務総長が決定した出版物を優先するよう勧めている；出版物を翻訳、印刷する前に理事会の承認を得なければならない。

3) まだ刊行されていない国際ロータリー出版物の翻訳、印刷を奨励する。但し、優先リスト案を考慮し、理事会の承認を得、最新の英語版を翻訳の基盤として使うものとする。規定審議会または理事会の決定が、出版物の内容に重大な変更をもたらした場合は、各地で翻訳、製作された版の在庫の配布は、英語の新版に合致した改訂版が翻訳・印刷されるまで中止しなければならない。

4) 英語版出版物の価格を、R. I. 製作の他の言語版に適用するものとする。

5) 国際ロータリーの経費で製作された全出版物の保管および配布は、事務総長の監督と管理下にあるものとする。このような出版物はすべて事務局に保管され、中央事務局に在庫目録の年次報告を行うものとする。

6) ロータリー出版物の各言語版は新版、または重大な変更がなされた改訂版の刊行される都度、事務総長の決定に従って、該当する言語版をクラブに贈呈する。

7) 各国の優れたロータリアンの奉仕を、できれば、ロータリー文献の翻訳に、また、翻訳作業の調整に、翻訳担当職員の翻訳検討に、国際ロータリーに費用をかけずに、活用しなければならない。自発的奉仕による経費節約に加えて、語法や慣行の地域的相違を見抜くという貴重な機会を提供することになる。

財務

(Financial Matters)

理事会は、R. I. の業務および資金を統制、運営し、毎年、次の会計年度の予算を採択する。

投資方針

(Investment Policy)

1) 理事会は随時、差し当たって使用目的のない金についてこれを一般資金投資勘定に積み立てておくよう指示することを指示するものとする。一般資金の投資として以前に購入されていた証券の売却による収益は特に指示しないが、このような収益は、理事会の指示を待たずとも、一般資金投資勘定に入れることができるものとする。また、理事会は、一般資金投資勘定からの利子や配当も、理事会による指定の措置を待たずとも、一般資金投資勘定に再投資することを認可している。国際ロータリー資金の投資は理事会が定める条件のもとに、理事会によって承認された国々において行われるものとする。投資マネージャーの成果は米国のドル貨でもって算定されるものとする。

2) 目的：

一般資金および本部建物改築資金の投資は、実質的価値の観点から元金の安全と市場

性を考えて、その上で、最高の収益率を目ざして行うものとする。

3) この方針は、理事会が随時定める「投資実施手続」に従って実施されるべきものとする。

国際ロータリーの会計年度 (Fiscal Year of R. I.)

国際ロータリーの会計年度は7月1日に始まり6月30日に終わる。人頭分担金および購読料の徴収は、7月1日から12月31日までと1月1日から6月30日までの2半期に分けて行われる。

国際ロータリーの収入 (Revenue of R. I.)

国際ロータリーの収入の主要財源は、加盟クラブの人頭分担金、国際大会および地域大会の登録料、新クラブの加盟金、出版物の代金、機関雑誌の購読料および広告料、免許料および使用料並びに投資に対する利子および配当金である。

人頭分担金 (Per Capita Dues)

各クラブは国際ロータリーに、そのクラブの各正会員、シニア・アクティブおよびパスト・サービス会員1人当たり年額20ドルの分担金を、毎年7月1日および1月1日に、当日の会員数に基づいて分納する。

毎年、10月1日および4月1日に、各クラブは、人頭分担金を支払う半期の始まる日の翌日以降にクラブ会員に選ばれた正会員、シニア・アクティブ、およびパスト・サービス会員1人当たり5ドルの比例人頭分担金を納める。

規定審議会のクラブ代表議員：規定審議会

の開かれる予定の年の7月1日には、各クラブは、その正会員、シニア・アクティブ、パスト・サービス会員1人当たり、1ドルの追加人頭分担金を支払い、規定審議会に出席する規定審議会クラブ代表議員の旅費補助金とする。その支払様式は理事会が定めるものとする。

新加盟クラブ：5月15日またはその直前に新たに加盟したクラブに限り、7月1日における会員数を証明し、その日付による人頭分担金を支払うものとする。同様に、11月15日またはその直前に加盟した新クラブに限り、1月1日における会員数を証明し、その日付による人頭分担金を支払うものとする。

払戻または比例部分の支払：半期中途で退会した会員の人頭分担金については、クラブは国際ロータリーから払戻しを受けることができない。クラブおよび国際ロータリーの会計年度は同一であり、すなわち7月1日から6月30日までであるため、ときとしてクラブが(会費の徴収をすませる前に)7月1日および1月1日に支払うべき人頭分担金およびロータリアン誌購読料をとりあえず立て替えて送金し、後に至りその期間の会費を未払のまま死亡、退会或は会員資格を喪失した会員の国際ロータリーに対する人頭分担金および購読料を国際ロータリーに支払っていたということになる場合を生じる。このような場合、理事会は国際ロータリー事務総長が事情に応じた調整をして払戻しをすることができるようにしている。

納入義務金滞納クラブ (Clubs in Arrears)

クラブがR. I.への納入義務金を支払わない場合、支払期日を6ヶ月過ぎると、クラブの加盟資格は一時停止処分されることになる。更に90日未払が続くと、クラブの国際ロータリーへの加盟は自動的に終結することになる。但し、理事会の納得する条件と協定が事前に取り交わされている場合を除く。

外貨送金を制限されている国のロータリー・クラブで、最善の努力をしてもR. I.に送金できないクラブは自動的に会員身分が終結することはない。このようなクラブは、理事会の満足のいくように、次のことを証明する必要がある：必要額の準備金を備え、クラブの所在国内で請求されればR. I.に引き渡す、或は、できるだけ早い時期にR. I.の銀行口座に送金する、という条件の下にR. I.への納入義務金を保持していること。

監査報告書の配布 (Distribution of Auditor's Report)

理事会の承認を得た前会計年度の財務運営に関する会計監査人の監査報告要約書は、毎年これを印刷して各クラブ幹事並びに国際ロータリー・ニュース郵送先名簿に載っている国際ロータリーの元および現役員並びに委員に配布しなければならない。

国際ロータリー資金の支出 (Expenditures of R. I. Funds)

一般手続：以下は、国際ロータリーの資金支出に関する一般手続の簡単な要綱である：

理事会は、ガバナーその他の支出責任者によって行われるべき支出の予算額(または支出限度)を決定する責任を持つ。かかる予算額(または支出限度)は国際ロータリーによる年間予算の編成によって設定される。この予算には、来るべき年度におけるすべての見積経費が計上される。理事会が予算を承認すれば、それによってそれぞれの予算額(または支出限度)が決定されたことになる。もちろん各費目の予算額はその必要(またはその一部の必要)を考慮して計上されたものである。換言すれば、各費目の最大限度を定めたもので、もし経費を使用者がその最大限度以下の金額で仕事を遂行することができれば、それだけ国際ロータリーの資金が節約されることにな

る。

一方いかなる目的のためであっても、計上された予算額(または支出限度)を超えた支出は、それを行う前にあらかじめ理事会の承認を得ない限り、行ってはならない。

ある費目が特定目的のために計上されている場合、例えば次期ガバナーの国際協議会出席の経費のようなものは、あらかじめ理事会の承認がない限り、ほかの人の経費に流用してはならない。

支出に対する承認 (Authority for Expenditures)

支払請求があった場合、そうした支払が国際ロータリー理事会によって正式に計上された予算費目で賄われているものであり、かつ、理事会がその予算を計上することにした趣旨に反しないものであるとの確信が得られない限り、その支払をしないことおよび確かに支払われていないことを財務長に証明することは、国際ロータリーの資金の支出当務役員としての国際ロータリー事務総長および(または)会計検査役の義務でありかつ責任である。また、事務局の事務総長および(または)会計検査役が、事務局で、そうした経費の支払が、その経費を賄うべき予算を理事会が計上した趣旨に反しないものと認めてそれを保証することができ、また保証するのでない限り、事務総長も財務長も国際ロータリー資金を支出することをはっきりと禁じられている。事務総長は、いかなる経費計算書による支払の請求或は支弁の要求であっても、それについて自分に前記の保証をする確信がない場合には、その事情を理事会に報告してこれを承認するか否かの決定を求めなければならない。

理事会はいかなる行為についても、そのための必要な予算措置をするかまたはしたものでない限り、その経費の支出を承認しない。

国際ロータリーの資金に対する緊急措置

(Emergency Handling of R. I. Funds)

理事会は、事務総長に、緊急を要する場合に、できる限り財務長および／または財務委員会委員長との事前協議を経たうえで、理事会に代わってことを取り決める権限を与え、国際ロータリーの資金および財政義務を保護するために必要と考えられるいかなる措置も事務総長においてこれを行いうることとした。

国際ロータリーの活動に対するもの以外への国際ロータリー資金の寄付

(Contributions of R. I. Funds for Other Than R. I. Activities)

国際ロータリーの資金は、その加盟クラブによって、それ自体の目的のために提供されたものである。従って他の団体の活動に寄付することはできない。同時に、国際ロータリーは、その加盟クラブを通して、個々のロータリアンが地域社会において立派な奉仕活動を支持し、かつ個人的に参加することを奨励するものである。

第2部 プログラム (PROGRAM)

第4章—総論

第5章—職業奉仕

第6章—社会奉仕

第7章—国際奉仕

第8章—青少年への奉仕

第4章

ロータリーのプログラム一般

(General Program of Rotary)

ロータリーのプログラムは、国際ロータリー定款第3条および標準ロータリー・クラブ定款第3条に掲げられている綱領の中に示されている。すなわち：

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成するにある：

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；

第2 実業および専門職業の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；

第3 ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；

第4 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

ロータリーの奉仕の4「部門」は、この綱領の各項を反映している：クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕。

年次プログラムの強調

(Annual Program Emphasis)

毎年度の国際ロータリー会長のメッセージは、特定のプログラム或はテーマその他その発表の形式のいかんを問わず、当該年度におけるロータリーのプログラム遂行上最大の重要性をもつものである。地区ガバナーが会長のプログラムもしくはテーマを採り上げ、こ

れを、例えば地区大会その他テーマを用いる地区会合のテーマにすると、マンスリー・レター、公式訪問その他地区内のクラブやロータリアンと接触する場合に持ち出すなど、あらゆる適当な方法によって強調することは、その役職と切り離すことのできない任務である。地区ガバナーの掲げる地区の目標或は目的は、会長のプログラムもしくはテーマに関連したもの、それを強調するものにし、そして、前記の地区の目標或は目的について何か言う場合には、必ず会長のプログラムもしくはテーマをはっきりとわかるように示すことが必要である。要は会長のメッセージをすべてのロータリー・クラブおよびロータリアンに知らせ、理解させ、効果的に実行させるということが大切なのである。

災害救済

(Disaster Relief)

災害時にロータリー特別救援募金に乗り出すのはR.I.の慣例ではない。このような救援活動を担当する機関があるのが普通だからである。赤十字その他の責任ある機関がこのような事態に対処しようとしているならば、ロータリアンは、このような団体の要請に惜しみなく速やかに応えてほしい。そのような機関のない場合、または、ロータリー・クラブやロータリアンが、被災地のロータリー・クラブに直接寄付金を送りたい場合、そのクラブが寄付金を受け取ることができ、また、受け取るのをいとわない場合に限り、送金してもよい。

災害救援活動に関して、被災地のロータ

リー・クラブが、被災者のさし迫ったニーズをかなえるプログラムを組織し、救援のための寄付を他の人々から進んで受け、これを管理することもまれではない。クラブの関心も高いし、ロータリー・クラブやロータリアンの災害救援活動の価値は明らかではあるが、国際ロータリー理事会に申請し、承認を得て初めて、クラブまたはクラブ・グループは、他のロータリー・クラブまたはロータリアンに文書を配布し、災害救援に関し、財政援助ほかの支援を求めることができるのである。

事務総長が災害を知り、被災地のロータリアンが援助受入計画を立てたとき、災害と、被災者のための援助受入先を告げる災害発生通知が世界中の地区ガバナーに郵送される。

人道的援助と設備に関する方針

(Policy re Humanitarian Aid and Equipment)

R. I.には、人道的援助と設備を提供している各種運動への支援要請が寄せられてくる。人道的援助を行っている各種運動の推進を手がけている機関は数多い。このため、また、このような運動は絶えず多数生まれているので、R. I.は、このような運動と提携しない。ロータリー・クラブは自治権を持っているのであるから、この種の問題について、自己の希望する措置を講じて差し支えない。ロータリアンは個人として最善を尽くす。

Vocation(職業)という言葉は社会人の「一定の業務、稼業、実業、専門職業、或は職務」を指すものである。ロータリーは、職業奉仕という言葉を使用するに当たって、Service(奉仕)という文字をその一番広い意味で使っており、単に実業或は専門職業界における取引によってなされた業務或は売られた商品を指すのみでなく、相手の必要と境遇に対して正当な考慮を払うとともに常に他人に対し思いやりの心をもって当たることも指しているのである。

職業奉仕はロータリーの綱領において次のような言葉によって強調されている：

実業および専門職業の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；を鼓舞育成する。

別の表現をすれば、職業奉仕は、職業の世界において、奉仕の理想を推進することを目的とするものである。すなわち、職業奉仕は、
●個々のロータリアンが、その職業関係のすべてにおいて——従業員、競争業者、顧客および仕入先との関係において高い道徳的水準を適用し、かつ、

●ロータリアン各自がこの水準を、自分と職業を同じくする他のすべての人々の間に推進することを意味するのである。

四つのテストの複製並びに使用

(Reproduction and Use of The Four-Way Test)

四つのテストの複製はすべて次の形式で作

第5章

職業奉仕

(Vocational Service)

成されなければならない：

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか？
- 2) みんなに公平か？
- 3) 好意と友情を深めるか？
- 4) みんなのためになるかどうか？

四つのテストを複製或は使用する唯一の目的は、人間関係における高い道徳的水準の向上を計り、それを維持することでなければならない。複製は販売や利益を増すための広告と結びつけてはならない。しかしながら、商社、団体または公共機関の人間関係のすべてが四つのテストの方針にそって実施されることを願って真剣に努力していることを説明するような方法としてならば、書簡箋やその他の印刷物に刷り込んでもよい。

四つのテストを、一つのロータリー・クラブ或は一団のクラブが頒布する物品中に或はそれに関連して複製する場合、当該ロータリー・クラブまたは一団のクラブが複製した旨のことわり書きをテストの本文の下方のどこかに入れるべきである。これは、それらのクラブがあらゆる人間関係を四つのテストに照らして実施しようとしていることを連想させるのにふさわしいからである。

四つのテストは、いかなる意味においても「規則」として取り扱われてはならない。

職業指導

(Vocational Guidance)

若人の職業選択を援助する活動はクラブの職業奉仕委員会の活動の一つである。クラブ

は、青少年活動委員会の協力の下に、若人の職業選択を援助する活動を進めるため、職業奉仕委員会の下に「職業情報」小委員会を設置するように示唆されている。

職業奉仕活動

(Vocational Service Activities)

ある国から別の国へと労働者が大移動した結果、言語障壁および文化的・社会的背景の相違から苦難が生じるかもしれない。このような苦難を克服する一助として、クラブは、自国以外の国の文化的・経済的・地理的状态に関するプログラムを例会で実施し、また、地元地域社会の他のグループの会合でも実施するよう奨励すべきである；

- クラブはその地域に新たに移って来た人が新しい環境に溶け込むよう援助するため市民相談所を創設するとか或は支持する方法を講ずることを考究する；
- 適格な候補者が得られた場合、クラブは「労働団体」という職業分類のもとにその候補者を会員に選挙する；
- クラブは随時、労使に関連した特別講演会や討論会に、要望があれば、労使双方の団体の代表者を招待する；
- 国家や地方自治体の政策は同業組合並びに労働組合双方の指導者の折衝と協定にどれほど依存しているか、ということを考慮するようクラブ会員の注意を促す。そしてクラブ会員は同業組合で指導的役割を果たすことに努力して労使間の問題における方針の確立に影響を与えうる機会に恵まれているという点にクラブ会員の注意を喚起する。

職業奉仕の範囲は、クラブとロータリアンの創意によって無限に広がる。ロータリアンは、自己の職業に基づいてクラブで職業分類されているのであるから、職業奉仕は、すべ

てのロータリー・プログラムを遂行する上で不可欠な要素である：その影響は、他の奉仕部門に及ぶ。

職業奉仕は多面的である；クラブや地区は、ためらわず、ロータリアンの第2奉仕部門の目標を鼓吹、育成することをめざす新しい革新的な方法を作り出さなければならない。

職業奉仕月間

(Vocational Service Month)

理事会は、クラブだけではなく、各ロータリアンも、職業奉仕の理想を日常実践するように強調するために、毎年10月を特に職業奉仕に焦点を絞ったプログラムを行う「職業奉仕月間」と定めた。

ロータリアンの営利化

(Commercializing Rotary)

ロータリアン間の取引関係に関するロータリアンの方針は次の通りである。すなわち、ロータリアンはその同僚ロータリアンから、他の実業家に対する場合よりも多くの利便を期待してはならないし、ましてこれを要求するようなことがあってはならない。ロータリアンが、取引関係にある他の事業家には普通与えないような特典を同僚ロータリアンに（ロータリアンであるという理由だけで）与えるのは、競争業者に対するロータリアンの責任に反することであるし、また、ロータリアンの職業奉仕の原則に背くことである。いかなる場合においても、ロータリアンの親睦を利便や利益を得る手段として利用することはロータリアンの精神から遠く遊離したものである。

いかなる商社も敬具 (Yours truly) の代わりに“Yours Rotarily”という字句を署名すべきでない。

第6章

社会奉仕

(Community Service)

最初のロータリー・クラブが誕生した早期より、ロータリアンは、自己の地域社会に奉仕することに深く携わってきた。各ロータリー・クラブの歴史には、その所在地を問わず、ロータリアンの綱領の第3項を実行に移しているプロジェクトが数多く記録されている。

ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。

クラブと地区の社会奉仕活動への参加

(Participation in Community Service Activities by Clubs and Districts)

地域社会のニーズに対して、政府および民間の諸団体が活動しているが、しかし、ロータリー・クラブやロータリアンが地元地域社会に効果的かつ重複しない奉仕を引き受ける多様かつ挑戦すべき機会が依然として存在する。

効果的な社会奉仕活動をする基礎として、クラブは次のように要請されている：

a) 社会奉仕委員会が、地元内のそれぞれの地域の特定の相対的状況を総合的に調査、分析し、地域社会のニーズを確認する；

b) 地域社会のニーズを見いだすために個人的、職業上の立場を生かしてクラブの区域内を探り、社会奉仕委員会の調査、分析を補足、強化するよう個々のクラブ会員に勧める；

c) 他の社会奉仕団体との会合が可能かつ必要で、所定の方針に合致して行うことができる場合、そのような会合を開き、話し合いと意見の交換をする；

d) 地域社会のニーズに積極的に関心を示し、これに精通していることを示す、このことを会員候補者を考慮する一要素に含める。

社会奉仕会議の運営手続規則

(Rules of Procedure for a Community Service Council)

地域社会内の色々な奉仕クラブ或は他の団体の役員が、それぞれの団体の社会奉仕に関し、討議を行い、かつ意見を交換するため、時々会合する必要があると認識した場合には、ロータリー・クラブの代表者は、次の運営手続に従ってこれに出席することができる。

会議は、それぞれの団体によって実行されているか或は考慮されている社会奉仕に関する問題について、討論を行ってもよいが、それぞれの団体が独立団体としての行動の自由を失うことを意味する決定は行わないものとする。

問題のいかなるかを問わず会議がとるべき措置は、出席者の意見の表明と会議の意見を各所属団体に報告することを出席者が承諾することだけにとどむべきである。

会議は、その代表者を送り出している団体を、いかなる点においても拘束するような意見を表明する資格も権限も与えられていない。但し、各団体自体が前もってそれぞれその問題を考慮し、かつその問題に対する態度を決め、その代表者に対し会議においてこの立場を他の代表者とともに表明することを指示し、かつ委任した場合はこの限りでない。

地域社会内の団体全部の共同行動を必要とすると考えられる問題がある場合には、各団

体のとるべき措置に関する決定はまず各団体自体においてなされるべきである。その決定ができた後に、その問題を特別に考慮するための会議を特に招集すべきである。そしてこの会合に、各団体は、代表者を派遣すべきである。この代表者は、自己の所属団体を代弁し、共同活動への参加を約束する権限を正式に与えられるものとする。

ロータリー・クラブが自己の態度をはっきりさせる前に、会議の意見を新聞その他に発表することは、もしそれが、会議に代表を送っている種々の団体がその意見によって束縛されることを意味するのであれば、なすべきでない。

これらの運営手続の目的は、このような会議において各自が考えを自由に交換し、意見を発展させることであり、また、同時に、会議に代表を送っている諸団体の立場、つまり、団体相互間、或はそれぞれの団体から構成されるより大きな団体或は地域社会との関係を、決して侵害することがないようにすることである。

募金運動への参加

(Participation in Fund Raising Activities)

募金計画或は他の運動に参加または提携する場合、クラブは、クラブの信望の確立強化に貢献しないような品位のないやり方に陥らないよう常に注意を払うべきである。

特に関心の高い社会奉仕活動

(Community Service Activities of Special Interest)

クラブは、クラブ奉仕、社会奉仕、青少年活動委員会を通じて、犯罪行為にまきこまれた青少年を調査し、地元の状況に照らして問題を軽減するために何が出来るかを決定すべきである。その際、妥当であればロータリー・クラブとインター・クラブの援助を求めるべきである。

ロータリー・クラブは、地域社会内に麻薬関連問題がどの程度存在するか調べ、このような問題と闘うために頼れる人材、団体を見極めるよう要請されている。

ロータリー・クラブは、社会奉仕プロジェクトを通じて、また該当する保健官と協力して、児童に対する伝染病（特にポリオに重点を置く）の免疫措置対策を推進、援助するよう要請されている。

ロータリー・クラブ (Rotaract Clubs)

ロータリー・クラブは、提唱ロータリー・クラブの区域限界内またはロータリー・クラブの存在しないその隣接区域内に居住、就職または就学している18歳から28歳までの青年によって構成される。年齢制限は大学に在学中の者には適用されない。ロータリー・クラブの存在する近隣区域からも、そのロータリー・クラブの承認を得て、会員を選挙することができる。但し、これを双方の提唱ロータリー・クラブに通知することを要するものとする。

ロータリー・クラブの目的は、地域社会に対する奉仕を通じて指導力と善良なる市民精神を育成し、かつ国際理解と平和の運動を推し進め、また指導者としての資質および職業上の責任としての高度の道徳的水準を認識し、受諾することを促進することである。

ロータリー・クラブ年度またはカレンダー・イヤーのいずれかと一致させればよい。

ロータリー・クラブ会員組織の継続性を確保するため、できる限り、年齢層のバランスを保つよう心がけなければならない。

どのロータリー・クラブにも、その名称の後に「(名称) ロータリー・クラブ 提唱」という文言を付するようすることを強く要望されている。

毎年ロータリー・クラブのロータリー・クラブ委員会委員を1名またはそれ以上再任するこ

他の団体の趣旨いかんにかかわらず、他の団体に加盟または合併してはならない。

ロータリー・クラブは、教育機関を基盤とするロータリー・クラブのほかには地域社会に基づくロータリー・クラブをも提唱するよう奨励されている。

ロータリー・クラブの標語 (Rotaract Motto)

ロータリー・クラブ並びにその会員が使用するのにふさわしい次の標語が採択された：

「奉仕を通じての親睦」
(Fellowship Through Service)

ロータリー・クラブ組織 (Rotaract Organization)

標準ロータリー・クラブ定款は、国際ロータリーによって規定されるものであり、かつ国際ロータリー理事会のみが、これを改正できる。クラブ結成並びに認証の必要条件として、各ロータリー・クラブは、標準ロータリー・クラブ定款を採択し、以後国際ロータリー理事会の採択する全改正条項を自動的に採用しなければならない。

各ロータリー・クラブは、標準ロータリー・クラブ定款および国際ロータリーが設定した方針に矛盾しない細則を採択しなければならない。この細則は、提唱ロータリー・クラブの承認を得なければならない。

ロータリー・クラブは、会員が選出される居住地、就職地または大学がその区域限界内にあるロータリー・クラブにより提唱されるべきものとする。但し、国際ロータリー理事会が提唱ロータリー・クラブの区域限界外にロータリー・クラブの結成を認める旨を文書をもって許可した場合はこの限りでない。

とにより、委員の継続性を保つよう規定することが重要である。

いかなる意味においても、ロータリー・クラブは提唱ロータリー・クラブまたは国際ロータリーの一部または合法的加盟クラブと考えるべきではない。ロータリー・クラブ会員は「ジュニア・ロータリアン」と呼ばれたりみなされぬものであり、またロータリー・クラブを使用したり着用してはならない。ロータリー・クラブとは異なった、ロータリー・クラブ会員専用の徽章が別にある。

ロータリー・クラブは、一つのロータリー・クラブまたは数クラブによって結成され、提唱され、かつ助言が与えられ、そして所管地区ガバナーによって確認された後、国際ロータリーの証明と承認を得て設立される。その他の方法では、創立することも、維持することもできない。クラブの存続は、提唱ロータリー・クラブの不断の後援と国際ロータリーが継続して承認を与えるか否かにかかっている。

国際ロータリーが設定した機構の下に、提唱ロータリー・クラブは、ロータリー・クラブを結成し、その後指導と助言を与える責任を有するものとする。

ロータリー・クラブが大学を結成基盤とする場合、提唱ロータリー・クラブは、そのクラブに対しては、当該大学*当局制定の全学生団体並びに課外活動に関するものと同一の規定並びに方針に従うべきものであることを了解の上、大学当局の完全な協力のもとに、当該ロータリー・クラブに対する管理と助言を行うものとする。

ロータリー・クラブ会員をロータリー・クラブ並びに地区大会のプログラムに参加するよう招待するロータリー・クラブおよび地区大会は、起こりうる法律上または道義上の義務と責任に対しクラブ乃至地区大会を保護するために、十分な旅行傷害保険および責任保険に加入すべきである。

原則として、ロータリー・クラブは、

* 本方針声明書で使用される大学という言葉はすべての最高教育機関を含む。

ローターアクト・クラブは、次の条件下に2以上のロータリー・クラブが共同して結成し、かつ提唱することができる：

1) 地区ガバナーが、慎重に考慮した結果、地区と各関係ロータリー・クラブ並びにローターアクト・プログラムに対する最大の利益が共同提唱によりもたらされることを文書により表明し、承認を与えること。

2) 推薦されるローターアクト・クラブの会員は各提唱ロータリー・クラブの区域境界内よりそれぞれ相当数選出されること。

3) 個々のロータリー・クラブの提唱により、個々にローターアクト・クラブを結成することが、原則であるが、ロータリー・クラブが個々にローターアクト・クラブを結成すると地域社会内もしくは大学内における単一の青年団を人為的に分断するような結果を招くおそれがあること。

4) 各提唱ロータリー・クラブから効果的に代表者が送り出されるような合同ローターアクト委員会を設立すること。

ローターアクト・クラブは次の場合に解散する： a) その定款に従って運営されない場合、或はその他の理由により、提唱ロータリー・クラブの同意、承認、合意の有無にかかわらず、国際ロータリーにより解散させられる場合、 b) 提唱ロータリー・クラブにより解散させられる場合、または c) ローターアクト・クラブ自身の決定により解散する場合。

国際ロータリーの方針として、理事会は、国際ロータリー以外のいかなる個人または団体も、営利その他の目的のためにローターアクト・クラブに対して回状を送達する権利を認めない。

地区ガバナーは、地区内にローターアクト・プログラムを公表し、新ローターアクト・クラブの結成を促進し、ローターアクト・プログラムを運営するに際し、その補佐役として地区内各地のロータリアンによって構成される地区ローターアクト委員会を設置するよう要請されている。地区ローターアクト委員会の設置に際し、それが可能でありかつ実行

できる場合は、1名乃至数名の委員を再任することにより、委員の継続性を保つよう規定すべきである。ロータリーの地区ローターアクト委員会がその任務を遂行する場合に、ローターアクト・クラブ会員と協議すれば、有益な結果が得られることと思う。

ローターアクト地区組織 (District Rotaract Organization)

1) 一つの国際ロータリー地区内に、5以上のローターアクト・クラブがある場合は、その国際ロータリー地区と境界を同じくし、その中にそれぞれの提唱ロータリー・クラブを包含するローターアクト地区を設定することができる。ローターアクト地区内のクラブは、会員の中から地区ローターアクト代表を選挙することができる。選挙の方法は地区ローターアクト委員会によって決定されるものとする。地区ローターアクト代表は、ロータリー地区ガバナーおよびロータリー地区ローターアクト委員会乃至その他の適切なロータリー地区委員会から指導と助言を受けるとともに、地区ローターアクト委員会が全地区の会合を準備するのを助け、可能な場合はこれらの会合を司会し、特に地区内におけるローターアクト・プログラムの拡大、強化に関して地区内ローターアクト・クラブに助言を与え、激励と刺激を与えて、彼らの関心をローターアクトの世界的規模と、世界理解のためのプログラムの可能性と業績とに焦点を合わせるよう手助けをするのがその任務である。ローターアクト代表に選ばれる人は、ローターアクト・クラブの会長または幹事を務めたことのある者でなければならない。

2) ローターアクト地区が設定されている場合、所管地区ガバナーの承認を得て、地区代表に加えて1名の地区幹事、2名以上のゾーン代表をもって構成される地区組織を設けることができる。各ゾーン代表は一定数のクラブに対して責任を持つほか、地区代表から割り当てられたその他の事項に対して責任

を負うものとする。ローターアクト地区が下記6項の下に地区奉仕プロジェクトに着手することを決定した場合、地区ガバナーは地区基金委員会を設置しなければならない。同委員会は、ローターアクトと少なくとも1名のロータリアン(地区ローターアクト委員)によって構成される。

3) 国際ロータリーの地区内において、相互に便利な土地に存在する二つ以上のローターアクト・クラブは、友情を深め、意見を交換し、刺激を受け、地区内のローターアクト・プログラムを強化、拡大、充実させるため、地区ローターアクト委員会の1名乃至数名の委員の助言と指導と出席のもとに、各クラブ代表者の会合を開催するよう奨励されている。距離の関係が許せば、地区ローターアクト委員会の指導のもとに同委員会の委員1名乃至数名同席の上、かかる会合を地区規模で、開催することもできるであろう。

4) 地区規模のローターアクト・クラブ会合の目的は職業奉仕および社会奉仕に関してローターアクト・クラブを激励し、啓発し感銘を与えること、および国際理解のためにローターアクトが世界的に発揮しうる潜在能力と業績とに注意を集中させることである。

5) クラブ・レベル以上のローターアクト会員の会合は、すべて、立法の権限を持たないものとし、かつまた、そのような権限を持っているかのように思われる手続、方法によって会合を準備もしくは運営してはならないものとする。但し、地区レベル或はその他のレベルにおけるローターアクトの管理にたずかわる人々に対して有益な助言となりうるような意見を発表することは差し支えない。

6) 地区ローターアクトの会合で、ローターアクト・クラブの4分の3の多数投票により、地区奉仕プロジェクトに着手し、このプロジェクト募金のための地区ローターアクト奉仕基金を設立することができる。この基金への寄付は任意としなければならない。このようなプロジェクト並びに奉仕基金は地区ガバナーの承認を得なければならない。また、地区プロジェクトの運営および基金の使途に

対する具体的計画および説明書も、地区ガバナーと地区内の4分の3のローターアクト・クラブの承認を得なければならない。地区ガバナーは、地区基金の募金および運営の責任者となる地区基金委員会を設置しなければならない。この委員会は、地区内のローターアクトおよび少なくとも1名のロータリアン(地区ローターアクト委員)によって構成される。地区奉仕基金は、その基金がローターアクト地区の財産であって、特定のローターアクトもしくはローターアクト・クラブの専有財産でない旨を明記した銀行預金口座に保管されなければならない。

7) すべてのローターアクト地区活動に要する資金は、その地区のローターアクト・クラブが調達するものとする。国際ロータリーは、地区ローターアクト・クラブの会合の経費を負担しないものとする。かかる会合の経費は最少限度に止め、参加者が負担できる範囲のものとする。

ローターアクト多地区合同会合 (Multidistrict Rotaract Meetings)

2地区以上、特に2ヵ国以上のローターアクト・クラブ会員の合同会合が可能であれば、これを開くよう勧める。このような会合は、開催地のロータリー地区ガバナーとローターアクト委員会の指導の下に、ローターアクト委員1名または数名が出席し、開催地の地区ローターアクト代表とローターアクト・クラブ会長の協力を得て開かれるものとし、開催地ロータリー地区ガバナーの承認を必要とする。ローターアクト多地区合同会合の開催について開催地ロータリー地区ガバナーに提出する承認申請書には、下記の書類を添付しなければならない。

1) 申請にかかわる会合について、その日時、場所、目的、プログラムおよび参加者に関する事項を記載した説明書；

2) 会合の開催に伴って生ずる契約上および財政上の義務に対し、提唱者側において全

責任を負うべきこと、かつ、その用意のあることの保証を付した会合経費見積予算書1通；

3) 事故に備えるための十分な責任保険の加入に関する証明；

4) 申請にかかわる会合の立案、実施は、ロータリアンの直接監督下に行われるものであることについての保証。そしてかかる書類の写しを、会合の開催について最終的に取り決められる日の少なくとも30日前に、開催予定地が含まれる地域またはゾーンに居住する国際ロータリー理事と国際ロータリー事務総長とに提出しなければならない。もし当該理事または事務総長のいずれかが、その計画を適切でないと感じた場合、理事または事務総長は、直ちにその旨を開催地ロータリー地区ガバナーに通告し、かつその計画の実施を延期または取り止めるよう要請するものとする。

ローターアクト・クラブ会員のための、多地区合同の指導者会合を希望するところでは、次の基準によって開催することができ：

1) 参加者は、地区ローターアクト代表もしくは、これが不可能な場合は、地区ガバナーが指名したローターアクター（なるべくは次期または元地区ローターアクト代表）と、ロータリー地区ローターアクト委員会の現委員長並びに次期委員長（すでにわかっている場合）もしくは経験豊かな同委員会委員1名を含むものとする；

2) 招集者は、開催地ロータリー地区ガバナーが、その地域またはゾーンの国際ロータリー理事と協議して選出するものとし、青少年活動に経験のあるロータリアンが必ず招集者となるようにする。この招集者は、地区ガバナーの出席者選考に協力する；

3) 会合は、関係地区グループの中心地その他の開催地地区ガバナーの選定した場所で開くものとする；

4) この会合用の推奨プログラムおよび予定表は開催地地区ガバナーの承認したものとする；

5) かかる会合は、国際ロータリーに一切経費を負担させることなく、また、ローターアクト・クラブの多地区合同会合についてこれまでに定められている理事会の方針に従って行われるべきものとする。この会合は立法権限を持たない。

ローターアクト・プログラムの資金調達

(Financing the Rotaract Program)

クラブのプログラム遂行に必要な資金を集めるのはローターアクト・クラブの責務である。

ローターアクト・クラブの提唱ロータリー・クラブは、ローターアクト・クラブに、時折、または、臨時の財政援助以外してはならない。

ローターアクト・クラブは、ロータリー・クラブまたは他のローターアクト・クラブに財政援助を広く求めてはならない。

ローターアクト・クラブは、地元地域社会の個人、業者、団体に、同価値の代償を提供することなしに財政援助を求めてはならない。

ローターアクト・クラブ会員の会費または分担金は極く僅かとし、クラブの管理費を賄える額だけとすべきである；ローターアクト・クラブが企てる活動およびプロジェクトの資金は、会費または分担金とは別に、クラブが調達すべきものとする。

ローターアクト地区奉仕プロジェクトへの寄付は任意であり、個々のローターアクターまたはローターアクト・クラブに強制できない。

ローターアクト・ニュース

(Rotaract News)

R. I. 事務局は、ローターアクト・クラブ提唱ロータリー・クラブのために、また、ローターアクト・クラブ自身のために、時折、ニュー

ローターアクト指導者講習会

(Leadership Training Meeting for Rotaract)

ロータリー地区は、その地区内のローターアクト指導者のために会期1日の講習会を開くことを奨励されている。この講習会は、ローターアクト地区代表の協力を得て、ロータリー地区ローターアクト委員会が実施すべきものとする。

スレターを発行している。ニュースレターまたは他の出版物が提唱ロータリー・クラブ経由で配布される場合、関係ロータリアンは、その資料を調べ、それを対象者のローターアクターに必ずタイムリーに渡すようにされたい。場合によって、この資料の内容は、ローターアクト・クラブと提唱ロータリー・クラブ間の討論の機会となりうる。

第7章

国際奉仕

(International Service)

国際奉仕の目的

(The Purpose of International Service)

ロータリアンの間に、また、一般の人々の間に理解と善意を育むことが、ロータリーの国際奉仕の明確な任務である。

国際奉仕におけるロータリーの基本方針

(Basic Policy of Rotary in International Service)

ロータリーの国際奉仕の目指していることは、奉仕の第4部門に表現されている；すなわち、「奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」

自由、正義、真実、宣誓の神聖、人権尊重は、ロータリーの原則に本来備わっているものであり、また、国際平和と秩序の維持および人類の発展に不可欠である。

個々のロータリアンの責務

(Responsibility of the Individual Rotarian)

ロータリアンは、それぞれ、奉仕の第4部門に込められている理想の達成に寄与するよう期待されている。

各ロータリアンは、自国の忠実かつ勤勉な市民となるべく個人生活および職業活動を律するよう期待されている。

各ロータリアンは、場所を問わず、個人として尽力し、視野の広い世論を作りだすよう助力すべきである。このような世論は、必然

的に、あらゆる国の人々の間に国際理解と親善を増進しようとする政府の政策に影響を及ぼすであろう。

世界に目を向けるロータリアンとして：

1) 愛国主義にとらわれず、自分が、国際理解と親善と平和を推進するという責務を共に負っているものとみなす。

2) 国家的または人種的優越感によって行動しないようにする。

3) 他国民と協調する共通の基盤を求め、これを育成する。

4) 思想、言論、集会の自由、迫害と侵略からの解放、欠乏と恐怖からの解放を享受できるように、個人の自由を守る法律と秩序を擁護する。

5) どこかが貧困であれば、全体の豊かさを危うくすると認識し、あらゆる国の人々の生活水準を高めようとする措置を支援する。

6) 人類に対する正義の原則を高くかざす。この原則は基本であり、世界的なものとなければならないと認識する。

7) 国家間の平和を推進しようと常に努め、この理想のためには個人的犠牲を払う覚悟をする。

8) 国際親善の一步として、あらゆる他の人々の信念を理解する心をかき立て、これを実践する。実践されれば、必ず豊かで充実した人生をもたらす、倫理的・精神的基準水準が何か存在すると認識する。

ロータリー・クラブの責務

(Responsibility of the Rotary Club)

ロータリー・クラブは、政府や世界問題或

は国際間の政策に影響を与えるような団体的な行動をとってはならない。むしろ、個々の会員に対して、これらの問題についての知識を与えるようにつとめ、それによって、会員に啓発された建設的な心構えを持たせるようにすべきである。

ロータリー・クラブで、討論会を開催して、公共の問題を論じても差し支えない。但し、そのような場における一連の措置は、奉仕の第4部門の助長を旨とする。もし論争点のある場合には、双方の主張が十分に発表されることが肝要である。

ロータリー・クラブにおいて、国際的な論議を取り上げる場合、論者に他国の国民を攻撃しないように注意されたい。また会合において表明された個々の論者の意見に対しては、ロータリー・クラブは必ずしも責任を負うとは限らないことを明らかにしておかなければならない。

ロータリー・クラブは、国際問題に関係を持つ特定の計画に関するいかなる決議をも採択してはならない。ある国のクラブから他の国のクラブ、国民或は政府に対して何らかの行動を執ることを要望してはならないし、また、特定の国際問題の解決に関する計画案や意見書を配布してはならない。

ロータリー・クラブが存在する国家間の関係が緊迫している場合には、悪意や誤解を増すことがないように、関係国および他の国々のクラブは、細心の注意を払わなければならない。

ロータリー・クラブとロータリアンは、なお一層の努力をして、世界中の人々の間に理解と親善を奨励・助長するよう要請されている——常に国際ロータリーの所定の方針を守ること、また、誤解を生じ、悪意を生み、平和達成と維持への努力を後退させるような行動、発言、通信、文書は、躊躇することなく避けること。

(第1章「ロータリーと政治」、第3章「国事に関する方針」参照)

国際ロータリーと国際奉仕

(Rotary International and International Service)

国際ロータリーは、様々な見解を持つ多数の国に存在しているロータリー・クラブによって構成されているのであるから、R. I. は、政治問題に関し団体行動をとったり、団体声明を発表してはならない。とはいえ、国際ロータリーは、世界各地の加盟クラブを通じて、国家間の平和の基礎として人々の間に国際理解と親善を鼓舞・育成している。

国際ロータリーは、平和と正義の原則を固守することを再確認し、全ロータリアンに、国際的難問を平和交渉によって解決するために自己の影響力を行使するよう要請している。

国の法律、慣習に対する批判

(Criticisms of Laws and Customs of a Country)

次の方針声明が採択された：

ロータリアンの中に、理解と親善を促進するに当たって、ある国において非合法とされていることが他の国においては合法である場合が多数あること、また、ある国において慣習となっていることが他の国においてはそうでない場合もあること、を認めなければならない。従って世界各国のロータリアンは、これらの事実を認識し、他国の法律や慣習を批判することを慎むべきであり、かつまた、他国の法律、慣習に干渉するような行為もこれを慎まなければならない。

世界社会奉仕

(World Community Service)

世界社会奉仕は、ある国のロータリー・クラブまたは地区が、他の国のロータリー・クラブに援助を提供するプログラムで、生活水準を高める役に立つために必要とされるプロ

ジェクトを達成し、両国間の国際理解を増すプログラムである。

地区世界社会奉仕委員会は次のことをしなければならない。

1) 地区内のすべてのロータリー・クラブに、世界社会奉仕を目的として海外のロータリー・クラブと提携するよう奨励すること；

2) 地区内各クラブとの定期的接触および地区の諸会合並びに都市連合会等を通じて、世界社会奉仕プログラムに対する理解の増進をはかり参加を推進すること；

3) 海外の地域社会から世界社会奉仕の援助を受けるにふさわしい地元ニーズは何か決めるよう地区内のクラブを激励すること；

4) 地区内のクラブから報告された世界社会奉仕プロジェクトを審査し、その結果を地区ガバナーおよび中央事務局内の世界社会奉仕計画資料室に報告すること；

5) 世界社会奉仕活動のために提供可能な地区内の援助資源を捜し出すよう地区内クラブを奨励すること；

6) 世界社会奉仕の目標と業績とを地区内のすべての適当な報道機関——ロータリーとの関係の有無を問わず——に発表すること；

7) 地区レベルの世界社会奉仕プロジェクトを実施すること；

8) 地区内の世界社会奉仕活動の記録を取り、定期的に地区ガバナーおよび中央事務局へ報告すること。

金銭が含まれるか否かを問わず、地区やクラブから特定の世界社会奉仕活動に関して協力や援助を要請する場合、一つまたは限られた数の地区かクラブを対象とし、全クラブを対象としないならば、財政援助懇請に課された制限条項に制約されないと考えられている。

「世界社会奉仕プロジェクト交換」。R. I. 事務局は、提唱ロータリー・クラブが援助を要請している世界社会奉仕プロジェクトの「登録」を整備している。ロータリー・クラブは2通りの方法でこの登録を活用することができる：

1) 地元地域社会のプロジェクトに援助を

求めているクラブは、プロジェクトの詳細を計画資料書式に記入して提出できる。この書式は、地区ガバナーまたは地区世界社会奉仕委員会を経て中央事務局に送付する。書式が事務局に着くと、そのニュースは公表される。そして、このような種類の援助を提供したいと申請したクラブに伝えられる。

2) 世界社会奉仕計画に援助を提供したいクラブは、情報要請書式に提供できる援助の種類や希望する援助提供地域を記入して提出する。これを受理した事務局からは、一つまたはいくつかのニーズについての情報が送られてくる。情報を要請したことによって、そのクラブが世界社会奉仕計画を引き受ける義務を負うことにはならない。

ロータリー国際理解賞

(The Rotary Award for World Understanding)

ロータリー国際理解賞は、世界のあらゆる人々の切望するに値する理想としてロータリーの奉仕の理想を推奨するような方式で、特に、国際理解、親善、平和の推進において、この理想を実現、実証、浮き彫りにするために設けられた。

指名される個人または有意義な組織または団体は、誰でも、その生活または仕事、模範的かつ推奨するに足る方式で、特に、国際理解、親善、平和の推進において、ロータリーの奉仕の理想を実証した個人または団体でなければならない。

受賞者は特別委員会によって選考される。毎年、授与するには及ばない。選考された候補者の氏名は、R. I. 理事会と財団管理委員会に提出される。両者の承認があって初めて当該個人または団体が受賞者に選ばれる。

財団管理委員会が既にロータリー財団奨学金を授与すると決定した奨学生の中から、10名までの開発途上諸国の奨学生候補者を受賞者が選び、その奨学生は、受賞者の氏名を冠する。

選考後の最初の国際大会または適切であれ

ばもっと早期に同賞を贈る。

世界理解月間

(World Understanding Month)

「世界理解月間」は特別月間として毎年2月に実施される。同月間中、クラブは、世界平和に不可欠なものとして理解と親善を特に強調するクラブ・プログラムと活動を実施し、世界社会奉仕を中心としたプログラムを行うよう要請されている。

世界理解と平和の日

(World Understanding and Peace Day)

2月23日は、最初のロータリー・クラブ会合が開かれた記念日であり、世界理解と平和の日として遵守されている。各クラブは、この日、ロータリーの国際理解と友情と平和への献身を特に認め、強調しなければならない。

国際青少年交換

(International Youth Exchange)

国際青少年交換は、然るべき条件のもとに行われる場合、ロータリー世界の全域にわたって国際理解と親善を促進するのに役立つ立派な活動として評価されるものとなる。

地区ガバナーは、地区青少年交換担当役員を任命するかまたは委員会を設置して年度の初めにこれらの役員または委員長の名簿、氏名を事務総長に報告しなければならない。事務総長は毎年、青少年交換担当役員または青少年交換委員会委員長全員の名簿を出版する。この名簿は、毎年改定され、地区ガバナーおよびこの名簿に載っている人々に送付される。

地区青少年交換担当役員または地区青少年交換委員会は、それぞれの地区ガバナーの監督のもとにおかれ、そして地区ガバナーに報

告をすることになっている。

理事会は、クラブや地区に、青少年交換活動に着手する前に賠償責任問題に関して法律顧問に相談するよう奨励している。この中には、責任保険加入の是非に関する協議も含まれる。

いつでも、またどこでも実行可能な場合、そして派遣、受入双方のクラブまたは地区の間に合意ある場合に、身体障害者を青少年交換プログラムまたはその他の青少年プロジェクトに参加させることが好ましい。

成功を収めた交換プログラムに期間が1学年度未満のものが沢山あること、また、国際理解と親善の増進をはかるためには、必ずしも、プログラムの全部が相互交換である必要はないということが認められている。関係当事者相互の合意により、参考指針(下記に略述)に記載されている責務を当事者以外の人に受け持たせることにしても差し支えない。

国際ロータリー青少年交換プログラムは、ロータリアンの子女のみに与えられた特権ではなくて、ロータリアン、ロータリー・クラブまたは地区が推薦し、後援者となっている者で、必要な資格条件を備えた若い人なら誰でも歓迎している。

交換青少年の人選を慎重にすることが何よりも大切である。派遣および受入両地区の認めている年齢の候補者は、申請書を提出して選考を受けるものとし、選考手続には、クラブおよび地区の各段階で行う本人および両親との面接を含む。

派遣ロータリー・クラブまたは地区は、地元ロータリー・クラブおよびその活動に関する説明を含む、交換青少年と両親の適応指導の準備をするものとする。

交換青少年の両親は、受入ロータリー・クラブまたは地区が十分と認める金額をもって、本人を、その自国出発から帰国までの期間の危険を担保する、疾病、傷害および責任保険に加入させなければならない。ホスト・ロータリー・クラブまたは地区の認めた、確実な1社または数社の保険会社が引き受けた保険契約の証明書類は、すべて、交換の開始

に先立って、ホスト・ロータリー・クラブまたは地区に送達され受理されていなければならない。前記の保険契約は、少なくとも米貨10,000ドルまたはその相当額の医療費、事故死または手足切断の場合に少なくとも米貨5,000ドルまたはその相当額を担保するものでなければならない。

交換青少年の両親は適当な衣料を整え、また、ホスト地区への往復旅費を負担しなければならない。

交換青少年は、両親および関係ロータリー・クラブまたは地区の同意を得ないで、受入ロータリー・クラブの所在する土地の周辺外への旅行をしてはならない。

交換青少年は、事情のいかんを問わず、交換期間中いかなる種類の自動車その他の動力付き車輛も運転してはならないし、またホスト国内で動力付き車輛を所有することができない。

交換青少年とホスト・ファミリーに予定されている家庭とは、交換青少年が自国を出発する前から互いに文通を行うものとする。

ホスト・ファミリーは部屋と食事を提供し、本人の両親に代わって同様の責任を負い、監督しなければならない。

交換青少年とその両親は、派遣および受入ロータリー・クラブまたは地区の定めたプログラムの規定のすべてに同意する旨の承諾書を提出しなければならない。交換青少年は、常時、自己、自国およびロータリーの名誉を傷つけないよう行動し、ホスト・ファミリーの国の生活様式になれるように努めなければならない。そして交換期間中はホスト・ファミリーおよび受入ロータリー・クラブまたは地区の監督と指図を受け、両親と受入ロータリー・クラブまたは地区の間で取り決めた日時と経路によって帰国しなければならない。

プログラムの規定に従わない交換青少年は受入ロータリー・クラブまたは地区により、両親または派遣ロータリー・クラブとホスト・ロータリー・クラブまたは地区との間で取り決めた経路により、できる限り速やかに帰国させられるものとする。

青少年交換活動の関係ロータリアンおよびロータリー・クラブはすべて、交換の取決を行う相手方のグループに対する要望、特に交換学生の選考と適応指導における要望事項が予備的な取決の中に正確に表示されているかを必ず確かめるようにする必要がある。

以下の個条は、高校生を1学年度間派遣するプログラムの場合に限り、上記のものと合わせて適用されるものとする。

クラブおよび地区は、理事会が定め、国際ロータリーより発行される標準書式を使用するよう要請されている。

交換青少年は、関係ロータリー・クラブまたは地区が年齢層につき別段の取決をした場合を除き、海外に滞在する年の初めに15歳から19歳までの者とし、学業成績は平均以上、なるべくクラスの上位3分の1以内の順位にあることが望ましい。交換期間は1学年度とするが、その学年度の直前または直後の休暇の一部または全部を含めた期間に延長することができる。

受入ロータリー・クラブまたは地区は、交換青少年各1名ごとにこれを次々と受け入れていくホスト・ファミリーを、なるべく3、4カ所慎重に選定し、教育費の全額を負担し、適切な学習プログラムの手配をし、顧問ロータリアンを任命し、また絶えず交換青少年と接触を保って、本人をホスト地域社会になじませるようにしなければならない。

受入ロータリー・クラブまたは地区は、関係当事者間で協議決定した適当額の遣給金を毎月支給しなければならない。学校給食のない場合には、その食費を遣給金に加算するものとする。

帰国した交換青少年とその両親とは、地区青少年交換委員会が、交換青少年を各自のものと家庭、学校および地元の社会環境に早く復帰させる目的で開催する報告会に出席するよう勧められるべきものとする。

多地区合同青少年交換プログラム

(Multidistrict Exchange Programs)

各地区ガバナーは、その管轄地区内における青少年交換プログラムを監督し取り締まる責任がある。理事会は、2地区以上のクラブが共同で交換活動またはプログラムを実施するために協力し合うことを望む例があることを認めている。理事会は、そうした協同的努力に何ら反対してはいない。但しその場合、いかなる活動またはプロジェクトも、各関係地区の3つの2のクラブが参加に賛成していること、かつまたそれぞれの地区ガバナーが、事前に、そのような活動またはプロジェクトを実施しこれに参加することについて国際ロータリー理事会の明確な認可を受けていることを条件とする。このような認可の申請に対して理事会は、その一つ一つについてその真価を評価検討するものとする。(44頁の「多地区合同活動」を参照のこと)

各地区ガバナーは、それぞれの地区内における青少年交換活動の育成に全力を尽くさなければならない。同時にまた、地区ガバナーの権限を保持し、かつ、こうした活動によっていかなる個人も金銭的利益を得ることがないようにしなければならない。

多地区合同機関は、関係地区の各ガバナーにより任命された現任の地区青少年交換担当役員より成る理事会によって統制され、その理事長は毎年理事会メンバー中より互選されるものとする。

かような多地区合同委員会は、毎年少なくとも1回、書面によって、委員会の活動および財政状況について関係地区のガバナー全員に報告すべき責任がある。

ロータリー交換青少年の海外旅行

(International Travel by Rotary Youth Exchangees)

いずれのロータリー・クラブも、海外旅行のあらゆる面にわたって事前に慎重な計画を立てられていない限り、海外旅行プログラム

に基づく青少年派遣を援助或はこれに協力すべきではない。特に、旅行する青少年のために身分証明書、紹介状、援助依頼状その他青少年を他国のロータリー・クラブに紹介したりその身分を証明する書類等は、青少年に対する援助乃至歓迎に関し事前に両方のロータリー・クラブ間で完全な協約が取り決められていない限り、これらの書類を準備し携行させることはできない。

いずれのロータリー・クラブも、たとえ他国からの青少年があるロータリー・クラブの後援の下に旅行していることを証明または主張した場合といえども、事前に当該青少年を援助乃至歓迎することをはっきりと承諾していない限り、そうした青少年を援助或は歓迎する義務はない。援助を与える場合にしても、どのように援助するかを決定することは受入ロータリー・クラブの特権である。

ロータリー国際職業人交換

(Rotary Overseas Vocational Exchange)

このプログラムによって、若い成人達はロータリー・クラブ後援のもとに、他国で同種の仕事に従事する機会に恵まれる。理事会は、職業人交換プログラムは国際理解促進の一つの好機として世界中のロータリー・クラブに推奨されるべきプログラムであるとこれを支持する態度を表明している。

国家間の連合会

(Intercountry Meetings)

雑誌、国際ロータリー・ニュースおよび地区および地域の刊行物に連合会の成功例を発表することによって、国家間の連合会を奨励すべきである。このような会合を行うに当たっては、十分な注意が必要であり、かつ、必ず関係地区ガバナーの承認を得て行わなければならない。

国家間のロータリー連合会を準備するに当

たって、開催都市のロータリアン宅へ、海外から訪れる他国のゲストを宿泊させるよう考慮すべきである。これは、他国への通貨流出制限のため生じている問題を解決しうる手段となり、また、開催地区のロータリアンと他国のゲストの間に永続的交流をもたらす役に立つ。

国家間の連合会では、政治的性質を持った世界問題または国際政策に関して決議乃至見解を採択したり配布してはならない。またこれに関して団体行動を起こしてはならない。国家間の連合会は、政治的性質を持った特定の国際問題の解決のために、クラブ、国民、政府に対して嘆願してはならない。また、書状、演説、提案を配布してはならない。国家間の連合会は、公職に対するいかなる候補者も支持または推薦してはならない。また、いかなる会合においてもかかる候補者の長所または短所を討議してはならない。

国家間の訪問

(Intercountry Visits)

外国訪問旅行は大いに望ましいことである。ロータリアンは、可能な時にはいつでも、このような訪問の機会を利用すべきであり、また、これに関連して、地区ガバナーを通じて或はR.I事務局の援助を得て、旅行のコースに当たるクラブと連絡を取り、訪問するよう努力すべきである。

ロータリアン・グループによって、国家間訪問の計画を立てたならば、関係各ガバナーに相談し、ガバナーはまた相互に相談して、受け入れることができるかどうか或はその旅行が妥当かどうかを協議するものとする。

このような訪問がたとえガバナーの間で妥当であると意見が一致した場合であっても、この訪問は国際ロータリーまたはその役員が責任をとるいかなる意味の公式な訪問とみなされることはなく、また、訪問する方もされる方も、明確にそのように指示、或は了解されているのでなければ、その属する地区或は

国家を代表することを示唆してはならない。

国家間訪問の価値が認められていることを考慮して、ガバナーは率先これを推奨してもよく、また、そのために、国際共同委員会或はその他のロータリアン・グループに援助を求めてもよい。

国際共同委員会

(Intercountry Committees)

隣接地区のガバナー、または、共通の倫理的、文化的、物質的關係を有する地区のガバナーは、国際共同委員会を設立するよう要請されている。但し、このような委員会は、国際ロータリーの財政援助なしにその務めを果たすものとする。

言語の上で、また文化的、法律上のきずなによってロータリアンが結束している地域の地区ガバナーは、次のことを行って差し支えない。

1) 互いに協議し、プロジェクトの提唱または推進に協力する。そのプロジェクトは、言語、文化、法律上の特定の状況を考慮に入れても、その地域中にロータリーの綱領を育む役に立つものとする。

2) 共同承認したプロジェクトの実施に当たたるクラブの指導に際し、ガバナーに助言、支援する地区共同委員会を設立し、同地域内の元地区ガバナーや経験豊かなロータリアンの協力を求める。但し、国際共同委員会が運営されている場合、国際共同委員会の組織に当たって、4年以上連続して国際共同委員を務めてはならないという規定を設けるものとする。

国際共同委員会が存在するか或は設置が提案されている場所では、関係している国または近接地区グループの地区ガバナーは、自国と近接国間の国際共同委員会の活動を監督しかつ推進する上に、また自国のクラブと他国のクラブ間の接触を準備する際のガバナー補佐として有資格ロータリアン1名の任命を考慮しなければならない；このようなロータリー

アンの任命に当たっては、国際共同委員会の仕事に継続性を保証するため、3年以上6年以内の任期を与えることを考慮すること。

実行できる場合には、非常に離れている国家間に国際共同委員会および連絡系のコンタクト・クラブを設置することを考慮すべきで

ある。かつこのような国際共同委員会の委員は“パートナー”国への訪問を考えているロータリアンの中から指名されるべきである。

国際共同委員会は、地区ガバナーに対し顧問としてのみの働きをするものとする。

第8章

青少年への奉仕

(Service to Youth)

青少年への奉仕の目標

(Objectives of Service to Youth)

次の目標が、クラブの参考案として承認されている：

1) 大人への成長過程にある青少年に影響を及ぼす都市および農村の状況と要素を実際に即して知り、理解しようとする事。

2) 青少年にとって(a)健康体、(b)均衡のとれた教育、(c)精神的資質の涵養、(d)職業の賢明なる選択および、(e)十分な職業予備教育がいかに重要かを認識すること。

3) ロータリー・クラブ並びに個々のロータリアンに対し青少年関係の活動を奨励すること。ロータリアンは青少年活動の最高の適格者であり、青少年活動を通じて最大の奉仕を行うことができる。

4) 地域社会に対して個人の負う責務を認識することを通じて青少年に善良な市民精神を鼓舞すること。これによってのみ、地域社会の一員たる特権が保持されるのである。

5) 青少年の心の中に世界状況の理解を育み、自国ばかりでなく他国の国民に対しても適正な態度を取るよう推進すること。

6) (a)ロータリアンと青少年との個人的接触、(b)年代の異なるグループ、例えば青少年と成人とか青少年と両親といったグループ間の意思疎通をはかることに関する研究、および(c)他国の青少年との直接、間接の接触を実現するための手段、方法の促進をはかること。

青少年への奉仕プログラム

(Service to Youth Program)

ロータリー・クラブの存在するあらゆる国において、ロータリー・クラブの青少年への奉仕プログラムへの機会は同一でない。しかし、ロータリー・クラブの存在するすべての国に一般的に当てはまる基礎的關係と参考事項があるはずである。均衡のとれた青少年への奉仕プログラムの概要を次に挙げたので、自己のロータリー・クラブが実行できると思われる有益な活動をいくつか見いだせるのではないかと思う：

1. 青少年と親との間に有益な関係を増進する活動

2. 青少年に影響を及ぼしている地域社会状態の調査を行い、その結果として次のような既存団体との協力

- a) 学校
- b) 裁判所
- c) 仮出獄事務を取り扱う事務所
- d) ボーイ・スカウト
- e) 青少年クラブ
- f) 野営場
- g) 運動場

3. ロータリー・クラブに特に適した活動を一つか二つ選択してこれを推進すること、例えば

- a) 青少年の声を聴く会
- b) 「青少年への奉仕」大会
- c) 青少年の後援者となること
- d) 学費貸与資金および奨学資金

ロータリー・クラブは、それぞれの地域社会において青少年への奉仕特別プログラムを採用するよう奨励されている。その際、少年

犯罪防止または地元で現在直面している問題を扱っている既存団体と協力すること。さらに、青少年への奉仕分野において実際的な活動を新たに開始しかつこれを強力に推進することも奨励されている。

クラブおよび個々のロータリアンに、現行の青少年向けプログラムに自ら参加することが益々重要になっている点を喚起する。例えば、職業選択、職業訓練、麻薬濫用、犯罪防止、レクリエーション、市民教育などの分野におけるニーズを減らし、問題を解決することを目的とするプログラム。

若い人達と接触する機会の多い職業のロータリアンは、ロータリー・クラブ例会や委員会会議のときにスピーチをするというやり方によって、自分のもっている青少年問題に関する知識と青少年への奉仕の機会をロータリー・クラブの同僚会員に伝えるようにしていただきたい。青少年への奉仕の機会に対する認識を深めるようにする方法として、時々、例会のときに特にそうした目的のための時間を設ける必要がある。

ロータリー青少年指導者養成プログラム

(Rotary Youth Leadership Awards)

ロータリー青少年指導者養成プログラムは、地区全体にわたり、若い人々とロータリアンを参加させる地区のプロジェクトであり、若い人々の、指導者および善良な市民としての資質を伸ばすことを目的とするものである。

RYLA プログラムは、世界各地で様々な形で行われているが、それぞれ、それを開発した地方を代表するような特徴を備えていることがよくある。しかし、ほとんどのプログラムは、セミナーか指導者キャンプのどちらかの方式に基づく。

どんな方式をとるにせよ、ロータリー青少年指導者養成プログラムは、ロータリアンに、青少年のためにというより、むしろ、青少年

とともに活動するというやりがいのある課題を提供している。また、このプログラムは、現代的諸問題の山積している状況において青少年の指導力を育成する方法として立証済みのものである。

青年功績賞

(Youth Merit Awards)

ロータリー・クラブは、青年が奉仕の精神、信頼性、指導力において優秀性を実証したとき、これを表彰する手段として、青年功績賞を贈るよう奨励されている。

青少年活動月間

(Youth Activities Month)

青少年活動月間は、毎年9月に実施される。この月間中、ロータリー提唱のすべての青少年活動に焦点を当てるものとする。

標語「各ロータリアンは青少年の模範」

(Slogan "Every Rotarian an Example to Youth")

ロータリー・クラブは、この標語を、クラブ会報、特に青少年活動月間中のクラブ会報に、また、青少年活動についてクラブに報告するときに使うよう奨励されている。

青少年への奉仕団体とロータリー・クラブの関係

(Rotary Club's Relationship to Service to Youth Organizations)

青少年への奉仕団体並びに運動と、ロータリー・クラブとの正しい関係についての一般声明を次に挙げる：

1. 一般規定。青少年への奉仕においてロータリー・クラブの持つ最大の機会：第1、青少年に対する地域社会の義務および責任について地域社会が自覚するよう指導すること；第2、地域社会の青少年の必要とするものを発見すること；第3、それら必要なものが関係当局および代行機関によって完全に満たされているかどうかということに注意することである。

2. 接触の方法。クラブの青少年活動委員会は、現存するすべての青少年への奉仕団体と協議し、事業を調整し重複を避けることにできるだけの援助をしなければならぬ。それらの団体と協力するための特別小委員会を設けることが望ましい場合には、それを設置しなければならぬ。

クラブは、諮問委員会を組織し、これを設立するために地域社会ぐるみの活動を開始することもできる。普通諮問委員会は、青少年の幸せに関心を抱く市内の全団体の長によって構成され、地域社会の青少年への全奉仕事業の情報交換所の役割を果たす。

このような諸団体は、通常、次の目標を持っていると思われる：

a) 青少年への奉仕に関心を持つすべての社会団体を力づけ、共通の目的に結集する。

b) 青少年の現在の一般的な状況を説明し、既存団体がこの状況に応えるために何をしているか明らかにする。

c) 青少年への奉仕活動に携わる人の数を、ボランティアと専門職の両者において増やす。そしてこの人達の大会と研修課程の実施を奨励することによって有効性を増す。

d) 青少年関係の立法で、青少年に有益であれば促進し、有害であれば阻止する。

e) 各種既存団体が何をしているか世に示し、また、適切な規模で報道することによって青少年への関心を高める。このようにして全団体への支援を高める。

f) 意見交換の場としての役割を果たす。

g) 活動の重複、二重の努力を防ぐ。

3. 財政的援助。クラブが助力したいと望んでいる団体が資金不足の場合、この団体へ

の一般の人々の支援を獲得するキャンペーンを組むことが方策としては望ましい。すべての人が、この団体とその活動に関心を持てるように他の関係団体の協力を集める。ロータリアンは各自、同種の能力を持つ他の市民が行うと思われるくらい、キャンペーンの成功に寄与するものとする。

4. 新事業発足。既存団体がまだ手をつけていない事業を発足する必要がある場合には前述に類似した方法が取られるべきである。但し、青少年の幸福のために必要欠くべからざる場合を除き、既存青少年奉仕団体とは別個に組織すべきではない。

5. 新たなニーズにいつでも応えられるようにする。クラブは前述の大意に従って行動し、特定の団体のニーズに応える一方、何ものにも束縛されず、必要であればいつでも他方面に手をさし伸べられるようにしておく。

6. 非常事態における緊急援助。疑う余地のないほど価値ある団体、または、地域社会全体で、緊急に救いの手をさし伸べなければならないような事態が生じた場合、クラブが他者の行動に関係なく援助に乗り出しても正当と言える。

7. クラブの単独援助または援助の主力。クラブは、恒久的義務を負わないよう強く戒められている。しかし、クラブが、慎重に考慮した後、新しくかつ恒久的な事業または既存事業に単独、または、主たる責任者になると決定した場合、基金もしくは他の適切な手段によって、このような事業を恒久的に支援する措置を講じなければならない。

青少年障害者

(Handicapped Youth)

青少年プロジェクトに障害者を参加させるべきである。ロータリー・クラブと地区は、障害者への奉仕経験を持つ既存団体に接触し、あらゆる援助を与えなければならない。青少年奉仕団体とクラブの正しい関係に関する声明は、障害者への奉仕団体とクラブの関

係にも適用される。

ロータリー・クラブと地区は、次のことも行うよう奨励されている。

- 1) できれば、青少年障害者にインターアクト・クラブに入会するよう誘う；
- 2) 障害者に職業相談会に参加するよう誘う。そして、この相談会で、障害を持つ労働者または障害者とともに行動している団体の一員に、障害者が学業終了後どのような職業に就けるか話してもらう；
- 3) 青少年障害者に、ロータリー青少年指導者養成プログラムまたはロータリー国際職業人交換 (ROVE) プログラムに参加するよう誘う；
- 4) 障害者に役立つ方法を見いだすため、障害者と関係のある、地元の団体、全国的団体、国際的団体に接触する。そして、このような団体の接触から提起された地元プロジェクトなどに障害者を参加させる。

インターアクト・クラブ (Interact Clubs)

インターアクト・クラブは、奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活動する機会を青少年に与えるために結成される。

インターアクト・クラブに入会できる者は大学課程へ進学直前の1-4学年に在学中の学生または年齢14-18歳までの若人である。

クラブは次の目標を持っている。すなわち、建設的な指導力を養成し、自己の完成を計ること；他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること；家庭と家族の重要性に対する認識を涵養すること；個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと；個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、更には団体としての業績を上げるためにも、各人が責任を負うことがその基本であることを強調すること；すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その

品位と価値を認識すること；地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること；国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また団体として、進むべき道を切り開くこと。

いかなる意味においても、インターアクト・クラブを提唱ロータリー・クラブまたは国際ロータリーの一部または合法的加盟クラブと考えるてはならない。インターアクト・クラブ会員は「ジュニア・ロータリアン」と呼ばれたりみなされぬものであり、ロータリー徽章を使用したり着用してはならない。ロータリー徽章とは異なったインターアクト・クラブ会員専用の徽章が別にある。

インターアクト・クラブは、一つのロータリー・クラブまたは数クラブによって結成され、提唱され、かつ指導監督され、そして所管地区ガバナーによって確認された後、国際ロータリーの証明と承認を得て設立される。その他の方法では、創立することも、維持することもできない。クラブの存続は、提唱ロータリー・クラブの不断の後援と国際ロータリーが継続して承認を与えるか否かにかかっている。

国際ロータリーが設定した機構の下に、提唱ロータリー・クラブは、インターアクト・クラブを結成し、その後指導と助言を与える責任を有し、かつインターアクト・クラブのすべての活動、方針並びにプログラムを完全に統制し、かつ指導監督する。

インターアクト・クラブが学校関係である場合、提唱ロータリー・クラブは、そのクラブに対しては、当該学校当局制定の全学生団体並びに課外活動に関するものと同一の規定並びに方針に従うべきものであることを了解の上、学校当局の完全な協力のもとに、当該インターアクト・クラブを統制し、指導監督するものとする。

国際ロータリーが定めた標準インターアクト・クラブ定款があり、国際ロータリー理事会のみがこれを改正できる。クラブ結成並びに認証の前提条件として、各インターアクト・クラブは、標準インターアクト・クラブ

定款を採択しその後国際ロータリー理事会により採択される全改正条項を自動的に採用しなければならない。

各インターアクト・クラブは標準インターアクト・クラブ定款および国際ロータリーが設定した方針に矛盾しない細則を採択しなければならない。この細則は、提唱ロータリー・クラブの承認を得なければならない。

インターアクト・クラブは、会員が選出される居住地または学校の所在地がその区域限界内にあるロータリー・クラブにより提唱されるべきものとする。但し、国際ロータリー理事会が提唱ロータリー・クラブの区域限界外にインターアクト・クラブの結成を認める旨を文書をもって許可した場合はこの限りでない。

インターアクト・クラブは、次の条件のもとに、二つ以上のロータリー・クラブが共同して結成し、かつ提唱することができる：

1) 地区ガバナーが、慎重に考慮した結果、地区と各関係ロータリー・クラブ並びにインターアクト・プログラムに対する最大の利益が共同提唱によりもたらされることを文書により表明し、承認を与えること。

2) 推薦されるインターアクト・クラブの会員は、各提唱ロータリー・クラブの区域限界内よりそれぞれ相当数選出されること。

3) 個々のロータリー・クラブの提唱により、個々にインターアクト・クラブを結成することが原則であるが、ロータリー・クラブが個々にインターアクト・クラブを結成すると、地域社会内もしくは大学内における単一の青年団を、人為的に分断するような結果を招くおそれがあること。

4) 各提唱ロータリー・クラブから効果的に代表者が送り出されるような合同インターアクト委員会を設立すること。

インターアクト・クラブは次の場合に解散する： a) その定款に従って運営されない場合、或はその他の理由により、提唱ロータリー・クラブの同意、承認、合意の有無にかかわらず、国際ロータリーにより解散させられる場合、 b) 提唱ロータリー・クラブによ

り解散させられる場合、またはc) インターアクト・クラブ自身の決定により解散する場合。

国際ロータリーの方針として、理事会は、国際ロータリー以外のいかなる個人または団体も、営利その他の目的のためにインターアクト・クラブに対して回状を送達する権利を認めない。

地区ガバナーは、インターアクト・プログラムを公表し、新しいインターアクト・クラブの結成を促進し、管轄地区内のインターアクト・プログラムを運営するに際し、その補佐役として地区内各地のロータリアンから構成される地区インターアクト委員会を設置するよう要請されている。地区インターアクト委員会を設置することが可能であり、かつ実行できる場合は、1名乃至数名の委員を再任することにより、委員の継続性を保つよう規定すべきである。ロータリーの地区インターアクト委員会がその任務を遂行する場合に、インターアクト・クラブ会員と協議すれば、有益な結果が得られることと思う。

インターアクト・クラブ会員をロータリー・クラブ並びに地区大会のプログラムに参加するよう招待するロータリー・クラブおよび地区大会は、起こりうる法律上または道義上の義務と責任に対しクラブ乃至地区大会を保護するために、十分な旅行傷害保険および責任保険に加入すべきである。

原則として、インターアクト・クラブは、他の団体の趣旨いかにかわりなく、他の団体に加盟または合併してはならない。

ロータリー・クラブは、教育機関を基盤とするインターアクト・クラブのほかには地域社会に基づくインターアクト・クラブをも提唱するよう奨励されている。

クラブ・レベル以上のインターアクトの組織と会合

(Interact Organization and Meetings Beyond the Club Level)

一つの国際ロータリー地区内に、5以上の

インターアクト・クラブがある場合は、その国際ロータリー地区と境界を同じくし、その中にそれぞれの提唱ロータリー・クラブを包含するインターアクト地区を設定することができる。インターアクト地区内のクラブは、会員の中から地区インターアクト代表を選挙することができる。選挙の方法はロータリー地区インターアクト委員会によって決定されるものとする。地区インターアクト代表は、ロータリー地区ガバナーおよびロータリー地区インターアクト委員会乃至その他の適切なロータリー地区委員会から指導と助言を受けるとともに、地区インターアクト委員会が全地区の会合を準備するのを助け、可能な場合はこれらの会合を司会し、特に地区内におけるインターアクト・プログラムの拡大、強化に関して地区内インターアクト・クラブに助言を与え、激励と刺激を与えて、彼らの関心をインターアクトの世界的規模と、国際理解のためのプログラムの可能性と業績とに焦点を合わせるよう手助けをするのがその任務である。

インターアクト地区が設定されている場合、所管地区ガバナーの承認を得て、地区代表に加えて1名の地区幹事、2名以上のゾーン代表をもって構成される地区組織を設けることができる。各ゾーン代表は一定数のクラブに対して責任を持つほか、地区代表から割り当てられたその他の事項に対して責任を負うものとする。

国際ロータリーの地区内において、相互に便利な土地に存在する二つ以上のインターアクト・クラブは、友情を深め、意見を交換し、刺激を受け、地区内のインターアクト・プログラムを強化、拡大、充実させるため、地区インターアクト委員会の1名乃至数名の委員の助言と指導と出席のもとに、各クラブ代表者の会合を開催するよう奨励されている。距離の関係が許せば、地区インターアクト委員会の指導のもとに、同委員会の委員1名乃至数名が同席の上、かかる会合を地区規模で開催することもできるであろう。

地区規模のインターアクト会合の目的は、

学校および地域社会に対する奉仕に関してインターアクト・クラブを激励し、啓発し、感銘を与えること、および国際理解のためにインターアクトが世界的に発揮しうる能力と業績とに注意を集中させることである。

クラブ・レベル以上のインターアクト会員の会合は、すべて、立法の権限を持たないものとし、かつまた、そのような権限を持っているかのように思われる手続、方法によって会合を準備もしくは運営してはならないものとする。但し、地区レベル或はその他のレベルにおけるインターアクトの管理にたずさわる人々に対して有益な助言となりうるような意見を発表することは差し支えない。

2地区以上、特に2ヵ国以上のインターアクト・クラブ会員の合同会合が可能であれば、これを開くよう勧める。このような会合は、開催地のロータリー地区ガバナーとインターアクト委員会の指導の下に、インターアクト委員1名または数名が出席し、開催地の地区インターアクト代表とインターアクト会長の協力を得て開かれるものとし、国際ロータリー理事会の承認を必要とする。インターアクト・クラブ多地区合同会合の開催についてR.I.理事会に提出する承認申請書には、下記の書類を添付しなければならない。

a) 申請にかかわる会合の開催日時、場所、目的、プログラムおよび参加者を記述したものの。

b) 会合の予算の見積書。会合の開催に伴う契約上および金銭上の義務については主催者が責任者として一切の責を負う旨の保証を付すること。

c) 会合で生じた事故に対する責任の損害を担保するのに十分な責任保険の加入を証明するもの。

d) 申請にかかわる会合の計画および実施がロータリアンの直接監督の下に行われるべきことを保証したもの。

e) 会合の開催される地域に居住している理事または直前理事のその会合の実施計画に対する同意書。

インターアクト・プログラムの資金調達

(Financing the Interact Program)

クラブのプログラム遂行に必要な資金を集めるのはインターアクト・クラブの責務である。インターアクト・クラブの提唱ロータリー・クラブは、インターアクト・クラブに、時折、または、臨時的財政援助以外してはならない。

インターアクト・クラブは、ロータリー・クラブまたは他のインターアクト・クラブに財政援助を広く求めてはならない。インターアクト・クラブは、地元地域社会の個人、業者、団体に、同価値の代償を提供することなしに、財政援助を求めてはならない。

インターアクト・クラブ会員の会費または分担金は極く僅かとし、クラブの管理費を賄える額だけとすべきである；インターアクト・クラブが企てる活動およびプロジェクトの資金は、会費または分担金とは別に、クラブが調達すべきものとする。

インターアクト・ニュース (Interact News)

R.I.事務局は、インターアクト・クラブ提唱ロータリー・クラブのために、また、インター

アクト・クラブ自身のために、時折、ニュースレターを発行している。ニュースレターまたは他の出版物が提唱ロータリー・クラブ経由で配布される場合、関係ロータリアンは、その資料を調べ、それを対象者のインターアクトに必ずタイムリーに渡すようにされた。場合によって、この資料の内容は、インターアクト・クラブと提唱ロータリー・クラブ間の討論の機会となりうる。

インターアクト指導者講習会

(Leadership Training Meeting for Interact)

ロータリー地区は、その地区内のインターアクト指導者のために会期1日の講習会を開くことを奨励されている。この講習会は、インターアクト地区代表の協力を得て、ロータリー地区インターアクト委員会が実施すべきものとする。

国際学生計画並びに青少年交換

(International Student Projects and Youth Exchange)

国際学生計画並びに青少年交換に関するR.I.理事会の方針声明書については、この要覧の国際奉仕の章を参照されたい。

第 3 部

国際的会合

(INTERNATIONAL MEETINGS)

第 9 章—国際大会

第 10 章—地域大会

第 11 章—協議会

第 12 章—研究会

第 13 章—規定審議会

第 14 章—会議運営手続規則

第9章

国際大会

(Convention)

R. I.国際大会は、毎年5月または6月に、理事会の決定する時と場所において、開催される。但し十分な理由があれば、理事会はこれを変更することができる。

国際ロータリーの年次国際大会の主たる目的は、国際的レベルにおいて、全ロータリアン、特に、次期クラブ会長、国際ロータリーおよびロータリー・クラブの次期役員を、鼓舞、激励しかつ情報を与え、これによって地区レベルおよびクラブ・レベルにおけるロータリーの発展を活発に推進しようとする意欲を起こさせようとするものである。年次国際大会は、また、国際的連合体の年1度の会合であり、連合体の業務を執り行う。

各ロータリアンに出席資格があるとともに、各ロータリー・クラブは国際大会に代議員を送ることができる。クラブ会員*50名ごと、または、その過半数の端数につき1名の代議員を送るものとする。各クラブは、少なくとも1名の代議員を送ることができる。また、委任状による代理者によってクラブを代表させることもできる。役員および元会長で、現在もロータリー・クラブでシニア・アクティブ会員籍を有する人は、特別代議員である。

国際大会開催地

(Site of the Convention)

R. I.国際大会は、同一国におけるR. I.国際大会開催頻度に関する決議を時折採択してき

* 1～50名まで	1人
51～75名まで	1人
76～125名まで	2人
126～175名まで	3人
176～225名まで	4人
226～275名まで	5人

た。同一国において3年連続国際大会を開くことができない、と1970年国際大会で決議され、今日に至っている。

理事会が国際大会開催地を決定する。理事会が、国際大会が開かれる地域を決め、発表する。さらに、国際大会を開くことのできる国(々)、時には(諸)都市を具体的に指示する場合もある。開催地はクラブからの大会招致を考慮して決められるのが普通である。

大会の招致

(Invitations to Hold Convention)

自分のクラブの所在する都市において国際大会を開催することを希望するクラブは、事務総長より入手した大会招致申込書を提出する。理事会は国際大会招致を申し出たクラブからの委員とか代表を迎え入れることはせず、事務総長に郵送された書面による国際大会招致申込を受け取った後、もし必要と考える場合には、招致希望のあった都市を調査するために人を派遣する。

国際大会におけるクラブの代表

(Club Representation at Convention)

国際大会におけるクラブの代表に関する規定は、国際ロータリー定款第8条および細則第7条にある。

国際大会の都度、投票に参加するのは各クラブの義務であり、代議員をR. I.国際大会に出席させるか、有資格者に委任状を与えることによって投票に参加する手配をしなければ

ならない。

クラブは国際大会に1名の代議員を送るよう要請されている。しかし、不可能であれば、四つか五つの小クラブが協力し、そのいずれかのクラブの1名の代議員の費用をぜひ分担してほしい。この代議員が、自分の所属クラブ以外のクラブの派遣員の務めを果たし、国際大会の報告を行えるようにするためである。

各代議員（または補欠者および委任状による代理人）の資格は、信任状によって証明されなければならない。クラブが国際大会に出席することを公式に認められるためには、その代議員は、信任状を大会開催地の信任状委員会に提出し、その投票用紙に査証をしてもらわなければならない。いかなる代議員も、その登録料が支払われているか或は支払われるまで、そしてその信任状が信任状委員会によって承認されるまでは投票することを許されない。

信任状の用紙は、代議員の出発前に記入署名を終えて本人に渡すことができるよう十分の余裕を見て、各クラブの幹事宛郵送される。

選挙管理委員会

(Balloting Arrangements Committee)

各国際大会において会長は、選挙人の中から、会長の決定した5名以上の選挙人から成る選挙管理委員会を設置する。この委員会は、すべての投票の準備、投票用紙の印刷と配布および投票の集計の任にあたる。この任務は、国際大会で投票が必要になった場合その他の票決を要する場合にも適用される。

国際大会における投票

(Voting at Convention)

正当な信任状を持つ代議員、委任状保持者、および特別代議員は、国際大会の選挙体を構成するものとし、これを選挙人と称する。投

票は、国際ロータリー細則の規定に従って行われるものとする。(R.I.定款第8条第5節) 投票手続

国際大会の投票は口頭で行われる。但し、役員 の 指名、選挙について細則に別段の規定のある場合と、R.I.細則、第8条、第1節、(d)項と(e)項に詳述されている例外規定を除くものとする。

単一移譲式投票

大会において選挙される理事或はその他の役職に、3名以上の候補者がいる場合は、これらの候補者に対する投票には、単一移譲式投票が用いられる。このような候補者の氏名の記載順序は投票用紙ごとに変えなければならない。

単一移譲式投票の実施方法

3名以上の候補者がいる場合、各選挙人は1票の投票権を有し、それが次のように「ふりかえ」られる仕組になっている。

1) 前記選挙人は、投票用紙上の、自分が第1に選んだ候補者の氏名に隣接する空欄に1という数字を記入する。この欄に1という数字が書かれた票が「第1選択投票」である。

2) 選挙人は、前項に認められた1という数字のほかに、二番目に選挙したいと思う候補者の氏名に隣接する空欄に2という数字を記入し、第三番目に選挙したいと思う候補者の氏名に隣接する空欄に3と書く。以下同様に、自分の最も希望する候補者が落選した場合に選びたいと思う順序に従い、候補者に番号を付して行くのである。従って選挙人は候補者の数と同数だけ自分の選択希望を表明することができるわけである。

過半数の票を得た候補者が当選したものとされる。いずれの候補者も過半数の票を得られない場合には、第2選択投票以下の選択票を加算して過半数の票を得た候補者を、当選者として発表する。

投票の数え方の一例を次に挙げる。

A, B, C, Dと4名の候補者がおり、その内1名が選挙されることになっている。第一選択投票をA, B, C, Dの四つに分けて数える。この第1回の計算において誰も総投票数

う金額を国際大会登録料に加算すべきかまたは除外すべきかを決定するものとする。

国際大会議事録

(Convention Proceeding)

印刷、製本された国際大会議事録が、R.I.の加盟クラブ、理事会指定のR.I.役員およびその他の人に贈呈される。但し、理事会は追加部数を用意し、理事会の定めた価格で、理事会の指定した対象範囲内の人に販売することができる。

国際ロータリーの国際大会

(Conventions of R.I.)

年度	場所	月日	登録者数
1910	シカゴ	(イリノイ州) 8月15日~17日	60
1911	ポートランド	(オレゴン州) 8月21日~23日	149
1912	デュールス	(ミネソタ州) 8月6日~9日	598
1913	バッファロー	(ニューヨーク州) 8月18日~21日	930
1914	ヒューストン	(テキサス州) 6月22日~26日	1,288
1915	サンフランシスコ	(カリフォルニア州) 7月18日~23日	1,988
1916	シンシナティ	(オハイオ州) 7月16日~20日	3,591
1917	アトランタ	(ジョージア州) 6月17日~21日	2,588
1918	カンザス・シティ	(ミズーリ州) 6月24日~28日	4,145
1919	ソールトレーク・シティ	(ユタ州) 6月16日~20日	3,038
1920	アトランティック・シティ	(ニュージャージー州) 6月21日~25日	7,213

の過半数に達しない。Cの得票が一番少ないのでCを除外する。Cの得票で、数字2が付されている候補者のそれぞれの得票に、その票を加えていく。

しかしこのように票を移譲しても、残り3名の候補者の得票がいずれも過半数に達しない。そこで、第2回目の計算で最下位になったBを除外する。従ってBの得票を投票者の示す選択数字に従ってAとDの得票にそれぞれくり入れる。C候補は既に除外されているからこの場合は無視し、次にAとDとどちらを選択しているかを見る。この移譲すなわち第3回の計算の結果Dが明らかに多数を得た。

全部の選択を記入していない投票は、記された選択の分だけ数えることにし、それ以外のものは移譲できないから無視することにする。

“×”は第1選択の表示とみなされる。一つの投票用紙に“1”または“×”を二つ以上の氏名に付してあるものは無効とする。

得票が同数になった場合 何回目の計算にせよ、得票が同数になった場合には、選択票の数とその相対的価値によって結果を求めることになる。すなわち、第2回目の計算においては第1選択の数の一番少ない候補者、第3回目の計算においては第1および第2選択の数の一番少ない候補者を除外して行けばよい。

登録料

(Registration Fee)

国際ロータリー細則の規定によれば、国際大会に出席する16歳以上の者は、必ず登録の上登録料を支払うことになっている。登録料は国際ロータリー理事会によってその都度定められる。選挙人は、登録料を支払わない限り投票することはできない。

理事会は、毎年開催する国際大会の計画に関連して、国際大会登録者が国際大会開催地での交通乃至その他の特別活動に対して支払

1921 エジンバラ (スコットランド)	1940 ハバナ (キューバ)
6月13日~16日 2,523	6月9日~14日 3,713
1922 ロサンゼルス (カリフォルニア州)	1941 デンバー (コロラド州)
6月5日~9日 6,096	6月15日~20日 8,942
1923 セントルイス (ミズーリ州)	1942 トロント (カナダ・オンタリオ州)
6月18日~22日 6,779	6月21日~25日 6,599
1924 トロント (カナダ・オンタリオ州)	1943 セントルイス (ミズーリ州)
6月16日~20日 9,173	5月17日~20日 3,851
1925 クリーブランド (オハイオ州)	1944 シカゴ (イリノイ州)
6月15日~19日 10,216	5月18日~22日 403
1926 デンバー (コロラド州)	1945 シカゴ (イリノイ州)
6月14日~18日 8,888	5月31日, 6月5日~12日~19日 141
1927 オステンド (ベルギー)	1946 アトランティック・シティー (ニュージャージー州)
6月5日~10日 6,412	6月2日~6日 10,958
1928 ミネアポリス (ミネソタ州)	1947 サンフランシスコ (カリフォルニア州)
6月18日~22日 9,428	6月8日~12日 14,678
1929 ダラス (テキサス州)	1948 リオデジャネイロ (ブラジル)
5月27日~31日 9,508	5月16日~20日 7,511
1930 シカゴ (イリノイ州)	1949 ニューヨーク (ニューヨーク州)
6月23日~27日 11,008	6月12日~16日 15,961
1931 ウィーン (オーストリア)	1950 デトロイト (ミシガン州)
6月22日~26日 4,296	6月18日~22日 6,949
1932 シアトル (ワシントン州)	1951 アトランティック・シティー (ニュージャージー州)
6月20日~24日 5,182	5月27日~31日 8,453
1933 ボストン (マサチューセッツ州)	1952 メキシコ・シティー (メキシコ)
6月26日~30日 8,430	5月25日~29日 6,804
1934 デトロイト (ミシガン州)	1953 パリ (フランス)
6月25日~29日 7,377	5月24日~28日 10,107
1935 メキシコ・シティー (メキシコ)	1954 シアトル (ワシントン州)
6月17日~21日 5,330	6月6日~10日 8,015
1936 アトランティック・シティー (ニュージャージー州)	1955 シカゴ (イリノイ州)
6月22日~26日 9,907	5月29日~6月2日 14,312
1937 ニース (フランス)	1956 フィラデルフィア (ペンシルベニア州)
6月6日~11日 5,790	6月3日~7日 10,003
1938 サンフランシスコ (カリフォルニア州)	1957 ルサーン (スイス)
6月19日~24日 10,432	5月19日~23日 9,702
1939 クリーブランド (オハイオ州)	1958 ダラス (テキサス州)
6月19日~23日 9,241	

1959 ニューヨーク (ニューヨーク州)	1973 ローザンヌ (スイス)
6月7日~11日 15,475	5月13日~17日 17,187
1960 マイアミ・マイアミ・ビーチ (フロリダ州)	1974 ミネアポリス・セントポール (ミネソタ州)
5月29日~6月2日 11,354	6月9日~13日 10,015
1961 東京 (日本)	1975 モントリオール (カナダ・ケベック州)
5月28日~6月1日 23,366	6月8日~12日 12,975
1962 ロサンゼルス (カリフォルニア州)	1976 ニューオーリンズ (ルイジアナ州)
6月3日~7日 22,302	6月13日~17日 13,935
1963 セントルイス (ミズーリ州)	1977 サンフランシスコ (カリフォルニア州)
6月9日~13日 10,779	6月5日~9日 14,168
1964 トロント (カナダ・オンタリオ州)	1978 東京 (日本)
6月7日~11日 14,661	5月14日~18日 39,834
1965 アトランティック・シティー (ニュージャージー州)	1979 ローマ (イタリア)
5月30日~6月3日 9,368	6月10日~14日 14,429
1966 デンバー (コロラド州)	1980 シカゴ (イリノイ州)
6月12日~16日 12,929	6月1日~5日 18,309
1967 ニース (フランス)	1981 サンパウロ (ブラジル)
5月21日~25日 19,362	5月31日~6月3日 15,222
1968 メキシコ・シティー (メキシコ)	1982 ダラス (テキサス州)
5月12日~16日 11,840	6月6日~9日 13,558
1969 ホノルル (ハワイ州)	1983 トロント (カナダ・オンタリオ州)
5月25日~29日 14,453	6月5日~8日 16,250
1970 アトランタ (ジョージア州)	1984 バーミンガム (英国)
5月31日~6月4日 10,803	6月3日~6日 開催予定
1971 シドニー (オーストラリア)	1985 カンザス・シティー (ミズーリ州)
5月16日~20日 16,646	5月26日~29日 開催予定
1972 ヒューストン (テキサス州)	1986 ラスベガス (ネバダ州)
6月11日~15日 13,287	6月1日~4日 開催予定

第10章

地域大会

(Regional Conferences)

地域大会は、知り合いと理解を育成・推進し、意見の交換の場を提供するために開催される。一般方針として、地域大会はどの地域においても、5年に1回を超えて開催しないものとし、また、その開催地は同じ年に開かれる国際大会から相当離れた土地でなければならないものとする。地域大会は、国際大会の開催地となる可能性のあるようなところとはかなり遠い地域にいるロータリアンに、あまり費用をかけないで国際ロータリーの会合に出席できる機会を与えるために開かれるものでなければならない。

このような地域大会は、毎年規則正しく開催される行事というより臨時的出来事であり、従って、地域大会招致には、その大会を開く特別の事由を付記するという前提のもとで、地域大会の日程を定める。

地域大会の開催地を選定する際次の諸点を考慮に入れること：

1) 「主要な出席地域」内に少なくとも1万名のロータリアンが居住していなければならない——その地域とは、ロータリアンが大した費用を負担せず大会開催地まで旅行することができ、従って大多数の出席者が期待され、かつ、大抵の場合実際に出席する地域を言うのである。

2) 国際大会が、地域大会会期の前後2年間、その地域で開かれる予定がない。

3) 開催都市は、地域大会の独立採算性のためにも3,000人を超す出席者を収容できる設備を持っていなければならない。国際大会開催有望地と両立しないため、できれば、その収容能力は10,000以下であること。

4) 「主要な出席地域」内に居住するロータリアンは、国際大会へ大した費用を負担せず

に旅行する機会がこれまでなかったか、または数年のうちに予定されていないこと。

5) しかも、最少限2千名のロータリアンの出席が期待できること。

当該都市は、国際ロータリーへ何らの負担をかけることなく、大会の本会議にふさわしい、適当で便利な公会堂並びにその他の会議のために同様な会議場を準備するよう期待されている。いかなる都市のロータリー・クラブも国際ロータリーが使用する会議場の室代またはその他の経費を負担するというのではなく、地域社会としての都市がかかる設備を備えているか、または市当局、或は商工会議所、旅行協会、または事業家やホテル業者等の類似の団体が、必要であれば会議場資金を配慮すべきであると考えられている。地域大会の立案と開催を援助するための資金予算は、R. I. 国際大会について、現在行っている方法と同一の方法で行われる。

地域大会は必ずしも毎年開くには及ばない。ある年に地域大会を開くことが適切かどうかは、大会出席地域内の要望、他の国際ロータリー活動を考えた上での大会の適否、大会開催に関する他の状況を考え合わせた上で決められる。

理事会は、地域大会を開催する決定は、これを、開催予定期日の3年前よりも早く、5年前よりも遅い時期に行うようにすべきであるとする意見であり、従って、将来いろいろなロータリー地域において開催すべき地域大会の予定表を作成するようなことはしない。

地域大会の財務

(Regional Conference Financing)

国際ロータリーの地域大会は、経済的に自立すべきものと期待されている。

地域大会組織の手続規則

(Rules of Procedure for Organizing Regional Conferences)

A. 組織 (Organization)

国際ロータリー理事会は、随時、大会を催すべき都市および日時について決定を行い、大会開催の通知を発し、地域大会委員会を設置し、かつその委員長を指名する。

国際ロータリー会長は、大会の議長（主宰すべき役員）となる。

国際ロータリー事務総長は、地域大会および地域大会委員会の事務局長となるものであるが、中央事務局の職員を指名してその任務を代行させてもよい。

地域大会に出席のロータリアンは、立法機関を構成しない。従って、国際ロータリーまたはロータリー・クラブを拘束するような決議を行うことはできない。

理事会は、地域大会の開催期日より少なくとも1カ年前に大会開催の通知を発することになっている。

地域大会委員会

(Regional Conference Committee)

地域大会委員会を設置するに当たっては、理事会は、地域内に含まれる各国の特異性を考慮に入れる。大会委員会は、国際ロータリー理事会に対し、他の誰にも委嘱されていない部面すべてに関し責任を負うものであり、大会の特別方針を定め、大会のプログラムを起草して理事会の承認を受けるものとする。大会委員会は、本会議、部会、余興等を含む承認済みのプログラムの細目の実施、並びに他の誰にも委嘱されていないその他すべての事項に対する責任を持つものとする。

ホスト・クラブ実行委員会として知られて

いるホスト・クラブの地元準備委員会の監督管理の責任は、大会委員会が負うものとする。

国際ロータリー事務総長

(General Secretary, R. I.)

国際ロータリー事務総長は、広報、財務、会場の選定と設備、出席の促進、登録、ホスト・クラブとの協力等運営上のあらゆる任務に対し第一の責任を負うものである。事務総長は、運営上の多くの任務を遂行するに当たって、ホスト・クラブの協力を要請する。また、プログラムおよびその関連事項に関して、大会委員会に協力し、大会の運営については、理事会に対し、第一の責任を負うものである。

国際ロータリー地域大会幹事

(Conference Manager, R. I.)

国際ロータリー地域大会幹事は、事務総長の代理人であって、事務総長が第一の責任を持つ運営上の多くの業務を代行する。

ホスト・クラブ (Host Club)

ホスト・クラブは、来訪ロータリアン並びに来賓を歓待する責任がある。歓待計画はすべて国際ロータリー地域大会委員会の承認を受けなければならない。

ホスト・クラブは、国際ロータリー事務総長と協力して、事務総長が第一の責任を負っている運営業務の多くを遂行する。

B. ホスト・クラブよりの大会招致

(Invitation from Host Club)

地域大会を招致したいクラブは、希望する大会の開催予定期日の少なくとも36カ月前に、事務総長の手許まで大会の招致状を提出しなければならない。この招致状に添付する説明書に含まれるべき事項は次の通りである：

1. 地域大会開催予定の会場並びに収容能力。但し国際ロータリーまたはロータリー・クラブへ負担をかけずに使用できるか否かを明記のこと。

2. 利用できる一級および二級ホテルの室数およびその宿泊料の範囲。

3. 地域大会の開催月に関する希望とその理由を述べた書状。国際ロータリーとしては10月乃至11月を希望しているが、少なくとも9月15日から1月15日までの間に開催しなければならない。

クラブまたは地区からの地域大会開催の申込書の受理については、添付すべき契約書も含めて、すべて国際大会招致に関して定められたものと同一の規則、手続が適用される。

この諸規則には、次のような明確な方針が含まれている：

1) 理事会は、ホスト・クラブ地域が地域大会を支援すると明記した招致状を優先する。地区の決議またはその他によって、地域大会直前の1月現在のホスト・クラブ地域のロータリアン総数に等しい同地域からの登録によって支援を表明した招致状を優先する；

2) 理事会が、ホスト・クラブの区域を含む地域を定め、これがホスト地域とみなされる；

3) ホスト地域のクラブに所属するロータリアンは、地域大会をホストすることに関連して、特別な出費を招くことを考慮して、理事会は、ホスト地域の特別登録料を定めることになっている。その額は、他のロータリアンの登録料より約25パーセント低くなると思われる；

4) 登録誓約を報告する地区大会その他の決議は、ホスト・クラブ招致を継続審議するためにも、開催日の60カ月前までに事務総長に受理されなければならない；

5) ホスト地域のクラブまたは地区大会の決定でこのような登録支援が撤回された場合、理事会が、その地域大会開催地の継続審議を行うかどうか決めるものとする。

出席

(Attendance)

世界のどの地域のロータリアンも地域大会

に参加できるが、地域外のクラブからの出席を得るために特に努力する必要はない。

余興

(Entertainment)

余興は地域大会開催国または地域の郷土色豊かなものであるべきである。趣味がよく、経費をあまりかけないもので、専門的になる必要はない。

地域大会に関する広報

(Public Relations for Regional Conference)

理事会は、地域大会のプログラムを立案するに当たって、プログラムの広報面に力を入れるべきであると考えている。そうすれば、はっきりとした広報目標がその地域で達成されるし、その上、地域大会を広く報道することによって、ロータリーの全体的知名度も高まる。

地域大会

(Regional Conferences)

今までに開催された地域大会および今後開催が予定されている地域大会は次の通りである。

開催時期 登録者数

開催時期	登録者数
太平洋地域	
ホノルル、ハワイ……1926年5月	433
東京、日本……1928年10月	568
シドニー、	
オーストラリア……1930年3月	736
ホノルル、ハワイ……1932年6月	335
マニラ、フィリピン……1935年2月	220
ウェリントン、	
ニュージーランド……1937年3月	312
シドニー、	

第10章 地域大会

オーストラリア……1956年11月	1,940	南アメリカ	
メルボルン,		バルパライソ, チリ……1936年3月	331
オーストラリア……1981年11月	4,461	サンチャゴ, チリ……1960年11月	1,655
アデレード,		モンテビデオ,	
オーストラリア……1986年11月		ウルグアイ……1969年12月	2,667
欧州, 北アフリカおよび東地中海地域		ブエノスアイレス,	
ハーグ, オランダ……1930年9月	763	アルゼンチン……1983年9月	2,900
ローザンヌ, スイス……1933年8月	700	(概数)	
ベニス, イタリア……1935年9月	1,514	カリブ海—メキシコ湾	
ストックホルム,		ハバナ, キューバ……1937年3月	500
スウェーデン……1938年9月	1,513	サンファン,	
オステンド, ベルギー……1954年9月	1,576	プエルトリコ……1966年11月	1,666
カンヌ, フランス……1959年9月	2,264	カラカス, ベネズエラ……1985年11月7—9日	
アムステルダム,		中央アジア	
オランダ……1965年10月	2,421	ベナン, 海峽植民地……1938年4月	170
ローマ, イタリア……1970年11月	3,187	アジア	
イエーテボリ,		デリー, インド……1958年11月	2,913
スウェーデン……1980年8月	585	ソウル, 韓国……1979年9月	9,096
		マニラ, フィリピン……1984年11月13—17日	

第11章

協議会

(Assemblies)

国際協議会

(International Assembly)

国際協議会は毎年通常国際大会の開かれる前に開催される。1985年より、2月—3月に開かれる。R.I 管理において最も重要な国際会議である。協議会は、ガバナー・ノミネーの数および居住地を考慮して、便利がよく経済的な場所で開かれる。

目的 (Purpose)

この協議会の目的は、役員および委員長が、国際ロータリーおよび各クラブの次年度の事業活動を協力して協議計画できるようにすること並びにロータリー教育と管理上の任務に関する指導を行い出席者間の親睦をはかる機会を与えることである。

とりわけ、国際協議会は次のことを行う：

- 1) 地区ガバナー・ノミネーを刺激し、意欲を与える；
- 2) 会長が発表した国際ロータリーのテーマと国際ロータリーの新プログラムの説明と実施；
- 3) 地区ガバナーが国際ロータリーの継続中のプログラムと活動を実施する効果的な方法；
- 4) クラブと地区の指導者に情報を伝え、訓練し、意欲を与える実務的技術。

参加者

(Participants)

協議会は、会長、副会長、並びにその他の

理事、もしあれば会長ノミネー、および理事ノミネー、事務総長、財務長、地区ガバナー・ノミネー、R.I.B.I.役員ノミネー、国際ロータリー各種委員会委員長および理事会が指定するその他の者から成る。

国際協議会は特別の目的を持った会合なので、出席者は前記参加者とその近親者に限定されている。

経費支弁条件

(Expense Limitation)

国際協議会に出席する参加者その他の者の経費は、協議会への全期出席を果たした人に対してのみ支払われる。但し、やむを得ぬ事情（不可抗力の旅行遅延、病気など）がある場合は、会長が一般規定の例外として支払を許可できる。

文献の配布

(Distribution of Literature)

国際協議会の参加者に配布される文献その他の資料は、国際ロータリーによって出版されまたは配布されるものに限られている。その他による文献、資料の配布は許可されていない。

第12章

研究会

(Institutes)

国際研究会

(International Institute)

理事会の判断で、国際ロータリーの元役員と現役員のための研究会を開催できる。研究会は毎年開かれるのが一般的である。この研究会は、国際協議会と同時期に開催されるのが慣例であり、できれば、同一の場所、設備、条件のもとで開催される。

国際研究会の目的

(Purpose of the International Institute)

国際研究会により、現役員と元役員は、ロータリー計画とプログラムを深く知り、そのため、所属クラブと地区に有益な人物として自己の価値を高める機会に恵まれる。研究会は、また、国際ロータリー元役員と現役員の意見を聴く機会を現指導者と次期指導者に与えることによって、ロータリーの現在および次期指導力に寄与する。

国際研究会の参加者

(Participants at the International Institute)

国際研究会は、国際ロータリーの現役員と元役員およびその近親者のすべてが参加できる。場所の都合により、出席を制限しなければならない場合もある。理事会は、出席者数を考慮して、現および元役員の中で優先すべき人を定めることができる；その他の場合は、申込順に登録する。

国際研究会と国際協議会の関係

(Relationship of the International Institute to International Assembly)

国際協議会と同時期に国際研究会を開催することにより、研究会参加者は、教育的で感銘深い特別の機会に恵まれる。場所の都合がつけば、国際研究会参加者は、本会議の催しに出席できる。

国際研究会の経費

(Expenses of the International Institutes)

国際研究会は、通常、参加者の費用を負担しない。理事会が認めた準備費、つまり、組織とプログラムと指導力関係の費用のみを支弁する。

地域／ゾーン研究会

(Regional／Zone Institutes)

理事会は、ロータリーの様々な地域で、または、多地域で、或は地域内の一つまたは二つ以上のゾーン内で、研究会を開くことを承認している。特別な事情があれば、一つのゾーン内で二つ以上の研究会を開催できる。

地域／ゾーン研究会の目的

(Purpose of Regional／Zone Institute)

研究会プログラムの主たる目的は、参加者と現職のロータリー指導者との情報と意見の

伝達である。研究会の議題とプログラムによって、次の機会が生まれる。

- 1) すべての参加者に、ロータリーの奉仕活動および運営事項に関する精確かつ最新の情報を与えること；
- 2) 現在行われているロータリーのプログラムを分析し、強化し、拡充すること；
- 3) その地域のロータリーに特に関連のある問題を研究すること；
- 4) 将来におけるロータリーの使命について考察すること。

地域／ゾーン研究会の参加者

(Participants at Regional/Zone Institute)

地域／ゾーン研究会は、研究会の対象範囲の地域に居住している R.I. の元、現、次期役員の出席と参加を目的とする会合である。

地域／ゾーン研究会の重要性

(Importance of Regional/Zone Institutes)

R.I. 会長と理事会と事務総長は、R.I. の現、元、次期役員、完全かつ知識に裏付けられた支援と協力を必要としている。ロータリー研究会は、このような支援、協力、理解をもたらす重要かつ有益な伝達手段の役割を果たす。

地域／ゾーン研究会承認手続

(Procedures for Authorizing Regional/Zone Institutes)

国際ロータリーの種々の地域またはゾーンに居住している理事は、関係地区ガバナーと協議して、一つまたは二つ以上のロータリー研究会を催す必要があるかどうか決定し、その必要のある場合は、研究会開催の申請をする。研究会は、理事会の承認を得て招集することができるものとし、承認は、会長が理事会に代わってこれを行う。

会長は、ロータリー研究会の開催を承認するに当たって、ロータリー研究会に招請すべき国際ロータリーの現役員、元役員および次期役員にかかわる地域の地理的範囲を指定する権限を有するものとする。

参加すべき者の旅行に要する距離或は言語上の困難などの理由で、一つのロータリー研究会のみをもってしては知識の習得や討議に所期の成果を収めることができなと思われるような地域、ゾーン等については、国際ロータリー会長は、なるべく多数の国際ロータリーの現役員、元役員および次期役員を参加させる目的で、二つ以上のロータリー研究会の開催を認めることができるものとする。

地域／ゾーン研究会の招集者

(Convener of Regional/Zone Institutes)

研究会の目的に鑑み、一つまたはいくつかの研究会の開催の承認を受けた地域またはゾーンの理事は、研究会に出席することが非常に望ましい。また、会長は、研究会の開催承認の申請をした理事を、その研究会の招集者として指名する。そして、通常は、研究会ごとに1名の理事がその招集者となることになっているが、言語、地理その他特殊事情によりその必要のある場合には、会長は、同じ地域またはゾーンの理事2名を招集者として指名することができる。さらに、会長は、やむを得ない事情があるときは、関係理事と協議のうえ、当該地域またはゾーンの元理事、もしそのような人が得られない場合にはその他の国際ロータリーの現役員もしくは元役員で招集者としての資格を備えた者を、研究会の招集者に指名することができる。

研究会の開催承認の申請をした理事は、その研究会の招集者になると否にかかわらず、研究会の議題およびプログラムの責任者となるものとするが、研究会の準備および推進については、会長は、その任務を、当該地域またはゾーン等の元理事またはその他の現役員もしくは元役員の有資格者に委任するこ

とができる。

地域／ゾーン研究会の経費

(Regional/Zone Institute Expenses)

国際ロータリーの現、元、次期役員のための地域／ゾーン研究会は、経済的に自立ベースで開催しなければならない。理事会が特に認めた経費以外は R.I. は負担しない。

地域／ゾーン研究会プログラム

(Regional/Zone Institute Program)

毎年、理事会は、研究会の目的と参加者の

特別資格条件とを十分勘案のうえ、時機を得た、適切、妥当なテーマを設定形式に作成したものを一覧表につくり、研究会の開催が認められた地域またはゾーンの理事が研究会の議題およびプログラムを作成するときに、その中から選び出すことができるように準備しておくべきものとする。

報告

(Reports)

ロータリー研究会の都度、その報告は、理事または研究会の招集者に指定された人によって会長と事務総長に提出され、理事会のメンバーに回付される。

第13章

規定審議会

(Council on Legislation)

規定審議会は、国際ロータリーの立法機関であり、3年ごとに開かれる。

立法とは、組織の特質を変え、広範囲にわたる諸方針を採択し、組織の団体意志を別の形で表明することのできる方法である。立法手続には、審議会会議と、審議会後クラブが審議会の採択した制定または決議に反対意思を表明する機会が含まれる。国際ロータリーの定款に影響を及ぼさない決定は、審議会の開られない年、または審議会の会期後には、国際大会でこれを行うことができる。

審議会が開催される都度、各地区内のクラブは、代表議員を1名選ぶ。この代表議員と、無地区クラブ50につき1名の代表議員(R.I.会長が任命する)が審議会の投票権を有する議員である。このほかに、投票権を有しない議員として、議長、副議長、議事運営手続の専門家(parliamentarian)、R.I.会長、理事会の会長以外のメンバー、R.I.元会長全員、事務総長を10年以上務めた人、定款・細則委員会委員が特別議員を務める。

規定審議会は、理事会の定めた時と場所において開かれる。理事会が別段決定しない限り、同一地域において2年続けて開くことはできない。代表議員の旅費の一部は、国際ロータリーの資金で賄われる。

審議会は、副議長と議事運営手続の専門家の援助を得て議長が司会する。三者とも、審議会開催の年に会長が任命する。審議会が開かれる年のR.I.定款・細則委員会委員は、審議会の「特別議員」を務める。投票権を有しない議員として、立法案件の提出・審議の法解釈面に関する任務と責務を負う。各審議会は、その手続規則を採択する権限を有する。

審議会は、審議会に提出された立法案件す

べてを審議し、決定を下す。その決定は、R.I.細則に規定されているように、その後のクラブの議決にのみ従う。立法案は、制定案または決議案という形で審議会に提出される。国際ロータリーの定款もしくは細則、標準ロータリー・クラブ定款を改正する意図を持つ立法案件は制定案である。決議案は、単に意見を表明するか、もしくは組織規定を改正することなしに国際ロータリーの方針または手続を設定または廃止する案件である。

立法案を提出しうるものは、クラブ、地区大会、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの審議会もしくは大会、規定審議会および国際ロータリー理事会である。制定案は、規定審議会が開催されるロータリー年度の前年度の5月1日までに事務総長に送達されていなければならない。決議案は、規定審議会が開催される日の30日前までに受理されていなければならない。

正式に受理された全制定案は、審議のため審議会に回付されるが、R.I.細則は、理事会が立法案すべての本文を点検することを定めている。制定案が専門的見地から見て妥当でない場合、無効とみなされ、その旨提案者に通知される。提案者は提案を改正し、それを有効なものとする機会を与えられることになる。

決議案がR.I.のプログラムの「枠内のものでない」と理事会が決定した場合は、審議会へ回付されない。決議案がこのようにして撤回される場合は、審議会の開会に先立ち、提案者にその旨通告する。そして、提案者は、理事会の決定を覆し、決議案を審議するために、審議会に請願する機会を与えられる。

制定案提出締切後、制定案すべてとその時

点で受理した決議案すべてを記載した立法案集を出版する。この立法案集は1部、各ロータリー・クラブに送付される。クラブは、注文すれば追加部数入手できる。立法案集は英語版のみ刊行される。英語以外の言語を使用している地域では、該当する言語の一つで書かれた立法案要旨を添付する。既に出版されている立法案の修正および出版後提出された決議案は、その年の後半に刊行される一乃至二以上の補足に収録される。

審議会終了後、議長は、審議会が採択した全立法案に関する審議会決定報告を事務総長に回付し、事務総長は、次いで、これをクラブに送付する。その時点で、各クラブは、立法案採択における審議会の決定に反対の意思を1票投じる機会を与えられる。75名を超す会員数を有するクラブは、直前の7月1日現在の会員実数に基づいて2票以上の投票権を有する。投票権を有する総投票数のうち10パーセント以上が反対の意思表示をした場合、当該立法案に対する審議会の採択は無効とされ、国際ロータリーの次の国際大会に提出され、国際大会に出席し投票する代議員が審議し、最終決定を行う。

規則制定と決議の効力

(Enactment and Resolution in Effect)

規定審議会で採択した制定の結果は、現行の組織規定に記載されることになっている。決議は、審議会の決定報告に記録される。そして効力を保ち続けるか、所期の目的を果たし効力を失うか、のいずれかの道をたどる。R.I.理事会は、一定の期間のみ施行される決議もしくは後の決議によって補足された決議と対比させつつ、どの決議が現に効力を有するかを随時決定する権限を有する。理事会がこの権限を行使して行った決定は、そのような決定がなされた年の国際大会で会長または事務総長が報告することによってクラブ会員に伝えられる。

クラブの代表議員

(Representative of Clubs)

各地区において、1名のロータリアンが選ばれ、審議会で、その地区内のクラブを代表する。この選挙は、審議会が開かれるロータリー年度の直前ロータリー年度に開かれる地区大会で行われるのが普通である。代表議員がその務めを果たせない場合に備えて、補欠議員もそのとき選ぶ。

補欠議員および代表議員は、国際ロータリーの役員か元役員（または特別な事情の下では地区ガバナー・ノミネー）で、自分が代表する地区内のロータリー・クラブの名誉会員以外の会員でなければならない。ロータリアンが、審議会におけるクラブ代表議員となることを認められるためには、審議会におけるクラブ代表議員としての資格要件および任務をよく調べたうえ、次のことをしたため、これに署名した書面を、事務総長に提出しなければならない。

- 1) 審議会におけるクラブ代表議員の資格要件、任務および責任をはっきりと心得ていること。
- 2) 前記の任務と責任を引き受け、それを誠実に履行するための資格要件、熱意および能力をもっていること。
- 3) 審議会の会議に、その会期の全部を通じ、出席すること。

いかなるロータリー・クラブも、地区内のクラブを代表する、資格を備えた候補者を指名できる。地区大会に出席する各選挙人は、審議会におけるその地区のクラブ代表議員の選挙に1票を投ずる権利を与えられるものとする。最高票数を得た候補者をその地区の審議会議員とする。第2位の票数を得た候補者を補欠議員とする。

補欠議員は、代表議員が務めを果たせない場合、その任につく。両者とも務めを果たせない場合、ガバナーは、地区内の資格を備えたロータリアンをもう1名任命して、その務めを果たさせる。

クラブは、地区代表議員に、求めうる最も

適格で最も経験のあるロータリアンを選ばなければならない。

代表議員の任務は、国際ロータリー細則に明確に記載されている：

- 1) 地区大会やその他の地区会合で、立法案を討議すること；
- 2) ロータリーの問題に関する現在の自分の地区内の意向をよく知っておくこと；
- 3) 審議会に提出された制定案および決議案のすべてに批判的な考察を加え、審議会に自分の見解を的確に伝えること；
- 4) 国際ロータリーの公正な立法当務者として行動すること；
- 5) 審議会の会議に、会期の全部を通じて出席すること；
- 6) 審議会終了後、審議会で行われた審議について地区内のクラブに報告すること。

審議会会議に備えて代表議員が準備する、その予備知識を提供する力になるため、また、全体的に立法過程を強化するため、できれば、立法年度には地区大会の本会議のうち少なくとも1回は、立法案の討議を含めるよう理事会は勧めており、また、地区ガバナーに立法案の検討と討議のための地区の特別会合を準備するよう奨励している。また、クラブは、案件と審議会の決定を話し合うため、他クラブと自由に接触することが認められている。これは、このような接触を通常制約している国際大会決議80-102の規定の例外である。

立法案の検討と討議のために手配された地区の特別会合に、地区のクラブ代表議員を招待しなければならない。立法案を論理的に理解すること、そして地区代表議員に自分が代表するクラブの総意を理解させることがその目的である。

立法案の提出方法

(How to Propose Legislation)

ロータリー・クラブが立法案を提出する場合、その案件は、クラブの理事会より会員に提出され、正式に採択されたものでなければ

ならない。それから、その案件は採択されたことを証明するクラブの会長および幹事の署名した書簡を添えて事務総長に送付されなければならない。この書簡に、立法案が提出されるに至った事情となる理由や事実を詳しく述べる、注意深く作成された説明を付記しなければならない。

地区大会が立法案を提出することを決定する場合、ガバナーおよび地区大会幹事が国際ロータリーに対して行う地区大会公式報告の中に、これに関する報告も含めるようにしなければならない。

所定の期日までに提出された制定案のすべては、審議会に回付される。制定案は、規定審議会の開催される年度の前年度の5月1日までに、事務総長の許に届いていなければならない。制定案は理事会で点検され、理事会は、R.I.の定款・細則委員会の勧告に基づいて、明らかに提案を無効、不適切にする提案の解釈上不適当な個所につき、提案者に勧告する。

決議案は審議会が開かれる30日前までに、クラブおよび地区大会から受理されていなければならない。決議案がR.I.のプログラムの枠内のものでないと理事会が決定した場合は、審議会へ回付されない。しかし、提案者が審議会議員の3分の2の同意を得ることができれば、その決議案は審議に付される。決議案が撤回される場合は、審議会前にその旨提案者に通告する。

規定審議会の審議に付されるために、立法案を適切な様式で作成することは、一般的に、提案者の責任である。制定案の不適当な個所に関する勧告のほか、理事会は、クラブおよび地区の要請があれば、制定案を提出する前に、定款・細則委員会が、制定案の案文の起草、訂正および修正を援助することを認可している。

様式

(Format)

事務総長が次のような様式で立法案を受理する場合、その立法案は提出条件に最も適しているものと言える。

制定案

(簡潔に提案の要旨を書く) _____

_____の件

提案者 _____

(規定名)、第 ____ 条、第 ____ 節の(改正箇所を記載)は、_____を追加/削除し、次のように変えることにより改正されると国際ロータリーは制定する：(新本文を記載)

PROPOSED ENACTMENT

To (state in concise form purpose of proposal)

Proposed by _____

IT IS ENACTED by R. I. that (Document), Article ____, Section ____, be and hereby is amended by striking out _____ and substituting therefor the following: (indicate new text).

決議案

(簡潔に要旨を書く) _____の件

提案者 _____

国際ロータリーは次のように決議する：

(以下決議文を記載)

PROPOSED RESOLUTION

To (state in concise form purpose of proposal)

Proposed by _____

IT IS RESOLVED by R. I. that (and then give the resolution).

支持および反対

(Support and Opposition)

立法案の提案者は立法案件を補足する1頁以内の情報提出するよう要請されている。同情報は事務総長により審議会議員へ回付される。立法案に反対する情報を審議会の議員へ提出しようとするロータリアンは、かかる情報を審議会議員に回付してもらうために事務総長へ、これを提出することができる。但し、この情報は1頁以内に制限し、かつ、審議会が開かれる年の事務総長が定める締切日までに提出するものとする。

理事会に対する建議案

(Memorials to the Board)

立法案を作成するに当たり、クラブもしくは地区大会はR. I.理事会へ建議案を提出するという方法を考慮したいかもしれない。建議案という形で提案され、より効果的にその目的が達成される場合もいくつかある。

しかし、ロータリー・クラブもしくは地区が組織規定の改正が必要もしくは望ましいと考える場合、かかる改正をもたらす立法案は、理事会でなく当該クラブもしくは地区から提議されるべきであると理事会は考える。

第14章

会議運営手続規則

(Rules of Procedure)

国際ロータリー理事会は、国際ロータリーの諸会議で用いる以下の会議運営手続に関する規則を推奨している。この規則*は、国際ロータリーの定款・細則の諸規定を補足することを目的としたものであり、本来、規定審議会および国際大会で立法案の各案件の審議および表決を行う場合に用いるものである。しかし、この規則は、前記以外の国際ロータリーの会議における議案の討議、表決にも用いることができる。

会議運営手続規則

(Rules of Procedure)

国際ロータリーの会議に用いる会議運営手続規則を以下の通りとする。

第1節 定義 (Definition)

会議運営手続規則中に使用されている一定の用語の定義を次のように定める。

- A. 「議員」——会議に参加する資格を有するすべての者。
- B. 「出席投票議員」——賛成または反対の投票を行う議員。投票を棄権する議員は、出席投票する者とは認めない。
- C. 「過半数の投票」——出席投票議員の投票

* これらの手続規則において、「代議員」という用語は、それが用いられる場合に応じて、国際大会におけるクラブ代表の選挙人、規定審議会における地区代表議員およびその他の議員、並びにこの規則が用いられるその他の国際ロータリーの会合における正式に権限を与えられた代議員のことをいうものとする。また「会議」という用語も、場合に応じて、国際大会、規定審議会またはその他の国際ロータリーの諸会合を指すものとする。

の過半数。

D. 「3分の2の投票」——出席投票議員の投票の3分の2。

E. 「日程」——会議に提出される案件の審議時間または討議の制限に関し、会議が過半数によって採択した議事進行に関する手続。

F. 「会議」——国際大会、規定審議会その他の国際ロータリーの会議。

G. 「代議員」——国際大会で各クラブを代表する選挙人、規定審議会のクラブ代表議員その他の議員、およびその他の国際ロータリーの会議で代議員としての正式な資格を有する者。

H. 「定足数」

1) 規定審議会——審議会議員として投票権を有する議員の3分の1をもって定足数とする。出席が定足数に満たないときには、一定の時刻までの休憩(同じ日に再開する場合)または一定日までの休会(後日に延ばす場合)を決める以外には、立法事項に関するいかなる決定も行うことができないものとする。

2) 国際大会——国際ロータリーの全クラブ数の6分の1を代表する代議員および委任状による代理者をもって、国際大会のすべての会議の定足数とする。

3) その他の国際ロータリーの会議——当該会議の議員として投票権を有する者の3分の1をもって定足数とする。出席が定足数に満たないときは、休憩または休会を決める場合以外のいかなる決定も行うことができないものとする。

I. 「規定審議会の投票権を有する議員——その投票権に対する制限」——投票権を有する各議員は、投票に付せられた各案件ごとに1

票のみを投ずる権利を有するものとする。

J.「規則制定」——国際ロータリーの定款もしくは細則または標準ロータリー・クラブ定款を改正することを規則制定という。規則制定は、(1)クラブ、(2)地区大会、(3)グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの審議会または大会、(4)規定審議会および国際ロータリー理事会から、これを提案することができる。制定案の提出は下記の書式によることを要する。

制定案

(提案の要旨を簡潔に示す) _____ の件
提案者 _____
(規定名)、第 _____ 条、第 _____ 節の(改正箇所を記載)*は、 _____ を追加/削除し、次のように変えることにより改正されると国際ロータリーは制定する：
(新本文を記載)

PROPOSED ENACTMENT

To (state in concise form purpose of proposal)

Proposed by _____

IT IS ENACTED that (indicate document to be amended) Article _____, Section _____, be and hereby is amended by striking out _____ and substituting therefor the following: (here indicate new text).

制定案の経緯、趣旨およびその正当性などについての説明をここに付記する。

制定案は、その提出が事務総長に対する提出期日に関するすべての要件に合致して行われ、そして、その内容が国際ロータリーのプログラムの枠内にあり、かつ国際ロータリーの定款および細則並びに標準ロータリー・クラブ定款の規定の趣旨に沿ったものでなければならぬ。

*制定案による改正に伴って改正を受けることとなるすべての規定に注意すること。

K.「決議」——会議が、その意見を表明するか、或は国際ロータリーの定款もしくは細則または標準クラブ定款の改正をしないで方針または手続を制定または改廃するためにする決定は、決議という形で行われる。決議案の提案は、制定案を提出しうるすべての立法関係の集団で行うことができるものとし、その提出は、その提出期日に関するすべての要件に合致して行われなければならない。決議案の提出は下記の書式によることを要する。

決議案

(提案の要旨を簡潔に示す) _____ の件
提案者 _____
国際ロータリーは次のように決議する：
(以下決議文を記載)

PROPOSED RESOLUTION

To (state in concise form purpose of proposal)

Proposed by _____

IT IS RESOLVED that (and then give the resolution).

決議案の経緯、趣旨およびその正当性などについての説明をここに付記する。

L.「国際ロータリーのプログラムの枠内」——ロータリーの綱領並びに国際ロータリーの意図と目的に合致していること。

M.「本文中の不備な箇所」——制定案またはその他の議案の本文中の必要な個所の全部について、関係条文の書き改めが行われていないこと。

第2節 動議の種類 (Kinds of Motions)

動議には本動議と会議運営手続に関する動議との2種類がある。この規則に別な定めのある場合を除き、動議はすべて過半数によって成立するものとする。

第3節 動議の提出 (Offering of Motion)

すべて会議に上程された案件の議事に入るには、まず代議員から、会議がある表決を行うとか、またはそのもっているある見解を表明することを提案する「動議」を提出する。動議を提出するには、代議員が起立して議長から発言の許しを得た後、自己および所属クラブ(または地区)を明らかにしたうえで、「議長、私はこれこれの動議を提出いたします」と言う。この動議に対してはもう一人の代議員の「賛成」が必要である。賛成者は起立して議長から発言の許しを得てから、自己および所属クラブ(または地区)を明らかにしたうえで、「議長、私はこの動議に賛成いたします」と言う。このような発言が直ちに議場から表明されなかった場合には、議長の方から賛成者を求めることができる。

第4節 討議 (Debate)

議長が動議の提出があったことを報告するまでは、その動議に関する討議を始めることができない。

議員は、議長から発言の許しを得たうえで、自己およびその所属クラブ(または地区)を明らかにした後に初めて発言をすることができる。本動議の提出者には、議題に関して冒頭の論述を行う権利が認められ、提案理由の説明に5分間、応答に3分間の時間が与えられるものとする。

討議の場合、各議員は、会議の許可を得て行う場合を除き、同じ問題について2回を限り発言が認められるものとする。但し、その問題についてまだ発言をしていない議員で発言を求めている者がいる限り、2回目の発言をすることはできない。議員の発言は、議事日程または出席投票議員の過半数によって別に定めた場合を除き、1回に5分を超えないものとする。

上程されている議案の提案者がその代理者として指名したロータリアンであれば、たとえその会議の代議員でなくても、討議を行う権利が与えられる。この権利は、当該議案に関する限りにおいてのみ認められるものとする。

この規則中に定められている制限時間は、提案者の代理者にも適用されるものとする。

第5節 本動議——定義 (Main Motions——Defined)

主たる動議または本動議とは、会議の表決の対象となっている原議案のことをいう。こうした動議が提出され、賛成を得、議長からその報告が行われると、その動議の処理が終わるまでは、自由に他の問題や他の本動議の審議を行うことができないこととなる。但し、本動議の審議または討議中であっても、本動議に優先することとなっている会議運営手続に関する動議は、これを提出することができる。従って、他のいかなる表決にも先んじてその処理をしなければならない。

第6節 本動議の表決 (Action on Main Motions)

A. 制定案または決議案に関する本動議およびその表決は、次の形のいずれかによるものとする。

- 1) (原提案の通り) 採択する。
- 2) (原案の修正の仕方を精確に示す) … ことにより修正して採択する。
- 3) 提出者の意思に基づき撤回する。
- 4) 撤回されたものとする。この決定が行われた場合は、会議の定める特定の指示を付してこれを国際ロータリー理事会に付託する。
- 5) 否決する。

B. 制定案または決議案を(原提案の通りまたは修正を付して)採択することとする動議の採決が行われた場合において、その動議が成立しなかったときは、当該制定案または決議案は否決されたものとみなす。

C. 制定案または決議案を否決する、とする動議の採決が行われた場合において、その動議が成立しなかったときは、当該制定案または決議案はなお審議継続中のものとし、議長は当該制定案または決議案に対してとるべき

措置について、動議の提出を促すものとする。
D. 議長から次の議事日程に関してとるべき措置について動議を提出することを議場に促す発言があった場合において、議場から何らこれに応ずる動議が提起されなかったときは、議長は、当該日程にかかわる案件はこれを撤回されたものとみなす旨の発表をするものとする。

E. ある議案について本動議が提出され、それに対する賛成があったときは、その賛成者の承諾を得ない限り、それを撤回することができるものとする。賛成の行われる前であれば、議案の提案者はその提案を撤回することができる。撤回には賛成者を要せず、また討議も修正も行うことができない。

第7節 規定審議会前における修正——その効果 (Amendment Prior to Council on Legislation——Effect of)

規定審議会または国際大会において、審議会に付せられる案件が制定案または決議案である場合に、その提案者が、当該制定案または決議案について修正の意向を、その修正の正文を添付した書面をもって、事務総長に申し入れており、そして事務総長が、代議員のために、会議招集の30日前までに、前記提案者の意向および修正の正文を公表していたときは、まず当初に提出された形のままの制定案または決議案を審議することとする動議を代議員から提出することを要せず、提案者または特に指名された代議員から、前記の申入の通りに修正された形の制定案または決議案の審議を求める動議を提出することができるものとする。

第8節 会議運営手続に関する動議——優先順位 (Procedural Motions——Order of Precedence)

以下、会議運営手続に関する動議をその優先順位に従って掲げる。

A. 休会：この動議は、次の場合を除き、い

つでも提出することができる。

- 1) 議長の発言中。
- 2) 採決が行われている時。
- 3) 休会動議が否決された直後。
- 4) いきなり中止することのできないような議事の進行中。

再開の日時と場所とを定めてそれまで休会することとする動議の場合は、討議および修正を行うことができる。その他の休会の動議については討議も修正も行わない。

B. 休憩：この動議は、議事の合間に、例えば食事のため、或は日程の議事を終えて次の会議を開くまで、休憩しようとする場合に用いられる。この動議については討議を行わない。

C. 特権の問題に関する動議：特権の問題は、会議または各議員に認められている権利および特典に関するものである。次の問題が特権の問題に属す：会議の構成に関するもの；会議場の暖房、採光、換気とか、或は騒音その他会議の妨げとなるようなものの防止など、議員のための好適な環境の保持に関するもの；会議に出ている役員や議員の行動に関するもの；議員の規則違反その他の非行に対する懲罰に関するもの；傍聴人や訪問者の行動に関するもの；公表された報告書または議事録の正確性に関するもの。会議に関する特権の問題は、議員の特権の問題に優先する。個人的な特権の問題は、議員としての個人に関するものでなければならない。

D. 議事進行手続に関する異議：この動議は、議長の裁定とか会議運営手続規則の違反に対して注意を喚起したり、抗議をしたりする場合に用いられる。この動議は、他議員の「賛成」を必要としない。この動議は「議長、議事進行手続について異議があります」という形をとる。議長は「ご異議の点についてご説明願います」と言う。その議員が問題について述べ終わると、議長は次のように答える。

1) 「ご異議の趣旨はよく承りました」

または

2) 「ご異議の趣旨は了承できません」。

もしこれに納得のできない議員があれば、

その議員は、本節Lの「異議の申立——その手続」に述べられている手続に従って、議長の裁定を票決に付することとする動議を提出することができる。

E. 審議保留：この動議は、審議なかばの問題の審議をしばらく中止することにしたいという場合に用いられる。この動議は、その時にまだ審議の済んでいない付帯的な動議や附随的な問題のすべてに優先する。この動議については討議も修正も行わない。但し、審議保留を求める動議の提出者が、採決の前に、質問に答えるのは差し支えないものとする。

F. 審議再開：先に審議保留とした案件を取り上げて審議を再開することとする動議。この動議については討議も修正も行わない。但し、審議保留を求めたもとの動議の提出者が採決の行われる前に質問に答えるのは差し支えないものとする。

G. 先決問題 (討議終結)：審議中の問題の討議を終結させる動議。この動議については討議を行わない。また修正もできない。問題についてすでに発言をしている議員はこの動議を提出することができない。動議の提出は次のような形で行われる。「議長、私は、(ここに、会議の審議、決定を求めて上程されている動議の名前をあげる)の審議を打ち切り、直ちに本案の採決を行うこととする動議を提出いたします」。議長が、十分に討議されたと判断したならば、この討議終結の動議の可否を次のように語る。「それではここで本議案の採決を行うこととしますか」。

もしこの動議が出席投票議員の3分の2の多数で成立した場合には、討議を打ち切るものとする。討議が打ち切られた場合でも本動議の提出者は本規則第4節に従って3分間応答する権利を有する。それが済むと直ちに審議に付せられている議案の採決をしなければならぬ。

H. 審議延期：上程されている議案の審議を一定の日時まで延期することとする動議。この動議は、発言が行われているときを除き、いつでも提出することができる。また討議および修正を行うことができる。

I. 委員会付託：議案を委員会に付託してさらに検討を加えたい報告させることとする動議。この動議は討議および修正を行うことができる。

J. 修正：審議中の動議に修正を加えようとする場合に用いられる動議。

1) 修正の動議そのものは修正することができるが、その修正をさらに修正することはできない。

2) 修正にかかわる問題と密接な関係のないもの；単に、否定の形をとっている原案を肯定の形をした同じ趣旨のものに修正するに過ぎないもの；同じ会期中に既に決定をみた問題と同一内容のもの；実質的な内容に変更なく単に修正の形式を別な形式に変えるもの；動議の形式を別な形式に差し替えるだけのもの；制定案から「制定する」という文言を、または決議案から「決議する」という文言を削除するだけのもの；何ら意味のある修正を提案したことはならないような文言を削除または挿入するもの。以上のような修正の動議はいずれも提出することができないものとする。

3) 修正案の修正は、本動議の議案のみならず、修正案の内容とも密接な関係がなければならぬ。修正に名を借りて別な新しい問題を持ち込むようなことをしてはならない。

4) 修正案の採決：原議案に対する修正が提案されたときは、まずその修正案の採決を行う。修正案に対する修正が提案された場合には、まずその修正案に対する修正案を採決してから、原議案に対する修正案の採決を行う。次に、原議案について、原提案の通りとか、修正案の通りとか、修正動議の結果に応じた形による採決を行う。

K. 再審議：一度通過した動議を再審議することとする動議は、同日または翌日の会議中に提出されなければならない。この動議は、多数側に立って投票した議員が次のような形で提出することを要する。「議長、私は多数側の1人として投票した者ですが(動議等の名前)が可決されたことについてそれを再審議する動議を提出いたします」。動議についての

発言は、動議に賛成の者2名、反対の者2名に限り許されるものとし、これらの発言が終わったあと直ちに採決を行うものとする。各発言者の意見の陳述には5分間の時間が与えられる。この動議の成立には3分の2の賛成投票が必要である。再審議という動議が支持された場合、その正式動議の審議は、承認済み審議日程の最後に置かれるものとする。

1. 異議の申立——その手続：議長の行った決定に対しては、本節Dの「議事進行手続に関する異議」の場合の議長の裁定も含め、すべて異議の申立の動議を提出することができる。但し、ほかに異議の申立があってその処理がまだ済んでいない場合はこの限りでない。この動議は、議長の裁定が行われた時にもみ提出しうるものとする。この動議は他の議員の発言が行われているときでも提出することができる。もし何かほかの発言や議事が間に入ってしまうと、もはやこの動議の提出はできないことになる。異議の申立の動議は特権の問題に関する動議には優先できない。異議の申立の動議については、討議をすることができるが、修正できない。

議長が、異議申立の問題について発言する場合には、議長席に着いたままで、自分の行った決定についてその理由を説明することができる。理由の説明には3分間を与えられる。議員の発言はいずれも1回限りとする。但し、討議が終わったときに、決定に対する反対意見に答える場合の議長についてはこの限りでない。各議員の動議に関する発言は3分間とし、議長が決定に対する反対意見に答えようとする場合には、それに対して5分間を与えられる。問題は「議長の決定を支持されますか」という言葉で議長に問いかける。それから投票の呼びかけがあって、採決となる。

投票の結果が可否同数となった場合には、議長が支持されたことになる。議長が当該会議で投票権を行使することのできる議員であった場合は、議長または司会者の決定は過半数によって覆されない限りその効力を失わないとする原則に基づいて、議長自ら可否同数とするための投票をすることができる。

第9節 賛否分離方法による採決 (Division of Vote)

議長は投票結果を発表する。もし発表されたものの正確さについて疑念を抱く議員があれば、その議員は直ちに「賛否分離方法による採決」を要求すべきである。

この方法による採決の要求があった場合または議長がその判断でこの方法によることを必要と認めたときは、議長は直ちに計算係を任命しうえ、再び採決を行わなければならないが、この場合には、賛成側の起立を求めてこれを数え、次に、それが着席してから反対側を起立させてこれを数える、という方法による。議長は計算係からの報告を発表するものとし、この発表をもって最終とする。

第10節 全員委員会 (Committee of the Whole)

会議が案件を委員会に付託することを望まない場合、または会議がこのままで審議するのには問題に関する理解が十分でない場合、その他何らかの理由で、これを会議の定めるところに従ってもっと自由に審議することが望ましいとされる場合、会議は正式に提出され、賛成を得、成立した動議によって、「全員委員会」に移行することができる。

「全員委員会」移行の動議が成立すると、議長は直ちに議員の1人に委員長席に着くことを求めたうえ、自らは議場の議員の中に座を占める。

この委員会では提出できる動議は、「修正する」または「採択する」とするものと「委員会は閉会し、報告をする」とするものだけに限られる。

全員委員会に移行する前に、委員会での審議に会議で定めた一定の制限を付するか、または委員会の審議を一定の時間までとして打ち切るようにするか、或はその両方とするかを投票によって決めることができる。もし何らの制限も設けられていない場合は、いずれの議員も許される限り何回でも発言し、また、

によって採決する。

修正の処理が終わったら、議長は修正された現在の形のもをを発表する。

「全員委員会」の議事は会議の議事録には載せないが、後日の会議での利用を考えて、その記録をとっておくようにしなければならない。

第11節 規定審議会——関係規則

(Council on Legislation——Special Rules Concerning)

A. 議事順序——規定審議会の議事は次の6段階から成る。

- 1) 審議会が開かれた場合、最初の議事は、審議会の信任状委員会が事前に行う、定足数を満たす出席の確認に関する報告である。
- 2) 第2の議事は、定足数の出席が立証されたあと、事務総長から、審議会の審議を求めて正式に提出された制定案および決議案を審議会に回付することである。
- 3) 第3の議事は、国際ロータリー細則第9条第10節(e)項の規定に基づく国際ロータリー理事会の決定により、審議会に回付されなかった決議案に関して提起されている一切の問題を審議することである。
- 4) 議事の第4は、審議会が留意する必要がある案件を審議すべき順序について勧告をしている委員会の報告を受理してこれを検討し、審議会の留意を必要とする二、三の案件について、その審議の順序および日程を取り決めることである。
- 5) 議事の第5は、事務総長から回付を受けた制定案および決議案の審議である。この審議は審議会があらかじめ決定した順序に従って行い、いったん採用されたその順序は、過半数によるほか変更することができないものとする。
- 6) 最後の議事は、審議会の信任状委員会から最終報告を受けることである。

B. 規定審議会の運営

- 1) 信任状の査証を済ませてから正式に議

そのたびごとに与えられた時間だけ発言をすることができる。但し、同じ問題について発言を希望しているながらそれをまだ果たしていない議員がいる場合は、2回目または続けて発言をすることができない。

討議が会議の定めた一定の時間をもって打ち切られた場合は、たとえ全員一致の同意をもってしても、「全員委員会」には時間を延長する権限がないものとする。

「全員委員会」は、案件をほかの委員会に付託できず、また、付託を受けた議案の原文に変更を加えることもできないが、しかし修正を提案することができるものとし、委員会はこれを会議に報告し、改めてその審議を求めなければならない。

委員会が付託された議案の審議を終えた場合、または委員会が散会するかもしくは会議にその審議を打ち切らせたいと思う場合には、審議の結果を明記した報告書を作成したうえ、「委員会は閉会し、報告する」とする動議を提出する。この動議については、討議をすることも、また修正をすることもできないものとする。

この動議が採択されると、議長は議長席に着き、「全員委員会」の委員長はもとの議員席に戻る。次に委員会の委員長は次のように述べる。「『全員委員会』は(ここで制定案、決議案その他の議案名をあげる)について審議を遂げ、それについて修正意見を付したの(または、付さないもの)を報告することを私に命じました」。但し、これは委員会が結論を得た場合のことである。委員会が結論に達することができなかった場合は、委員長は次のように述べる。「『全員委員会』は(ここで議案名をあげる)の審議を行い、それについて結論に達することができなかったことを報告するよう私に命じました」。

修正意見の付せられていない報告が行われたときは、議長は直ちに「全員委員会」が報告した通りのものを発表する。

修正意見を付した報告の場合は、その修正について討議および修正を行うことができ。そして、「修正」の動議の場合と同じ方法

第14章 会議運営手続規則

席を与えられた審議会の議員は、審議会の全会期を通じて議員を務めるものとし、代理を任命する権利を有しない。

2) 制定案または決議案の提案者は、議長が動議の提出を求める前に、議案の審議を審議会に求める動議の提出者となる議員をあらかじめ指名しておくか、或は理事会に対し、特別議員に前記の動議を本人に代わって提出させることを要求することができる。前記の指名は、議案が上程される前であればいつでも行うことができ、議長はその指名された議員に動議の提出を求めるものとする。特別議員に命じて前記制定案または決議案の審議を求める動議を提出させることを要求する場合には、これを書面にして、審議会の会議の始まる少なくとも5日前に、事務総長に提出しなければならない。

3) 会長は、国際ロータリー細則の規定に従い、規定審議会の開かれるロータリー年度の早い時期に、審議会の議長および副議長を任命する。また規定審議会が開かれる前に、細則に規定されている、無地区クラブを代表する議員一、二名を指名するものとする。

審議会の議事は議事録に記録するものとする。

審議会は、随時休会したり、開いたりすることができる。

審議会の起草委員会は、審議会特別議員となっている定款・細則委員会の委員長および委員、並びに審議会議長で構成する。定款・細則委員会の委員長は起草委員会の委員長となるものとする。

起草委員会は次の任務を行う。

1) 審議会から命ぜられた立法案の案文の書き直し、立法案またはその修正案中の矛盾した個所に必要かつ適切な訂正を加えた案文の起草を行い、これを審議会に報告

すること。

2) 審議会の報告書を作成すること。

第12節 国際大会——関係規則

(Convention——Special Rules Concerning)

国際ロータリー細則に規定してある通り、各種委員会の報告、国際大会に寄せられた通信、制定案および決議案並びにこれらに対するすべての修正案、および国際ロータリーの会議運営手続規則によって討議できないこととなっているものを除くすべての動議は、国際大会の議場において討議することができる。但し、国際大会が、その時の出席投票選挙人の投票の3分の2の多数をもって、討議を用いないでこれら処理すべきことを決定した場合はこの限りでない。

国際大会において、いったん成立した動議を再審議する動議を提出する場合には、成立した動議を議決した日と同じ日の大会の正式会議においてこれを行わなければならない。

国際大会において、国際ロータリー定款の規定に関する改正案または同規定を含む改正案を投票に付する場合、これを採択するにはその時の出席投票選挙人の投票の3分の2を要するものとする。

第13節 その他の事項 (Matters Not Covered)

以上の規則に定められていない事項については、議長が公正を基本とした判断によってこれを決定するものとし、議員はこれに対して異議の申立をすることができる。この規則について、矛盾する点、はっきりしない点、或は疑問の点が認められた場合には、国際ロータリーの定款および細則にその解決を求めるものとする。

第4部 ロータリー財団 (THE ROTARY FOUNDATION)

第15章—組織および目的

第16章—プログラム

第17章—財務および表彰に関する事項

第15章

組織および目的

(Organization and Purpose)

国際ロータリー定款（第10条）と細則（第19条）に規定されているロータリー財団は、1917年の国際大会によって発足した。1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州の法令のもとに非営利財団法人となった。

財団の目標

(The Objective of the Foundation)

ロータリー財団の目標は、博愛、慈善、教育または人道的という特質を持つ明確かつ効果的なプロジェクトの促進を通じて、様々な国の国民の間に理解と友好的関係を助長することである。

管理委員の任命と組織

(Appointment and Organization of Trustees)

R. I. 細則（第19条）の規定によると、会長が、理事会の承認を得て、13名の管理委員を任命する。

財団細則の規定によると、管理委員会は、管理委員が構成メンバーとなる委員会と小委員会およびそれぞれの任務を決定する。管理委員会委員長が、その委員会と小委員会の委員と委員長を任命する。

その委員会の名称と委員の氏名は公式名簿に記載されている。

ロータリー財団地区委員会

(Rotary Foundation District Committees)

R. I. 理事会と管理委員は次のことを決定した。

各地区ガバナーは、就任のかなり前に、地区ロータリー財団委員会を設置するものとする。次のような人を委員とするよう勧める：

委員長として、元地区ガバナーまたは経験豊かなロータリアン。委員長は、3年を超えて引き続き留任できない。

委員として、地区ロータリー財団委員会小委員会の委員長。できるだけ元地区ガバナーの経験を活用する；

次のような小委員会を設置することを勧奨する。地区内のロータリアンで構成され、それぞれの小委員会の担当する活動分野において経験豊かなロータリアンをできる限り委員とし、かつ、委員の継続性を図る。

- 1) 奨学金
- 2) 研究グループ交換
- 3) 特別補助金・保健、飢餓追放および人間性尊重補助金
- 4) 増進（1部の地区では、年次寄付と計画的寄付に分けてもよい）
- 5) 広報
- 6) 学友

小委員会それぞれの任務は、「地区ロータリー財団要覧（176-JA）」に記述されている。

財団管理委員会と理事会との関係

(Relationship of Trustees and Board to The Rotary Foundation)

R.I.理事会およびロータリー財団管理委員会は、国際ロータリーの定款および細則に定められている各自の権限、任務および責任を考慮し、また、両者の間に締結された信託の宣言（1931年11月12日付）の規定を考慮したうえ、これらによる権限、任務および責任のいずれをも確保しながら、両者相互間の理解と協力を確立するための方策として、以下の理事会およびロータリー財団管理委員会との関係に関する声明を採択する。

1) (a) 国際ロータリー会長およびロータリー財団管理委員会委員長によってそれぞれ任命された3名乃至5名の理事会の理事および同数の管理委員で構成する国際ロータリーとロータリー財団管理委員会との合同委員会を設ける。委員の任期は、委員の任命が行われた年度の6月30日までとする。国際ロータリー会長およびロータリー財団管理委員会委員長は、委員の退任、死亡、廃疾、解任その他によって生じた欠員を補充する権限を有するものとする。委員会のメンバーは、これを再任することができる。委員会は、国際ロータリー会長および管理委員会委員長の同意を得て、共通の問題を審議するために会議を開くものとし、そして理事会および管理委員会に報告を行い、委員会の勧告意見を具申してその裁定を仰ぐものとする。

(b) ロータリー財団のプログラム、プロジェクトまたは活動に関する提案は、理事会もしくは管理委員会がこれを行うことができるが、これらのプログラムまたは活動を実際に進めていく責任は主として管理委員会にあるものとする。

(c) 理事会と管理委員会は、双方の合意により、ロータリー財団の特定のプログラム、プロジェクトまたは活動について、その実施に、管理委員会の代行者として理事会が当たるか、財団が当たるか、または両者が協同して当たることにするかを取り決めることがで

きる。

(d) 理事会は、あらかじめ管理委員会の同意を得ない限り、国際ロータリーの定款第10条および細則第19条を改正する提案は、これを行わないものとする。ロータリー財団に関する決議もこれと同じ扱いとする。

前記のような制定案または決議案が理事会以外から提出された場合には、規定審議会または国際大会の開かれる前に、これを理事会と管理委員会との合同審議に付するものとする。

(e) 理事会と管理委員会は、下記に該当する者はロータリー財団の各種補助金のいずれについてもその受領者となる資格を有しないものと定める：ロータリアン；クラブと地区と他のロータリー関係の組織と国際ロータリーの職員；配偶者、直系卑属（血縁による子または孫、入籍している養子）、直系卑属の配偶者、上記ロータリアンと職員の尊属（血縁による両親または祖父母）。

2) 理事会は、国際ロータリーの管理主体として、次の責務を有するものとする。

(a) 国際ロータリーが後援または賛助する博愛、慈善、教育その他の人道的な目的、対象、運動または施設を推進するために管理委員会によって提案されたロータリー財団のプログラム、プロジェクトまたは活動は、後援または賛助されてから発表、または資金の提供が行われること。

(b) 前記ロータリー財団のプログラム、プロジェクトまたは活動のための資金を財団の収入から支出することを決議をもって承認し、また、すべて管理委員会が多数決をもって財団の基本財産から支出することを決定した場合に、決議をもってその支出を承認すること。この承認は、寄贈者がその寄贈にかかわる資産の用途を特に指定している場合のものについては、その必要のないものとする。

(c) 国際ロータリーの役員およびすべてのロータリアンに、ロータリー財団のプログラム、プロジェクトおよび活動を、これに直接参加したり、資金を寄付したりすることによって支援するよう呼びかけること、また、

財団のプログラム、プロジェクトおよび活動を、クラブや地区の会合、国際的会合、指導者の養成、教育を目的としたプログラムおよび刊行物などを通じて推進すること。

3) 管理委員会は、ロータリー財団の管理運営に当たるものとして、次の責務を有するものとする。

(a) ロータリー財団の資金および資産一切の保有、投資、運用および管理。

(b) ロータリー財団のすべてのプログラム、プロジェクトおよび活動の実施、運営、およびこれらロータリー財団のプログラム、プロジェクトおよび活動に対する資金の割当。

(c) ロータリー財団が資金を提供しているプログラム、プロジェクトおよび活動を常に検討、評価し、毎年、ロータリー財団が支出したすべての補助金について理事会に報告をすること。

(d) ロータリー財団を支援した個人、クラブその他に対する適当な表彰方法を考えること。

(e) ロータリー財団の推進およびロータリー財団に関する情報を普及させること。

(f) 予算の作成、手続の開始、およびロータリー財団のプログラム、プロジェクトおよび活動に対する適正な資金の調達。

4) 国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、双方の合意によりこの声明をもって、国際ロータリー理事会のロータリー財団管理委員会に対する関係に関するこれまでのすべての声明およびロータリー財団の運営方針に関する声明を廃止してこれらに代わるものとするを決定する。

ロータリー財団事務長

(Secretary of the Rotary Foundation)

財団事務長は、国際ロータリー理事会によって選ばれた同一暦年度の国際ロータリー事務総長と同一人とする。事務長は管理委員長の監督と管理委員会の統制の下に実務を執行する常務役員とする。事務長は事務次長を指名することができる。事務次長は、事務長がその職務を執行できない場合、または事務長から委任された場合に、事務長に代わって事務をとることができるが、事務長の地位に空席を生じた場合、その地位を自動的に継承するものではない。事務長はまた、ロータリー財団のすべての銀行勘定に影響を及ぼす、小切手、銀行手形、約束手形、為替手形および指示書に署名する1名以上の実務担当補佐を指名することができる。

第16章

ロータリー財団のプログラム (Programs of the Rotary Foundation)

R.I.理事会と管理委員会は、ロータリー財団の目標を助長する明確かつ効果的な手段として、次のプログラムを承認した：

奨学金

研究グループ交換

特別補助金

大学教員のための補助金

保健、飢餓追放および人間性尊重プログラム

奨学金および研究グループ交換プログラムへの申請書提出最終期日の数ヵ月前に、地区ガバナーは、詳細な解説書と申請書を渡される。資料が用意されたとの通知を受けたら、クラブは、地区ガバナー、または、日本支局から資料を取り寄せることができる。

奨学金

(Scholarships)

大学院課程奨学金、大学課程奨学金、職業研修奨学金、障害者教師奨学金、ジャーナリズム奨学金(Graduate Scholarships, Undergraduate Scholarships, Vocational Scholarships, Teachers of the Handicapped Scholarships, Journalism Scholarships)

ロータリー財団奨学金の目的は、青年男女を他国の教育機関で勉学させることによつて、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することである。奨学生は非公式の「親善使節」として行動するよう期待されており、かくして、研究年度中および帰国後、自国と留学国の国民間の理解増進に寄与する機会に恵まれるのである。

各奨学金は、自国から留学地までの往復航空料金、授業料、必要な書籍および学用品、

下宿料および食費を含む。候補者は、志望先を問われるが、管理委員会の裁量で全奨学生は適切な教育機関を指定される。

これら5種の奨学金の性質および目的は類似しており、主な違いは参加者の年齢と教育水準、および研究プログラムの水準と性格にある。

資 格

青年男女共に申請資格を有する。ロータリー財団奨学金候補者は優秀な学生、技術者、ジャーナリスト乃至教師であると共に「親善使節」となる可能性を持つものでなければならない。

自国と受入国の国民間の友情と理解の効果的なかけ橋を務めるために、候補者は親しみやすい外向的な性格と、異なる文化を持つ国民の態度および生活様式に対する好意的関心と、自己の考えを即座に効果的に伝える能力とを持っていなければならない。また、自国の歴史、文化、地理、時事問題についても十分な知識を持っていなければならない。

候補者は特に次の諸条件に該当しなければならない：

- 1) 学業または専門の分野において或は研修また実務において高水準を保持して来た者で、かつロータリー財団奨学生として顕著な成果を上げうる可能性を示すものでなければならない。
- 2) 指導性、独創力、熱意、適応性、円熟、目的の誠実さを実証すること。
- 3) 申請時において、留学国および指定された教育機関で用いられている言語に熟達していなければならない。
- 4) 他国における厳しい1ヵ年の研究と旅行に堪えること。

このプログラムの詳細、候補者の資格、申請手続は、「奨学金要覧」(133-JA)の最新版に記載されている。

受領できる奨学金

各地区は毎年、大学院課程奨学金、大学課程奨学金、職業研修奨学金、障害者教師奨学金またはジャーナリズム奨学金のうち、地区が希望するいずれか一つを受領することができる。奨学金を受領するためには、各候補者は、管理委員会によって、奨学金の必要条件を充たすものと判定された者でなければならない。各地区はまた補欠候補者1名を推薦することになるが、それは正候補者と同種の奨学金を対象とするには及ばない。

また、管理委員会は、毎年、特定の金額を超過寄付を行った地区に追加奨学金を授与する。管理委員会が、毎年、その金額を定め、この決定を全地区に伝える。管理委員会は、毎年、開発途上諸国内の地区、または、開発途上諸国を含む地区の候補者にも追加奨学金を授与できる。

奨学金プログラムに対する地区の責務は、「奨学金要覧」(133-JA)と「地区ロータリー財団要覧」(176-JA)に詳述されている。

選考並びに発表

ロータリー財団奨学金候補者を指名する締切期日予定を次に挙げる。1985-86年度に実施されるものである。

- 提唱ロータリー・クラブの申請書並びに補足書類受理締切日.....10月1日
- 地区ガバナーのクラブ確認済候補者の申請書類一式受理締切日.....11月1日
- 中央事務局の地区確認済候補者および無地区クラブの候補者の申請書類一式受理締切日.....12月1日

奨学金は、クラブと地区の推薦に基づいてロータリー財団管理委員会より授与されるといことが、明確に諒解されていなければならない。

管理委員会による選考結果は毎年2月にロータリー財団の事務長から発表される。

顧問ロータリアン

奨学金受領者として選定、発表された地区

後援の奨学生のひとりひとりについて顧問ロータリアンを任命すること、また、自分の地区に留学する奨学生のホスト顧問ロータリアンを任命することは、地区ガバナーの責務である。

研究グループ交換

(Group Study Exchange)

ロータリー財団研究グループ交換は次の三つの目的のために計画された教育的プログラムである：

- 1) 優秀な青年実業人並びに専門職業人に、他国において計画準備された研究討論プログラムに参加することによって、その国とその国民並びに諸施設とを研究する機会を与えるため；
- 2) 善意の人々が、友好的雰囲気のもとに相会し、語り合い、生活を共にして、相互の問題や抱負を理解するようになり、かくして個人的接触を永続する友情へと成熟させることにより国際理解を増進するため；
- 3) 研究グループのチームのために教育的プログラムを作成し、また彼等を歓待することによって、ロータリアンを、具体的、実際的かつ有意義な国際奉仕プロジェクトに参加させるため。

このプログラムは、異なる国に属す二つの地区で研究グループを交換するものである。それぞれのグループは、十分な資格を備えた青年実業人または専門職業人（申請書提出時において25-35歳）と研究グループ交換地区ガバナー代理（ロータリアン）によって構成される。チーム・メンバー全員とも特定の1地区出身者である。地区は、男性チーム（5名の実業人または専門職業人とガバナー代理）か女性チーム（4名の実業人または専門職業人とガバナー代理夫妻）のいずれかを派遣できる。両地区のうち一方が4週間以上6週間以内の期間、グループを派遣する。正確な期間は、派遣地区と受入地区双方の合意に

よって取り決める。派遣地区は、翌年、交換に相手地区のグループを受け入れる。補助金は、チーム・メンバーと地区ガバナー代理（女性チームの場合は、ガバナー代理夫人も含む）の出発地点から所定の到着地点までの往復運賃を賄えるだけのものであるが、ジェット機エコノミークラス往復運賃を超えてはならない。ホスト地区滞在中の食費、宿泊費、旅費は、地元ロータリアンが負担する。

「青年実業人または専門職業人」という言葉は、研究グループ交換のチームへの参加申請前に、常勤制のもとに少なくとも2年間、一般に認められた実業または専門職業に雇われたことのある男女を意味するのである。参加申請者は居住している国の国民で、候補者の確認をする地区で雇われているかまたは居住していなければならない。

補助金を受ける資格を取得するためには、地区は、地区大会もしくは地区協議会における決議によって、或は郵便投票によって、地区内クラブの3分の2が、本プログラム参加申請を承諾しかつ支持することを表明し、かつ要請された場合は訪問チームのホストになることに同意したことを証明しなければならない。

クラブは、地元地域社会の全申請者を面接するために、クラブ・レベルの選考委員会を設置する。この委員会は2名以下の申請者を選考、確認する。最終選考する前に、クラブは、プログラムに関して、候補者の雇主または同業者と接触し、この人達の協力を得なければならない。

クラブ・レベルで選考された青年男女から研究チームを最終的に選ぶのは、地区研究グループ交換小委員会の責務である。地区ガバナーもこれに協力する。できる限り、個人面接を行うべきである。

地区は、希望する相手地区を表明する機会を与えられるが、最終選考は、ロータリー財団管理委員会が行う。管理委員会は、どちらの地区が最初にホストとなるかも指示する。

申請書に記入し、基本的研究計画を同封し、財団に送るものとする。その期日は、1983-84年度と1984-85年度は4月1日まで、1985-86年度以降は12月15日までとする。相互交換は、補助金授与発表直後の2年間以内に完了しなければならない。管理委員会は1983-84年度と1984-85年度においては5月に、1985-86年度以降は1月に補助金授与を発表する。

地区ガバナー代理は、管理に携わる人であり、研究グループ交換のメンバーではない。ロータリアンであるなしを問わず人々と接触または講演する際は、地区ガバナー代理（女性チームの場合、ガバナー代理夫妻）よりもチーム・メンバーに注目が集まるようにしなければならない。

受入地区

研究チームは、到着時点から出発時点までホスト地区の管理下にあるのが普通である。研究計画に他地区が含まれる場合ですら、ホスト地区が、研究計画（日程作成、地元の交通手配、チームの受入、活動の用意など）の立案およびできる限りのホーム・ホスピタリティを引き受け、その責務を負う。他の手続および規定は、「研究グループ交換要覧」(165-JA)に記載されている。

大学教員のための補助金
(Grants for University Teachers)

1985-86年度より、管理委員会は、毎年、米貨10,000ドルの補助金を10件、自国以外、特に開発途上諸国の高等教育機関で教鞭を執っている有資格の男女に授与する。詳細は中央事務局に照会されたい。

特別補助金
(Special Grants)

ロータリー財団の目的推進に貢献する国際奉仕プロジェクトの開発およびその試みへの

139

奨励策として、管理委員会は次に示す基準に合致するクラブおよび地区の財政援助申請に考慮を払うものである：

1) 異なる国々の人々間の理解と友好関係を増進させるものであること。ある国の個人をその国で教育させる計画は承認されない。個人を主要な受益者とする計画は、そのプロジェクトにかかわる特別の事情が国際理解の増進に役立つ、そうしてそれがその国或は地域社会のためになるということが明確に証明されない限り、承認されることはない。

2) 教育的もしくは慈善的性質のものであって、しかも財団或はロータリーが提唱する現行プログラム（青少年交換を含む）と重複しないこと。

3) ロータリー・クラブまたはロータリー地区が提唱し、かつ相当多額の資金を調達するものであること。

4) 相当数のロータリアンが、資金募集など、その事業計画に積極的に参加するものであること。もしも、そのプロジェクトが、一つの国から他の国へ、物資の贈呈を含むものである場合、そのプロジェクトが国際理解の増進に寄与するものと認められるためには、少なくとも2ヵ国の地区乃至クラブのロータリアンが積極的に参加するものでなければならない。

5) 不動産（土地および建物）の投資を含まない計画であって、補助金を授与する以外にロータリー財団或は国際ロータリーに対して何らの責務も負わせないものであること。

6) 実施中、或は既に完了したプログラムであってはならない。特別補助金は、通常、一つのプロジェクトに対して、1回しか授与されないことになっているので、提唱者は、特別補助金をもって継続的な援助を期待することはできない。

7) 補助金受領無資格者への支払を含まないこと（141頁の無資格者に関する項を参照のこと）。

特別補助金の申請手続は簡単であり、年度中いつでも申請できる。ロータリー・クラブおよび地区が国際奉仕プロジェクトを入念に

検討し、提唱することを決定したならば、申請書を中央事務局に提出する（書式は地区ガバナー或は事務局から入手できる）。申請書には次の所要事項が記入されていなければならない。

1) 提唱ロータリー・クラブの名称および／または地区番号。

2) プロジェクトの簡単な説明。

* 3) 全費用の正確な見積額。

* 4) 下記を含む資金調達見込額。

a) 提唱クラブまたは地区からの寄付額。

b) その他からの寄付額。

c) ロータリー財団に申請する正確な金額。

5) 補助金が承認された場合、補助金を受け取る個人または団体の名称、住所、電話番号。（141頁の補助金受領無資格者の項を参照のこと）

6) このプロジェクトに対する提唱クラブ或は地区のロータリアンの参加状況の簡単な説明。

7) プロジェクトの開始および完了予定年月日。

8) クラブが提唱するプロジェクトの場合、クラブ会長の署名および年月日、地区が提唱する場合は地区ガバナーの署名、年月日。

申請を受けた財団管理委員会は、そのプロジェクトが前記の基準に合致しているか否か、申請を承認するか否か、いくら支給するかについて決定する。多くのロータリアンにより寄付された金銭が、短期間のうちに世界中で慈善事業のために使われている。提唱ロータリー・クラブ或は地区は、プロジェクトの実施中および完了後に1回乃至数回、報告書を提出しなければならない。

*（3と4のそれぞれの合計額は同じでなければならない。）

保健、飢餓追放および人間性尊重補助金

(Health, Hunger and Humanity Grants)

1977-78年度に、R.I.理事会は、保健、飢餓追放および人間性尊重プログラム（3-H）を設立し、1982-83年度に、理事会は、管理委員会にこのプログラムの全面的管理を引き受けるよう要請した。その目的は、国際間の理解、親善および平和を促進するための方法として人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的、社会的向上発展をはかることである。この目的は、クラブや地区の資力と人的資源をもってしては大き過ぎて扱いきれないような大規模なプロジェクトによって推進される。

保健、飢餓追放または人間性尊重プロジェクトに対する補助金申請書は、申請理由と規模と目標と予算を記載したプロジェクト案の明確な説明、および地元のロータリアンが目標達成に助力するために何をするか、並びに、プロジェクトを援助する他国のロータリアンの職種を記入した上、管理委員会に提出しなければならない。プロジェクトは、国際理解、親善、平和の推進を目的としているので、自分の専門知識と経験を分かち合い、保健、飢餓追放および人間性尊重プロジェクトに奉仕するために自国以外に赴くロータリアンがこのプロジェクトに参加することが期待されている。

このプロジェクトは、次のような条件を備えていなければならない：

1) 国際間の理解、親善および平和を促進するための方法として、人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的、社会的向上発展をはかることを目的とするものであること；

2) 相当数のロータリアンが進んで参加するものであること；

3) ロータリアン、ロータリー・クラブおよび／または地区からできる限りの支援が得られるものであること；

4) 国際奉仕のプロジェクトであること；

5) 一つのクラブまたは地区、或は、クラブ・グループまたは地区グループでは大きすぎること；

6) 長期的に自立していけるという利点のあること。援助を必要としている人々の状態を改善しようとする地元の努力によって継続、推進されるものであること；

7) 国際ロータリーの手を離れてからも、引き続き適当な支援が確保されるものであること。

8) 不動産への投資を含んでいないこと。

9) ロータリー財団または国際ロータリーに補助金の支給以外の責任を負わせるものではないこと。

財団補助金受領無資格者

(Ineligibility for Foundation Awards)

R.I.理事会と管理委員会は次の点に同意した。奉仕の理想を実証するために、ロータリー財団支援プログラムのもとに授与される補助金は次の者には授与されない：ロータリアン；クラブと地区と他のロータリー関係の組織と国際ロータリーの職員；配偶者；直系卑属（血縁による子または孫、入籍している養子）；直系卑属の配偶者、上記ロータリアンと職員の尊属（血縁による両親または祖父母）。

財団への寄付者は、直接または間接、財団プログラムの受益者となってはならないと現実に定めている方針によって、奉仕の理想は最もよく実証される。ロータリーの標語「超我の奉仕」は、ロータリアンでもロータリアンの親族でもない人で、それを受けるにふさわしい人へ利他の奉仕をする、この奉仕に基づく慈善的、教育的プログラムによって、最もよく実証されるのである。

財団学友

(Foundation Alumni)

元奨学生、元研究グループ交換参加者、元3-Hボランティアは、すべて、ロータリー財団の学友である。

財団管理委員会は、各地区（単独または、地域か国別のいずれか）に、その地区（または地域か国）に住む全学友のために学友会を設立するよう強く勧めている。

管理委員会の意見では、このような学友会は、次のような目的の一端に役立つことができる：

- 1) ロータリー・クラブ会員候補者
- 2) ロータリー・プログラムへの支援（例えば、出発しようとしている奨学生または帰国した奨学生の適応指導と助言；社会奉仕プロジェクトの援助）
- 3) ロータリー・クラブと地区に対し、講演とプログラムを提供

4) R.I.とロータリー財団の広報プログラムから国際親善が生まれ、保たれるよう援助

5) 財団プログラムの財政支援を提供すると思われる人達

6) 世界平和という共通の目標を旨として努力する男女グループに属しているという誇りと共感。

ロータリー財団月間

(The Rotary Foundation Month)

理事会と管理委員会は、次のことを決定した：毎年11月中、「ロータリー財団月間」を遵守すること；月間中、クラブは少なくとも一つのクラブ・プログラムを財団に当て、さらに、財団の目標に合致するプロジェクト案を事務長に提出するよう要請されている。また、月間について適切な報道機関すべてに発表すること。

第17章

財務と表彰に関する事項

(Fiscal Matters and Recognition)

財団資金の支出目的

(Purposes for Which Funds of the Foundation Shall Be Expended)

R.I.理事会とロータリー財団管理委員会は、ロータリー財団資金の支出目的について次の決議を採択した：

ロータリー財団の基本財産或は収入からの支出は、管理に要する費用を除き、必ず、慈善、科学、文学、教育或はその他 U. S. A.国内歳入条例、第23(o)2, 23(q)2, および101(6)の各項に含まれる目的に使用されるべきこと、また、ロータリー財団の基本財産も収入も、そのいかなる部分といえども個人的利益のために使用しないこと、また、ロータリー財団の活動の相当な部分が宣伝その他立法に影響を与えようとする試みに向けられてはならないこと、および最後に、ロータリー財団の解散のときには、その基本財産およびそれより生ずる収入は、本決議の条件に従って支出されるものとするをここに決議する。

寄付金の為替レート

(Rate of Exchange for Contributions)

ロータリー財団管理委員会は、米国ドル以外の通貨によるロータリー財団に対する寄付金の米国ドルへの換算は、このために定められた為替レートによるべきこととしたうえ、以下のことを決定した：

- 1) ロータリー財団は、7月1日および1月1日に始まる6か月ごとに、その間に用いる寄付金の米国ドルへの換算率を定めるものとし、さらに、その換算率の再検討を行い、

実際の為替相場に5パーセント以上の変動を生じていた場合にはこれを変更して10月1日および4月1日以降に適用する換算率を定めること。

2) 管理委員会に代わって、事務長に、7月1日および1月1日以降に適用する換算率を設定し、また10月1日および4月1日以降に対してこれを変更する権限を委任すること。

3) 換算率の設定または変更が行われている4半期の間に、ある通貨の米国ドルに対する価値に5パーセント以上の変動があった場合に、管理委員会に代わって適当と認める換算率の調整を行う権限を、事務長に認めること。

4) 毎年、1月1日と7月1日に、向こう6か月間のロータリー財団への寄付に関して実施される換算率をすべての関係クラブに通知する。10月1日と4月1日に変更があればこれも通知する。この通知には、適用期間または、これと異なる換算率が決定、通知されるまで、ロータリー財団への寄付は、この換算率（米国ドルに相当する地元の通貨を具体的に明記する）で領収、入金されるという趣旨の説明を付記する。さらに、財団が授与している様々な表彰を受けるために必要とされる金額を地元の通貨で具体的に言及する。

所得税申告に対する寄付金額の控除

(Deductibility of Contributions on Income Tax Returns)

国によっては所得税申告を行う場合ロータリー財団への寄付金は控除されている。クラブ並びに各個人はそれぞれの国においてこの

ような寄付金が所得税の課税金額から控除されるかどうかを関係当局に確かめてほしい。

次に掲げるものは、国際ロータリーが受理した1948年9月22日付合衆国財務省国内歳入局長の書簡の抜萃である：

本官は、貴財団が専ら慈善的、教育的目的のために組織されていることを証明せる提出証拠書類に基づき、国内歳入法第101節(6)の規定並びに先の歳入諸条令の該当規定により、貴財団は連邦所得税を免除されるものと判定する。

貴財団に対する寄付は、修正国内歳入法第23節(o), (q), の各項に規定された方法および範囲内において、かつ先の歳入諸条令の該当規定により、寄付者の純課税所得額から控除される。

貴財団に提供される遺贈、遺産、不動産の遺贈または財産譲渡証書は、国内歳入法第812節(d)項並びに第861節(a)項(3)に規定された方法と範囲内において、かつ／または先の歳入諸条令の該当規定により、故人の課税財産額より控除される。貴財団への贈与財産は、国内歳入法第1004(a)項(2)(B)並びに1004(b)項の(2)および(3)並びに／または先の歳入諸条令の該当規定により、課税贈与額より控除される。

米国ワシントン D. C. の国内歳入事務局はロータリー財団に対し、1971年12月2日付書簡で、財団は国内歳入法第509節(a)項に定義されている民間財団には該当しない財団として分類されている旨通知して来た。

カナダにおいては、寄付者が所得税法第27節(1)(a)項の規定に従いつつその範囲内において課税所得額を計算する際、もし正規の領収書により立証されるならば、寄付金を控除額として申告することができる。

ロータリー財団の基本財産からの支出

(Expenditures From the Corpus of The Rotary Foundation)

寄付者が用途を指定したものを除いて、

ロータリー財団の基本財産からの財団プログラムへの支出は、管理委員会と理事会、更に規定審議会か国際大会のいずれか、が定めた上限の範囲内になければならない。基本財産の支出に関し現在承認している上限を次に挙げる：

1984—1985年度……………	米貨25,500,000ドル
1985—1986年度……………	20,000,000
1986—1987年度……………	21,000,000
1987—1988年度……………	22,000,000

財団に対する資金の募集

(Raising Funds for Foundation)

R. I. 理事会並びに管理委員会 (1964—65) は、ロータリー財団の資金の最大限度に関しては制限をおかないということに意見が一致した。

地区ガバナーは、国際ロータリーの役員として管轄地区にロータリー財団を推進する直接の責任者であるということを忘れてはならない。世界理解と平和を助長している財団の目的がより知られ、支援されることを目指して財団を推進する責務を負っているのである。

財団への寄付

(Contributions to Foundation)

ロータリー財団が自発的寄付の基礎の上に発展して来た事実にかんがみ、財団への寄付を会員資格の条件とするとか或はそのような意味のことを入会申込書に書き入れてはならない。ロータリー財団に寄付することを会員資格の条件とするようロータリー・クラブ細則を改正したり、ロータリー会員証にこのようなことを書き入れることは認められていない。

理事会並びに財団管理委員会 (1964—65) は、全クラブそして全ロータリアンがロータリー財団への寄付者であるべきだということ

に意見が一致した。

地区ガバナーは地区ロータリー財団委員会、地区協議会およびクラブ訪問などの正規の径路を通じて、ロータリー・クラブ並びにロータリアンによるロータリー財団への継続的寄付の重要性を強調するよう示唆されている。

各ロータリアン、特に新会員は、財団へ毎年寄付するよう奨励されるべきである。

管理委員会は、使途指定寄付に関し、次の方針を採択した：

1) 条件付き寄付より、無条件寄付を奨励する。

2) 財団プログラムのいずれか、また、プログラム内の特定の承認されたプロジェクトに対しても寄付を受領する。しかし、個々のロータリアンとロータリー・クラブと地区からの寄付は、管理委員会がそのプログラムに対して割り当てた額に含まれ、追加とはみなされない。

3) 個々のロータリアンとロータリー・クラブと地区以外からの寄付は、承認されているプログラム或はプロジェクトへの指定寄付として受理される。そして、管理委員会がそのプログラムに対して割り当てた額への追加として扱われる。

遺 贈

(Bequests)

遺言状に財団への遺産贈与の希望を記載する場合、寄付者はその受益人として、米国、イリノイ州、エバンストンに本部をおく、非営利財団法人である国際ロータリーのロータリー財団と指定するものとする。遺言状に財団について書いた(実際の金額を明記するには及ばない)と管理委員会に通知した人は、管理委員会から美しい記念品を贈られ、中央事務局に陳列されている名簿に自分の氏名が加えられることになる。

世界理解と平和のための基金

(Endowment for World Understanding and Peace)

寄付者は、「世界理解と平和のためのロータリー財団基金」と指定して寄付することができる。年間の収益のみを財団プログラムの支援に費やすことになっている。

パーセンテージ順位

(Plateau Standings)

クラブの1ロータリー年度における寄付金、或は年度中のいかなる時期においてもその年度の寄付金が、会員1人当たり米貨で10ドルとなったときは、そのクラブは「100パーセント・ロータリー財団クラブ」となる。そして、ロータリー年度中にクラブの寄付金が会員1人当たり米貨10ドルとなるたびごとに、そのクラブは、次のパーセンテージの段階に進むことになる。例えば、ある100パーセント・クラブ(7月1日現在で)が1ロータリー年度に会員1人当たり米貨で40ドルの寄付をした場合、そのクラブの新しいパーセンテージの段階は500パーセントということになる。

地区の1ロータリー年度における寄付金、或は年度中のいかなる時期においてもその年度の寄付金が、会員1人当たり米貨で10ドルとなったときは、その地区は「100パーセント・ロータリー財団地区」となる。そして、ロータリー年度間に地区の寄付金が会員1人当たり米貨で10ドルとなるたびごとに、その地区は次のパーセンテージの段階に進む。

クラブおよび地区の順位に関する詳細については、中央事務局に照会されたい。

寄付の表彰

(Recognition of Contributions)

「メモリアル・コントリビューター」とは

第17章 財務と表彰に関する事項

1カ年内に米貨100ドル以上を、亡くなった人を記念して寄付した個人またはクラブである。この証書は故人或は寄付をした個人またはクラブの名前で発行される。

ロータリー財団ポール・ハリス・フェローになったことを認めた証明書、メダルおよび襟章が、1カ年間に1,000ドル以上を寄付した個人、または、ある人に敬意を表するため或は記念するためにその人の名義でその寄付が行われた場合はその名義人に贈呈される。

1ロータリー年度にもう1度米貨1,000ドル寄付したポール・ハリス・フェローは、特に、自己のフェロー・ピンに付ける特製の青い星一つを贈られる。1年または数年の間にこのような寄付を重ねると、最高五つの星をピンに加えることができる。また、この寄付は、新フェローの指名など他のあらゆる年次寄付認定方法の資格も有する。証明できる証拠を添えて申請すれば、過去の寄付に対してもこの認定を受けることができる。詳細は中央事務局に照会されたい。

1,000ドルに達するまで寄付を続ける意図を明らかにして、最初に100ドルを寄付した個人、または、ある人のためにその寄付が行われた場合はその名義人が「ポール・ハリス準フェロー」と認められる。追加寄付は10年以内に完了しなければならない。そして1,000ドルの満額に達した時「ポール・ハリス・フェロー」と認定され、「ポール・ハリス・フェロー」の証明書、メダルおよび襟章を受け取ることになる。

「ポール・ハリス・フェロー」および「ポール・ハリス準フェロー」の方法による寄付は、寄付者の指定したロータリー・クラブの寄付に加えられて、そのクラブがより高いパーセンテージの段階に進むのを助けることになる。

冠名奨学金

(Donor Named Scholarship)

個人または団体は、1年間の留学費用全額

を寄付することによって、自己の氏名を冠した奨学金を授与することができる。米貨150,000ドル寄付すると、また、冠名奨学金基金にも該当し、毎年1件の冠名奨学金を授与できる。詳細は、中央事務局または地区ロータリー財団委員会に照会されたい。

奉仕に対する表彰

(Recognition of Service)

管理委員会は、ロータリー財団に対して多大の功勞のあったロータリアンにロータリー財団功勞表彰状を授与して、これを表彰している。証明書は受賞者各人に贈られる。ロータリー財団に対する本人の功績が大きくて、地区の範囲を越えていたり、また長期にわたっていたりするもの場合は、管理委員会は、ロータリー財団特別功勞賞によってこれを表彰しており、これに対してはブランクが贈られる。管理委員会は、次の表彰基準を採択した：

1) 財団への顕著で意欲的な奉仕に対して贈るものとする(大変顕著であるが、財団に財政面で寄与しただけの人は、有資格者とはならない)；

2) 財団功勞表彰状を既に受賞した人が、財団特別功勞賞を贈られるのが普通である；また、表彰状受賞と財団特別功勞賞指名の間には、通常2年間の期間を置く。

3) 異例な場合を除き、1ロータリー年度に25件以上の特別功勞賞を授与しない、かつ、各ロータリー年度の1地区の表彰状受賞者は1名を限度とするものとする；

4) 財団功勞表彰状または財団特別功勞賞を受賞すると、再度同じ賞を受賞することはできない；

5) ロータリー財団管理委員会は、管理委員を現実に務めている間は、両賞の受賞資格はないものとする。

第5部 雑則

(MISCELLANEOUS POLICY MATTERS)

第18章—名称および徽章

第 18 章

名称と徽章

(Name and Emblem)

ロータリーという名称は、最初のクラブが会員の事業所で輪番制 (in rotation) によって例会を開いたという慣例に由来している。名詞として、組織全体を指すことが最も多い。また、組織の理想や原則を意味する場合もある。「ロータリアン」は、ロータリー・クラブの会員を指す名詞として、また、機関雑誌ロータリアン誌という名称においてのみ使われる。ロータリー・クラブまたはロータリー・クラブ・グループは、ロータリー以外の名称を採択してはならないし、ロータリー以外の名称の下で運営されてはならない。ロータリーという名称の下で、ロータリー・クラブは R. I. 定款に従って結成されたのである。

徽 章

(The Emblem)

国際ロータリーの公式徽章は、6本の輻と24の輪歯および一つの楔穴のある歯車である。1個の輪歯が各輻の中心線上にあり、輻と輻との中間には3個の輪歯がある。歯車は次表に示す寸法の比例で造られている。“Rotary International”の二つの文字は輪縁のくぼんだ所にある。輪を縁で立てて見ると、“Rotary”の文字は上部の窪みに輪歯5個分の長さを占め、“International”の文字は下部の窪みに輪歯約9個半の長さを占める。両側にこの二つの窪みの間に位置して文字のない二つの窪みがある。これら四つの窪みの内、どの二つの間隔も下記比例に従って2単位であり、また、窪みと内外の輪線との間隔は1.5単位である。輻は先細で断面は楕円形である。輪が“Rotary”の文字を上にして立っている

時は、向かい合った二つの輻の中心線は輪の縦の直径を形作り、回転最高所に達した楔穴を両断することになる。輪歯の両側面は外側に稍々ふくれている。従って輪歯と輪歯の間の空間はほぼ機械的に正確である。正確な設計の比例は次の通りである。

単位

全体の直径	61
中心から輪歯の基部まで	26
輪縁の輻 (内端) から輪歯の基部まで	8 ½
こしきの直径	12
軸の直径	7
輻	
輪縁と接する点における輻	5
軸の中心における輻	7
楔穴の垂直断面	
幅	1 ¾
深さ	¾
輪歯	
基部の幅	4 ¼
先端の幅	2 ¼
高さ	4 ½
文字	
窪みの幅	5 ½
文字の高さ	4

輪が奉仕を一層象徴するように、前述のデザインに楔穴を加えた。さらに、輻の位置を定めた。襟章は小さいので、楔穴を組み入れる必要はないと言えよう。

ロータリーの色は徽章の中に次のように取り入れられなければならない。すなわち輪全体として金色でなければならないが、輪縁の四つの窪みの部分はロイヤルブルーとする。窪みの“Rotary”と“International”の文字は

金色で、中心と楔穴は空白とする。

役員用としてバッジおよび徽章の変更は認められていない

(Officers' Badges and Modification of Emblem Not Approved)

ロータリアンがそのロータリーにおける役職を示すために特殊のバッジ、宝石或はリボンなどを使用することは、職業人の団体にはふさわしくない。従って、このような等級別徽章は承認されない。但し、地元の慣習がこれと異なる国を除く。また、ロータリーの国際大会や地区大会等で使用される簡素な一時的な名札或はリボンはこの対象外とする。

名称および徽章の保護

(Protection of Name and Emblem)

「Rotary」という文字は辞書に記載されている文字であるから、この文字を独占して使用することはできない。しかし、国際ロータリーがこの文字に新しい意味を与えたことは一般に認められているのであるから、もしRotaryという文字が他の人々に使われて彼等が国際ロータリーに関係しているような印象を与える恐れのある場合はこれを止めさせることができる。R. I.の名称および徽章の不当な使用にR. I.が抗議し、それが法的にも認められてきた事例からも明らかであるように、これは止めさせることができるのである。

ロータリーの徽章は、米国特許局の登記原簿に奉仕団体のマークとして登録された。また米国においては、商標並びに集团的会員制度のマークとしても登録されている。ロータリーという名称も米国特許局の登記原簿に登録された。このような登録により最近国際ロータリーは他の者がロータリーの徽章を使用できないようにすることに成功しており、またロータリーと無関係の者がロータリーの名称を使用し、ロータリーと関係があるように見せたり、思わせたりして人々を混乱させ

るような場合にはロータリーの名称を使用させないようにすることが可能になった。

徽章の使用認可

(Authorization to Use Emblem)

国際ロータリーに対しロータリーの徽章を付した物品（例えば、襟章、バッジ、装飾用品、道路標識など）の製造販売を出願する個人や商社は多数に上っている。

R. I.徽章を全ロータリアンのためにのみ使うためにR. I.の徽章を保持保存するというR. I.の責務に照らして、また、徽章の正確な複製並びに使用許可制を保持するばかりでなく、法的地位についてもこの目的に沿って尽力するという観点から、理事会は、商社および個人のロータリー徽章の製造、販売、使用の免許料および使用手続を定めた。

二つ以上の色で印刷される場合の徽章は、ロータリーの公式色すなわちロイヤルブルーおよび金色のみで印刷しなければならない。

徽章は他のいかなる徽章または名称と組み合わせで製造したり使用されてはならない。

免許されたマークは（免許されたマークの使用ができる国際ロータリーおよびロータリーの加盟クラブを除き）、いかなる方法においても、いかなる人、商社、または企業体の商用便箋または商用名刺に印刷されたまたは使用されてはならない。

徽章はその商標としていかなる人、商社または企業体によっても使用されてはならないし、また“ロータリー”または“ロータリアン”という言葉はいかなる人、商社または企業体によっても、その製造または販売する商品の商用名または商標として或はその記述に用いられてはならない。

免許されたマークは、ロータリーの考えで、不道德、ごまかしまたは不面目なものからなりまたは含んでいると思われる製品に、或は人間、公共団体、信仰または国家の象徴を傷つけまたはそれらに関係があるかのように誤解させたり、或はそれらを侮辱または悪評に

導くような印刷物に、或はそのような製品、印刷物と一緒に使用されてはならない。

名称および徽章の正しい使用および不当な使用

(Proper and Improper Uses of Name and Emblem)

クラブの各会員はロータリアンとして知られ、国際ロータリーの徽章、バッジまたはその他の記章を佩用する権利を与えられるものとする。

国際ロータリー並びにクラブの名称、徽章、バッジその他の記章を、クラブまたはクラブの会員が商品の商標または特別銘柄として使用し或はその他商業上の目的のために使用することは一切できない。これらの名称、徽章またはその他の記章を他の名称または徽章、バッジと組み合わせで使用することは国際ロータリーの承認しないところである。

R. I.のいかなる役員も、他の団体の役職または1員であることと関連させて、R. I.役員としての地位を公表してはならない。但し、R. I.理事会の同意ある場合を除く。

ロータリー・クラブの会員が、政治運動促進のためにロータリーの名称と徽章、ロータリー・クラブ会員名簿または他のロータリアン名簿を使うことは、ロータリーのプログラムの枠内のことではない。政治的利益を得る手段としてロータリーの親睦を使うことは、ロータリー精神に反することである。

次の物にロータリーの徽章を使用することは認められている：

- 1) 国際ロータリーもしくはその加盟クラブより支給、発行されるすべての用紙および印刷物；
- 2) 公式のロータリー旗；
- 3) ロータリー国際大会その他のすべてのロータリー公式行事に用いる徽章、バナー、装飾用品並びに印刷物、国際ロータリーおよび加盟クラブの備品並びに設備；
- 4) 加盟クラブの道標；
- 5) ロータリアンおよびロータリーに関係

のある婦人の着用する襟章

次のような場合は不当な使用である：

- 6) 商品の商標或は特別銘柄として使用する場合；
- 7) 他の徽章或は名称と組み合わせて使用する場合；
- 8) ロータリアン個人の商用便箋或は名刺に使用する場合；
- 9) 営利を目的として使用する場合。

次のような徽章の使用は許されるであろう：

ロータリアンおよびその家族の個人的に使用する物品および季節の挨拶状に使用する場合。

ロータリアンの事務所の戸や窓に徽章を使用することには賛成できない。

国際ロータリーの名称を刷りこんだ書簡用紙は、R. I.の次期役員、現役員、元役員および会長または理事会が各種役職を務めるよう任命したロータリアンのみが使うものとする。但し、役職を記載する場合、その年度を明確に記載しなければならない。

国際ロータリー細則の規定に沿って、ロータリーの徽章は全ロータリアンのためにのみ保持、保存される。従って、ロータリー徽章を組み入れたバッジその他の記章を学生が使うことは認められていない。

ロータリー財団補助金受領者が、他の記章類とロータリー徽章を組み合わせで使用することは認められていない。

諸団体による名称の使用は認められていない

(Unauthorized Use of Name by Groups)

仮ロータリー・クラブに関する場合を除き、他の団体が、ロータリーという語を使い、ロータリー・クラブまたはロータリー・クラブか国際ロータリーの関係団体であるかのように述べたり、示唆することは認められていないし、また、許されていない。

定款および細則または年次国際大会或は国際ロータリー理事会の決議によって認められ

たものでなければ、“Rotary Club”, “Rotary International”, “Rotary”或は“Rotarian”等の文字の使用は禁止されている。従ってすべての加盟クラブおよび個々のロータリアンは皆この規定に従わなければならない。

加盟クラブは地域的出版物の名称の一部として“Rotarian”という言葉の使用を控えるべきである。

一つのクラブまたはクラブ・グループの活動名称に関連させて、または、その名称に、「ロータリー」という語を使用する場合は、その活動をそのようなクラブまたはクラブ・グループに直接関連させるべきであり、国際ロータリーに直接にも間接にも関連させてはならない。ロータリー・クラブまたはロータリー・クラブの全面的管理下にない活動と関連させて、または、そのような活動の名称に「ロータリー」という語を使うことは認められていない。ロータリアン以外の個人または団体を会員とする団体と関連させて、または、その名称に、「ロータリー」という語を使用することは認められていない。

ロータリー・クラブまたはクラブ・グループが、クラブか地区の財団活動に関連させて「ロータリー」という名称を使うことに反対しない。但し、

1) 国際ロータリーでなく関係クラブにその活動を結びつけること；

2) クラブもしくは地区の財団活動に関連させて、または、その名称において、“International”という語を使わないこと；

3) クラブもしくは地区の財団活動の名称は、クラブもしくは地区を表す名称から始めること；

4) クラブもしくは地区の財団活動に関連させて、「ロータリー」および「財団」という語を活動名に使うときは、「ロータリー」と「財団」という語を離して使うこと。

青少年クラブおよび同種の団体に よる名称徽章の使用

(Use of Name and Emblem by Boys Clubs and Similar Groups)

多くのロータリー・クラブは青少年クラブに関心を持っており、中には直接ロータリー・クラブが後援しているものもある。また、このようなクラブの名称には後援クラブとの関係を示すために「ロータリー」或は「ロータリアン」の文字が入っている場合もある。ロータリーと関係のあることを示すような徽章や標章を使用したがついているクラブもある。

すべてのロータリアンは、ロータリーという模範を見習おうとしている団体に思いやりある援助と激励を与えてほしい。しかし、このような団体またはグループの目的がどんなに価値があっても、R.I.はロータリーの名称または徽章を使用させることを認めない。そうでなければ、ロータリアンのためにのみロータリーの名称と記章を保存することは危機に瀕する。このような見解を抱えているからといって、各種団体またはグループがロータリー・クラブを範とすることに賛成しないというのではない。このような団体およびグループが、ロータリーの名称と記章を侵害することなく適切な名称および記章を考案するものと考えているのである。

しかし、ロータリーは、いかなる青少年クラブ或は団体をR.I.の正式な団体とは認めないし、そのようなクラブ或は団体に関連させて、「ロータリー」或は「ロータリアン」という語も使用させない。また、ロータリーの徽章または類似の徽章を使用させない。

建築関係に名称の使用

(Use of Name in Building Ventures)

直接間接に国際ロータリーへの波及を避けるためロータリアン・グループ或はロータリー・クラブ・グループまたは国際ロータリー

の地区も、家屋或はその他の建物の建設或は購入に当たって、それと関連して「国際ロータリー」の名称を使用すべきではない。更に、このような事業のために会員に資金を割り当てて募金することには賛成できない。

ロータリーの色

(Rotary Colors)

国際ロータリーの色はロイヤルブルーおよび金色である。

ロータリー旗

(Rotary Flag)

ロータリーの公式旗は、白地でその中心に組織の公式徽章を飾ったものである。

輪全体は金色、縁の窪んだ四つの部分はロイヤルブルーでなければならない。窪みの“Rotary”および“International”の文字は金色、中心と楔穴は白色である。

クラブ旗としてこの旗を掲げるクラブは、大きな青色の文字で輪の上部に“Rotary Club”の文字をまた、輪の下部に都市、州、省或は国家の名称を記入することができる。

ロータリーの標語

(Rotary Mottoes)

「超我の奉仕」“Service Above Self”と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」“He Profits Most Who Serves Best”が、ロータリーの公式標語である。

ロータリーの営利化

(Commercializing Rotary)

公式名簿の「序文」には次のように記述されている：国際ロータリーの公式名簿は、全

ロータリアンへ情報を伝えるために毎年出版されている。ロータリアンはこれを商用の郵送名簿として用いてはならないし、同様の目的のために他人に使用させてもならない。

従って、ロータリアンが自己の商取引に営利を目的として公式名簿を利用することは妥当でない。

配布に関する方針声明

(Statement of Policy Concerning Circularization)

R.I.の公式名簿にせよ、或は地区またはクラブの会員名簿にせよ、ロータリアンまたはロータリー・クラブ、地区は、これを文書配布を目的として利用してはならない、ということが慣行として確立されている。

ロータリー・クラブおよびロータリアンの名簿

(Lists of Rotary Clubs and Rotarians)

R.I.は、理事会の同意がなければ、目的のいかんを問わず、ロータリアン名簿を他に提供しない。

クラブ会員の名簿を入手したい人は、そのクラブ自身から入手するか、或は中央事務局に対し会員名簿を他へ提供する権限を承認した当該クラブの書面を、まず手に入れなければならない。

地区ガバナーが、国際ロータリー事務総長にその地区内の全会員の名簿を請求した場合は、事務総長はこれを与える。但し、地区内の全クラブがこのことについて同意したということをガバナーは保証しなければならない。

クラブ名簿或はクラブ役員または委員の名簿は、ロータリー以外の機関に渡されることはない。但し、政府機関より非常緊急の合法的要請がある場合、或は国際ロータリー理事会または執行委員会の同意がある場合はこの限りでない。

他の団体に対してクラブまたはロータリア

国際ロータリー
定 款

163頁-166頁

国際ロータリー定款

条	題 目	頁
1	名称および性格	163
2	目 的	163
3	綱 領	163
4	会 員	163
5	理 事 会	164
6	役 員	164
7	管 理	164
8	国際大会	165
9	会 費	165
10	ロータリー財団	165
11	会員の名称と徽章	166
12	細 則	166
13	改 正	166

国際ロータリー定款

第1条 名称および性格

本組織体の名称は国際ロータリーとする。
国際ロータリーは全世界のロータリー・クラブの連合体である。

第2条 目 的

国際ロータリーの目的は：

- (a) 全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、そして管理すること；
- (b) 国際ロータリーの活動を調整し、全般にこれを指導すること。

第3条 綱 領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 実業および専門職業の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

第4条 会 員

第1節 構 成

国際ロータリーの会員は、本定款および細則に定められた義務をたゆまず遂行するロータリー・クラブをもって構成されるものとする。

る。

第2節 所 在

細則の別段の規定によるほか、1市、1行政区または1市政区域から一つのロータリー・クラブを加盟させるものとする。

第3節 クラブの構成

*(a)ロータリー・クラブは以下本項に定める資格条件を備える男子によって構成されるものとし、いかなるクラブもその正会員の資格条件が次に示すところに該当していなければ、国際ロータリーの会員たる資格は認められない；

善良な成人男子であって、職業上良い世評を受けている者、そして

- (1) 一般に認められた有益な実業または専門職業の持主、共同経営者(パートナー)、法人役員または支配人であるか；

または

- (2) 一般に認められた有益な実業または専門職業において、裁量の権限ある管理職の重要な地位にあるか；

または

- (3) 一般に認められた有益な実業または専門職業の地方代理店または支店の管理権をもって担当する地方代理人または支店代理人または支店代表者を勤めていること；

そして、

以上いずれの場合も、本人がクラブにおいて分類される職業に、自らかつ現実にたずさわっており、そしてその事業場またはその住居がそのクラブの区域限界内もしくはクラブの存在する市の行政区域内または直接に隣接するクラブの区域限界内にあることを要する。

- (b) 報道機関、宗教および外交官の職業分類を除き、そして、細則に定められているァディショナル正会員の規定を除き、各職業分類ごとに1名より多くの正会員があつてはな

*1983年規定審議会において改正。

らない。

(c) 国際ロータリー細則は、ロータリー・クラブの正会員以外の会員種類をシニア・アクトブ会員、バスト・サービス会員および名誉会員と呼ぶと規定している。そして国際ロータリー細則は、その各々に対する資格条件を定めるものとする。

第4節 定款および細則の承認

国際ロータリー加盟認証状を与えられ、これを受領したロータリー・クラブは、すべて、それによって国際ロータリーの本定款および細則並びにその改正規定を受諾し、承認し、そして、法律に反しない限り、万事これによって拘束され、それらの規定を忠実に遵守することを承諾するものとする。

第5条 理事会

第1節 構成

理事会は国際ロータリーの管理主体であって、その人員は17名とする。国際ロータリーの会長は理事会のメンバーであって、その議長となるものとする。国際ロータリーの会長エレクトは理事会のメンバーとなるものとする。15名の理事は細則の規定に従って指名され選挙されるべきものとする。

第2節 権限

理事会は本定款および細則に従って国際ロータリーの業務並びに資金の支配と管理を行うものとする。かかる支配と管理を執行するに当たり、理事会は、細則の規定によって定められた予算に従って、1会計年度中にその経常収入および国際ロータリーの目的達成のために必要な額を一般剰余金から支出することができる。理事会は、剰余金からの支出を必要とした特別事情について次の国際大会に報告しなければならない。理事会はいかなる場合にも、その時点における国際ロータリーの純資産を超える負債を生ぜしめてはならない。

第3節 幹事

国際ロータリーの事務総長は理事会の幹事を務めるものとする。事務総長は理事会の議

事について投票権を持たないものとする。

第6条 役員

第1節 名称

国際ロータリーの役員は、会長、副会長、その他の理事、事務総長、財務長、地区ガバナー、およびグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの会長、直前会長、副会長および名誉会計とする。

第2節 選挙の方法

国際ロータリーの役員は細則の定めるところに従って指名され、選挙されるものとする。

第7条 管理

第1節

グレート・ブリテン、アイルランド、チャンネル諸島およびマン島に所在するクラブは、国際ロータリーの管理上の地域単位を形成するものとし、これを“グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー”と呼ぶものとする。

第2節

クラブの管理は理事会の総括的管理の下にあるものとし、次に示す直接管理の諸形式の中のいずれかの形式を併せ用いるものとする。これら直接管理の諸形式は常に本定款および細則の規定に適合するものでなければならない：

- (a) 理事会によるクラブの直接管理。
- (b) 地区に編成されている地区では、地区ガバナーによるクラブの直接管理。
- (c) 地理的に隣接する二つ以上の地区から成る地域内のクラブの場合、地区ガバナーの管理に加えて、理事会が適切と考えかつ規定審議会または国際大会が承認した方式による管理。
- (d) 管理上の地域単位であるグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーによる、グレート・ブリテン、アイルランド、チャンネル諸島およびマン島にあるロータリー・クラブの直接管理。グレート・ブリテ

ンおよびアイルランド内国際ロータリーの権限、目的および職務は、規定審議会または国際ロータリー国際大会によって承認されたグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの定款の条項並びに国際ロータリーの定款および細則に定められているところに従うものとする。

第8条 国際大会

第1節 時期および場所

国際ロータリーの大会は、毎年5月または6月に理事会の決定する時と場所において開催されるべきものとする。但し、十分な理由があるときは、理事会はこれを変更することができる。

第2節 臨時国際大会

非常事態発生の場合、会長は理事会総員過半数の同意の下に臨時国際大会を招集することができる。

第3節 代表

*(a) すべて国際大会においては、各クラブは少なくとも1名の代議員をもってクラブを代表させる権利を持つ。名誉会員を除く会員数が50名を超えるクラブは、50名ごとまたはその過半数の端数につき1名の追加代議員をもって代表させる権利を持つ。この目的のために、代議員数は、国際大会直前の12月31日現在におけるそのクラブの会員数を基礎として決定すべきものとする。クラブはそのクラブの持つ1または2以上の投票を行使する権限を1名の代議員にゆだねることができる。

(b) 各クラブは、国際ロータリーの大会に代議員たるそのクラブの会員または委任状による代理者を送り、大会の決定に付せられた各提案に対して投票する義務を負う。

第4節 特別代議員

国際ロータリー役員および元会長で、現在も会員(名誉会員を除く)としてクラブに籍を有する者は、特別代議員とする。

第5節 選挙人および投票

正規の信任状を持つ代議員、委任状による代理者、および特別代議員が国際大会の選挙

体を構成し、これを選挙人と称する。投票は細則の定めるところに従って行われるものとする。

*第6節 規定審議会

3年ごとに規定審議会を開催する。国際大会が、細則の定めるところにより、制定案および決議案の審議と決定を行う場合を除き、審議会は、国際ロータリーの立法機関をなすものとし、立法年度の国際大会の閉会予定日の120日以上前に招集されるものとする。時期および場所は理事会が定めるものとする。但し、理事会が別に定めた場合を除き、同一地域において2回続けて審議会を開くことを得ないものとする。本節において地域とは、細則の規定により理事指名のために設けられている各地域のことをいうものとする。

審議会は、正規の手続によって提出されたすべての制定案および決議案の審議および決定に当たるものとし、その決定は、国際ロータリー細則の規定によるクラブの決定にのみ従うものとする。制定案または決議案の採択に関して審議会の行った決定に反対の意思を表示したクラブの票が所定の数まで事務総長に提出された場合は、当該制定案または決議案は、次期の国際大会における投票人の表決に付せられるものとする。

審議会の議員および議事手続は細則に規定するものとする。

第9条 会費

各クラブは半年ごとに、細則に定める人頭分担金を、国際ロータリーに納付するものとする。

第10条 ロータリー財団

国際ロータリー理事会またはロータリー財団管理委員会は、両者または一方が適切と考える条件の下に、いかなる贈与、不動産遺贈、金銭の遺贈、財産または財産から生じる収入

*1983年規定審議会において改正。

の遺贈をも受け取ることができる。このような贈与、不動産遺贈、遺贈は、無条件贈与であると、贈与者または遺言者が使途および委託を指示した信託であることを問わない。但し、細則または国際ロータリー国際大会の定める制約に従うものとする。すべてこのような贈与、不動産遺贈または遺贈は、理事会が国際ロータリーの国際大会決議によって与えられた権限によって随時そのために取りのけて置く国際ロータリーの剰余資金とともに、ロータリー財団の資金を構成しその一部となるものとする。

第11条 会員の名称と徽章

クラブの各会員はロータリアンとして知られ、国際ロータリーの徽章、バッジまたはその他の記章を佩用する権利を与えられるものとする。

第12条 細 則

規定審議会または国際ロータリー国際大会は、本定款のほかに国際ロータリーの管理のために必要で、本定款に反しない規定を取めた細則を採用すべきものとし、また、その改正を行うことができるものとする。

第13条 改 正

第1節 時 期

この定款の改正は、規定審議会において、出席しかつ投票を行う者の投票の3分の2によってのみ行うことができる。但し、この定

款を改正しようとする制定案の採択に関して審議会の行った決定に反対の意思を表示したクラブの票が所定の数まで事務総長に提出されたため、国際ロータリー細則第9条第10節(h)項の規定による国際大会の決定を必要とするに至った場合は、この定款の改正は、規定審議会の開かれた年の翌年の国際大会において、当該改正案が国際大会に付議された時における出席投票選挙人の投票の3分の2によって行うことができる。

第2節 提案者

本定款の改正はクラブ、地区大会、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの審議会または大会、規定審議会、または理事会によってのみ提案されることができる。

*第3節 手 続

本定款を改正しようとする提案はすべて、規定審議会の開かれるロータリー年度の前年度の5月1日までに事務総長の手許に提出されなければならない。

国際ロータリーの事務総長は、規定審議会が開催される期日の120日前までにその提案の写しを各クラブの幹事に郵送しなければならない。

事務総長は、適正に提案された改正案のすべてを、直接規定審議会に回付しなければならない。

規定審議会は、正規の手続によって提出された前記各改正案およびこれに対して提出されたすべての修正案を審議し、これに対する決定を行うものとする。

*1983年規定審議会において改正。

国際ロータリー 細 則

169頁—210頁

国際ロータリー細則

国際ロータリー細則

条	題 目	頁
1	国際ロータリーの加盟会員	169
2	加盟の終結	170
3	クラブの会員身分	171
4	理 事 会	173
5	役 員	174
6	立法手続	176
7	国際大会	177
8	国際大会の手続規則	178
9	規定審議会	180
10	指名と選挙	183
11	管理上の集団	196
12	管理上の単位	196
13	地 区	197
14	委 員 会	202
15	財務事項	205
16	名称と徽章	206
17	その他の管理上の事項	206
18	機 関 雑 誌	207
19	ロータリー財団	208
20	改 正	210

第1条 国際ロータリーの加盟会員

第1節 加盟承認

* (a) 国際ロータリーの会員の加盟承認申請書は、理事会に提出するものとする。加盟申請書には、各クラブが支払うべき加盟金として、理事会が随時定める、米貨またはクラブの所在する国の通貨によるその相当額を添付するものとする。理事会は、かかる申請を承認または拒否する権限を持つ。加盟は、申請が承認された日をもってその効力を生ずるものとする。

* (b) 市、区、その他の自治体地域内において区域限界を同じくする二つ以上のロータリー・クラブの加盟を認めることができるものとする。但し、この規定により、自己の区域内にアドレシヨナル・クラブが結成されることとなるいくつかのクラブの過半数が、まず、そのアドレシヨナル・クラブを同じ区域に結成することに同意することを要するものとし、さらに、そのアドレシヨナル・クラブは、理事会の定めるロータリー・クラブ結成に関する方針に従って結成されなければならないものとする。承認を必要とするクラブ数が二つ以下の場合、(d)項に規定される出席会員の投票の過半数とは、当該全クラブの票を集計したものとする。

* (c) 市、区、その他の自治体地域内に、明確に区画することのできる一つまたはいくつかの地域があり、その各々が、その区域内に、少なくとも新クラブの結成に必要な最低数の職業分類を有する場合には、これら地域の各々につき、それをクラブの区域とするアドレシヨナル・クラブの加盟が認められるものとする。但し、自己の区域内にアドレシヨナル・クラブが結成されることとなるいくつかのクラブの過半数が、まず、かかるアドレシヨナル・クラブの結成に同意し、かつ、本節(b)項の規定によって結成されるクラブの場

合を除き、新クラブの区域となる地域を割譲することを要するものとする。

* (d) 本節の規定によって既存クラブの行うアドレシヨナル・クラブの結成に対する同意、および区域の割譲を必要とする場合における割譲は、当該既存クラブの例会において、出席会員の投票の過半数の賛成票によるべきものとし、これに関する議案の通知は、前記例会の少なくとも10日前に、クラブの各会員宛に郵送されていなければならない。区域の一部割譲もしくは共有を含むアドレシヨナル・クラブ結成案が、アドレシヨナル・クラブの結成が提案されている区域内のクラブによって、または複数のクラブの場合、そのクラブの一つによって否決された場合、地区ガバナー或はR.I.理事会が、この件をクラブ会員に提起して再審議を求めよう指示することができる。区域の割譲もしくは共有を再度否決するためには、定足数に達した例会で、出席し投票する会員の3分の2の投票を必要とする。

(e) 自己の区域限界内一つまたはいくつかのアドレシヨナル・クラブを結成することに同意し、またかかる目的をもって、(c)項の規定に従い、その区域の一部を前記のアドレシヨナル・クラブの結成のために割譲するクラブは、割譲した区域内の人で、その事業、担当営業業務または専門職業活動の範囲がアドレシヨナル・クラブの結成に同意を与えたクラブの区域にわたっている者を、自己のクラブに入会させる権利を留保することができる。この規定は、前記のアドレシヨナル・クラブを拘束するものとする。

* (f) 市、区、その他の自治体地域において、本節の規定によってクラブが加盟した地域で、将来の効果的な結成と、当該クラブおよび隣接クラブの発展のために区域限界を同一

* 1983年規定審議会において改正。

にすることが望ましいと理事会が考えた場合、このような体制の影響を受ける全クラブの申請に基づき、理事会は、理事会の命により、前記クラブのそれぞれの区域限界を同一とすることができ、それぞれのクラブの以後の区域限界は、理事会の定めたロータリー・クラブ結成方針に従って、理事会の判断で新たに定めた境界となるものとする。

第2節 標準ロータリー・クラブ定款

(a) 国際ロータリーによって採択され、時々改正の行われた標準ロータリー・クラブ定款は、1922年6月6日後に加盟を承認されたすべてのクラブによって採択されなければならない。

(b) 標準ロータリー・クラブ定款は、本細則の改正について規定されているところと同様の方法によって改正することができる。かかる改正は、自動的に、標準ロータリー・クラブ定款を採択している各クラブの定款の一部となるものとする。

(c) 1922年6月6日より前に加盟を承認されたクラブは、標準ロータリー・クラブ定款およびその改正規定に適合させるために行う場合を除き、そのクラブの定款の規定を一切変更してはならない。

(d) 特殊な事情のある場合、または国、州、もしくは県等の法令および慣習に従うために必要な場合、理事会は、そのいずれかの会合において、出席しているそのメンバーの3分の2の多数をもって、国際ロータリー定款および本細則に反しないもの場合に限り、標準ロータリー・クラブ定款およびその改正規定と異なるクラブ定款の規定を承認することができる。

第2条 加盟の終結

第1節 不 払

会費または国際ロータリーに対するその他の金銭的債務の支払を怠るクラブの加盟は、理事会においてこれを終結させることができる。

第2節 懲 戒

理事会は、しかるべき理由がある場合には、聴聞を行った後、理事会全員の多数決をもって、クラブを懲戒もしくは会員権停止処分に付し、または、全会一致をもって、クラブを除名することができる。但し、問責書およびこれに関する聴聞の時と場所の通知が、かかる聴聞の行われる少なくとも30日前に、そのクラブの会長および幹事に郵送されていなければならない。そのクラブには、弁護士にかかる聴聞における自己の代理人とする権利が与えられるものとする。理事会の決定は、本細則第4条第2節に定める国際大会への提訴があった場合のみを除き、最終とする。

第3節 脱 会

いずれのクラブも、国際ロータリーに対する金銭上その他の義務を完済している限り、加盟から脱会することができる。理事会が脱会を受理したときは、その脱会は直ちに効力を生ずるものとし、そのクラブの加盟認証状は事務総長に返還されなければならない。

第4節 機能の喪失

何らかの理由により、クラブが解体し、または例会を定期的に行わず、その他機能を遂行することができなくなった場合は、理事会は、そのクラブの加盟を終結させることができる。

第5節 再結成

加盟を終結させられたクラブが再び結成された場合、または同じ土地に新クラブが結成された場合、理事会はその再結成または新設されたクラブに加盟の承認を与えるに当たり、これに加盟金の支払を求めるか否か、または、国際ロータリーに対する元のクラブの負債の支払を求めるか否かを、決定する権限を持つものとする。

第6節 引渡し

国際ロータリーにおける会員籍が終結したときは、その元クラブは、国際ロータリーの財産に対する所有権を失う、または失うに到るものとする。但し、会員籍に在る間は、国際ロータリーの名称、徽章その他の標章を使用する権利を有するものとする。この権利は、そのクラブの加盟会員籍が終結したときに消

滅するものとする。事務総長は、クラブの加盟認証状を回収するための措置をとる義務を負うものとする。

第3条 クラブの会員身分

第1節 種 類

ロータリー・クラブの会員の種類は次の4種類、すなわち、正会員、シニア・アクティブ会員、パスト・サービス会員および名誉会員とする。

第2節 正会員

国際ロータリー定款第4条第3節に定められた資格条件を有する者は、ロータリー・クラブの正会員に選ばれることができる。

第3節 アディショナル正会員

*(a) クラブの正会員は、いずれも、自分と同じ職業分類の実業または専門職業に現実に従事している者をもう一人正会員に推薦することができる。クラブはこれを正会員に選ぶことができる。この場合、その正会員の職業分類は推薦者の職業分類と同一とする。このアディショナル正会員の資格条件は、国際ロータリー定款第4条第3節に正会員について定められているものと同一とする。このアディショナル正会員は、本節、本項に基づくアディショナル正会員を推薦することができないことを除いてすべて正会員に同じとする。本節の前述規定の下に選ばれたアディショナル正会員は、推薦者の正会員身分が終結したか、推薦者がシニア・アクティブ会員になった場合、自動的に正会員になり職業分類の保持者となる。

(b) クラブは、その職業分類の保持者の承諾を条件として、かつていずれかのロータリー・クラブの正会員であった者で、その現実にたずさわっている事業の場所またはその住居がクラブの区域限界内にあり、かつ会員となるべきその他の資格条件が備わっている者を、アディショナル正会員に選ぶことができる。但し：

* 1983年規定審議会において改正。

(1) いかなる場合でも、一つの職業分類について本節、本項の下に選ばれるアディショナル正会員の数は1名を超えないものとする。

*(2) 本節、本項の下に会員に選ばれるためには、かつて属していたクラブを退会した理由が、本人がそのクラブの区域限界内でそのクラブにおいて本人が分類されていた職業分類の下に現実に職業活動に従事しなくなったということではなければならない。

本項の下にアディショナル正会員に選ばれた場合、その職業分類の保持者が正会員身分を失っても、アディショナル正会員身分に何の影響も及ぼさないものとする。

第4節 シニア・アクティブ会員

(a) クラブの正会員またはパスト・サービス会員で、その一つまたはいくつかのクラブにおける正会員およびパスト・サービス会員としての経歴が次の各号に定める要件のいずれかに合致している者は、自動的にかつ直ちにシニア・アクティブ会員となるものとする。

- (1) 一つまたはいくつかのクラブで通算15年以上会員であった者、
- (2) 現在60歳以上で、一つまたはいくつかのクラブで通算10年以上会員であった者、
- (3) 現在65歳以上で、一つまたはいくつかのクラブで通算5年以上会員であった者、
- (4) 現在国際ロータリーの役員であるか、またはかつてその役員であった者。

(b) クラブは、任意に、かつてどこかのクラブの会員であった者で、会員でなくなった時点においてシニア・アクティブ会員であった者またはシニア・アクティブ会員になりうる条件を備えていた者を、そのクラブのシニア・アクティブ会員に選ぶことができる。但し、その元会員の住居またはその現実にたずさわっている事業の場所が、そのクラブの区域限界内またはその周辺の地域内にあることを要する。

(c) シニア・アクティブ会員は、次に掲げる事項を除き、すべて正会員と同一の権利、特

典および責任を持つものとする。

(1) シニア・アクティブ会員は職業分類を代表しないものとし、また、

(2) 本条第3節(a)項によるアドイショナル正会員を推薦する権利を持たない。

クラブは、シニア・アクティブ会員の従事している職業の職業分類の下に、有資格者を入会させることができる。

***第5節 パスト・サービス**

(a) 現職から引退したために正会員身分を喪失したかつてのロータリー・クラブ正会員は、本人が正会員となっていたクラブその他のクラブのバスト・サービス会員に選挙されることができる。但し、次の条件を備えていなければならない。

(i)自発的な引退の場合、一つまたはいくつかのクラブで通算3年以上正会員であったこと。或は、(ii)クラブ理事会が、病氣、定年などやむを得ぬ引退と判断した場合、会員歴にかかわらず55歳に達していること。このような元会員は、他のすべてのバスト・サービス会員の資格条件を備えている限り、その正会員の身分を失った時またはその後いつでも、バスト・サービス会員に選ばれることができる。実業または専門職からの引退が、クラブの会員でなくなった後に生じたものであった場合は、これをバスト・サービス会員に選挙することはできない。バスト・サービス会員は、本人が正会員となっていたクラブの会員に選挙された場合を除き、入会金の支払を要するものとする。本人が正会員となっていたクラブの場合は、二度目の入会金の支払を要しないものとする。バスト・サービス会員は、本人がバスト・サービス会員となっているクラブの区域境界内またはその周辺に居住しており、また、引き続き居住することを要する。但し、本人が正会員となっていたクラブのバスト・サービス会員に選挙される場合はこの限りではない。この場合は、本人が正会員の身分を失ったときに居住していた場所に居住することができる。

(b) バスト・サービス会員は、実業または専門職業の職業分類を代表するものとしな

こと、シニア・アクティブ会員になることができないこと(但し本条第4節(a)項に規定されている場合を除く)およびアドイショナル正会員を推薦する権利を持たないことの3点を除き、正会員の持つすべての権利、特典および責任を有するものとする。

第6節 二重会員

何人も、同時に、いくつかのクラブにおいて、正会員、シニア・アクティブ会員またはバスト・サービス会員となることを得ないものとする。

***第7節 名誉会員**

ロータリーの理想推進のために称賛に値する奉仕をした男子を、そのクラブの名誉会員に選挙することができる。

名誉会員は、入会金および会費の納入を免除されるが、投票権を持たない。クラブのいかなる役職にもつことができない。職業分類を代表しない。しかし、クラブのあらゆる会合に出席することができ、その他クラブのあらゆる特典を享受することができる。名誉会員は、本人が会員となっているクラブ以外のクラブにおいては、いかなる権利または特典も認められないものとする。

第8節 宗教、報道機関および外交官

二つ以上の宗派の各代表者、二つ以上の新聞社および/またはその他の報道機関の各代表者および二つ以上の国の政府を代表する各外交官は、これらの職業分類の下に正会員となる資格を有するものとする。但し、これらの代表者が定款および本細則に定められた資格条件を備えていることを要する。

第9節 公職

一定の任期を限って選挙または任命によって公職に在る者は、当該公職の職業分類の下にクラブの正会員となる資格を有しないものとする。これは学校、大学その他の教育施設に奉職する者または裁判官に選挙もしくは任命された者には適用されない。

クラブの正会員で一定の任期をもった公職に選挙または任命された者は、その公職に在

* 1983年規定審議会において改正。

任中、前記の選挙または任命の直前に本人がクラブにおいて代表していた職業分類の下に、引き続き正会員としての身分を保持することができる。

第10節 会員身分の制約

本細則第1条第2節に規定されてはいるが、いかなるクラブも、国際ロータリー加盟年月日に関係なく、クラブの定款またはその他の規定によって、クラブの会員身分を人種、皮膚の色、信条または国籍に基づき制約すること、もしくは国際ロータリーの定款または本細則に明白に規定されていない会員身分の条件を課すことはできない。本細則本節の規定に反する、いかなるクラブ定款のいかなる規定、その他によるいかなる条件も無効とし効力は無いものとする。

第11節 国際ロータリーの職員

クラブは、国際ロータリーと雇傭関係に入ったそのクラブの会員の会員身分を、その雇傭関係の続く限り、保持せしめることができる。

第4条 理事会

第1節 任務

国際ロータリーの理事会は、国際ロータリーの目的の推進、ロータリーの綱領の達成、ロータリーの基本原則の研究と教育、ロータリーの理想、倫理およびロータリーの独創的組織の保全、並びにロータリーを全世界に拡大する目的のために必要なあらゆることを行う義務を負うものとする。

第2節 権限

理事会は、国際ロータリーの管理主体をなすものとし、その決定は、定時または臨時の国際大会に提訴する以外に、これを覆すことができないものとする。かかる提訴は、当該国際大会の開会の少なくとも30日前に、国際ロータリーの事務総長に提出されなければならない。

***第3節 管理および監督**

* 1983年規定審議会において改正。

理事会は、国際ロータリーの役員、役員エレクト、役員ノミニーおよび委員会の全部に対する総括的管理および監督を行い、しかるべき理由がある場合には、聴聞を行ったうえ、理事会全員の投票の3分の2によって、役員、役員エレクト、役員ノミニーまたは委員を罷免することができる。但し、問責書およびかかる聴聞の行われる時と場所を明示した通知が、聴聞の行われる少なくとも60日以前に、本人に直接もしくは書留郵便によって、届けられていなければならない。この聴聞においては、弁護人を本人の代理人とすることができる。地区ガバナー・ノミニーの場合、理事会は、このほかに、本細則第13条第5節に規定されている権限をもつものとする。

第4節 会合

(a) 理事会は、理事会が決定する時および場所において開くか、もしくは会長の招集によって開くものとする。開会の通知は、通知を必要としない場合を除き、開会日の少なくとも30日前に、事務総長により、理事会の全部に対して行われなければならない。理事会は、各会計年度ごとに少なくとも2回開かなければならない。

(b) 次の会計年度に理事会のメンバーとなる者の暫定会合が、年次国際大会の終了直後、次期会長の定める時と場所において、開催されなければならない。7月1日以後のいずれかの日に、定足数を満たした理事の出席した理事会、または本条第5節に述べられている通信方法の中のいずれかによって理事の過半数が、前記暫定会合で行われた決定を承認したときは、暫定会合およびその会合で行われた決定は、暫定会合が前記の7月1日以後の日に行われた場合と同様の効力を有するものとする。

(c) いかなる理事会の会合においても、定款または細則によってより多くの投票を必要とされる場合を除き、理事会のメンバー5名をもってすべての事項を処理するための定足数とする。

第5節 通信による投票

理事会は、会合を行わないで、会長から、

または会長の承認を得て、理事会に回付された事項を、郵便、電信、無線電報または電話によって票決する方法によって、議事処理することができる。理事会のメンバーの過半数が投票を終了している場合には、回付の日から30日を経過したときをもって、投票が締め切られたものとみなし、また、前記の期日前であっても、理事会のメンバーの過半数が賛成票を投じたときまたは反対票を投じたときは、そのときをもって投票が締め切られたものとみなす。

第6節 執行委員会

理事会は、3名以上5名以下のメンバーにより構成される執行委員会を任命することができる。理事会はこの委員会に、理事会の会合と会合との中間期間中、既に国際ロータリーの方針が確立されている、執行または管理の性格を持つ事項について、理事会に代わって決定を行う権限の行使を委任することができる。執行委員会は、理事会によって定められ、本節の規定に背馳しない職務権限によってその任務を行うものとする。

第7節 決定権限

理事会は、定款および細則の規定の趣旨の範囲内において、どのようなことを、その範囲と性格上、国際的事項とするか、国内事項とするか、或はその他の事項とするかを決定し、これを宣言する権限を持つものとする。但しクラブはそれについて国際大会に提訴する権利を有するものとする。かかる提訴は、当該国際大会の開会に先立つ少なくとも30日前に事務総長のもとに提出されなければならない。これに関する討議は国際大会の議事規則に従うものとし、国際大会の決定をもって最終とする。

第8節 欠員

(a) 理事に選挙された時期と任期の第1年目を終わるときとの間に、何らかの理由で理事に欠員が生じた場合には、その理事を指名したゾーン、地理的集団または地域内のクラブは欠員となった理事の残存任期を務める後任の理事ノミニーを選出して、理事会による選挙にそなえるものとする。このようなノミ

ニーの選出は、可能な限り、当該ゾーン、地理的集団または地域が理事ノミニーを選出する場合の手続に従って行うべきものとする。手続の具体的詳細は会長の定めるところによる。

このような選出が本細則の定める指名委員会の方法によって行われる場合において、欠員の生じた年度に当該ゾーン、地理的集団または地域に理事指名委員会が設けられていたときは、その委員会が、その任務のほか、欠員理事の残存任期を任期とする理事ノミニーの選出に関する任務を行うものとする。

このような指名委員会が設けられていない場合には、空席となった理事の選出に関する任務に当たった指名委員会が、その空席を埋めて残存任期を務める理事ノミニーの選出に関する任務を行うために、会長によって再任命されるものとする。

本節上述の規定に従って空席を埋め、残存任期を務める理事ノミニーを選出した後、そのノミニーを理事とする選挙は、理事会が、会長の決定するところに従い、次の理事会において、もしくは通信による投票によって、これを行うものとする。

(b) 理由のいかんを問わず理事の欠員が、その理事の就任第1年度終了のときとその任期満了のときとの間に生じた場合は、残余の理事が、会長の決定に従って、次の理事会において、もしくは通信による投票によって、欠員の生じた当該ゾーン、地理的集団または地域から、残存任期中空席を埋める理事を選挙するものとする。

(c) 上述の規定によることができないような不測の場合が生じたときは、会長がとるべき手続を決定するものとする。

第5条 役員

第1節 選挙

(a) 会長および理事は、以下に定める規定に従い、年次国際大会において選挙されるものとする。

(b) 毎年、次期理事会の暫定理事会会議に

おいて、次期会長は、副会長を選任するものとする。

次期理事会は、その暫定理事会会議において、そのメンバーのうち任期の第2年目を務めることとなる者の中から、7月1日から向こう1ヵ年を任期とする財務長を選出するものとする。

(c) 事務総長は理事会が選任し、その任期は選任後の7月1日に始まり、5ヵ年を超えないものとする。事務総長の任期の終了する年に、理事会はその年の3月31日までに事務総長を選び、事務総長はそのあとの7月1日に就任するものとする。事務総長は再選することができる。

第2節 資格条件

(a) 国際ロータリーの各役員は、クラブの名誉会員以外の瑕疵なき会員でなければならない。

(b) 国際ロータリー会長候補者は、かかる候補者として推薦される以前に国際ロータリーの理事としてその任期の全部を務めたことのある者でなければならない。但し、任期の全部に足りない在職であっても、理事会がこの規定の趣旨に照らして差し支えないものと認めた場合はこの限りでない。

(c) 国際ロータリーの理事候補者は、かかる候補者として推薦される以前に国際ロータリーの地区ガバナーとしてその任期の全部を務めたことのある者でなければならない。但し、任期の全部に足りない在職であっても理事会がこの規定の趣旨に照らして差し支えないものと認めた場合はこの限りでない。

第3節 任期

(a) 会長および各理事を除き、国際大会において選挙される各役員は、その選挙された国際大会が終了した直後の7月1日に始まるものとする。但し、特別な事情のある場合には、理事会は、ある地区ガバナーの任期が、7月1日後であってその年の10月1日以前の日に始まるものと定めることができる。理事を除き、すべての役員は、1ヵ年またはその後継者が選挙されてその資格を得るまで在任するものとする。定款または本細則

に定めのない限り、理事はすべて2ヵ年、またはその後継者が選挙されてその資格を得るまで在任するものとする。

(b) 国際大会において選挙された会長の任期は、その選挙された年の次の暦年の7月1日に始まるものとする。但し、その選挙の行われた国際大会が終了した直後の7月1日から会長エレクトとして理事会のメンバーとなるものとするが、同人を副会長に選任することはできないものとする。

(c) 国際大会で選挙された各理事の任期は、選挙された年の次の暦年の7月1日に始まるものとする。

第4節 欠員

(a) 会長が欠員となった場合は、副会長が会長の地位を継ぎ、そして、その他の理事会のメンバーの中から新たに副会長を選任するものとする。

(b) 会長エレクトに欠員を生じた場合は、本細則第10条第2節(e)項に定めるところに従ってその欠員を補充するものとする。

(c) 財務長または事務総長に欠員を生じた場合は、理事会はその残存任期を充填する後継者をロータリアンの中から選任しなければならない。

第5節 報酬

事務総長以外の役員はすべて無報酬とする。理事会は事務総長の報酬額を定めなければならない。

第6節 任務

(a) 会長はすべての国際大会およびすべての理事会の会合を主宰するものとする。会長は、最高執行者として、国際ロータリーの業務および活動を管理し、その職責に属するその他の任務を執行するものとする。

(b) 会長エレクトは、理事会のメンバーとしての任務および権限のみを持つものとする。但し、会長または理事会はこれにその他の任務を与えることができる。

(c) 事務総長は、会長の監督および理事会の支配の下に業務を執行する国際ロータリーの常務役員とする。事務総長は、国際ロータリーのために、事務総長の署名を要するすべ

ての書類に署名し、会計記帳を行い、理事会の指示した方法によって資金を受け入れてこれを預金し、また、理事会に対して年次報告を行うものとし、その報告は、理事会の承認を経たうえ、年次国際大会に提出しなければならない。事務総長は、理事会の要求する金額と保証人を、誠実な任務遂行の保証として提供しなければならない。

(d) 財務長は、理事会の指示した方法に従って資金の払い出しを行うことのほか、理事会から委任された財務長の職責に属するその他の任務を行うものとする。財務長は、理事会から要求された場合、理事会に報告し、また、国際大会で報告しなければならない。財務長は、理事会の要求する金額と保証人を誠実な任務遂行の保証として提供しなければならない。

第6条 立法手続

第1節 提案

国際ロータリーの定款もしくは細則または標準クラブ定款を改正しようとする提案は、これを制定案と称するものとする。これらの規則のいずれをも改正することを目的としない提案は、これを決議案と称するものとする。

本細則に別段の定めある場合を除き、制定案は、国際ロータリー定款第13条、国際ロータリー細則第9条および第20条、並びに標準クラブ定款第14条に定められている方法によって提案され、決定されなければならない。

決議案の提出は、クラブ、地区大会、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー審議会または大会、規定審議会、および理事会においてこれを行うことができる。理事会は、管理委員会の事前の承諾なしに、ロータリー財団に関する決議を提出できないものとする。

決議案は、規定審議会または国際大会でその提案が審議、採決されるときに審議会の議員または国際大会に出席して投票を行うクラブの代議員の投する有効投票の少なくとも過

半数の賛成票によって、採択することができる。

この規定に別段の定めのある場合を除き、決議案は規定審議会の審議に付せらるべきものとし、審議会の開かれる30日前までに、書面をもって、これを事務総長の許に届けなければならない。但し、審議会または理事会の提出する決議案については、審議会が閉会するまでこれを受理し、その票決を行うことができる。

管理、運営上の事項に関する決議案は、規定審議会が開かれることになっていない年には、理事会がこれをその年の国際大会の審議に付することができるものとし、そして、本細則第9条の定める処理方法によらず、国際大会で審議することができるものとする。但し、このような決議案は、すべて理事会がその提案者となり、その審議が行われる国際大会の開かれる75日前までに事務総長に提出さるべきものとし、事務総長は、その決議案の審議が行われる国際大会の開かれる60日前までに、その写しを各ロータリー・クラブに郵送するものとする。

本細則に別段の定めある場合を除き、決議案は本細則第9条に規定する方法によって提案し採決すべきものとする。

第2節 非常事態

(a) 理事会全員の3分の2の多数によって表明された理事会の意見として、非常事態の存在することが認められた場合は、

(1) 国際ロータリーの定款を改正しようとするものでない制定案、または決議案で、規定審議会が開かれることになっている年の規定審議会の会期中または会期前において、審議会の審議に付するために定められている立法案提出期限を過ぎてから受理されたものについては、本細則第20条第3節または標準クラブ定款第14条第3節または本細則第9条の規定による手続を経ないで、当該審議会においてその決定を行うことができる。但し、時間的に可能な限り、これらの規定に定められている手続に従うべきものとする。

(2) 国際ロータリーの定款を改正しようとするものでない制定案、または理事会以外の者が提出した決議案、および理事会提出の管理、運営上の事項以外の問題に関する決議案は、規定審議会が開かれることになっていない年には、本細則第20条第3節または標準クラブ定款第14条第3節または本細則第9条に定められた手続を経ないで、その年の国際大会において、その票決を行うことができる。但し、時間的に可能な限り、これらの規定に定められている手続に従うべきものとする。

(3) 国際ロータリーの定款を改正しようとするものでない制定案、または理事会以外の者が提出した決議案、および理事会提出の管理、運営上の事項以外の問題に関する決議案で、規定審議会が開かれることになっている年の国際大会の会期中、または会期前において、審議会の会期終了後に、受理されたものは、本細則第20条第3節または標準クラブ定款第14条第3節または本細則第9条の規定による手続を経ないで、当該国際大会においてその票決を行うことができる。但し、時間的に可能な限り、これらの規定に定められている手続に従うべきものとする。

(b) 非常事態下にこれらの規定に基づいて規定審議会または国際大会によって処理される制定案または決議案を採択するためには、出席者の投票の3分の2の賛成票を要するものとする。

第7条 国際大会

第1節 時期および場所

定款第8条第1節の規定に従って、理事会は、毎年、その会合の時点を含む会計年度が終わってから54カ月後に始まる暦年に開催すべき国際大会の日および場所を決定することができる。そしてその国際大会の開催のためにあらゆる準備手配を行う権限を有するものとする。

第2節 招集

国際大会の少なくとも6カ月前に、会長は年次大会の公式招待状を公表し、事務総長がこれを各クラブに郵送しなければならない。

臨時国際大会の招待状は、開催日の少なくとも60日前に発せられ、郵送されなければならない。

第3節 国際大会の役員

国際大会の役員は、国際ロータリーの会長、副会長、事務総長および財務長、並びに会長によって任命される会場監督とする。

第4節 代議員

(a) 資格条件。各代議員およびその補欠者は、委任状による代議員を除き、本人の所属クラブの正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員でなければならない。

(b) 補欠者。クラブは、その代議員を選任する場合に、各代議員ごとに1名の補欠者を、さらに、その補欠者が必要な場合の任務を行うことができなくなったときには、第2の補欠者を選ぶことができる。補欠者は、自分がその補欠者または第2補欠者となっている代議員が欠席した場合にのみ投票を行うことができるものとする。但し、正式の信任状を有する補欠者は、自分のクラブのどの代議員のためにも、その代議員の補欠者が欠席した場合、その代議員の代わりを務めることができる。補欠者が代議員に代わる場合には、国際大会に提出された案件に対し、自分がその補欠者となっている代議員が投票しうる票数と同数の投票を行うことができる。

補欠者が代議員に代わる場合は、代議員の団長はその交代を信任状委員会に通知しなければならない。このようにして、補欠者が代議員に代わった場合は、その補欠者は、その大会が終了するまで引き続き代議員として務めるものとする。大会開催地のクラブの代議員については、信任状委員会は、この一般原則を変更して、補欠者が代議員に代わる場合を一つまたはいくつかの会議について認めるようにすることができる。但し、その代議員が大会の運営に関する仕事に携わっていて、そうした大会の会議のすべてに出席することが不可能な場合に限るものとし、また信任状委員会が正式にこのような交代の仕方について通知を受け、それを承知していなければならない。

(c) 委任状による代理者。国際大会にクラブを代表する代議員またはその補欠者を持たないクラブは、自分の地区内にあるいずれかのクラブの正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員を委任状による代理者に指定して、自分のクラブの有する一つまたはいくつかの投票権の行使を委任することができる。但し、無地区クラブの場合は、自分のクラブが送りうることとなっている代議員の代わりに、所在のいかなるかを問わず、いずれかのクラブの正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員を委任状による代理者に指定することができる。

このような委任状による代理者は、本条第5節に規定する証明書を提出することによって本人のもっている他の投票権のほか、自分が代理者となっている代議員に代わって投票する権利を取得するものとする。

第5節 信任状

各代議員およびその補欠者の権限は、そのクラブの会長および幹事の署名した証明書によって証明されるべきものとする。委任状による代理者の権限は、代理を委任した、代議員を送らないクラブの会長および幹事の署名する証明書によって証明されるべきものとする。代議員、補欠者、および委任状による代理者が国際大会においてこれらの資格によって行動するためには、これらの証明書は、すべてその国際大会の信任状委員会に提出されなければならない。

第6節 特別代議員

国際ロータリーの各役員または理事、および現在もクラブで名誉会員以外の会員身分を有する国際ロータリーの各元会長は、これを特別代議員とし、国際大会の投票に付せられた各案件に対して1票を投ずる権利を有するものとする。

第7節 登録料

国際大会に出席する16歳以上の者は、すべて登録して理事会の定める登録料を支払わなければならない。代議員または委任状による代理者は、その登録料を支払うまでは、国際大会において投票する権利を有しないものと

する。

第8節 定足数

(a) 全クラブ数の6分の1を代表する代議員および委任状による代理者をもって、国際大会のすべての本会議における定足数とする。

(b) 本会議において定足数を満たす出席の有無が問題となり、当該本会議における出席が定足数に足りないことが判明した場合には、票決によることを要する決定は、議長が半日を超えない範囲で定める時間の間これを国際大会で行うことができないものとし、前記の時間を過ぎたときは、定足数を満たす出席の不足にかかわらず、正当に上程された場合と同様に、その案件の決定を行うことができる。

第9節 信任状委員会

各国際大会において、またはそれに先立って、会長は、会長の決定する少なくとも5名の委員から成る信任状に関する委員会を設置するものとする。

第8条 国際大会の手續規則

第1節

国際大会の手續規則は次の通りである：

(a) プログラム。国際大会委員会が報告し、理事会によって承認され、そして国際大会が採択したプログラムが全会議の日程となるものとする。プログラムについての変更は、出席代議員および委任状による代理者の投票数の3分の2をもって随時行うことができる。

(b) 討議一題目。委員会の報告、国際大会に対して行われた通信、制定案および決議案、およびこれらに対するすべての修正案、および議事慣行上“非討論事項”とされているもの以外のあらゆる動議は、国際大会の議場において討議することができる。但し、国際大会が3分の2の投票によって討論なしで議案を処理することを決定した場合を除く。

(c) 討議一制限。討議の場合各ロータリアンは、同一日に同一案件について2回を限り

発言することができる。但し、異議の申立についてはこの限りでない。しかし、その案件に関してまだ1回も発言していないロータリアンで発言を求めらる者がある限り、第2回目の発言は許されないものとする。国際大会におけるロータリアンの発言は1回5分を超えてはならない。但し、日程に定められているか、または過半数の票によって認められた場合はこの限りでない。

(d) 投票手續。国際大会における投票は、役員の指名または選挙について本細則に別段の定めある場合および次に示す場合を除き、口頭によるものとする。

(1) 選挙人が要求するか、もしくは議長が指図した場合は、投票は起立投票によるものとし、起立する各選挙人を1票と数えるものとする。

(2) 国際ロータリーの方針を左右するような制定案もしくは決議案、またはそのような制定案または決議案に対する修正案について票決を行う場合において、次に掲げるような事情のいずれかが存在するときは、投票は投票用紙によって行うものとする。

(aa) 問題が重要であってぜひこの方式による票決を必要とすることを、理事会の過半数が前もって表明しているか、または出席選挙人の過半数がこれを表明した場合。

(bb) 口頭または起立による投票が行われるのを注意して見ていた会長または司会に当たっている議長が投票用紙による投票が望ましいとする自分の考えを表明した場合。

(cc) 選挙人が、その名前と所属クラブを明らかにした上で、投票用紙による投票を要求し、かつ、上述の規定のいずれによっても投票用紙による投票を必要とすることにならないことを告げられ、その要求が正当であるか否かについて議長の意見を聞いたうえでなおその要求を主張し、更にその主張が、20以上の異なったクラブに属する少なくとも20名の他の選挙人一名前と所属クラブを名乗る機会を与えられてからその要求の共同支持者となった人達一によって支持された場合。

(e) 投票手續。(続き) 会長または議長は、必ずしも実際に数を数えることを要しないで起立投票の結果を宣することができるものとする。そして実数を数えることとする要求が遅滞なく行われ、20名に達する他の選挙人が発言の機会を与えられてその要求に同調しない限り、その宣言をもって最終決定とする。

制定案もしくは決議案またはその修正案の票決を投票用紙によるべきこととする指図には、当該制定案もしくは決議案およびそれに関する未決定の修正案の全部が記載されていなければならない。投票用紙は、制定案もしくは決議案およびそれに対する未決定の修正案を、必要な場合にはいろいろな問題もいっしょに、最終的に処理できるような様式と文言のものにしなければならない。

投票用紙による投票並びに役員の指名および選挙の場合には、選挙人はその所持する代議員の信任状および委任状による代理権の数だけの票を投じ得るものとする。但し、特別代議員は、特別代議員としての資格においては、国際大会全体に対して提出された案件についてのみ投票することができる。

(f) 代議員一座席。信任状委員会に対し正式に資格を証明した代議員の数に等しい数の座席が、これら代議員の専用のために確保されるべきものとする。

第2節 特別協議会

国際大会においては、その都度、ロータリー・クラブの結成されている国または国のグループのロータリアンが集まって、特別協議会を開催することができる。理事会または国際大会は、いずれの国または国々のロータリアンがこのような特別協議会を開催することとするかを随時決定して大会委員会にそのために必要な指示をしなければならない。この協議会においては、特に関係の国または各国に属する問題を協議することができる。会長は協議会の招集者を指名し、その協議会運営のためにできるだけ国際大会に準ずる手續規則を定めて発表しなければならない。協議会を開いたときは、その議長および幹事を選挙しなければならない。

第9条 規定審議会

第1節 構成

審議会の構成員は次の通りとする：

(a) 投票権を有する議員として、本条第6節(a)および(b)項の規定によってクラブが選挙した、各地区ごとに1名の地区クラブ代表議員。前記の代表議員は、国際ロータリーの元役員、もしくは現役員（地区内で代表議員に選ぶべき元役員もしくは現役員が得られないことを当該地区ガバナーが証明した場合は、次期地区ガバナー）でなければならない。代表議員は、いずれも、本人の代表する地区のクラブの正会員、シニア・アクティブ会員、またはパスト・サービス会員でなければならない。

(b) 投票権を有する議員として、会長が、無地区クラブの50またはその過半数の端数につき1名の割合で任命したこれらクラブの代表議員（およびその補欠者）。但し、いかなる場合でも、少なくとも1名の代表議員を任命すべきものとする。前記の代表議員は、いずれも、本人の代表する、無地区クラブのいずれか一つに所属する正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員でなければならない。しかし、国際ロータリーの元役員もしくは現役員であることを要しないものとする。

(c) 会長の任命する審議会議長および副議長。いずれも、議長席にあって可否同数の場合、これを決定する投票を行うことができるが、それ以外の場合には、投票権を有しないものとする。

(d) 投票権を有しない議員として、国際ロータリー定款・細則委員会の委員長および委員。審議会における特別議員として、後段で規定する任務に当たるものとする。

(e) 投票権を有しない議員として、会長、その他の理事会のメンバーおよび事務総長。

(f) 投票権を有しない議員として、元国際ロータリー会長全員、および国際ロータリー事務総長を10年以上の期間にわたり勤めた元事務総長。

審議会の議員は、いずれも、クラブの正会員、シニア・アクティブまたはパスト・サービス会員でなければならない。

国際ロータリーもしくは地区またはロータリー・クラブの常勤、有給の職員は、審議会の投票権を有する議員となることができない。

第2節 規定審議会のクラブ代表議員の任務
規定審議会のクラブ代表議員は、次の任務を有するものとする：

- (1) 地区大会およびその他の地区の会合で、立法案を討議すること；
- (2) ロータリーの問題に関する現在の自分の地区内の意向をよく知っておくこと；
- (3) 審議会に提出された制定案および決議案のすべてに批判的な検討を加え、審議会に、自分の見解を的確に伝えること；
- (4) 国際ロータリーの公正な立法当務者として行動すること；
- (5) 規定審議会の会議に、会期の全部を通じ、出席すること；
- (6) 審議会終了後、地区の各クラブに、審議会の審議に関する報告をすること。

*第3節 役員

審議会の議長、副議長、議事運営手続の専門家 (parliamentarian) および幹事を審議会の役員とする。議長は、審議会の会議の司会者となるほか、この細則および会議運営手続規則の関係規定に掲げられている職務、並びに通常その職責に属する任務を行うものとする。

副議長は、議長の決定により議長を補佐し、議長が決定した場合には司会者を務め、また、必要ある場合、その他の職務に当たるものとする。

議事運営手続の専門家は、議事運営手続に関する件で議長と審議会に勧告、助言するものとする。

事務総長は、審議会幹事となる。但し、会長の承認を得て、自分に代わって幹事を務める者を任命することができる。

* 1983年規定審議会において改正。

*第4節 議長、副議長および議事運営手続の専門家の任命

会長は、審議会開催の予定されているロータリー年度の初めに、審議会の議長、副議長および議事運営手続の専門家を任命するものとする。議長、副議長および議事運営手続の専門家の氏名は、事務総長からすべてのクラブに、これを発表する。

*第5節 特別議員

事務総長によって立法案の発表が行われたときは、審議会議長は、直ちに、一定の立法案件を指定して、これを各特別議員に付託するものとし、各特別議員は、割り当てられた立法案件のすべてを検討し、各案件について、その趣旨、その背景、その影響およびその採択に対する賛否の意見を審議会に報告する用意をしなければならない。

第6節 クラブ代表議員の選挙

(a) 本節(b)項に定める場合を除き、審議会における各地区（グレート・ブリテンおよびアイルランドを除く）のクラブ代表議員および補欠議員は、規定審議会の開かれるロータリー年度の前のロータリー年度のその地区の年次大会において選挙されるものとする。（グレート・ブリテンおよびアイルランドにおいては、規定審議会における各地区のクラブ代表議員および補欠議員は、審議会の開かれるロータリー年度の前のロータリー年度の10月1日後同年度内に開かれる地区審議会において選挙されるものとする）

ロータリアンが、審議会におけるクラブ代表議員となることを認められるためには、審議会におけるクラブ代表議員としての資格要件および任務をよく調べたうえ、次のことをしたため、これに署名した書面を、事務総長に提出しなければならない。

1. 審議会におけるクラブ代表議員の資格要件、任務および責任をはっきりと心得ていること。
2. 前記の任務と責任を引き受け、それを誠実に履行するための資格要件、熱意および

* 1983年規定審議会において改正。

能力をもっていること。

3. 審議会の会議に、その会期の全部を通じ、出席すること。

地区内のクラブは、そのクラブで審議会の議員となる資格のある会員（選ばれた上は、進んでその任務に服する用意のあることを表示している者）を指名することができるものとし、その指名は会長および幹事の署名のある文書をもって、地区ガバナーに対して証明され、地区ガバナーにより地区大会においてクラブの投票に付せらるべきものとする。地区大会に出席する各選挙人は、審議会におけるその地区のクラブ代表議員の選挙に1票を投ずる権利を与えられるものとする。

最高票数を得た候補者をその地区の審議会議員とする。第2位の票数を得た候補者を補欠議員とし、議員が務めを果たし得ない場合にのみその任につくものとする。議員およびその補欠議員（補欠議員が選挙されている場合）がいずれもその務めを果たし得ない場合は、地区ガバナーは、本条第1節の規定による資格条件を備えた、その地区内のクラブの他の会員を審議会における地区クラブ代表議員に指名することができる。

もし地区で候補者に指名された者が1名のみであった場合は、投票を行わないものとし、地区ガバナーはその被指名者を審議会における代表議員として公表するものとする。

(b) 郵便投票による指名。(1) 事情によりその必要のある場合は、理事会は、地区に対しその地区の審議会議員または補欠議員を郵便投票によって選ぶことを認めることができる。その場合地区ガバナーは、その地区の審議会議員の指名に関し公式の要請書を作成してこれをその地区内各クラブの幹事に洩れなく郵送させなければならない。指名はすべて書面により、そのクラブの会長および幹事がこれに署名することを要する。これらの指名書は地区ガバナーの定める期日までに地区ガバナーの許に届くことを要する。地区ガバナーは、推薦された有資格被指名者をアルファベット順に掲げた投票用紙をつくらせこれを各クラブに郵送させたりえ、郵便投票を

実施すべきものとする。各クラブは、選出の行われる月の前月末日現在における名誉会員を除く会員数の25名ごとまたはその過半数の端数につき1票の割合で投票権を与えられるものとする。但し、各クラブは少なくとも1票の投票権を有するものとする。もし地区ガバナーが希望する場合は、本項に規定する郵便投票手続を実施することを目的とした委員会を任命することができる。この場合には本項に規定されている任務は、その委員会が地区ガバナーに代わって行うものとする。

(2) 地区は、その地区の地区大会に出席し、投票する選挙人の多数決をもって、その地区の審議会議員および補欠議員の選出を郵便投票によって行うべきことを定めることができる。この場合の郵便投票は、規定審議会の開かれるロータリー年度の前のロータリー年度において、その地区の年次大会が開かれた月の翌月に、実施されるべきものとする。

この郵便投票は、本節(b)項(1)に掲げられている規定に従って実施されなければならない。

第7節 通知

審議会における地区のクラブ代表議員および補欠議員の選挙が終わったときは、地区ガバナーは直ちにその人達の氏名を事務総長に報告しなければならない。

審議会の少なくとも30日前に、事務総長はその時まで報告を受けている審議会議員の氏名を発表しなければならない。これと同時に、審議会開催の時と場所を知らせる通知を各審議会議員に郵送しなければならない。

第8節 信任状

会長は、審議会の会合に先立ち、信任状委員会を任命しなければならない。信任状委員会は、審議会の開かれる前に審議会の開催される場所において会合して、信任状を審査し、その査証をしなければならない。信任状は審議会の議員であることを証明するものとして委員会に提出することを要する。委員会の決定はいかなる場合でも、審議会がこれを審査することができる。

第9節 定足数

投票権を有する審議会議員の3分の1を定足数とする。投票権を有する各議員は投票に付せられた各案件につき1票のみを投ずる権利を有する。審議会においては、委任状による代理者の投票を認めないものとする。

*第10節 手続

(a) 本節(d)項の規定に従って、審議会はその都度、議事の運営に必要と考える手続規則を採用するものとする。但し、かかる規則は本細則の他のすべての規定に沿ったものでなければならない。審議会の開催に先立ち、会長は委員会を任命して、審議会の議事に関する手続規則および審議会の審議に付せられている案件の審議順序を立案して審議会に提出させなければならない。

(b) 議長はいかなる裁定にも異議を申し立てることができ、それを審議会に提起するものとする。議長の決定を覆すためには審議会の過半数の投票が必要とされる。

(c) 審議会特別議員としての国際ロータリー定款・細則委員会の委員長および委員、並びに審議会議長および副議長をもって構成する審議会起草委員会を設ける。定款・細則委員会委員長は、起草委員会の委員長となる。起草委員会は次の任務を行うものとする。

(1) 審議会から命ぜられた立法案文の書き直しを行い、立法案またはその修正案中にある矛盾を補正するために必要かつ適切な修正案を起草し、これを審議会に報告すること。

(2) 審議会の報告を作成すること。

(d) 事務総長は、制定案のすべてを審議会に回付しなければならない。但し、理事会は制定案本文の全部を点検し、定款・細則委員会の勧告に基づき、それらの制定案の本文の中に不揃いの箇所があればこれを提案者に通告しなければならない。

(e) 理事会は、すべての決議案の本文を点検し、規定審議会に提出された決議案の審議については、理事会が国際ロータリーのプログラムの枠内にあるものと決定した決議案を審議会に回付するよう事務総長に指令しなけ

*1983年規定審議会において改正。

制定案または決議案の採択に関して審議会の行った決定に対して反対の意思を表示した書式を事務総長に提出した場合は、その制定案または決議案に関して審議会の行った決定は無効とされるものとし、その制定案または決議案は、事務総長によって国際大会に提出され、クラブの投票代議員の審議並びに投票用紙による最終表決に付せらるべきものとする。

事務総長は、クラブから正式に受理した制定案および決議案の採択に関して審議会の行った決定に対して反対の意思を表示した書式のすべてを検査して、これに関する計算表を作るものとする。事務総長は、国際大会最終日の最初の議事として、代議員にこの計算の結果を報告するものとする。本細則に従って、出席、投票するクラブ代議員が審議、決定することとなる制定案もしくは決議案について、このような形でクラブに報告するものとする。

各制定案および決議案について審議会の行った決定は規定審議会直後の7月1日にその効力を生ずるものとする。本細則第20条第4節に定める場合を除き、制定案または決議案に関する国際大会の決定は、その制定案または決議案が表決された国際大会直後の7月1日にその効力を生じるものとする。

第10条 指名と選挙

会長の指名

第1節 会長の指名

会長の指名は、会長指名委員会もしくはクラブまたはこれらの両者によって、ここに定める方法に従って行われるものとする。この委員会の委員、その補欠者、元会長または理事会のメンバーは、会長に指名されることができないものとする。

*第2節 会長指名委員会

(a) 構成。会長指名委員会は、以下に規定するゾーンまたは地域から推薦され、選出さ

*1983年規定審議会において改正。

なければならない。理事会が定款・細則委員会の勧告に基づいて、決議案が国際ロータリーのプログラムの枠内のものでないと決定した場合は、提案者は審議会の開会に先立ってその旨通告されなければならない。そして、その決議案は、審議会に回付されないものとする。但し提案者が、その決議案を審議会において審議することについて、審議会議員の3分の2の同意を得ている場合はこの限りでない。

(f) 審議会は、正規に提案された各制定案および決議案並びにそれらに対する修正案を審議してこれに対する決定を行わなければならない。

(g) 審議会議長は、審議会終了後10日以内に、審議会の決定に関する詳細な報告を事務総長に提出しなければならない。

事務総長は、審議会開催年度に開かれる国際大会の閉会予定日の90日前までに、各クラブの幹事に対し、審議会が、修正を加え、または修正を加えずに、採択した制定案および決議案のすべてについて、審議会の行った決定に関する報告書を送付するものとする。報告書には、それに記載されている制定案または決議案の採択に関して審議会の行った決定に対し、反対の意思を表示しようとするクラブのために、その表示に用いる書式を添付しなければならない。

(h) 制定案または決議案の採択に関する規定審議会の決定に対して反対の意思を表示したクラブからの書式は、クラブ会長の認証を要するものとし、かつ、立法年度の国際大会閉会予定時刻の24時間前に事務総長の許に届くように、提出されなければならない。制定案または決議案の採択に関して審議会の行った決定に対して反対を表示する場合、各クラブは、直前の7月1日現在におけるクラブ会員数により、会員(名誉会員を除く)数50名ごとまたはその過半数の端数につき1票を投ずる権利を有する。但し、いかなるクラブも、少なくとも1票を投ずる権利を有するものとする。

その時まで、クラブ全部の行使し得る投票数の10パーセント以上に当たるクラブが、

れる15名の委員によって構成されるものとする。

各委員は本人が推薦を受けるゾーンまたは地域にあるクラブの名誉会員以外の会員でなければならない。

会長、会長エレクトおよび元会長は、いずれも会長指名委員会委員となる資格がないものとする。かつて会長指名委員会の委員を務めたことのある有資格ロータリアンは、前に委員を務めたときから少なくとも2年を経過していなければ委員となることできない。但し、ゾーンまたは地域に、元理事で指名委員会の委員となる資格のある者または委員にすることができる者がほかにいないときは、そのゾーンまたは地域で委員となる資格のあるロータリアンを引き続きそのゾーンまたは地域からの委員として選ぶことができる。この委員会の委員はいずれも国際ロータリーの元理事でなければならない。また委員会委員の候補者は、候補者として推薦を受けた時点において、元理事でなければならない。但し、指名委員会の委員として選出または任命することのできる元理事がいないゾーンまたは地域の場合は、元地区ガバナーであっても、本細則第14条第1節に規定する常任委員会の委員またはロータリー財団管理委員として少なくとも1年以上務めたことのあるものとする。

本節にいうゾーンとは、理事会が理事の選出のために定めた各地域におけるゾーンを指すものとする。

各ゾーンまたは地域の会長指名委員会委員の選出は、以下の規定によって行うものとする。

(1) 米国、カナダ、バミューダおよびプエルトリコ。米国、カナダ、バミューダおよびプエルトリコにおいては、会長指名委員会の委員として、毎年6名を選出する。偶数年に、ゾーン1、2、3、4、5および6にあるクラブが、それぞれのゾーンから会長指名委員会の委員として1名を選び、また奇数年には、ゾーン7、8、9、10、11および12にあるク

ラブが各ゾーンごとに会長指名委員会委員として1名を選ぶものとする。

(2) グレート・ブリテンおよびアイルランド。毎年、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー年次大会において、また年次大会が4月11日前に始まる年には、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー審議会の定める方法および時期による郵便投票によって、会長指名委員会委員1名を選出するものとする。

(3) ヨーロッパ大陸、北アフリカおよび東地中海地域。ヨーロッパ大陸、北アフリカおよび東地中海地域においては、当該地域から毎年2名の委員を選出するものとする。

アジアに所在するクラブ並びにオーストラリア、ニュージーランド、アフリカおよび他のいずれの地域にも属さない土地のクラブによって構成されている地域にあるクラブで、管理上の目的から、ヨーロッパ大陸、北アフリカおよび東地中海地域に含められているクラブは、会長指名委員会委員選出の目的から、これをヨーロッパ大陸、北アフリカおよび東地中海地域に含めるものとする。

毎年、その地域内の二つのゾーンのおおのから、番号順に輪番で、委員1名を選出するものとする。

(4) アジア。アジアにおいては、毎年、会長指名委員会委員として2名を選出するものとする。偶数年に、ゾーン1およびゾーン2にあるクラブが、それぞれのゾーンから会長指名委員会委員1名を選び、奇数年には、ゾーン3およびゾーン4のクラブが、それぞれのゾーンから1名を選出するものとする。

(5) イベロ・アメリカ。南米、中米、メキシコ、およびプエルトリコを除くアンティル諸島から成るイベロ・アメリカは、毎年、会長指名委員会委員として2名を選出する。毎年、番号順に輪番で、二つのゾーンがそれぞれ委員1名を選出するものとする。

(6) オーストラリア、ニュージーランド、アフリカおよび他のいずれの地域にも属さない土地。オーストラリア、ニュージーランド、アフリカおよび他のいずれの地域にも属さない

い土地のクラブによって構成されている地域は、毎年1名の会長指名委員会委員を次の順序で選出するものとする。ゾーン1、ゾーン2、ゾーン1、ゾーン3でゾーン3から始まる。

(7) 以上のうちの1地域から選出されるアディショナル指名委員会委員。以上に定められた各地域の会長指名委員会委員の選出のほか、毎年、1名のアディショナル委員が選出されるものとする。このアディショナル委員は、本人が選ばれてその委員となる指名委員会がその任務を遂行する年度に国際ロータリーの理事を務めることとなるアディショナル理事を本細則第10条第3節(a)項(7)の規定によって指名した地域と同じ地域から選出されるものとする。

* (b) 委員の選挙。2月1日から15日までの間に、事務総長は、次年度の会長指名委員会委員の候補者を出すことになっているゾーンまたは地域の各クラブの幹事に対し、これらゾーンまたは地域内のクラブの会員で被選資格のあるロータリアンをアルファベット順に記載したリストを郵送しなければならない。このリストは、事務総長事務所の原簿に載せられている被選資格のあるロータリアンに関する記録の2月1日現在のものによって作成されるべきものとする。

事務総長が各クラブに郵送するリストには、次の事項が記載されていなければならない：

- 各ロータリアンの氏名
- 本人の所属するクラブの名称
- 本人が務めたことのある国際ロータリーの役職および国際ロータリー委員会の委員、並びに在任年度。

次の国際大会における会長指名委員会委員の選挙に候補者を推薦しようとするクラブは、その例会において採択された前記候補者の指名に関する決議を、4月1日までに事務総長のもとに提出するものとする。この決議には、本人に委員候補者推薦を受諾する意思

があること、および、会長指名委員会委員に選挙された場合には喜んで就任するつもりであり、また就任することが可能であることを推薦されたロータリアン自身がしたためて差し出した書面を添付しなければならない。

前記4月1日までに事務総長が、いずれかのゾーンまたは地域からただ1名の候補者の名前しか受け付けていなかった場合は、そのあと10日以内に、会長は、その候補者を当該ゾーンまたは地域からの会長指名委員会委員として公表するものとする。もし4月1日に、事務総長がいずれかのゾーンまたは地域から2名以上の候補者の名前を受け付けていた場合は、それらの候補者名は、すべて、次の国際大会において、(グレート・ブリテンおよびアイルランドの場合は次のグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー年次大会において、または前述の郵便投票によって)当該ゾーンまたは地域からの選挙人による票決に付せらるべきものとし、各選挙人は、その所属するゾーンまたは地域から出す委員1名の選挙に1票を投ずる権利を有するものとする。会長指名委員会委員の選挙は無記名投票によるものとし、また、候補者が3名以上の場合には、単一移譲式投票の方法によるものとする。ゾーンまたは地域からの候補者の票決においては、必要な場合の第二選択以下の選択票を加算して過半数の投票を獲得した候補者が、会長指名委員会委員として公表されるものとする。当該ゾーンまたは地域からの候補者が必要な場合の第二選択以下の選択票を加算して第2順位の票数を得た者は、会長指名委員会の補欠委員として公表されるものとする。補欠委員は、本人がその補欠者として選出された委員がその任務に当たることができない場合にのみ、その任務を行う。いずれかのゾーンまたは地域において、同数の最高得票数が生じた場合は、会長は、国際大会の会期中に指名委員会委員選出のための時と場所を指定して、再投票を行わせるものとする。

指名委員会委員を選出すべきゾーンに次年度の指名委員会の委員を務めることのできる

* 1983年規定審議会において改正。

元理事がない場合には、理事会は、ここ数年間のその地域内における委員会委員の配分について十分考慮したうえで、その地域内の他のゾーンから委員を任命するものとする。

委員に選ぶことのできる元理事が1名または2名以上いるゾーンまたは地域が会長指名委員会委員の推薦もしくは選出をしなかった場合、または理由のいかんにかかわらず、そのゾーンまたは地域から出た委員に欠員を生じた場合は、4月1日現在そのゾーンまたは地域で委員を務める資格を備えている元理事で、最も新しい元理事が、そのゾーンまたは地域からの会長指名委員会の委員となるものとする。

委員の任期は、委員の選挙が行われた年次国際大会終了後の7月1日に始まり、翌年の6月30日に終了するものとする。委員の補欠者が委員会委員に代わった場合は、その補欠者は委員会の残存任期中その委員を務めるものとする。

以上の規定により委員会委員となる資格を有するものは、委員になることを受諾するかまたは拒絶するかの選択権を有するものとする。

委員およびその補欠者に関する前記の規定に定められていない場合の委員の欠員については、理事会がその欠員を補充する委員を任命するものとし、その委員は、なるべく欠員を生じたそのゾーンまたは地域内のクラブから任命されるべきものとする。

(c) 手続。事務総長は、前記の規定に従って委員会委員となった者を理事会およびクラブに通知しなければならない。

委員会を開いたときは、委員の中から委員長を選挙しなければならない。

事務総長は、会長の指名に関し委員会に提案をしてその審議を仰ぐことを希望するクラブがあれば、その提出をするようにクラブを促す告示をするか、または委員会の名でそれを告示させなければならない。審議を受けるためには、このような提案は毎年10月31日までに中央事務局の指名委員会に届くことを要する。提案は、理事会の定めた様式に記載

して指名委員会に提出されなければならない。事務総長がこの書式を各クラブに郵送する場合には、クラブが、指名に関する提案を審議、決定するために30日の期間を持ち得るような時期にこの書式を受け取り、そして、提案を所定の書式に記載して、10月31日までに事務総長の事務所の指名委員会に届けるのに十分な日数を持ち得るように、余裕をみて、発送するようにしなければならない。

(d) 委員会による指名。委員会は、会長の職務に当たるべき人物として求め得る最適任のロータリアンを指名する責任のあることを考えて、会長職につくべきノミネーを選ぶものとし、そして、本人がその指名を受諾したこと、および本人に就任の意思があり、また就任が可能であることを確かめなければならない。

委員会は、前記の目的のため、毎年11月30日までに、理事会の定める時と場所において開かれるものとする。

委員会の委員12名をもって定足数とする。委員会のすべての議事の処理は多数決によるものとする。但し、委員会の行う会長ノミネーの選定については、委員会委員の中、少なくとも9名の投票がそのノミネーを支持する票であることを要するものとする。

委員会の会議で選ばれた会長ノミネーが、何らかの理由で就任することができなくなった場合、または会長に辞表を提出した場合には、以後そのノミネーを本人の指名にかかわる年度の会長に指名または選挙することができないものとする。会長はこれを委員会の委員長に通知するものとし、委員会は被選資格を有する他のロータリアンを会長ノミネーとして選出しなければならない。委員会は、前記の11月30日までに開かれる会議で、このような不測の事態が生じた場合に備えて、委員長に、委員会に代わり、直ちに必要の場合の郵便もしくは電信による投票、または会長が理事会に代わって定める時と場所における緊急委員会の開催など、このような事態に対応する的確な措置をとる権限を与える決定を行うべきものとする。委員会があらかじめ取

事が委員会のとるべき措置を決定するものとする。

(g) 会長エレクトの空位。会長エレクトが選挙された時からその次の国際大会が終わるまでの間に会長エレクトに空位を生じた場合は、会長指名委員会は、その任務のほかにかかる会長エレクトが会長を務める管であったロータリー年度の会長ノミネーを選出しなければならない。このような選出は、できるだけ早く、緊急委員会か、または定例の委員会において行われなければならない。もしこのような会議を開くことができない場合は、郵便または電信による投票によって選出を行うことができる。

このような空位が生じた場合において、指名委員会が既に本節(d)項に従って会長ノミネーを選出しており、(e)項に従って事務総長に対してこれを証明していたときは、委員会は、その裁量によって、その既選出のノミネーの承諾を得た上、そのノミネーを次の7月1日に始まる年度の会長ノミネーとして指名することができる。この場合には、指名委員会はまだ1名の会長ノミネーを選出して、次の国際大会における選挙に付さなければならない。この会長ノミネーは、選挙された年の次の暦年の7月1日に会長の任につくものとする。

会長エレクトに生じた空位を補充するための指名手続は会長によって決定されるべきものとし、その手続には、各クラブに送付すべき委員会の報告およびクラブによる指名に関する規定が含まれていることを要する。このような規定は、時間的に可能な限り、本節(e)項および(f)項に従ったものでなければならない。もしも空位の生じた時期が国際大会に近過ぎて、大会に先立ち、全クラブに郵送すべき委員会の報告およびクラブによる指名を行うために必要な時間的余裕がない場合は、事務総長は可能な範囲内で委員会の報告に関する通知を行うものとし、また国際大会の議場におけるクラブ代議員による指名が許されるものとする。

会長エレクトが就任する管であった7月1

り決めておかなかったような不測の事態が生じた場合には、理事会が、会長ノミネーの選出について委員会のとるべき措置を決定するものとする。

(e) 委員会の報告。クラブ宛の委員会報告は、委員会の会議後10日以内に、委員長から事務総長に証明されなければならない。事務総長はこの報告を受けてから10日以内に、その写しを各クラブに郵送しなければならない。

(f) クラブによる指名。(1) 指名委員会によって行われる指名のほか、いずれのクラブも、その例会において採択された会長候補者を指名する決議を1月15日までに事務総長に提出することによって、次の国際大会における会長選挙に候補者として推薦されるべきノミネーを選ぶことができる。前記の1月15日までに事務総長がそのような指名をどのクラブからも受け取っていなかった場合は、会長は、委員会の指名した者を会長ノミネーとして公表するものとする。前記の1月15日までにそのような指名がどこかのクラブから受け取られており、かつ、その指名がその直後の1月25日まで引き続き有効である場合は、事務総長は、全部のクラブに対し、かかる会長ノミネー全員の氏名と資格を通告して、会長ノミネー全員が次の国際大会において投票に付せらるべき旨を通告しなければならない。もし、前記の1月25日に、どのクラブからの指名も有効でなくなっていた場合は、会長は、委員会の指名した者を会長ノミネーとして公表するものとする。

(2) 前述の、指名委員会が改めて会長ノミネーを選出しなければならないような事態が生じた場合には、クラブは、国際ロータリー理事会の決定により、指名委員会の指名するノミネーのほかには会長ノミネーを選ぶための期間としてできる限り十分な日数が与えられるものとし、前記のクラブの行う指名については、書類の提出期限に関するものを除き、本節(f)項の規定に従うべきものとする。

(3) 本節(f)項の前述の規定に定められていないような不測の事態が生じた場合には、理

日の直前の国際大会の終了後、その7月1日までの間に会長エレクトに空位が生じた場合は、その7月1日に会長の地位が空位になっているものとみなして、その空位を本細則第5条第4節に従って補充すべきものとする。

以上に規定されていない不測の事態が起こった場合は、会長において取るべき手続を決定するものとする。

(h) 国際大会への指名の提出、事務総長は、次の暦年の7月1日に始まる年度を任期とする会長の候補者として、会長指名委員会によって正式に指名された者の氏名およびクラブによって正式に指名された者の氏名を、選挙のため、国際大会に提出しなければならない。

会長エレクトに空位を生じた場合において、もし可能であれば、事務総長は、当該大会直後の7月1日に始まる年度を任期とする会長の候補者として、会長指名委員会が正式に指名した者の氏名およびクラブが正式に指名した者の氏名を、選挙のため、国際大会に提出しなければならない。事情により必要な場合は、前掲(8)項の定めるところにより、指名は、国際大会の議場におけるクラブ代議員によって行うことができる。

理事の指名

*第3節 理事の指名

(a) 理事の指名は、以下に定めるところにより、ゾーン、地理的集団または地域によってこれを行う：

(1) 米国、カナダ、バミューダおよびプエルトリコ、米国、カナダ、バミューダおよびプエルトリコからの理事の選出は、ゾーン別に行うものとする。米国、カナダ、バミューダおよびプエルトリコからの理事候補者推薦の目的のため、および本細則に特に定められているその他の目的のため、1から12までの番号を付した12のゾーンが設けられるものとし、そのうち、一つのゾーンはカナダのクラブから成り、11のゾーンは、米国、バミュー

*1983年規定審議会において改正。

ダおよびプエルトリコ内のクラブから成るものとする。各ゾーンとも、できる限り相隣接する国際ロータリー地区の集団内のクラブをもって構成されるべきものとし、また、米国、バミューダおよびプエルトリコ内のクラブから成る11のゾーンについては、それぞれのゾーンの選挙人の数がほぼ等しくなるようにしなければならない。

理事会は、米国、カナダ、バミューダおよびプエルトリコの各ゾーンを構成する地区のリストを決定しなければならない。理事会は、前記のリストを、毎年、米国、カナダ、バミューダおよびプエルトリコ内のすべてのクラブに公表すべきものとする。理事会が前記のようにして決定し公表したゾーンの編成は、その次の会計年度の国際大会において選挙される国際ロータリー理事の候補者指名につきその効力を有するものとする。各偶数年に、三つの奇数番号のゾーンのそれぞれから1名ずつの理事候補者を指名するものとし、これを、ある偶数年にはゾーン1、ゾーン3およびゾーン5が、その次の偶数年にはゾーン7、ゾーン9およびゾーン11が、というように代わるがわる行う。各奇数年には、三つの偶数番号のゾーンのそれぞれから1名ずつの理事候補者を指名するものとし、これを、ある奇数年にはゾーン2、ゾーン4およびゾーン6で、その次の奇数年にはゾーン8、ゾーン10およびゾーン12、というように代わるがわる行う。

カナダのクラブの構成しているゾーンからの理事ノミニーの選出は、集団別に、代わるがわるこれを行うものとする。理事候補者推薦の目的のために、そしてこの目的のためにのみ、カナダ内のクラブは、理事会の決定する三つの集団に分けられ、このように決定された集団は、その次の会計年度の国際大会において選挙される国際ロータリー理事の候補者の指名につきその効力を有するものとする。理事会は、カナダのクラブの構成しているゾーンからの理事が選挙される年の前の会計年度に、カナダの各集団を構成するクラブのリストを決定し、翌年の国際大会で選挙さ

るべき理事の候補者の指名を行う集団を指定するものとする。

カナダのクラブの構成しているゾーンからの理事が選挙される年の前の年に、理事会は、カナダ内のすべてのクラブに、カナダの各集団を構成するクラブのリストを公表し、また、次の会計年度の国際大会において選挙される理事の候補者の指名を行う集団をクラブに通知しなければならない。

(2) グレート・ブリテンおよびアイルランド、各偶数年ごとに、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー大会において、グレート・ブリテンおよびアイルランド内のクラブの会員中から1名の理事が指名されるべきものとする。このノミニーの氏名は、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの幹事によって事務総長に正式に表明されなければならない。このようなノミニーが選挙される資格を喪失した場合は、グレート・ブリテンおよびアイルランド内のクラブからの選挙人は、国際大会においてそのために開かれた会合で、多数決によって、当該地理的集団からの理事ノミニーを選出するものとする。

* (3) ヨーロッパ大陸、北アフリカおよび東地中海地域、ヨーロッパ大陸、北アフリカおよび東地中海地域からの理事ノミニーの選出は、ゾーン別に行うものとする。この地域内のクラブから理事候補者を推薦する目的および本細則に特に定められているその他の目的のために、1から5までの五つのゾーンを設ける。各ゾーンは、実行可能な限りこの地域の相隣接する国際ロータリーの地区の集団内のクラブから成るものとし、そのほかに理事会の決定する無地区クラブを含むものとする。アジアに所在する地区およびクラブ、並びにオーストラリア、ニュージーランド、アフリカおよび他のいずれの地域にも属さない土地によって構成されている地域にある地区およびクラブで、管理上の目的からヨーロッパ大陸、北アフリカおよび東地中海地域に含められているものは、理事候補者推薦の目的から、これをヨーロッパ大陸、北アフリカお

よび東地中海地域に含めるものとする。

理事会はこの地域内の各ゾーンを構成する地区および無地区クラブのリストを決定しなければならない。理事会は毎年このリストを地域内の全クラブに発表しなければならない。理事会が前記のようにして決定し公表したゾーンの構成は、次の会計年度の国際大会において選挙される国際ロータリー理事の指名につきその効力を有するものとする。

毎年、1名の理事がこの地域内クラブの会員の中から指名されるものとし、その指名は、番号順に輪番で、各ゾーンごとに行われるものとする。

* (4) アジア、アジアからの理事ノミニーの選出は、ゾーン別に行うものとする。アジアのクラブから理事候補者を推薦する目的および本細則に特に定められているその他の目的のために、1から4までの番号を付した四つのゾーンを設ける。各ゾーンは、できる限り相隣接した国際ロータリー地区の集団内のクラブで構成され、また理事会の定める無地区クラブを含むものとする。アジアにある地区およびクラブで、管理上の目的からヨーロッパ大陸、北アフリカおよび東地中海地域に含められているものは、理事候補者推薦の目的上、これをアジアのゾーンに含めず、ヨーロッパ大陸、北アフリカおよび東地中海地域のゾーンに含めるものとする。日本国内のクラブを含む各地区は、ゾーン1またはゾーン3に編入されるものとする。

理事会は、アジアの各ゾーンを構成する地区および無地区クラブのリストを決定する。理事会が前記のようにして決定し、公表したゾーンの編成は、次の会計年度の国際大会において選挙される国際ロータリー理事の候補者指名につきその効力を有するものとする。

毎年、アジア内のクラブの会員の中から1名の理事が指名されるものとし、その指名は、各ゾーンが、番号順に、代わるがわる行うものとする。

* (5) イベロ・アメリカ、イベロ・アメリカ

*1983年規定審議会において改正。

からの理事ノミニーの選出は、ゾーンによるものとする。イペロ・アメリカは南米、中米、メキシコ、およびプエルトリコを除くアンティル諸島を含むものとする。

イペロ・アメリカ内のクラブからの理事候補者を推薦する目的および本細則に特に定められているその他の目的のためにイペロ・アメリカを1から5までの番号を付した五つのゾーンに分けるものとする。各ゾーンは、できる限り相隣接する国際ロータリー地区の集団内のクラブから成るものとし、そのほかに理事会の決定する無地区クラブを含むものとする。各ゾーンは、各ゾーン内クラブから出る選挙人の数がほぼ同じになるように構成されるものとする。ブラジル国内のクラブを含む各地区は、ゾーン2またはゾーン4に編入されるものとする。

理事会は、イペロ・アメリカ内の各ゾーンを構成する地区および無地区クラブのリストを決定しなければならない。

毎年、理事会は、上述の地区のリストをイペロ・アメリカ内の全クラブに発表しなければならない。理事会によって上述のように決定され発表されたゾーンの編成は、次の会計年度の国際大会において選挙される国際ロータリー理事の指名に関しその効力を有するものとする。

毎年、各ゾーンが番号順に輪番で、1名の理事を、イペロ・アメリカ内のクラブの会員の中から指名するものとする。

* (6) オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカおよび他のいずれの地域にも属さない土地、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ、および他のいずれの地域にも属さない土地に所在するクラブからの理事ノミニーの選出は、ゾーンによるものとする。この地域内のクラブから理事候補者を推薦する目的および本細則に特に定められているその他の目的のために、1から3までの番号を付した三つのゾーンを設けるものとする。各ゾーンは、実行可能な限り、相隣接する国際ロータリー地区の集団内のクラブから成るものとし、そのほかに理事会の決定する無地区

クラブを含むものとする。この地域にある地区およびクラブで、管理上の目的からヨーロッパ大陸、北アフリカおよび東地中海地域に含められているものは、理事候補者推薦の目的上、これを、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカまたは他のいずれの地域にも属さない土地のクラブによって構成されているゾーンに含めず、ヨーロッパ大陸、北アフリカおよび東地中海地域のゾーンに含めるものとする。オーストラリア内のクラブを含む各地区は、ゾーン1に編入されるものとする。

理事会は、この地域のゾーンから理事が選挙される会計年度の前の年度に、この地域内の各ゾーンを構成する地区および無地区クラブのリストを決定し、この地域内の全クラブに発表しなければならない。理事会によってこのように決定され発表されたゾーンは、次の奇数年の国際大会において選挙される国際ロータリー理事の指名に関しその効力を有するものとする。

各奇数年ごとに1名の理事がこの地域内のクラブの会員の中から指名されるものとし、次のゾーン順で指名されるものとする：ゾーン1、ゾーン2、ゾーン1、ゾーン3。

* (7) 前記地域の一つからのアディショナル理事、以上のように定められた国際ロータリー理事の指名のほかに、各偶数年ごとに、上述地域のうち理事会の指定する1地域から、1名のアディショナル理事を指名するものとし、この理事ノミニーの指名は、指定された地域からの理事ノミニーの選出に関して本節で定めた手続に従って行われるべきものとする。

理事会は、少なくとも5年ごとに、ロータリー・クラブの地理的分布状態その他への配慮とともに、クラブの数の増勢およびある地域における特殊な増勢も考慮に入れて、理事会のメンバーの各地域への配分について検討すべきものとし、その検討に基づき、理事を指名する各地域ができる限り公平にその代表

* 1983年規定審議会において改正。

を理事会に出すこととなるようにする考えで、この規定により、アディショナル理事を指名する地域もしくは、地域内のゾーン、国(1ヵ国または数ヵ国)、地区(1地区または数地区)を決定してその指定をしなければならない。

* (b) 指名委員会手続による理事ノミニーの選出、理事ノミニーの選出は、グレート・ブリテンおよびアイルランドを除き、指名委員会手続によって行われるものとする。

理事ノミニー指名委員会は5名の委員から構成されるものとする。各委員は、当該ゾーン、地理的集団または地域内の会員で、パスト・ガバナーでなければならない。委員は1年の任期をもって選挙されるものとする。会長、会長エレクト、および元会長はいずれもこの指名委員会の委員となる資格はないものとする。理事も元理事も、理事指名委員会の委員となることはできない。この委員を2回務めたロータリアンは、以後更にこの委員を務めることはできない。各委員はそれぞれ1票の投票権を有するものとする。

指名委員会委員候補者を推薦するために、理事会は、ゾーン、地理的集団または地域が理事ノミニーを選出すべき会計年度の前の会計年度の第1回会合において、当該ゾーン、地理的集団または地域を五つの区域に等分してこれを指定しなければならない。理事会の決定する区域は、ゾーン、地理的集団または地域から選ばれる委員が、数年間の期間を通してほぼ均等にそのゾーン、地理的集団または地域内の各部分に配分されるようにするため、ゾーン、地理的集団または地域内のクラブ数をおおよそ5等分するために毎年変更することができる。このようにして指定された各区域内のクラブは、1名の委員を選挙するものとする。

このような年度の9月15日までに、事務総長はそのゾーン、地理的集団または地域内のクラブに、理事会によって定められた指名委員会委員の配分を通告し、以下定められてい

* 1983年規定審議会において改正。

るような委員会委員候補者推薦の方法についてクラブに通告しなければならない。

指名委員会委員は、ゾーン、地理的集団または地域のクラブによって、郵便投票によって選挙されるものとする。自分のゾーン、地理的集団または地域から理事指名委員会委員候補者を推薦しようとするクラブは、理事が国際大会で選挙される会計年度の前の会計年度の12月31日までに、そのクラブの例会で採択された、その候補者を指名するクラブ決議(クラブ幹事によって正式に証明されている)を事務総長の許に提出することによってこれを行うことができる。この決議には、推薦されたロータリアンが任務につく意思があり、就任が可能であるということと本人がしたためた書面、理事会が定めた様式に経歴の明細を記入したものおよび最近の写真を添付することを要する。

前記12月31日において、事務総長が理事会の決定したある区域から正式に推薦された当該ゾーン、地理的集団または地域の理事指名委員会委員の候補者として、1名の氏名のみを受理していたときは、会長は、できる限り速やかに、当該候補者をその推薦区域からの指名委員会委員とすることを公表するものとする。

前記12月31日において、事務総長が理事会の決定したある区域から正式に推薦された当該ゾーン、地理的集団または地域の理事指名委員会委員の候補者として、2名以上の氏名を受理していたときは、事務総長は、3月1日までに投票用紙——単一移動式が適用される場合にはその様式による投票用紙——を作成して、関係区域のクラブに郵送しなければならない。その投票用紙には、事務総長が、前記12月31日において、当該区域のクラブから受理しているすべての正式に推薦された候補者の氏名を列記するものとする。

各投票用紙には、それに記された各候補者の写真と履歴書が添付されなければならない。そしてその履歴書は記載事項が画一で、理事会が定めた書式に記入して提供された資料に基づいて作られたものでなければなら

い。前記以外の用紙、資料またはパンフレットや選挙運動のためのものは、一切認められない。候補者或は候補者のために他人が、国際ロータリーから配布される写真および履歴書以外のパンフレット、印刷物または書状を、ゾーン、地理的集団または地域のクラブもしくは会員に、配布したり、回覧させたりしてはならないものとする。

投票については、各クラブは1月末日現在のクラブ会員数に基づき、その会員（但し名誉会員を除く）数50名ごとまたはその過半数の端数につき1票を投ずる権利を持つものとする。但し各クラブは少なくとも1票を投ずる権利を有するものとする。会長は少なくとも3名の理事会のメンバーから成る選挙管理委員会を任命するものとし、その中の1名または数名は当該ゾーン、地理的集団および地域から出ている理事でなければならない。但しこれらの理事が任務遂行不能または資格喪失の場合はこの限りではない。

クラブの投票を表示した投票用紙は、中央事務局内の選挙管理委員会宛に送られることを要し、次の4月15日までに同委員会に到達しなければならない。選挙管理委員会は、6月1日までに投票用紙を審査し、これを数えて、投票の結果を事務総長に通知しなければならない。

投票の結果を決定するについては、選挙管理委員会は、理事会が定めた指名委員会委員の配分を実現するため投票用紙を各区域別に数えなければならない。そうして、各区域の投票において最高の票を得た候補者が委員会委員として公表されるものとする。2番目に多い票数を得た候補者がその同じ投票で選ばれた委員の補欠として公表されるものとする。補欠委員は、自分がその補欠として選挙された委員がその任務を務めることができないう場合にのみ、任務につくものとする。

ゾーン、地理的集団または地域内のある区域が理事指名委員会委員を選挙しなかった場合、または、何らかの理由で委員会委員に欠員を生じた場合は、当該ゾーン、地理的集団の中の当該区域から出た指名委員会の元委員

の中、最も新しい、有資格元委員、もしその人が資格に欠けるかまたは就任を拒否した場合はその補欠委員が、当該区域からの理事指名委員会委員となるものとする。前述の規定によって委員会委員となる資格ある者は、委員を務めることを承諾または拒否する選択権を与えられるものとする。委員および補欠委員に関する前述の規定を適用し得ない委員会委員の欠員の場合は、理事会が、その欠員を埋めるための委員を任命するものとする。この場合の委員は、欠員の生じたゾーン、地理的集団または地域内の区域と同じ区域内のクラブから優先的に任命さるべきものとする。

票決に当たって、前述の本項(b)の規定に定められていない不測の事態が発生した場合、理事会が、従うべき手続を決定するものとする。

ゾーン、地理的集団または地域から理事が指名される会計年度の前の会計年度の6月1日までに、理事会は委員会委員の中から指名委員会の招集者を指名しなければならない。そして次の10月1日から15日までの間に委員会の会合を開くべき場所を指定しなければならない。委員会はその会合の際委員の1名をその議長に選ばなければならない。

7月15日までに、事務総長は当該ゾーン、地理的集団または地域のクラブに指名委員会の構成について報告しなければならない。そして、委員会の名において、そのゾーン、地理的集団または地域内のクラブに対して、もし欲するならばそのゾーン、地理的集団または地域からの理事指名に関してクラブとしての提案を委員会の審議に付するために提出することを勧誘する通知を発し或は発せしめるよう手配しなければならない。この提案は、理事会が定めた書式を用いて指名委員会に提出されなければならない。そしてその提案書には、これを提出するクラブが適切と考える、候補者のロータリーその他における活動に関するあらゆる資料および最近の写真を含めなければならない。理事会が定める書式には、提案書の送付先である招集者の住所を記載しなければならない。前記の提案の審議を受け

るためには、その提案書が9月15日までに招集者気付指名委員会に到達することを要する。

委員会は、翌10月中に、理事会によって定められる時と場所において会合するものとする。委員4名をもって定足数とする。議事はすべて多数決によって決する。但し、委員会の理事ノミニーの選出に限り、少なくとも4名の委員がそのノミニーに賛成票を投ずることが必要である。

委員会による理事ノミニーの選出は、当該ゾーン、地理的集団または地域内のクラブの会員の中から、当該ゾーン、地理的集団または地域内のクラブが行った提案の中から、もしくはその他の方法によって行われる。もしも、ゾーン、地理的集団もしくは地域の1区域が理事会によって理事指名候補者推薦の目的のために指定されていた場合には、選出される理事ノミニーは、当該区域内クラブの会員であることを要する。指名委員会委員または補欠委員は、どちらも委員会によって理事に指名される資格を認められていない。委員会は、求め得る最も有能な人の指名を実現する責任を常に自覚していなければならない。

ゾーン、地理的集団または地域からの理事選出に関する委員会の報告は、委員会会合後10日以内に事務総長に提出しなければならない。11月1日までに、事務総長はゾーン、地理的集団または地域内の全クラブに指名委員会の選出を通告しなければならない。

もしも何らかの理由によって委員会の会合において選出された理事ノミニーが任につくことができないう場合は、委員会は郵便投票、電信または緊急委員会の開催のいずれかによって理事ノミニーをもう1名選出しなければならない。このような緊急の場合に対処する具体的な手続は、10月に開かれる委員会の会合において決定されるものとする。委員会が予測していないような緊急事態が発生した場合は、理事会は、委員会が理事ノミニー選出に際してとるべき手続を決定しなければならない。

指名委員会が行った選出に加えて、そのゾーン、地理的集団または地域内のクラブは、そのゾーン、地理的集団または地域からの理事候補者として、既に指名委員会に対して正式に提案されている者を推薦することができる。これを行うには、そのクラブの例会において採択された、その候補者の指名に関するクラブ決議を12月15日までに事務総長に提出することを要する。この決議には、任務につく意思があり、その用意があるという被推薦ロータリアンの書面による意思表示、経歴の明細（理事会が定めた書式に記入）および最近の写真の添付を必要とする。もしも、理事に指名されるべき候補者推薦の目的のために、そのゾーン、地理的集団または地域の中の1区域を理事会が指定していた場合には、各候補者はその指定された区域内にあるクラブの会員であることを要する。

もし前記の12月15日に、そのゾーン、地理的集団または地域内のどのクラブからも以上のような推薦を事務総長が受け取っていなかった場合には、会長は12月31日までに、指名委員会を選んだノミニーをそのゾーン、地理的集団または地域からの理事ノミニーとして公表するものとする。前記12月15日までに、事務総長が、ゾーン、地理的集団または地域内の一つもしくは二つ以上のクラブから候補者の推薦を受理した場合、クラブ推薦の候補者および指名委員会を選出した候補者から理事ノミニーを選ぶ方式は、本節(c)項に従って郵便投票で行われるものとする。

(c) 郵便投票。本節(b)項の規定によって、ゾーン、地理的集団または地域からの理事ノミニーの選出が郵便投票によって行われる場合は、その手続は次の通りとする：

会長は、投票用紙の準備を監督し、クラブの行った投票を受理し、これを数える選挙管理委員会を任命するものとする。この委員会は、郵便投票によって理事ノミニーの選出が行われるゾーン、地理的集団または地域の投票に関してその任務を行うものとする。

選挙管理委員会は投票用紙——単一移讓式投票による場合には、その様式の投票用紙

—および、理事会によって定められた書式に、推薦クラブから提供された各候補者に関する経歴資料を公平に要約して記入したものを準備するものとする。投票用紙には、指名委員会に正式に推薦された全候補者の氏名を記載するものとする（12月30日までに事務総長に書面で投票用紙から除外されることを要請した候補者を除く）。指名委員会選出の候補者の氏名に次いで、他の候補者の氏名をアルファベット順に投票用紙に列記する。指名委員会選出の候補者の氏名には、指名委員会選出と投票用紙に明記するものとする。

選挙管理委員会は、投票用紙に写真と履歴書を添えて、次の1月15日までに、当該ゾーン、地理的集団および地域内の各クラブ宛に郵送させるように手配しなければならない。この投票用紙は、投票を記入して3月1日までに中央事務局内の選挙管理委員会に必着するよう返送されなければならない旨の指図とともに郵送されなければならない。

各クラブは、少なくとも1票を投ずる権利を有するものとする。直前の7月1日現在の会員数に基づき、名誉会員を除く会員数50名を超えるクラブは、50名ごとまたはその過半数の端数につき1票を投じる権利を有するものとする。

3月5日までに、選挙管理委員会は、会長の招集によって会長の決定する時と場所に会合して、投票用紙を審査し、これを数え、そしてその投票の結果の報告を、その後5日以内に事務総長に対して証明しなければならない。

自分の属するゾーン、地理的集団または地域内で投じられた票——必要な場合には第2選択票および第3以下の選択票をすべて算入した上で——の過半数を得た理事候補者がノミネーとして公表されるものとする。

会長は3月10日までにこのような郵便投票によって選出された理事ノミネーの氏名を公表しなければならない。

最高得票が同数で、再度の郵便投票を必要とする場合は、選挙管理委員会は投票用紙の準備を監督して、理事ノミネー選出のための

第一次郵便投票で最高得票を得た候補者達の写真と履歴書を添付した投票用紙を、3月15日までに当該ゾーン、地理的集団または地域内の各クラブに郵送させるよう手配しなければならない。このような投票用紙は、投票を記入して、次の5月1日までに中央事務局内の選挙管理委員会に必着するよう返送されなければならない旨の指図とともに郵送されなければならない。選挙管理委員会は、5月5日までに、会長の招集の下に、会長の決定する時と場所において会合して、投票を審査し、これを数えて、その投票の結果の報告を、その後5日以内に事務総長に対して証明しなければならない。会長は、5月10日までに当該ゾーン、地理的集団または地域内の全クラブに対して、次の国際大会で選挙されるべき、そのゾーン、地理的集団または地域からの理事ノミネーを通告しなければならない。

(d) 期間の延長。本節において、何らかの措置がある期日までに完了しなければならない場合は、理事会は、特別な事情により理事会が必要と認める限り、ゾーン、地理的集団または地域のクラブに適用する期日を変更できる権限を有するものとする。

(e) 国際大会へのノミネー名の提出。事務総長は、国際大会における選挙のために、それぞれ所属ゾーン、地理的集団または地域によって、正規の手続によって理事職に指名されたノミネーの氏名および、任期満了直前の理事会によって正規の手続を経て理事職に指名されたノミネーがもしあればそのノミネーの氏名も合わせて、国際大会に提出しなければならない。

第4節 グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの会長、副会長、名誉会計の指名

グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの会長、副会長および名誉会計のノミネーは、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの細則に従って選ばれ、推薦され、そして指名されるものとする。

第5節 国際大会への他のノミネー名の提出

事務総長はまた、正規の手続によって地区ガバナー職に指名されたことを証明されたノミネーの氏名および、正規の手続によってグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの会長、副会長および名誉会計職に指名されたことを証明されたノミネーの氏名をも、選挙のために国際大会に提出しなければならない。

第6節 選挙人

正規の信任状を有する代議員、委任状による代理人、および特別代議員が国際大会の選挙体を構成するものとし、これらを選挙人と称す。

第7節 選挙管理委員会

(a) 国際大会の都度会長は選挙人の中から選挙管理委員会を任命しなければならない。この委員会は、その国際大会におけるすべての投票の準備を司るものとする。この委員会は、会長の定める5名以上の選挙人から成るものとする。

(b) 本細則の定める定足数の出席した国際大会の最初の本会議において、会長は役員に指名および選挙を行う所定の場所、日、および時間について選挙人の注意を促さなければならない。

(c) 選挙管理委員会は、投票準備、投票用紙の印刷と配布、および投票用紙の計算を担当するものとする。投票場を開く前に事務総長は、信任状委員会の報告によって示された選挙人名簿を選挙管理委員会に提供しなければならない。

(d) 選挙管理委員会は、投票の結果を遅滞なく大会に報告しなければならない。その報告は委員会の過半数によって署名されなければならない。委員会委員長は全投票用紙を保管しなければならない。委員会の報告が採用された後、委員会委員長は全投票用紙を破棄しなければならない。但し大会が別段の指図を行った場合はその限りでない。

第8節 役員選挙

(a) 各選挙人はそれぞれ、次に示す通りの投票権を有する：会長に対して1票；毎年選ばれる各理事に対して1票；各地区ごとに1

名のガバナーに対して1票；およびグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの会長、副会長および名誉会計の各々に対して1票。

(b) これらの役員選挙は無記名投票によるものとし、3名以上の候補者がある場合の投票は単一移譲式投票の方法によるものとする。但し、一つの役職に対してノミネーがただ1名の場合は、選挙人は、口頭による投票によって、事務総長に意思表示してそのノミネーに対する選挙人の統一投票を行うことができる。

(c) 前述各役職ごとに投じられた票の中、必要な場合には第2選択以下全選択投票をも計算に入れた後、過半数の票を得たノミネーがそれぞれ当該役職の当選者と宣言されるものとする。

第9節

本条に掲げられている役職の候補者または被指名者は、すべて、名誉会員以外の、クラブの瑕疵なき会員であることを要するものとし、また、いかなる地区のガバナー候補者も、クラブの瑕疵なき正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員でなければならないものとする。

第10節

本条でいう米国には、プエルトリコを含み、アンティル諸島には、プエルトリコを含まないものとする。

第11節 ロータリー職員

国際ロータリーもしくは地区またはロータリー・クラブの常勤、有給の職員は、国際ロータリーの事務総長または財務長に選挙されて就任する場合のほか、国際ロータリーの役員となること、または、すべて選挙によることを要する国際ロータリーの役職につくことを得ないものとする。

*第12節 選挙運動および投票依頼

いかなるロータリアンも、選挙によって任

¹ 瑕疵なき会員 ("a member in good standing") とは会費等の滞納のない会員をいう。

*1983年規定審議会において改正。

命される国際ロータリーの役職に就くために選挙運動もしくは投票依頼を行ってはならないし、代わりの人に選挙運動させてもならない。本細則で特に定められているもの以外にパンフレット、印刷物または書状を、クラブまたはクラブ会員に、ロータリアン自身或はロータリアンに代わって配布もしくは回覧させてはならない。但し、理事会が特に認可した場合を除く。理事会は、これらの規定に違反した疑いのあるものについて独力で、もしくは理事会が設置した実状調査機関の援助を受けて、審議するものとする。但し当該ロータリアンに聴聞の機会を与え、事実を審査してから、その決定を下す。理事会が、当該ロータリアンは本節の規定に違反したと判断した場合、理事会は、当該役職の被選資格を剥奪するものとする。かかる決定は全関係者に直ちに通告され、理事会の決定は、次期国際大会に提訴する以外、これを覆すことができないものとする。かかる提訴は、本細則第4条第2節の規定にかかわらず、当該国際大会開会の少なくとも5日前に事務総長に提出されなければならない。

第11条 管理上の集団

第1節

地区に編成されている地区において、クラブが地区ガバナーの直接監督の下に管理される場合は、理事会は理事会が必要かつ得策と考える委員会、審議会またはその他のガバナー補佐を認可することができる。

第2節

地理的に隣接する二つ以上の地区から成る区域内のクラブについて、地区ガバナーの管理のほか、他の管理方法を理事会が追加設定する場合は、理事会は、そのような管理を設定するに当たって、関係地区内クラブの同意の下に理事会が適切と考えかつ国際大会の承認を得た、それに関する手続規則を定めなければならない。

第12条 管理上の単位

第1節

グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの加盟クラブから成る国際ロータリーの地域単位は、国際ロータリーの規定審議会または国際大会によって承認されたグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの定款の定めるところに従って、国際ロータリーの1管理単位として組織されかつその機能を行うものとする。この地域単位はまた、グレート・ブリテンおよびアイルランド内において、国際ロータリー理事会に代わって、クラブ加盟承認委員会および国際ロータリー地区編成委員会としての役を務め、更に本細則の規定に従い、かつまた理事会の委嘱によって国際ロータリーの財務事項を処理するものとする。

第2節

この地域単位の定款は、常に国際ロータリー定款・細則の精神および規定に合致しなければならない。国際ロータリーの定款・細則とグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの定款・細則には、国際ロータリーの規定審議会または国際大会によって承認された、地域単位の域内管理に関する特定の規定を含まなければならない。そして地域単位の域内管理は、この特定の規定に従って、この特定の規定の認める範囲内で執り行われるべきものとする。

第3節

地域単位がその権能、目的および機能を遂行するについての域内管理を規定する、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー定款の規定は、国際ロータリーの規定審議会または国際大会の承認を得たグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの年次大会の決定によるのみ改正することができる。域内管理に関する事項を除き、国際ロータリーの規定審議会または国際大会が国際ロータリー定款または細則を改正した時は、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの定款および細

則を国際ロータリー定款および細則と一致させるために必要な関連的改正は、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの定款および細則について、事実上自動的に行われるものとする。

地域単位の定款または国際ロータリーの定款および細則と矛盾しない地域単位細則の変更は、そのような場合について定める地域単位定款に従って、地域単位がこれを行うことができる。

第13条 地区

第1節 創設

管理をより効果的にするために、理事会はクラブの所在する地域を地区に分割する権限を有する。会長は随時、理事会の指示に従い、地区の一覧表をそれら地区の各境界とともに公表するものとする。但し、関係地区内クラブの過半数の反対ある場合は地区を変更または新設してはならない。

*第2節 地区協議会

ロータリー教育とロータリー情報を供与し、地区の活動を統合するために、地区内全クラブの次期会長と次期幹事、次期地区ガバナーおよびその他理事会の指定する者の協議会を、3月1日から7月1日までの間に、各地区のガバナーが定める時と場所において開催するものとする。但し、地区協議会参加者が国際ロータリー国際大会に出席できなくなるような時期を除くものとする。特別の事情があれば理事会は、(a)ここに定める時期以外の時期に地区協議会を開催することを認可し、または(b)前記の協議会をやめることができる。

第3節 地区大会

(a) 時と場所。毎年地区ガバナーと地区内過半数クラブの会長の合意によって定められる時および場所において、地区内ロータリアンの大会を開催するものとする。但し開催の時期は、地区協議会、国際協議会、規定審議

*1983年規定審議会において改正。

会または国際大会の時期と同じであってはならない。理事会は(1)二つ以上の地区が合同して関係地区の区域内で連合大会を開くことを認可することができる；或は(2)例外的な場合に、当該地区の区域外で地区大会を開くことを認可することができる。

(b) 地区ガバナー・ノミニエーが地区によって選出され、国際ロータリー事務総長にこれを証明されたならば、そのガバナー・ノミニエーが、ガバナーを務める年度のその地区の大会をあらかじめ計画することができ、その開催地は、そのガバナー・ノミニエーと地区内クラブのその時点における会長の過半数との合意によって決定することができる。

国際ロータリー理事会の承認を得て、地区は、地区ガバナー・ノミニエーと、同年にクラブ会長を務める者の過半数との投票によって、当該地区ガバナー・ノミニエーが地区ガバナーを務める年度の地区大会の開催地を選定し、合意することができる。クラブがかかる者を選出していない場合は、そのクラブの現在の会長がかかる大会開催地の投票を行うものとする。

(c) 地区大会の機能。地区大会はその地区内の重要な事柄について勧告を採択することができる。但しこのような勧告は、定款および本細則と一致し、ロータリーの精神と本質とに沿うものでなければならない。各地区大会は、理事会が当該大会の審議に付したすべての事項を審議、決定すべきものとし、また、これに関する決議を採択することができる。

(d) 地区大会幹事。ホスト・クラブの会長と相談の上、地区ガバナーは大会幹事を任命しなければならない。大会幹事の任務は大会の計画を策定し、大会記録の作成について地区ガバナーに協力することである。

(e) 地区大会報告。地区大会終了後30日以内に地区ガバナーまたは議長代行者、および大会幹事は、その各々の署名ある書面によって、大会記録の報告を行わなければならない。そしてこの報告書は3部を事務総長に、1部をその地区の各クラブ幹事に送らなければならない。

第4節

(a) 地区大会の投票。地区ガバナー・ノミネーの選出、地区ガバナー指名委員会の構成および職務権限並びに規定審議会の地区クラブ代表議員の選挙に関する投票は選挙人に限りこれを行うことができるものとする。地区大会に出席しているクラブの瑕疵なき正会員、シニア・アクティブ会員およびパスト・サービス会員は、いずれもその地区大会に提出されたその他の案件のすべてについて投票権を有するものとする。但し、選挙人は、いずれも大会に提出されたいかなる案件についても票決を求めることができるものとし、この場合の投票は選挙人に限りこれを行うことができるものとする。

(b) 選挙人。地区内の各クラブは、地区大会の開催される月の前の月の最終日現在のそのクラブの会員数に基づく、名誉会員を除く会員数25名ごとまたはその過半数の端数につき1名の選挙人を選び、それを証明し、そしてこれをその地区の年次大会に送るものとする。但し地区内各クラブは、その大会の開かれる月の前月までの12ヵ月を超える期間にわたり国際ロータリーに対する支払を忘れていたものでない限り、少なくとも1名の選挙人を送る権利を有する。各選挙人はそのクラブの正会員、シニア・アクティブ会員、またはパスト・サービス会員でなければならない。そしてもし地区大会に出席していれば、地区ガバナー・ノミネーの選出、該当する場合地区ガバナー指名委員会の構成と職務権限、および規定審議会の地区のクラブ代表議員選挙において1票を投ずる権利を有するものとする。

(c) 委任状による代理者。事情がこれを必要とする場合は、所属地区の大会が開催される国と異なる国に所在するクラブは、地区ガバナーの承諾を得て、そのクラブの欠席選挙人の委任状による代理者として、自分のクラブの正会員、シニア・アクティブ会員、またはパスト・サービス会員、もしくはクラブの所在する地区の他のクラブの正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員を

指定することができる。そして、当該クラブの会長および幹事によってその代理が証明されたならば、その委任状による代理者は、既に持っている投票権のほか、自分が委任状による代理者となっている欠席選挙人に代わってその投票権も行使することができるものとする。

第5節 地区ガバナー

(a) ノミネーの選出。本節他の項に規定する場合を除き、地区ガバナー・ノミネーの選出は、当該ノミネーが地区ガバナーに選挙される国際大会の直前2ヵ年以内に開かれる地区大会において、その地区が行うものとする。その方が都合がよければ、翌年ガバナーを務めるノミネーと、翌々年ガバナーを務めるノミネーを、同じ地区大会において選出して差し支えない。

(b) 資格条件。各地区ガバナーは、理事会によって特に許されない限り、

(1) 本人が指名を受ける地区内のクラブの名誉会員以外の瑕疵なき会員であることを要する。

(2) 会員規定の厳格な適用に照らして、完全に会員資格を有する者でなければならない。そしてその職業分類の正当性が疑問の余地のないものでなければならない。

(3) 本人が地区ガバナー・ノミネーの候補者として推薦される年の前の会計年度の最終日において、国際ロータリーに対して負債残高を持たない、義務機能を果たしている瑕疵なきロータリー・クラブの有資格会員でなければならない。

(4) 地区ガバナーに就任する時点において一つまたはいくつかのロータリー・クラブで通算7年以上会員であった者でなければならない。

(5) クラブ会長を全期務めたことのある者でなければならない。

(6) ここに規定する地区ガバナーの任務と責任を果たす意思があり、身体的にもその他の意味においてもこれを果たすことができる者でなければならない。

(7) ガバナーに選挙される直前の国際協議

会に全期間を通して出席し、国際協議会終了後の7月1日までに自分の地区に戻らなければならない。

地区ガバナー・ノミネーとしての資格を得るためには、その職に指名された候補者は、本細則に定められている地区ガバナーの資格条件、任務および責任を熟知した上で、事務総長を通じて国際ロータリーに、細則に列記された地区ガバナーの資格条件、任務および責任を的確に理解していることおよび地区ガバナーとして資格条件を備えており、ガバナーの任務と責任を引き受け、これを忠実に果たす意思をもち、それができる状態にある旨の声明書に署名して提出しなければならない。

前述の資格条件に欠ける地区ガバナー・ノミネーの指名は拒否されるべきものとし、事務総長はこれを選挙のため国際大会に提出しないものとする。

もし、前述の規定の通り地区ガバナー・ノミネーから署名ある声明書を受理したにもかかわらず、理事会に、そのノミネーが本細則に定める任務と責任を十分に果たすことができないと信ずる理由があれば、理事会はその指名を一時保留することができる。このような保留が行われたときは、これを地区ガバナーとそのノミネーに通告しなければならない。そしてそのノミネーは、地区ガバナーおよび事務総長を経由して、地区ガバナーとしての任務と責任を取り、忠実にこれを遂行することができることについての再度の申立を理事会に提出する機会を与えられるものとする。かかる申立を含め、すべての関連事情を審議した上で、理事会は3分の2の多数をもってそのノミネーの指名を拒否するか、或は保留を解除するものとする。

もし、前述の規定のいずれかによって地区ガバナー・ノミネーの指名が拒否された場合は、事務総長は関係地区の地区ガバナーにその拒否とその理由を通告しなければならない。そして地区ガバナーはこれを当該ノミネーに通告しなければならない。そこで時間が許すならば、その地区は、本細則の規定に

従い地区ガバナーの指導の下に、地区大会において、もしくは郵便投票によって、地区ガバナー・ノミネーをもう1名選ばなければならない。

地区が地区ガバナー・ノミネーとして理事会の満足するような適任者を選出することができなかった場合は、ノミネーは本節(h)項の規定に従って選出さるべきものとする。

(c) 任務。地区ガバナーは理事会の一般的な指揮、監督の下に職務を行うその地区における国際ロータリーの役員である。担当地区のクラブに対する直接監督の責任を果たすに当たって地区ガバナーは国際ロータリーの綱領を推進する特別の任務を課せられており、みずから次の諸項を行わなければならない。

(1) 担当地区の新クラブ結成を指導監督すること。

(2) 担当地区内既存クラブの強化助成。

(3) 担当地区内クラブ相互間の友好関係およびクラブと国際ロータリー間の友好関係の増進。

(4) 担当地区の地区大会と地区協議会を計画し、軌道に乗せ、これらの会合を主宰すること。

(5) できるだけ年度の初めごろに担当地区内の全クラブを公式訪問すること。

(6) 担当地区内各クラブの会長および幹事に対して月信を発行すること。

(7) 会長または理事会の要請があれば遅滞なく国際ロータリーに報告を提出すること。

(8) 後任ガバナーに対して、地区内クラブの状況について詳細な情報を提供し、併せてクラブ強化策の勧告案を提供すること。

(9) 地区で保存すべき文書を後継者に引き継ぐこと。

(10) 地区における国際ロータリー役員としての職責に属するその他の任務を遂行すること。

しかしながら、グレート・ブリテンおよびアイルランドにおいては、地区ガバナーの任務は、審議会の指図の下に、そしてグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの定款および細則と一致するこの地域の

伝統的慣行に従って、執行さるべきものとする。また会長または理事会の要請があれば遅滞なく国際ロータリーに報告を提出しなければならない。そして地区における国際ロータリー役員としての職責に属するその他の任務を遂行しなければならない。

(d) 委員会。地区大会の第一本会議において、地区ガバナー、または議長代行者は、地区ガバナー指名のための選挙をとり行う場所、日および時間を指示しなければならない。そして投票用紙を準備してこれを支給し、投票場の段取りをし、その他投票を司るために3名から成る委員会を設置しなければならない。候補者が1名しかいなかった場合の指名は、拍手または喝采によって決することができる。

(e) 指名の投票。地区ガバナー指名の提案は、地区内クラブからの選挙人によって大会の議席から行うものとする。選挙人が自己の所属するクラブの会員でない候補者を推薦しようとする場合は、その候補者が所属するクラブの同意をあらかじめ得るものとする。投票場は大会の定める時間中開いておかなければならない。候補者が3名以上ある場合の投票は、地区ガバナーの定めるところに従い、連続投票方式または単一移議式投票方式による。

投票数の中、過半数を得た候補者がその地区の地区ガバナーに指名されたものと宣言され、その指名は地区ガバナーまたは議長代行者およびその大会の幹事によって国際ロータリー事務総長に対して証明されるものとする。

連続投票方式が用いられる場合、もし投票の結果過半数の票を獲得した者がいない時は、最も少ない得票者をふるい落として更に大会の定める時に次の投票を行い、これを候補者の中の誰かが過半数を得るまで繰り返すものとする。

単一移議式投票方式が用いられる場合、必要に応じて第2選択票以下すべての選択票を加算して過半数得票の候補者を決定するものとする。

投票委員会が、ある候補者が過半数の票を得たことを確認したときは、直ちに、これを、各候補者の得票数とともに、地区ガバナーまたは議長代行者に報告するものとし、投ぜられた票は、すべて、前記委員会がこれを保存し、大会終了時までクラブの選挙人の閲覧に供した後、前記委員会の委員長によって破棄されるべきものとする。

(f) 地区ガバナー指名委員会。地区は、その地区の地区大会において、出席選挙人の投票の過半数によって、その地区のガバナー・ノミニーの選出をガバナー指名委員会によって行うと定めることができる。ガバナー指名委員会は、ガバナー・ノミニーとして最適の就任可能者を探し出してこれを推薦する任務を課せられるものとする。地区指名委員会の構成とその職務権限は、その地区の地区大会において出席し投票するクラブ選挙人の投票の過半数をもって採択された決議によって決定されるものとする。但しその職務権限は本項の規定と矛盾するものであってはならない。

地区ガバナーは、指名委員会の名において、クラブに通知を発行するか、発行させるものとする。この通知は、クラブに希望するなら指名委員会の審議を仰ぐため、地区ガバナー指名案を提出するよう要請するものである。審議されるためには地区ガバナーの定める期日までに指名委員会に提案が受理されなければならない。地区ガバナー発行の通知には、提案の送付先が記載されていなければならない。この提案は、候補者推薦クラブの例会で採択され、クラブ幹事によって正式に証明された決議という形式で提出されなければならない。自己のクラブの会員でない人を地区ガバナー・ノミニーに推薦しようとする場合、候補者の所属クラブの同意をあらかじめ得るものとする。

地区ガバナー指名委員会がその選択を行うに当たっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではない。

地区指名委員会によるいかなる指名にもか

かわらず、地区内クラブは、既に地区指名委員会に正式に推薦されていた者を、地区ガバナー・ノミニー候補者として推薦することができる。

この推薦は、地区ガバナーの定める期限——この期限は、ガバナー指名委員会による地区ガバナー・ノミニーの選定の発表前であってはならない——までに、クラブの例会において採択された、当該候補者指名のクラブ決議を地区ガバナーに提出して行うものとする。

もし、定められた期限までにそのような指名を地区内のどのクラブからもガバナーが受け取らない場合には、地区ガバナーは地区指名委員会の選んだ候補者を地区ガバナー・ノミニーと宣言するものとし、それより15日以内に地区内全クラブにその旨通達しなければならない。

もし、定められた期限までにそのような指名を地区内のクラブからガバナーが受け取っており、そしてその指名がその期限当日を含み期限当日から15日の期間が満了するまで有効である場合は、地区ガバナーはそれらの各候補者の氏名とその資格条件を地区内の全クラブに通達し、地区ガバナー・ノミニーの候補者全員について、次の地区大会において投票が行われる旨を通達しなければならない。

もし、上述の15日が経過した時に、地区内クラブからの指名が全部効力を失っていたならば、地区ガバナーは地区指名委員会の選んだ候補者を地区ガバナー・ノミニーと宣言し、それより15日以内にこの旨地区内全クラブに通達しなければならない。

もし何らかの理由によって、地区大会の時に有効な指名が一つも残っていなかったならば、地区ガバナー職に対する指名の提案は大会の議席から、地区内クラブの選挙人によって行われるべきものとする。

地区ガバナーは、地区ガバナー・ノミニーの氏名を、彼がノミニーと宣言された後10日以内に、事務総長に対して証明しなければならない。

(g) 郵便投票による指名。事情がそれを必要とする場合は、理事会は地区がその地区ガバナー・ノミニーを郵便投票によって選ぶことを認可することができる。また、いずれの地区も、その地区の地区大会において、出席した投票人の投票の過半数をもって、その地区ガバナー・ノミニーを郵便投票によって選ぶことを定めることができる。いずれの場合も、その郵便投票は次のように行われなければならない。

地区ガバナーは、もし地区指名委員会のある場合は地区指名委員会、および地区内各クラブの幹事に対して、地区ガバナー指名の公式要請を作成し、これを郵送させなければならない。すべて指名は書面によることとし、クラブの会長および幹事または、地区指名委員会の場合はその委員長によって署名されなければならない。いずれかのクラブから推薦された候補者がそのクラブの会員でない場合は、その候補者が所属するクラブの同意をあらかじめ得るものとする。その書面は、地区ガバナーの定める期限までに地区ガバナーに受理されることを要する。但しその期限は公式要請発行日より少なくとも20日後でなければならない。もしも候補者が1名のみの場合には投票を要しないものとし、地区ガバナーはその候補者を地区ガバナー・ノミニーとして公表するものとする。

候補者が3名以上ある場合は、投票は単一移議式投票方式によるものとする。

もし候補者が2名以上あったならば、地区ガバナーは、地区指名委員会がある場合は同委員会を選んだ候補者名を記し、そして期限内にクラブからガバナーが受け取った候補者の氏名をアルファベット順に列記した投票用紙を準備し、各クラブに対して1部郵送しなければならない。その際、その投票用紙にはクラブの投票を記入した上、地区ガバナーの定める期限までにガバナーの許に届くよう返送することを要する旨の指図を添付すべきものとする。但しガバナーの定める上述の期限は、ガバナーが各クラブに投票用紙を発送した日から15日以上30日以内の間に定めるこ

とを要する。

各クラブは、選出の行われる月の前の月の最終日現在におけるクラブの会員数を基礎として、会員(名誉会員を除く)数25名ごとまたはその過半数の端数につき1票を投ずる権利を有するものとする。

投票の過半数を得た候補者が、その地区のガバナー・ノミニーと宣言されるものとする。連続投票方式が用いられる場合、もしも投票の結果過半数の票を得た候補者がいなかったならば、最少投票数の候補者をふり落としとして、地区ガバナーの定める時に更に郵便投票を行い、候補者の中の誰かが過半数を得るまでこれを繰り返すものとする。単一移譲式投票方式が用いられる場合は、過半数を獲得する候補者を決定するために、必要に応じて第2選択票以下の選択票を加算するものとする。

ノミニーの氏名は地区ガバナーによって事務総長に証明されなければならない。そして地区ガバナーは直ちにその候補者にその指名を通告しなければならない。

(h) 特別選挙。地区が地区ガバナー・ノミニーを選出できなかった場合、もしくは地区ガバナー・ノミニーが選挙される資格を喪失した場合、そして国際大会における役員の方次選挙に先立って、その地区が別のノミニーを選出できなかった場合は、理事会は理事会のメンバーの過半数の票をもって本細則第13条第5節(b)項(1)乃至(6)の資格条件を備えたロータリアンを地区ガバナーに選挙するものとする。

(i) 解任。事情によっては、或は会長が十分な理由ありと考える場合は、会長は次に示す通り、地区ガバナーをその職から解任することができる。

もしも9月30日になって、地区ガバナーがその就任最初の3ヵ月間にその任務と責任を忠実に遂行しなかったと会長が信ずる十分な理由がある時には、会長は当該地区ガバナーにその旨通告しなければならない。そして、もしもその直後の12月31日までにそのガバナーがその任務と責任を果たすと確約し、会

長にそれを納得させない限り、会長は事情を考慮した上でその地区ガバナーをその職から解任することができる。

(j) 地区ガバナー欠員。何らかの理由で地区ガバナーの地位に欠員を生じた場合は、理事会は過半数の票をもって本細則に基づく資格条件を備えたロータリアンを選挙する権限を有するものとする。同ロータリアンは、残存任期中その空席を埋め、地区ガバナーの任務を果たし、その権威と特権を行使するものとする。但し、会長は、理事会によってその欠員が補充されるまで資格条件を備えたロータリアンを、ガバナーの任務を行い、ガバナーの持つすべての権限と特権を行使するアクティング・ガバナーとして任命することができる。

地区ガバナーが一時的にその任務を執り行うことができない場合は、会長は資格条件を備えたロータリアンをアクティング・ガバナーに任命して、地区ガバナーが任務を執り行い得ない期間中、その任務を行わせ、その職に付随するあらゆる権限と特権を行使させることができる。

地区ガバナーが年次国際大会において選挙された後地区外に在って就任する時に地区に戻るのことができない場合は、その直前のガバナーが、現在の地区ガバナーが地区に帰って来るまで、引き続きその地区ガバナーの職務を執り行うものとする。

(k) 国際大会への提出。事務総長は毎年国際大会に対して、その大会終了直後の会計年度に地区ガバナーを務めるものとして指名されたことを事務総長に証明されている、資格条件を備えた地区ガバナー・ノミニーの氏名を選挙のために提出しなければならない。

第14条 委員会

*第1節 常任委員会

会長は次に掲げる常任委員会の委員を任命しなければならない：

*1983年規定審議会において改正。

定款・細則委員会
国際大会委員会
地区編成委員会
拡大委員会
財務委員会
投資諮問委員会
会員増強委員会
企画・研究委員会
広報委員会
出版物委員会
青少年活動委員会

但し会長は、その在任年度の次のロータリー年度に開催される国際大会の委員を任命するものとする。

常任委員会は、任命された年度の7月1日にその機能を開始するものとする。

第2節 特別委員会

会長は、みずからまたは理事会が必要と認める特別委員会を任命することができる。特定の目的を達成するまでの任期をもって任命される特別委員会をアド・ホック委員会と呼ぶものとする。アド・ホック委員会以外の特別委員会の任期は、その委員会が任命されたロータリー年度末をもって終了するものとする。アド・ホック委員会の任期は、その委員会が任命された特定の目的が達成されたとき、または理事会がこれを解任したときに終了するものとする。

第3節 委員長および欠員

会長は各委員会の委員長を指名するものとし、委員会に生じた欠員を補充する権限を持つ。

第4節 諮問委員会

(a) 理事会は、地区ガバナーが諮問の目的をもって地区委員会を設定する権限を認めることができる。

(b) 理事会は、1国の全クラブから成る集団が、その国の国策の諸問題を研究する諮問委員会を形成して、それらのクラブの公共奉仕活動のプログラムを理事会に提出してその承認を求める権限を認めることができる。

(c) 理事会は、2ヵ国以上の国々から成る地域内のクラブの代表者をもって構成する諮

問委員会を設けて、当該地域内のロータリーの方針および手続上の問題を研究させ、理事会に対して進言させることができる。

第5節 職権上の委員

会長は、会長指名委員会を除くすべての国際ロータリー委員会の職権上の委員とする。委員会の職権上の委員は委員の持つすべての特権を有するものとする。

第6節 任期

何人も2ヵ年を超えて国際ロータリーの同一委員会の委員を務めることは許されない。但し本細則、地域またはその他の委員会の手続規則、もしくは委員会を創設する国際大会の特別決定によって別段の定めある場合はこの限りでない。ある委員会に既に2ヵ年務めた者は、再びその同じ委員会に任命される資格を持たないものとする。本節の規定は、職権上の委員およびアド・ホック委員会の委員には適用されない。本節の規定にかかわらず、会長は、国際大会委員会の委員を2年間務めたことがあり、かつ、委員長として務めたことのないロータリアンを、国際大会委員会の委員長に任命することができる。

*第7節 定款・細則委員会

本委員会は
—3名の委員から成り、毎年1名を3年を任期として任命するものとする；
—国際ロータリーの組織規定に関するすべての事項について理事会に助言し、立法手続を検討し、これについて理事会に助言し、規定審議会では特別議員を務める。

*第8節 国際大会委員会

本委員会は5名の委員から成り、任命を受けた国際大会に関するすべての事項の責務を持つものとする。但し、本細則または理事会が、役員または他の委員会に特に委任したものを除く。

*第9節 地区編成委員会

本委員会は
—3名の委員から成り、毎年1名を3年を任期として理事の中から任命するものとする；

*1983年規定審議会において改正。

一理事会および会長の新地区創設および既存地区の境界調整を援助するものとする。

***第10節 拡大委員会**

本委員会は

一12名の委員から成り、毎年4名を3年を任期として任命するものとする；

一新クラブ結成によって世界中にロータリーを拡大するという責務遂行について理事会に助言する。ある場合は地区ガバナーに接触し、また、ある場合は、理事会が随時望ましいと判断する地区委員長を通じてロータリーを拡大する。

***第11節 財務委員会**

本委員会は

一3年任期の5名の委員から成るものとする。毎年1名または2名の委員を任命して、委員の数を常に5名とする；

一国際ロータリーの年次予算を作成し、会計帳簿を監査し、会計方式を調べ、国際ロータリーの財務に関連するあらゆる事項について理事会に助言するものとする。

***第12節 投資諮問委員会**

本委員会は

一3名の委員から成り、毎年1名を3年を任期として任命するものとする；

一投資方針を勧告し、投資マネージャーに助言し投資マネージャーの業務を監督し、投資方針のあらゆる面について理事会に助言するものとする。

***第13節 会員増強委員会**

本委員会は

一12名の委員から成り、毎年4名を3年を任期として任命するものとする；

一世界中にロータリー・クラブ会員を増強・拡大するという責務遂行について理事会に助言するものとする。

***第14節 企画・研究委員会**

本委員会は

一6名の委員から成り、理事指名について本細則で明記している地域からそれぞれ1名の委員を任命し、毎年2名を3年を任期として任命するものとする；

一ロータリーのプログラム、基本方針、その

実施状況を絶えず検討し、時の動きに関心を払い、ロータリーがその機能をどのように果たしているかを評価し、その研究プログラムを総体的に監督し、それについて理事会と事務総長に助言するものとする。

***第15節 広報委員会**

本委員会は

一3名の委員から成り、毎年1名を3年を任期として任命するものとする；

一国際ロータリーの広報プログラムについて理事会に助言するものとする。

***第16節 出版物委員会**

本委員会は

一3年任期の5名の委員から成るものとする。毎年1名または2名の委員を任命して、委員の数を常に5名とする；

一機関雑誌を含む、国際ロータリーの全出版物について理事会に助言するものとする。

***第17節 青少年活動委員会**

本委員会は

一6名の委員から成り、毎年2名を3年を任期として任命するものとする；

一青少年のための奉仕に関する事項について理事会に助言するものとする。

***第18節 この他の任務、活動、資格条件**

理事会は、常任委員会の任務や活動をさらに規定、修正し、理事会が適切とみなし、かつ、本細則に矛盾しない任務を委員会に課することができる。その上、委員の資格条件、委員の継続の必要性について、これを決定できる。理事会は、常任委員会に、地区ガバナーと協力して、適切な地区指導者と接触し、理事会の承認した計画を遂行する権限を与えることができる。

第19節 委員の資格条件

委員会の委員長および各委員は、クラブの正会員、シニア・アクティブ会員、またはバスト・サービス会員でなければならない。

第20節 委員会の幹事

本細則によってまたは国際大会の特別決定によってまたは委員会を創設するに当たって

*1983年規定審議会において改正。

理事会による別段の定めのある場合のほか、事務総長がすべての委員会の幹事となる。事務総長は彼を代行する幹事を指名することができる。

第21節 定足数

本細則によってまたは国際大会の特別決定によってまたは委員会創設に際して理事会によって、別段の定めのある場合のほか、委員会委員の過半数をもってその委員会のあらゆる会合における定足数とする。

第22節 通信による議事の処理

委員会は議事の処理を、理事会の定める手続規則に従って、郵便、電信、無線電報または電話によって処理することができる。但し、本細則または国際大会または理事会の特別決定によって別段の定めのある場合はこの限りでない。

第23節 権限

会長指名委員会の決定を除き、すべての委員会決定は理事会の承認によって初めて効力を生ずるものとする。

第15条 財務事項

第1節 会計年度

国際ロータリーの会計年度は7月1日に始まり6月30日に終わるものとする。

第2節 クラブ報告

毎年7月1日および1月1日に各クラブは同日におけるそのクラブの会員数を理事会に証明しなければならない。この証明書はクラブ会長とクラブ幹事によって署名されて事務総長に送致されなければならない。

***第3節 会費**

(a) 各クラブは、そのクラブの正会員、シニア・アクティブ会員、およびバスト・サービス会員の各々につき、半年10ドル(\$10.00)ずつの割で、人頭分担金(会費)を国際ロータリーに対して支払わなければならない。

(b) 規定審議会が開催される予定の年には必ず、各クラブは、正会員、シニア・アクティブ会員、バスト・サービス会員それぞれにつき、さらに1ドル(\$1.00)を国際ロータリー

に支払い、規定審議会に出席する審議会クラブ代表議員の旅費補助金に当てるものとする。その方式については理事会が定めるものとする。

(c) 理事会は、会費の中の適正と思われる部分をクラブに返還することができる。

(d) グレート・ブリテンおよびアイルランド内のクラブは、国際ロータリーの代行者としての、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーとして知られる地域単位を通じて本節(a)項の規定する人頭分担金を国際ロータリーに支払わなければならない。毎年グレート・ブリテンおよびアイルランド内のクラブから本節(a)項の規定に従って国際ロータリーに支払われる人頭分担金の中、国際ロータリーによって保有されるべき部分の総額は、国際ロータリーが年間グレート・ブリテンおよびアイルランド内のクラブのために支出する金額の半分を下回ってはならないものとする。そしてその残りの部分は、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーに配分され、保有されるべきものとする。

半年ごとにグレート・ブリテンおよびアイルランド内クラブによって支払われる、本節(a)項の規定する人頭分担金の中国際ロータリーによって保有されるべき額は、毎年理事会によって決定され、次年度クラブによって支払われるべき人頭分担金に適用されるものとする。理事会は、グレート・ブリテンおよびアイルランド内のクラブに代わって国際ロータリーが前年度支出した金額に基づいて、国際ロータリーの保有額を決定するものとする。この金額には、ロータリーのプログラムを世界的に推進するための国際ロータリーの一般運営費の比例分担額が含まれる。このように決定された金額に、R.I.の未充当基金残高への拠出金として50セント(\$.50)を加えるものとする。この加算額は、直前の年度の経験、現況、予測しうる将来の状況を考慮して少なくとも6年ごとに検討を加え、増額、現状維持、減額を決めるものとする。

*1983年規定審議会において改正。

(e) もしもある国の通貨の平価が切り下げられて、その国のクラブが、国際ロータリーに対する債務を支弁するために、自国通貨を過剰に支払わなければならないとなった場合は、理事会はその国のクラブが支払うべき金額を調整することができる。

*第4節 支払時期

(a) 毎年7月1日および1月1日を会費支払期日とし、本条第3節に定められた基準に基づいて支払わなければならないものとする。但し、本条第3節(b)項の下に支払う会費は、7月1日を支払期日とし、支払うものとする。会費を支払う半期の7月1日もしくは1月1日より後にクラブ会員に選ばれた正会員、シニア・アクティブ会員、バスト・サービス会員の各々につき、各クラブは比例人头分担金5ドル(\$5.00)を10月1日と4月1日に支払うものとする。会費は米国内貨をもって国際ロータリーに支払わなければならないものとする。しかしながら、米国内貨をもって会費を支払うことが不可能であるか、実行困難の場合は、理事会は、他の通貨による支払を認可することができる。理事会はまた、非常事態のためそうすることが適切である場合は、会費支払時期の繰り延べを許容することができる。

(b) クラブは、加盟が承認された日付後の半期まで会費支払の義務を課せられないものとする。

第5節 予算

毎年理事会は、次の会計年度に対する収支予算を採択しなければならない。もし必要があれば次の会計年度において理事会は予算を修正することができる。

第6節 監査

理事会は、毎年、1回または2回以上、免許を持つ会計士、公認会計士または計理士、もしくは監査の行われる国、州または県において一般にその権威を認められている監査人による国際ロータリーの会計帳簿の監査を手配しこれを実施させなければならない。事務総長および財務長は理事会の要求があればい

*1983年規定審議会において改正。

つでも帳簿類と伝票類を提出しなければならない。

第16条 名称と徽章

第1節 保全

国際ロータリーの目的と綱領を達成するために、理事会は国際ロータリーの徽章その他の記章を専ら全ロータリアンのみの使用と、その利益のために確保し保全するものとする。

第2節 使用の制限

国際ロータリー並びにクラブの名称、徽章、バッジその他の記章を、クラブまたはクラブの会員が商品の商標または特別銘柄として使用し或はその他商業上の目的のために使用することは一切できない。これらの名称、徽章、バッジその他の記章を他の名称または徽章と組み合わせて使用することは国際ロータリーの承認しないところである。

第17条 その他の管理上の事項

第1節 出席報告

各クラブは、各月の最終例会後直ちに、そのクラブの例会における月次出席報告を、地区ガバナーがいる場合には地区ガバナーに、その他の場合には事務総長に提出しなければならない。

第2節

ロータリー・クラブの各正会員、シニア・アクティブ会員、およびバスト・サービス会員は、いつでも他のロータリー・クラブの例会に出席する特典を持ち、かつそのような出席を奨励されるものとする。

第3節 国際協議会

(a) 時と場所。協議のためおよび次年度の国際ロータリーの仕事と活動について協同して計画するために、毎年国際協議会を開催するものとする。理事会は国際協議会の会合する時と場所を決定するものとし、同協議会プログラム決定の責に任ずるものとする。

(b) 構成。国際協議会は次の通り構成され

るものとする：会長、他の理事、会長ノミニニー、理事ノミニニー、事務総長、財務長、地区ガバナー・ノミニニー、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの役員ノミニニー、国際ロータリー各種委員会委員長、およびその他理事会の指定する者。

(c) 特別、または局地的、協議会。非常事態または特別な事情に対応するために、理事会は二つまたはそれ以上のこのような協議会もしくは局地的協議会を、理事会が定める時および場所において開催するよう手配することができる。

第4節 元会長審議会

(a) 構成。クラブに名誉会員以外の会員籍を有する元会長をもって構成される元会長審議会を設けるものとする。(以下本節においては単に「審議会」と呼ぶ)

会長は職権上、本審議会のメンバーとなるものとし、その会議に出席し、議事に参加する特典を有するものとする。しかしながら、議事に関する投票権は持たないものとする。

(b) 役員。直前会長の前の元会長を審議会の議長とし、更にその前の元会長をその副議長とする。

事務総長は審議会の幹事となるが審議会のメンバーではない。

(c) 任務。審議会のメンバーは、会長または理事会から審議会に付託される事項を通信によって考察するものとし、これについて理事会に進言し勧告を行うことができる。

(d) 会合。会長または理事会が審議会の合同考察および一致した進言が望ましいと考える場合は、会長または理事会は審議会の会合を招集することができる。審議会は、国際大会において、その大会に出席している審議会メンバーの非公式会合を行うものとする。

会長または理事会によって会合が招集される場合は、審議会の会合に対する議事日程を作らなければならない。その議事日程には、会長または理事会が審議会の審議とその勧告を求めて審議会に付託した議題を含むものとする。

(e) 報告。会長または理事会招集の審議会

後、審議会議長は必ず理事会に報告するものとする。理事会が報告の一部または全部を公表しない限り、この報告を公表してはならない。

第5節 国際ロータリーの地域大会

理事会は、理事会の定める時と場所において、国際ロータリー地域大会として知られるクラブ会員の大会を招集することができる。

理事会は、地域大会に参加する会員の所属クラブを指定するものとする。理事会は大会の招集方法、その組織と運営およびその手続規則を含むその他の詳細について定めなければならない。

このような地域大会の目的は、地域内のクラブ会員間の知り合いと理解を育成・推進し、また、ロータリーの綱領の範囲内のテーマについて意見を交換し、話し合う場を提供するために、地域内のクラブ会員を一堂に集めることである。ロータリー・クラブが所在する地域であれば、いずれの地域でも差し支えない。

地域大会の目的に合致する範囲内で、地域大会は理事会に対する勧告として決議を採択することができる。

*第6節 会議運営手続規則

あらゆるロータリーの会合、協議会、大会もしくは国際大会で、定款、本細則、もしくはR.I.によって採用された特別議事規則によって特に定められた場合を除き手続上の問題はかかる会合への提訴権に基づく基本的公正を配慮して、当該会合の議長が決定するものとする。

第18条 機関雑誌

第1節 権限

理事会は、国際ロータリーの機関雑誌を、発行し、もしくは、その監督および管理の下に、発行せしむるものとし、雑誌の発行に関するすべての事項について責任を負うものとする。機関雑誌は、理事会が許可するいくつ

*1983年規定審議会において改正。

かの異なった版で出版されるものとする。その中基本的な版は英語で出版されるものとし、これをロータリアン誌と称する。機関雑誌の目的は、国際ロータリーの目的の推進とロータリーの綱領の達成について理事会を助ける仲介役を務めることである。

第2節 購読

(a) 各機関雑誌の購読料は、すべて理事会がこれを定めるものとする。

米国およびカナダ内の各クラブは、そのクラブの正会員、シニア・アクティブ会員およびパスト・サービス会員がすべて機関雑誌の有料購読者となること、そして会員資格を保持する限り購読を続けることを、会員資格取得の条件としなければならない。かかる購読料は、正規会費の一部分として、もしくは正規会費のほか、各会員からクラブが徴収しなければならない。各クラブは購読料を特別購読料勘定としてその帳簿に記帳しなければならない。そして購読者の代理人として、そのクラブ会員の購読料を国際ロータリーに送金しなければならない。

(b) 年度内の雑誌収入は、その一部分といえども雑誌の発行およびその改善以外の目的のために充当させてはならない。支出を上回る収入剰余金は、年度末に国際ロータリーの一般剰余金に繰り入れられるものとする。

第3節

(a) 米国およびカナダ以外のクラブは、後段に規定する場合を除き、その正会員、シニア・アクティブ会員およびパスト・サービス会員のそれぞれが、国際ロータリーの機関雑誌または国際ロータリーの理事会が承認し、当該クラブに対して指定した地域的なロータリーの雑誌の有料購読者となり、そして本人が会員となっている限り、その購読を続けることを、会員身分保持のための条件としなければならない。

(b) 会員が機関雑誌およびクラブ用に定められた地域雑誌に用いられている言語を読めない場合は、理事会によって、そのクラブに対する本節の規定の適用が免除される。

第19条 ロータリー財団

第1節

ロータリー財団の全財産に対する権利は13名の管理委員会およびその後継者に帰属するものとする。これらの管理委員は、本細則によって、或は贈与、遺贈遺言、または遺贈の条件によって別段の定めある場合を除き、これを保管し、投資し、運用し、管理し、そして、理事会の承認を得てその基本財産またはそれより生ずる収入を、単一信託として、国際ロータリーの目的またはロータリーの綱領、もしくは国際ロータリーによって主催され或は承認された、博愛、慈善、教育、またはその他の慈善的目的、目標、運動、または制度の推進のために使うものとする。

ロータリー財団の財産を管理するについては、贈与、遺贈遺言または遺贈の条件によって特定の別段の定めある場合を除き、管理委員会は次のことを行う権限を有する：これら財産の全部または一部を、管理委員会が最善と考える価格および条件で売却し、賃貸し、譲渡し、もしくは交換すること；彼等が必要または適切と考える、そして法律上許される、委任状の発行、代理権の賦与、または契約の締結を行うこと；現行の或は今後実施されることあるべき、信託基金の投資を制限する法律にかかわらず、投資の行われる国の法律が許容する限り、管理委員会が信託基金の投資として適当と考える貸付、証券、または不動産に投資、再投資すること；管理委員会によって受け入れられる金銭または財産が元金として扱われるべきか収入として扱われるべきかを決定し、支出または損失を彼等が正当かつ公正と考えるところに従って元金または収入から支弁すること；信託の実施に関連して適当な代行者または代理人を選びこれを雇傭すること——これには、信託会社（単数または複数）の雇傭を含み管理委員会はこれに対して、取消権留保の条件で、信託財産の管理と投資について管理委員会が適切と見えかつ国法が許容する権限を委任することができる——そして、それについての費用および報酬

を支払うこと。管理委員会は、代行者または代理人の選択について適切な注意を怠らない限り、これら代行者または代理人の怠慢、手ぬかり、または犯罪に対して責任を問われることはない。そして管理委員会は、管理委員会自身の甚だしき怠慢または故意の義務不履行でない限り、いかなる損失や損害に対しても責任を負わないものとする。

第2節

管理委員は、理事会の承認を得て会長が任命するものとする。管理委員の中6名は国際ロータリーの元会長でなければならない。管理委員の中3名はロータリー財団が活動を支援している分野に経験を持つ者でなければならない、そして2名は財務畑の経験者でなければならない。国際ロータリーの元会長である6名の管理委員の任期は6年とする。残余の管理委員の任期は3年とする。管理委員は再選を妨げない。各管理委員はクラブの名誉会員以外の会員でなければならない。管理委員がこれらの会員身分を喪失した場合は、それによってその地位は空席となるものとする。管理委員会の委員には、本細則第10条において理事の選挙のために定められている各地域内のクラブの会員が少なくとも1名含まれていなければならない。

理事会は、4分の3の票によって、管理委員を正当かつ十分な理由に基づき罷免する権限を有するものとする。但し、このような決定を行おうとする理事会会合の時と場所を事前に全管理委員に通知することを要する。また、かかる理事会の会合において罷免を提案された管理委員は弁明の機会を与えられなければならない。そして、その罷免は、次に開かれる国際大会において過半数の票によって承認されなければならない。罷免はそのとき初めて効力を発生するものとする。

管理委員の死亡、辞任、罷免または任務遂行不能の場合は、会長は理事会の承認を得て、残存任期を務める後継者を任命するものとする。

後継管理委員は、いかなる理由で任命されるにせよすべての権限と自由裁量を有し、本

規定によって原管理委員に与えられているところとあらゆる点において同様の任務を課せられるものとする。

第3節

管理委員は、毎年その中の1名を次年度の委員長に指名するものとし、委員長の死亡、辞任または任務遂行不能の場合は、その残存任期を務める委員長を指名するものとする。

第4節

管理委員は無報酬でその任を務めるものとする。

第5節

管理委員会は財団の目的と財団の運営についての情報および財団に対する贈与と遺贈の書式を準備してこれを一般に頒布する責任を課せられている。

*第6節

管理委員会は、贈与者または遺言者によって特に定められた目的に沿ってロータリー財団の財産から生ずる収入または基本財産を支出す全権を有するものとする。上述以外のロータリー財団の財産から生ずる収入は、管理上の必要経費を除き、すべて理事会、規定審議会、国際大会が決議によって制定した後初めて支出するものとする。しかし、理事会、規定審議会、国際大会が決議によって定めたとしても、管理委員の過半数がまず承認しなければいかなる支出もこれを行ってはならない。ロータリー財団の基本財産は、贈与者または遺言者が特に定めた場合を除いて、規定審議会もしくは国際大会の決議によって権限を与えられ、理事会の決議によって承認され、財団管理委員会の過半数の承認を得なければ、その一部といえども支出してはならない。

第7節

管理委員会が、寄贈または遺贈を受けた財産に対する権利を法的に保全し、もしくはその喪失を防止するため、またはロータリー財団の適切な管理を行うために必要かつ得策と認めた場合には、いつでも、国際大会または理事会の決議によって特に与えられた権限

*1983年規定審議会において改正。

により、ロータリー財団を前記の決議に指定されている管轄法規と設立認可方式、もし決議に指定のない場合には管理委員会が適当と考える管轄法規と設立認可方式による法人とするために、必要または適当と考えるすべての措置をとることができる。このような法人が設立され、管理委員会から法人に対してすべての権利の譲渡が正しく行われたときは、それによって、ロータリー財団の財産の所有権がすべて法人に帰属し、法人はすべての権利権限、特権および免税権を取得し、これを行行使得るものとし、また、それまで管理委員会に属していたすべての義務を履行するものとする。

第8節

管理委員会の費用を含むすべてのロータリー財団の管理上の必要経費は、理事会が別段の定めをしない限り、管理委員の過半数の承認を得たときに財団の資金から支払われるものとする。

第9節

管理委員会は理事会の承認を得て、財団の管理のために必要または適当と認める規則や規定を採用することができる。但し、これらの規則や規定は、贈与者もしくは遺贈者の明示した意思に反したり、または国際ロータリーの定款・細則に反するものであってはならない。

第10節

管理委員は信託の忠実なる履行に対し保証を提供するよう要求されることはないものとする。法律の規定によって要求されるこのような保証もこれを免除されるものとする。

第20条 改正

*第1節 時

本細則の改正は、本細則第6条第2節に規定する非常事態の場合を除き、規定審議会の出席し投票した人の過半数によるのみ行う

ことができる。但し、本細則を改正しようとする制定案の採択に関して審議会の行った決定に反対の意思を表示したクラブの票が所定の数まで事務総長に提出されたため、本細則第9条第10節(h)項の規定による国際大会の決定を必要とするに至った場合は、規定審議会の開かれた翌年の国際大会において、当該改正案が国際大会に付議された時における出席選挙人の投票の過半数によって、本細則の改正を行うことができる。

第2節 提案者

本細則に対する改正案は、クラブ、地区大会、グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの審議会または大会、規定審議会、または理事会によってのみ提案することができる。理事会は、ロータリー財団管理委員会の事前の同意なしには、本細則第19条を改正する効力をもつどのような制定案も提出できないものとする。

*第3節 手続

本細則を改正しようとする提案はすべて規定審議会の開かれるロータリー年度の前年度の5月1日までに事務総長に提出されなければならない。

国際ロータリー事務総長はその提案の写しを、規定審議会の開かれる日の少なくとも120日前までに各クラブ幹事に郵送しなければならない。

事務総長は、適法に提案された改正案をすべて直接審議会に回付しなければならない。

審議会は、これらの適法に提案された改正案およびこれに対して提出された修正案をそれぞれ審議し採決しなければならない。

第4節 財務事項の変更

会費としてクラブが支払う金額の変更を行う改正は、その改正の制定直後の1月1日までは効力を発生しないものとする。

*1983年規定審議会において改正。

ロータリー・クラブ定款

213頁-220頁

ロータリー・クラブ定款*

標準ロータリー・クラブ定款

条 目	頁
1.....名 称	213
2.....区 域 限 界	213
3.....綱 領	213
4.....会 合	213
5.....会員身分および職業分類	213
6.....理事および役員	214
7.....入会金および会費	214
8.....会員身分の存続	215
9.....地域社会, 国家および国際問題	218
10.....ロータリーの雑誌	218
11.....綱領の受諾と定款・細則の遵守	219
12.....仲 裁	219
13.....細 則	219
14.....改 正	219

第1条 名 称

本会の名称は、□.....ロータリー・クラブとする。(国際ロータリー加盟会員)

第2条 区域限界

第1節

本クラブの区域限界は、次の通りとする。

第3条 綱 領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある：

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；

第2 実業および専門職業の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するために、その職業を品位あらしめること；

第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；

第4 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

*国際ロータリー細則は1922年6月6日後に国際ロータリーへの加盟を承認されたロータリー・クラブはいずれもこの標準クラブ定款を採用しなければならないと規定している。

第4条 会 合

第1節

本クラブは、毎週1回、細則に定められた日および時間に、定期的の会合を開かなければならない。但し、非常の場合または正当な理由がある場合は、本クラブ理事会は、例会を、前回の例会の翌日から次の例会の前日までの間のいずれかの日または定例日の他の時間または他の場所に変更することができる。また、例会日が法定休日に当たる場合、または本クラブ会長が死亡した場合、または全地域社会に亘って流行病もしくは災害が発生した場合は、例会を取り消すことができる。

第2節

本クラブの役員を選挙するための年次総会は、本クラブ細則の定めるところに従い、毎年12月31日もしくはそれ以前に開催されなければならない。

第5条 会員身分および職業分類

第1節

ロータリー・クラブの会員身分は国際ロータリー定款第4条第3節および国際ロータリー細則第3条に定めるところによるものとする。

第2節 職業分類

(a) 本クラブの各正会員は、その職業に従って分類されるものとする。

(b) 各正会員の職業分類は本人の所属する商社、会社または団体の主要かつ一般世間がそのように認めている事業活動を示すものでなければならない。また、もし本人が独自に実業または専門職業にたずさわっている場合ならば、その職業分類は、本人の主たるかつ一般世間がそのように認めている職業活動を示すものでなければならない。

(c) 修正。理事会は、もし事情がこれを必

要とする場合は、その裁量によって、在籍中の会員の職業分類を是正または修正することができる。かかる是正または修正の提案については当該会員に対して然るべき予告を与えなければならない。そしてその会員には、これに対して聴聞の機会が与えられなければならない。

第3節 制限

正会員は、各職業分類から1名ずつとする。但し、国際ロータリー細則第3条の規定により2名以上の正会員が認められている3種の職業分類、すなわち、宗教、報道機関および外交官の職業分類並びにアディショナル正会員については、この限りではない。

第6条 理事および役員

第1節

本クラブの管理主体は、本クラブの細則の定めるところによって構成される理事会とする。

第2節

別段の規定によってここに特に定められた場合を除き、あらゆるクラブの事項に関する理事会の決定は最終であって、クラブに対して提訴する以外にはこれを覆す余地はない。理事会は全役員および全委員会に対して総括的支配力を持つものとし、正当の理由ある場合は、そのいずれをも罷免することができる。理事会はあらゆる役員の決定およびあらゆる委員会の決定に対する提訴の裁定者となるものとする。理事会のいかなる決定についても、クラブに対して提訴することができる。このような提訴の場合、提訴の対象となった決定は、理事会が指定した例会において、定足数の出席を得て、その出席会員の3分の2の投票によってのみ覆すことができるものとする。そして当該例会の少なくとも5日前に、当該提訴の予告が、幹事により、本クラブの全会員に対して与えられなければならない。

第3節

本クラブの役員は、会長、会長エレクト、1名または数名の副会長、幹事、会計、およ

び会場監督とする。このうち、会長、会長エレクトおよび副会長は、全員理事会のメンバーとする。また、幹事、会計および会場監督は、本クラブ細則の定めるところに従って、その全員または一部が理事会のメンバーであってもよいし、そうでなくてもよい。

*第4節

各役員は、本クラブ細則の定めるところに従って選挙されるものとする。別段に規定されている会長を除き、各役員は選挙された直後の7月1日に就任し、選挙された任期中または後任者が選挙されかつ適格となるまで在任するものとする。

会長は、本クラブの細則の定めるところに従って、会長に就任する日の直前1年以上2年以内の期間内に、選挙するものとする。会長に選ばれた者は、会長に就任する年度直前の年度に理事会のメンバーとなり会長エレクトをつとめるものとする。会長は、選挙により会長をつとめることとなったロータリー年度の7月1日に就任し、会長として選挙された年度中、または後任者が選挙されて就任するまで、その職務に当たるものとする。

各役員および各理事は、いずれも、本クラブの瑕疵なき正会員（アディショナル正会員を含む）、シニア・アクティブ会員、またはパスト・サービス会員のいずれかでなければならない。クラブ会長職の任務と責務をより深く理解するために、クラブ会長に選ばれた人は地区協議会に出席しなければならない。正当な理由により出席できない場合は、所属クラブから指名した代理を派遣しなければならない。この代理は地区協議会終了後、同人に報告する任務を持つものとする。

第7条 入会金および会費

本クラブの正会員、シニア・アクティブ会員、およびパスト・サービス会員は、すべて入会金および年会費として、本クラブ細則の定められた金額を納入しなければならない。但し、本

*1983年規定審議会において改正。

クラブの正会員からシニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員になる者は、2度目の入会金の納入を要しないものとする。

第8条 会員身分の存続

第1節 期間

会員身分は、次に定めるところによって終結しない限り、本クラブの存する間存続するものとする。

*第2節 終結する場合

(a) 正会員が本クラブにおいて分類されている職業分類の職業に自ら現実に従事することをやめ、または本クラブの区域限界内に事業場も住居も持たなくなるか、またはその属していた事業関係を離脱するか、いずれかの場合には、正会員身分は自動的に終結する。但し、本クラブ理事会の承認があれば、次の場合はこの限りではない。すなわち、(1)正会員が本クラブの区域限界外に移転する場合、その移転して行く先の市町村にあるロータリー・クラブを訪問して知り合いになって貰うために1ヵ年を超えない期間を限って、特別賜暇を与えて貰うことができる。但しこの場合本人は引き続き同じ職業分類の職業に現実に従事しており、かつ、引き続き出席その他すべてのロータリー会員たる条件を充たしていることが前提である；また、(2)本人自身の責に帰すべからざる事由によって、その職業分類を失うこととなった正会員は、その職業分類を引き続き保持することができ、そして、その職業分類または新しい職業分類の職業に改めて就くために必要な期間として、1ヵ年を限り特別賜暇が与えられるものとする。但し、出席その他すべてのロータリー会員としての資格条件を引き続き充たしていなければならない。その会員身分終結は許された賜暇期間終了後初めて発効するものとする。

本クラブの正会員は、クラブの区域限界内にその事業場も住居も持たなくなった場合でも、本人の新しい事業場または住居がクラブ

*1983年規定審議会において改正。

の存在する市の行政区域内または隣接クラブの区域限界内にあれば、その会員身分を保持することができる。

(b) パスト・サービス会員の会員身分は、パスト・サービス会員が再び現実で職業活動に復帰した場合、職業分類に空席があれば自動的に正会員になるものとする。職業分類に空席がない場合、または、当該クラブの区域限界内もしくは周辺地域に居住しなくなった場合、或は、国際ロータリー細則第3条第4節(a)項の規定の下にシニア・アクティブ会員になった場合、パスト・サービス会員身分は自動的に終結するものとする。これらのうち第2の場合の規定は、本クラブの正会員からパスト・サービス会員になった者には適用されない。このような会員は、本人が正会員でなくなった当時居住していた地域に引き続き居住することができる。

(c) 名誉会員の会員身分は、本人が選挙された日の直後の6月30日をもって自動的に終結する。しかしながら、理事会はその裁量により、決議をもって、毎年このような名誉会員身分を次年度に継続することができる。このような名誉会員身分は、たとえ選ばれた本人が本クラブの区域限界内に居住しなくなった後も継続するよう理事会が決定することができる。

第3節 再入会

正会員の会員身分が前掲第2節の規定によって終結した場合、本人は、同じ職業分類または別の職業分類の下に、新たに入会申込みをすることができる。国際ロータリー細則第3条第3節(a)項の規定によって選ばれたアディショナル正会員のこのような申込みは、他のいかなる申込みにも先立って、申込みに示された職業分類の下に選考されなければならない。もし本人が会員に選ばれた場合、2度目の入会金を納めることを要しない。

第4節 終結一会費不払

所定の期限後30日以内に会費を納入しない会員に対しては、そのわかっている最新の宛先に、幹事が、書面をもって催告しなければならない。催告の日付後10日以内に会費が

納入されなければ、当該会員の会員身分は自動的に終結する。

このような元会員は、その嘆願がありかつクラブに対する本人のすべての負債が完済されれば、理事会の裁量をもって、会員身分に復帰させることができる。但し、本人の以前の職業分類が既に充填されている場合は、いかなる元会員も正会員に復帰させることはできない。

***第5節 終結一欠席**

(a) 連続4回本クラブの例会に欠席した正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員の会員身分は、本条の規定による場合を除き、以下本項に定めるところによって、その欠席を補填(メークアップ)するかまたは理事会が正当かつ十分な理由ありと認めて出席を免除しない限り、すべて自動的に終結する。

本クラブの例会に欠席した会員は誰でも、欠席した日の直前の本クラブ例会の定例の時から欠席した日の直後の本クラブ例会の定例の時までの間に他のどこかのロータリー・クラブまたは仮ロータリー・クラブの例会に出席することによってその欠席を補填して、本クラブにおける出席として完全に認められることができる。但し、このような出席の通知が訪問先クラブの幹事によって本クラブに送られなければならないが、当該会員が自らこれを報告しても差し支えない。但し、いずれの会員も、各半期間に開かれた所属クラブの例会総数のうち少なくともその30パーセントに出席することを要するものとする。但し、その会員が、書面をもってクラブの理事会に申請し、理事会が正当な理由があるものと認めて免除した場合はこの限りでない。

本クラブの例会を欠席した本クラブの正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員が、ローター・クラブもしくは仮ローター・クラブまたはインター・クラブもしくは仮インター・クラブの例会に出席した場合において、前記

*1983年規定審議会において改正。

の出席が本クラブの指示に基づくもので、かつまた欠席した日の直前の本クラブ例会の定例の時から欠席した日の直後の本クラブ例会の定例の時までの間に行われたものであったときは、欠席した本クラブ例会に出席したものととして完全に認められることができる。但しそのような事情について、当該会員は本クラブに通告しなければならない。

本クラブの正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員が、他クラブの例会に出席の目的をもってそのクラブの例会定刻に定例会場に赴いた時、当該クラブがその週の例会を休会とし、繰り延べ、もしくはその時間または場所を変更していた場合には、当該会員は、仮に当該例会が定例の日時および場所で開かれたとしたら当然与えられたであろうその週の本クラブ例会欠席補填の効力を与えられるものとする。但し、そのような事情の説明が訪問先のクラブ幹事から本クラブに送られなければならないが、当該会員が自らこれを報告しても差し支えない。

本クラブの正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員で、国際ロータリーの役員または国際ロータリーの委員会委員または地区ガバナーの特別代表または国際ロータリーの従業員として奉仕している者が、ロータリーの用務のため本クラブの例会に欠席した場合は、当該用務に従事している間に出席できなかった例会に出席したと同様の効力が認められる。但しそのような事情については、当該会員は本クラブに通告しなければならない。

国際ロータリー国際大会、規定審議会、国際協議会、国際ロータリー元並びに現役員のためのロータリー研究会、国際ロータリー理事会を代行する国際ロータリー会長の承認を得て招集された国際ロータリー元、現並びに次期役員のためのロータリー研究会、ロータリー地域大会、国際ロータリー委員会会合、ロータリー地区大会、ロータリー地区協議会、国際ロータリー理事会の指示のもとに開催された地区会合、地区ガバナーの指示のもとに開催された地区委員会、または正式に公表さ

達しない正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員の会員身分は、正当かつ十分な理由によって理事会が許さない限り、自動的に終結する。

(c) 長期にわたる健康不良または傷害のために本節の規定に従うことが現実には不可能な会員は、その状態の続く限り、理事会に申請して、出席に関する諸条件を充たすことを免除されることができる。そして本人の欠席は本クラブの出席記録に算入されない。

(d) 一つまたはいくつかのロータリー・クラブで通算20年以上会員であって65歳に達したシニア・アクティブ会員、および一つまたはいくつかのロータリー・クラブで通算15年以上会員であって70歳に達したシニア・アクティブ会員は、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、幹事に通告することができる。理事会が承認すれば、その会員の欠席は本クラブの出席記録に算入されないが、出席はもし本人が希望すれば算入してもよい。

第6節 他の原因による終結

(a) いずれの会員も、会員としての資格条件に欠けるようになった場合は、特にその目的のために招集された理事会の会合において、理事会全員の3分の2を下らない賛成投票によって、その会員身分を終結せしめることができる。

(b) 会員は誰でも資格条件が、理事会が十分と認める理由があれば、特にその目的のために招集された理事会の会合において、理事会全員の3分の2を下らない賛成投票によって、その会員身分を終結せしめることができる。

(c) 前項(a)または(b)のいずれの場合も、当該会員は、かかる懸案案件について、少なくとも10日間の予告を書面によって与えられて、理事会に対して書面による答弁を提出する機会を与えられなければならない。また、理事会に出頭して、自分の立場を釈明する権利を持つものとする。かかる予告の通達は、対人配達便または書留郵便によって、わかっている最新の宛先に送付されなければならない

れたロータリー・クラブの都市連合会に出席のため、適切な直行日程をもってする復役の途次、本クラブの例会に欠席した本クラブの正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員は、当該例会に出席したと同様の効力が認められる。但しそのような事情について、当該会員は、本クラブに通告しなければならない。

本クラブの例会に欠席した正会員、シニア・アクティブ会員またはパスト・サービス会員で欠席した日の直前の本クラブ例会の定例の時から欠席した日の直後の本クラブ例会の定例の時までの間に国際ロータリー国際大会、規定審議会、国際協議会、国際ロータリー元並びに現役員のためのロータリー研究会、国際ロータリー理事会を代行する国際ロータリー会長の承認を得て招集された国際ロータリー元、現並びに次期役員のためのロータリー研究会、ロータリー地域大会、国際ロータリー委員会会合、ロータリー地区大会、ロータリー地区協議会、国際ロータリー理事会の指示のもとに開催された地区会合、地区ガバナーの指示のもとに開催された地区委員会、または正式に公表されたロータリー・クラブの都市連合会に出席した者には、本クラブの当該例会に出席したと同様の効力が認められる。但し、そのような出席を当該会員は、本クラブに通告しなければならない。

会員が、地区の提唱する奉仕事業に直接かつ現実に従事するため、その所属するクラブの例会に欠席した場合において、その事業が僻遠の地で行われていて、欠席を補填する機会が全く得られないときは、その会員は、前記の例会に出席したものとみなされるものとする。

本クラブまたは他のロータリー・クラブにおいて、その例会に充当された時間の少なくとも60パーセント出席しない正会員、シニア・アクティブ会員、パスト・サービス会員は、当該例会に欠席したものとみなされる。

(b) このあとに規定されているところを除き、クラブ年度前半の6ヵ月間または後半の6ヵ月間における出席率が60パーセントに

い。

(d) 会員身分を終結させる決定が行われた場合、幹事は、理事会決定後7日以内に、その理事会の決定を、書面をもって、当該会員に通告しなければならない。当該会員はかかる通告の日付後14日以内に、幹事に対する書面をもって、本クラブに提訴するか、もしくは本定款第12条に定める仲裁に訴えるか、いずれかの意思のあることを通告することができる。提訴する場合は、提訴を通告する書面を受理してから21日以内に行われるべき本クラブの例会において、当該提訴の聴聞を行うために、理事会はその日取りを決定しなければならない。このようなクラブ例会およびその例会で行う特別案件について、少なくとも5日間の予告が、書面をもって、本クラブの全会員宛に与えられなければならない。そしてこのような提訴が審議される例会には、本クラブ会員のみが出席を許される。

(e) 本節の規定によって理事会が正会員の会員身分を終結せしめた場合、もし提訴があれば、これに対する聴聞の期限が切れて本クラブの決定または仲裁者の決定が発表されるまでは、本クラブは、当該会員の持っていた職業分類の下に新しい会員を選挙してはならない。

(f) もしクラブに対する提訴も行われず、仲裁も要求されなかった場合は、理事会の決定は最終決定となる。もし提訴が行われた場合は、本クラブの決定が最終決定となる。

第7節 退会

いかなる会員も、本クラブからの退会申出では書面をもって行い(会長または幹事宛)、理事会によって受理されなければならない。但し、当該会員の本クラブに対するすべての負債が完済されていることを前提とする。

第8節 資産関与権—その放棄

いかなる理由によるにせよ、本クラブの会員身分を終結した者は、すべて、本クラブに属するいかなる資金その他の財産に対して、あらゆる関与権を喪失するものとする。

第9条 地域社会、国家 および国際問題

第1節

地域社会、国家および世界の一般福祉は、本クラブの会員にとって関心事である。そしてこのような福祉にかかわる公共問題の功罪は、会員各自が自己の意見をまとめる上の啓蒙手段として、クラブ会合における公正かつ理知的研究および討議の対象として適切な課題というべきである。しかしながら、本クラブは、いかなる係争中の公共問題についても意見を表明してはならない。

第2節

本クラブは、公職に対するいかなる候補者も支持または推薦してはならない。また本クラブはいかなるクラブ会合においても、かかる候補者の長所または短所を討議してはならない。

第3節

(a) 本クラブは、政治的性質を持った世界問題または国際政策に関して、決議乃至見解を、採択したり配付したりしてはならない。またこれに関して団体行動を起こしてはならない。

(b) 本クラブは、政治的性質を持った特定の国際問題の解決のために、クラブ、国民、政府に対して嘆願してはならない。また書状、演説、提案を配付してはならない。

第10条 ロータリーの雑誌

第1節

本クラブが国際ロータリー理事会によって、国際ロータリー細則と合致する本条規定の適用を免除されていない場合、本クラブの正会員、シニア・アクティブまたはパスト・サービス会員となることを受諾することにより、その会員は、自発的に、国際ロータリーの機関雑誌または国際ロータリー理事会から本クラブに対して指定されている地域的なロータリー雑誌の購読者となる。購読の期間は、6ヵ月を1期として取り扱い、本人が本クラブの

会員となっている限り継続し、1期の中途中で会員でなくなった場合にはその期の末日をもって終わるものとする。

第2節

購読料は、半年ごとに、クラブが、その前払金を各会員から徴収し、国際ロータリーの事務局または国際ロータリー理事会の指定によって購読することとなった地域的出版物の発行所に送金しなければならない。

第11条 綱領の受諾と 定款・細則の遵守

会員は、入会金と会費を支払うことによって、綱領の中に示されたロータリーの原則を受諾し、本クラブの定款・細則に従い、その規定を遵守し、これに拘束されることを受諾するものとする。そしてこれらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる。いかなる会員も、定款・細則の印刷物を受け取らなかったことを理由として、定款・細則の遵守を免れることはできない。

第12条 仲裁

会員身分の問題その他定款・細則の違反に関連して、もしくは会員のクラブからの除名に関連して、もしくはその他何事によらず、これらの場合のために規定されている手続によっては満足に解決できない論争が、会員または元会員と本クラブまたは本クラブの役員または理事会との間に起こった場合は、その係争問題は、仲裁によって解決されるべきものとする。両当事者はそれぞれ1名の仲裁人を指定し、両仲裁人は1名の裁定人を指定しなければならない。裁定人または仲裁人にはロータリー・クラブの会員のみが指定されることができる。仲裁人によって到達された決定もしくは両仲裁人が一致点に達し得なかった場合の裁定人による決定が、最終であって、当事者すべてを拘束するものとする。

第13条 細則

本クラブは、国際ロータリーの定款・細則(および地域管理が認められている場合には地域管理の手続規則)および本定款と矛盾しない細則を採用しなければならない。細則は、本クラブの管理のために、更に追加規定を設けるものとする。同細則は、細則中に定めるところに従って時々改正することができる。

第14条 改正

第1節 時

本定款は、国際ロータリー細則第6条第2節に定める非常事態の場合および本条第4節に定める場合を除き、規定審議会の決定によってのみ改正することができる。但し、本定款の改正を目的とする制定案の採択に関する審議会の決定に対し、クラブからこれに反対する意思を表示した十分の数の投票が事務総長に提出され、よって国際ロータリー細則第9条第10節(h)項に規定する国際大会の決定を必要とするに至った場合は、本定款は、規定審議会の開かれた翌年の国際大会において、前記改正案が国際大会に付議された時における出席選挙人の投票の過半数をもって改正することができる。

第2節 提案者

本定款の改正は、本条第4節に定める場合を除き、クラブ、地区大会、R.I.B.I.の審議会もしくは大会、規定審議会または国際ロータリー理事会のみが提案することができる。

*第3節 手続

本定款を改正しようとする提案は、すべて規定審議会の開かれるロータリー年度の前年度の5月1日以前に、国際ロータリー事務総長の許に提出されなければならない。

国際ロータリーの事務総長は、その写しを、規定審議会が開かれる日の少なくとも120日前までに、各クラブの幹事宛に郵送しなければならない。

*1983年規定審議会において改正。

国際ロータリーの事務総長は、適法に提案された改正案を全部直接審議会に回付しなければならない。

審議会は、かかる適法に提案された改正案、その修正案が提出されていればそれをも、一つ一つ審議して、これに対する採否の決定を行わなければならない。

***第4節**

本定款の第1条(名称)および第2条(区域限界)は、定足数を満たした数の会員が出席した本クラブの例会においていつでも、投票する出席会員の過半数の賛成投票によって、改正することができる。但し、当該改正

案の通告が、これを議する例会の少なくとも10日前に、各会員に郵送されなければならない。そして更に、かかる改正は、国際ロータリー理事会に提出してその承認を求めなければならない。その承認があって初めてその改正は効力を発するものとする。アディショナル・クラブ結成のための区域の割譲もしくは共有を拒否した決定を、地区ガバナー或は国際ロータリー理事会の指示により、再審議する場合、国際ロータリー細則第1条第1節(d)項に規定するように、3分の2の投票が前回の否決決議を支持するために必要である。

*1983年規定審議会において改正。

推奨クラブ細則

223頁—229頁

推奨クラブ細則

条	題 目	頁
1	理事および役員選挙	223
2	理 事 会	224
3	役員の仕事	224
4	会 合	224
5	入会金および会費	225
6	採決の方法	225
7	委 員 会	225
8	委員会の仕事	226
9	賜 暇	227
10	財 務	228
11	会員選挙の方法	228
12	決 議	229
13	議事の順序	229
14	改 正	229

注：本細則は単に推奨されるに過ぎない。従ってロータリー・クラブは、クラブ定款または国際ロータリーの定款、細則と矛盾しない限り、クラブ自身の事情に応じて変更することができる。もし疑問ある場合は、その変更案を国際ロータリー事務総長に提出して国際ロータリー理事会の審議を乞わなければならない。（本細則に2案が示されているものについては、クラブは案の中一つだけを採用すべきものとする。採用されなかった方の案は抹消されなければならない）

ロータリー・クラブ細則

第1条 理事および役員選挙

第1節

役員を選挙する会合の1カ月前の例会において、議長は理事候補者を指名することを求めなければならない。出席会員は何名でも指名することができる。これらの指名は投票用紙に記載されて年次総会において投票に付せられなければならない。そして最多投票数を獲得した、 名の候補者をもって当選者とする。

第2節

被選理事は、年次総会后1週間以内にその会合を開いて、下記の役員を互選しなければならない：

(1) 会長。会長に選ばれた者は、そのあと、次の7月1日に始まる年度に、会長エレクトとして理事会のメンバーを務め、会長エレクトとして理事会のメンバーを務めた年度直後の7月1日に、会長に就任するものとする。

(2) 1名または数名の副会長。

(3) 幹事、会計および会場監督。これらの一部または全部に理事会のメンバーをあてることができるし、また、そうしなくてもよい。

前記の会合で選任された幹事および会計が理事会のメンバーでなかった場合は、これらの人は、その役職に就任する年度における職権上の理事会メンバーとなるものとし、その理事会メンバーとしての責任と権限は、理事会の定めるところによる。

（注：次に掲げる二つの節は上掲二つの節の代わりに採用することができる案として掲げたものである。採用しない方の二つの節を抹消すること）

第1条 2案

第1節 役員を選挙すべき会合の1カ月前の例会において、その議長たる役員は会員に対して、会長、副会長、幹事、会計および 名の理事を指名することを求めなければならない。その指名は、クラブの決定するところに従って指名委員会または出席全会員のいずれか一方または双方によって行うことができる。もし指名委員会を設けるように決定されたならば、かかる委員会はクラブの定めるところに従って設置されなければならない。適法に行われた指名は各役職ごとにアルファベット順に投票用紙に記載されて年次総会において投票に付せらるべきものとする。投票の過半数を獲得した会長、副会長、幹事および会計がそれぞれ該当する役職に当選したものと宣言するべきものとする。投票の過半数を得た 名の理事候補が理事に当選したものと宣言するべきものとする。前記の投票によって選挙された会長は、その選挙のあと、7月1日に始まる年度に、会長エレクトとして理事会のメンバーを務め、会長エレクトとして理事会のメンバーを務めた年度直後の7月1日に、会長に就任するものとする。

第2節 選挙された役員および理事に直前会長を加えて理事会を構成するものとする。選挙によって決定した次年度理事会は1週間以内に会合してクラブ会員の中から会場監督を務める者を選任しなければならない。

第3節

理事会またはその他の役職に生じた欠員は残りの理事会メンバーの決定によって補填すべきものとする。

第4節

役員エレクトまたは理事エレクトの地位に生じた欠員は残りの被選理事会のメンバーの決定によって補填すべきものとする。

推奨クラブ細則第3条第4節の修正

1983年規定審議会での決定により、国際ロータリー細則第15条第4節(a)は、各半期中に入会した会員の比例人頭分損金についての条項が加えられ、修正された。この修正を推奨ロータリークラブ細則にも反映させるため、クラブ幹事の任務を規定した推奨クラブ細則第3条第4節を改正した：

幹事の任務は、(中略)毎年1月1日および7月1日現在をもって国際ロータリー事務総長に対して行なわなければならない半期会員報告と、7月または、1月の半期報告期間に入ってからクラブへ入会した正会員、シニア・アクティブ会員、およびパスト・サービス会員につき事務総長へ提出する半期中間報告、国際ロータリー事務総長に対する会員資格変更報告(中略)を行なうにある。
(手続要覧1984年版 224ページに記載)

第2条 理事会

第1節

本クラブの管理主体は本細則第1条第1節に基づいて選挙された理事会とする。

(注：もし第1条に2案が採用されている場合は、本条は次に示す案を採用することを要する。採用されなかった方の本節は抹消すること)

第2条 2案

第1節 本クラブの管理主体は本クラブの会員____名より成る理事会とする。すなわち本細則第1条第1節に基づいて選挙された____名の理事、会長、副会長、会長エレクト、幹事、会計および直前会長である。

第3条 役員の仕事

第1節 会長

本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会長の任務とする。

第2節 会長エレクト

会長エレクトは理事会のメンバーとしての任務およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うものとする。

第3節 副会長

会長不在の場合に本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副会長の任務とする。

第4節 幹事

幹事の任務は、会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会および委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録を作ってこれを保管し、毎年1月1日および7月1日現在をもって国際ロータリー事務総長に対して行わなければならない半期会員報告、国際ロータリー事務総長に対して行わなければならないクラブ例会の月次出席報告を含む、諸種の義務報告を国際ロータリーに

対して行い、ロータリアン誌の購読料を徴収してこれを国際ロータリーに送金し、その他通常その職に付随する任務を行うにある。

第5節 会計

会計の任務は、すべての資金を管理保管し、毎年1回およびその他理事会の要求あるごとにその説明を行い、そのほかその職に付随する任務を行うにある。その職を去るに当たっては会計はその保管する総ての資金、計算帳簿、その他あらゆるクラブ財産を、その後任者または会長に引き継がなければならない。

第6節 会場監督

会場監督の任務は通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められる任務とする。

第4条 会合

第1節 年次総会

本クラブの年次総会は毎年、_____

に開催すべきものとする。そしてこの年次総会において、次年度の理事の選挙を行わなければならない。

(注：もし第1条に2案が採用されている場合は、次の案を採用することを要する)

第4条 2案

第1節 年次総会。本クラブの年次総会は毎年、_____

に開催すべきものとする。そしてこの年次総会において次年度の役員および理事の選挙を行わなければならない。

第2節

本クラブの毎週の例会は、_____曜日、_____時

注：標準ロータリー・クラブ定款第4条第2節は、「本クラブの役員を選挙するための年次総会は、本クラブ細則の定めるところに従い、毎年12月31日もしくはそれ以前に開催されなければならない」と規定している。

に開催するものとする。

例会に関するあらゆる変更または例会の取消しはすべてクラブの会員全部に然るべく通告されなければならない。

本クラブの瑕疵なき会員はすべて、名誉会員(または標準ロータリー・クラブ定款第8条第5節(c)或は(d)項の規定に基づき、本クラブ理事会によって出席を免除された会員)を除き、例会の当日、その出席または欠席が記録され、その出席は、本クラブまたは他のロータリー・クラブにおいて、その例会に充当された時間の少なくとも60パーセント出席していたことが実証されなければならない。

第3節

会員総数の3分の1をもって本クラブの年次総会および例会の定足数とする。

第4節

定例理事会は毎月、_____

に開催すべきものとする。臨時理事会は会長がその必要ありと認めた時または理事会のメンバー2名の要求ある時、会長によって召集されるべきものとする。但しその場合然るべき予告が行われなければならない。

第5節

理事会のメンバーの過半数をもって理事会の定足数とする。

第5条 入会金および会費

第1節

入会金は、_____とし、入会承認に先んじ納入すべきものとする。

第2節

会費は年額、_____とし、各半年ごとの各支払額のうち4ドルは各会員のロータリアン誌の購読料に充当するという諒解の下に、毎年2回7月1日および1月1日に納入すべきものとする。

(注：ロータリアン誌およびレピスタ・ロータリアの購読料は年額8ドルとする)

第6条 採決の方法

本クラブの議事は、投票による役員および理事の選挙を除き、口頭による採決をもって処理されるべきものとする。

第7条 委員会

第1節

(a) 会長は理事会の承認の下に次の常任委員会を設置しなければならない：

クラブ奉仕委員会
職業奉仕委員会
社会奉仕委員会
国際奉仕委員会

(b) 会長はまた、理事会の承認の下に、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕および国際奉仕について、必要と考える特定分野を担当する委員会を設置するものとする。

(c) クラブ奉仕委員会、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会および国際奉仕委員会は、それぞれ会長が理事の中から任命する委員長および少なくとも2名以上の他の委員から成るものとする。

(d) 会長は、職権上すべての委員会の委員となるものとし、その資格において委員会に付随するあらゆる特典を持つものとする。

(e) 各委員会は本細則によって付託された職務および更にこれに加えて会長または理事会が付託する事項を処理すべきものとする。理事会によって特別の権限を与えられた場合を除き、これらの委員会は、理事会に報告してその承認を得るまでは行動してはならない。

(f) 会長は、その必要ありと認めた場合、青少年活動の諸特定分野を担当する委員会を一つ或は二つ以上設置することができる。これらの委員会は、それぞれの責務によって、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会のいずれか、或は、すべての所管するところとなる。可能かつ実際である限り、1名または数名の委員を再任するかまたは1名または数名の委員を2カ年の任期をもって

任命することにより委員会に継続性を持たせる規定を設けるべきものとする。

第2節 クラブ奉仕委員会

(a) クラブ奉仕委員会委員長は、クラブ奉仕の諸活動全部に対して責任を持ち、かつクラブ奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務を持つものとする。

(b) クラブ奉仕委員会は、クラブ奉仕委員会委員長とクラブ奉仕の特定の分野を担当するすべての委員会の委員長によって構成されるものとする。

(c) 会長は理事会の承認の下にクラブ奉仕の中の特定分野を担当する次の各委員会を設置するものとする：

- 出席委員会
- クラブ会報委員会
- 親睦委員会
- 雑誌委員会
- 会員選考委員会
- 会員増強委員会
- プログラム委員会
- 広報委員会

次の委員会に毎年1名ずつの委員を任命するものとする：

- 職業分類委員会
- ロータリー情報委員会

(d) クラブ諸委員会の設置について、可能かつ実際的である限り、1名または数名の委員を再任するかまたは1名または数名の委員を2カ年の任期をもって任命することにより委員会に継続性を持たせる規定を設けるべきものとする。

(e) 職業分類委員会およびロータリー情報委員会は、各々3名の委員をもって構成されるものとし、それぞれ毎年1名の委員を3年の任期をもって任命するものとする。本規定に基づく最初の任命は次の如く行うものとする：1名は1年、1名は2年、1名は3年の任期をもって、それぞれ任命する。

(f) 雑誌委員会は、可能である限りクラブ会報編集および地元新聞または広告関係の会員を委員の中に含めなければならない。

第8条 委員会の任務

第1節 クラブ奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員がクラブ奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行する上に役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。クラブ奉仕委員会委員長は委員会の定例会合に責任を持ち、クラブ奉仕の全活動について理事会に報告するものとする。

(a) 出席委員会 この委員会は、すべてのクラブ会員があらゆるロータリーの会合に出席すること——これには、地区大会、都市連合会、地域大会および国際大会への出席も含まれる——を奨励する方法を考案するものとする。この委員会は特に本クラブの例会への出席と、本クラブの例会に出席できない場合の他クラブ例会への出席とを奨励し、全会員に出席規定を周知せしめ、出席を良くするためのより良き奨励策を講じ、そして出席不良の原因となる諸事情を確かめてこれを除去することにつとめるものとする。

(b) 職業分類委員会 この委員会は、毎年できるだけ早く、遅くとも8月31日以前にその地域社会の職業分類調査を行わなければならない。その調査から、職業分類指針を用いて、充填および未充填職業分類表を作成しなければならない。必要な場合は本クラブの現会員の持っている職業分類を再検討しなければならない。そして、あらゆる職業分類の問題について理事会と協議しなければならない。

(c) クラブ会報委員会 この委員会は、クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上をはかり、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を報告し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、クラブ、会員、および世界各地のロータリー・プログラムに関するニュースを伝えるべく努めなければならない。

(d) 親睦委員会 この委員会は、会員間の知り合いと友誼を増進し、用意されたロータリーのレクリエーションおよび社交的諸活動

への参加を会員に奨励し、本クラブの一般目的への遂行上会長または理事会が課する任務を果たすものとする。

(e) 雑誌委員会 この委員会は、ロータリアン誌および/またはレビスタ・ロータリアンに対する読者の関心を喚起し；雑誌月間を主催し、クラブの例会プログラムにおいて毎月雑誌の簡単な紹介を手配し；新会員の教化に雑誌を利用することを奨励し；ロータリアンでない講演者に雑誌を贈呈し；図書館、病院、学校、その他の図書閲覧室のために国際奉仕並びにその他の特別購読を取計らい；ニュース資料と写真を雑誌編集者に送り；その他あらゆる方法によって雑誌を本クラブ会員およびロータリアン以外の人々に役立てるものとする。

(f) 会員選考委員会 この委員会は、会員に推薦されたすべての者を個人的な面から検討して、その人格、職業上および社会的地位並びに一般的な適格性を徹底的に調査しなければならない。そしてすべての申込に対する委員会の決定を理事会に報告しなければならない。

(g) 会員増強委員会 この委員会は、絶えず本クラブの充填および未充填職業分類表を検討し、未充填の職業分類を充填するために適当な人物の氏名を理事会に推薦するよう積極的につとめなければならない。

(h) プログラム委員会 この委員会は、本クラブの例会および臨時の会合のためのプログラムを準備し、手配しなければならない。

(i) 広報委員会 この委員会は、(1)広く一般世間に、ロータリー、その歴史、綱領および規模に関する情報を提供し、そして(2)本クラブのために適切な宣伝を行う方策を考案しこれを実施するものとする。

(j) ロータリー情報委員会 この委員会は、(1)会員候補者にロータリー・クラブ会員の特典と責務に関する情報を提供し、(2)会員、特に新会員に、会員の特典と責務に関する適切な理解を与え、(3)会員にロータリー、その歴史、綱領、規模、活動に関する情報を提供し、(4)会員に国際ロータリーの管理運営の動向に

についての情報を提供する方策を考案しこれを実施するものとする。

第2節 職業奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員が、その職業関係における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における慣行の一般水準を引き上げる上に役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。この委員会の委員長は、本クラブの職業奉仕活動に責任を持ち、職業奉仕の諸特定分野について設置されるあらゆる委員会の仕事を監督しこれを調整するものとする。

第3節 社会奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員がその地域社会に対する諸責務を遂行する上に役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。この委員会の委員長は本クラブの社会奉仕活動に責任を持ち、社会奉仕の諸特定分野について設置されるあらゆる委員会の仕事を監督しこれを調整するものとする。

第4節 国際奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員が、国際奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行する上に役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。この委員会の委員長は本クラブの国際奉仕活動に責任を持ち、国際奉仕の諸特定分野について設置されるあらゆる委員会の仕事を監督しこれを調整するものとする。

第9条 賜 暇

理事会に対し書面をもって、正当かつ十分な理由を具して申請することによって、会員は一定期間を限り本クラブの例会出席を免除する賜暇が与えられる。

(注：このような賜暇は会員身分の喪失を防ぐためのものである。しかし本クラブに対してその会員を出席同様に見做すためのものではない。その会員が他のクラブの例会に出席しない限り、出席を免除された会員は欠席と記録されなければならない。但し標準クラブ定款第8条第5節(c)項または(d)項の規定に基づいて認められた欠席は本クラブの出席記録に算入されない)

第10条 財 務

第1節

会計は本クラブの資金をすべて理事会によって指定される銀行に預金しなければならない。

第2節

すべての勘定書は役員2名の署名する伝票に基づき、会計の署名する小切手をもってのみ支払われるべきものとする。本クラブのすべての会計事務については毎年1回公認会計士または他の有資格者によって全面的な監査が行われなければならない。

第3節

資金を預り或はこれを取り扱う役員は、本クラブの資金の安全保管のために理事会が要求する保証を提供しなければならない。保証の費用は本クラブが負担するものとする。

第4節

本クラブの会計年度は7月1日より6月30日に至る期間とし、会費徴収の目的のためにこれを7月1日より12月31日に至る期間および1月1日より6月30日に至る期間の2半期に分けるものとする。国際ロータリーに対する人頭分担金と雑誌購読料の支払は、毎年7月1日および1月1日に、それぞれ当日の本クラブ会員数に基づいて行われるべきものとする。

(注：半期の途中に入会した会員の雑誌購読料は国際ロータリー事務局からの仕切り状に基づいて支払われるものとする)

第5節

各会計年度の初めに理事会はその年度の収支の予算を作成し、または作成せしめなければならない。その予算は、理事会によって承認された後、各費目ごとに支出の限度となるものとする。但し、理事会の議決によって別段の指示がなされた場合はこの限りでない。

第11条 会員選挙の方法

第1節 正会員 (アディショナル正会員を含む)

(1) 本クラブの正会員、シニア・アクティブ

会員もしくはパスト・サービス会員または会員増強委員会によって推薦された会員候補者の氏名は、書面をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出されるべきものとする。この推薦は、本節に別な定めのある場合を除き、暫くこれを秘密にしておかなければならない。

(2) 理事会は、職業分類委員会に対し、推薦された会員候補者の資格要件を職業分類上の見地から審査して、これを理事会に報告するよう要請し、さらに、会員選考委員会に対し、当該候補者の資格要件を、人格、職業上および社会的地位、並びに一般的適格性の見地から調査して、これを理事会に報告するよう要請するものとする。

(3) 理事会は、職業分類委員会および会員選考委員会の勧告を審査して、その承認または不承認を決定し、これをクラブ幹事を通じて、推薦者に通知しなければならない。

(4) 理事会の決定が肯定的であった場合は、推薦者は、ロータリー情報委員会の委員1名または数名と共に、被推薦者に対し、ロータリーの目的およびクラブにおける会員の特典と義務について説明しなければならない。この説明の後、被推薦者に対し、入会申込書の記入および提出を求め、また、本人の氏名および本人に予定されている職業分類をクラブに発表することについて承諾を求めなければならない。

(5) 被推薦者の氏名の発表後10日以内に、理事会がクラブ会員の誰からも、推薦に対し、理由を付記した書面による異議の申し立てを受理しなかった場合は、会員候補者は、本細則第5条に定める入会金を納めることにより、会員に選ばれたものとみなされる。

理事会に対し異議の申し立てがあった場合は、理事会は、定例または臨時の理事会会合において、これを審議し、当該被推薦者について票決を行うものとする。この定例または臨時の理事会会合において、出席理事会メンバーの反対投票が、票を超えなかった場合は、被推薦者は、所定の入会金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみな

される。

本節の規定により会員が選挙されたときは、クラブ幹事は、当該会員に対して会員証を発行し、その氏名を国際ロータリー事務総長に報告しなければならない。

(6) 当該会員は、クラブの例会において、新会員として正式に紹介されなければならない。

第2節 シニア・アクティブ、パスト・サービス、および名誉会員

これら3種類の会員のいずれかに推薦された候補者の氏名は書面をもって理事会に提出されなければならない。そしてその選挙は正会員の場合と同様の形式および方法をもって行われるべきものとする。但しこれら3種類の候補者推薦についてはいかなる定例または臨時理事会においても審議することができ、理事会はその裁量によって本条第1節に定められている段階の中、いずれの段階をも省略して直ちに被推薦者についての投票を行うことができる。その定例または臨時理事会に出席する理事会メンバーの投ずる反対投票が、票を超えない場合は、その被推薦者は正式に選挙されたものと認められるべきものとする。但し、本クラブの正会員またはパスト・サービス会員で、本クラブ定款に定められたシニア・アクティブ会員の資格を備えている者は、自動的に本クラブのシニア・アクティブ会員となるものとする。その場合、このようなシニア・アクティブ会員については申込書も選挙もこれを必要としない。

(注：理事会の最終投票によって会員選挙を決するこの細則の規定に代えて、クラブは正会員、シニア・アクティブ会員、パスト・サービス会員または名誉会員の選挙を、クラブ例会におけるクラブ会員の最終投票によって決定する規定を採用することができる。但しこの場合、その例会には定足数の出席を必要とし、出席会員の4分の3の賛成投票を必要とすることを規定しなければならない)

第12条 決 議

事のいかんを問わず本クラブを拘束する決議または提案は、理事会によって審議された後でなければ本クラブによって審議されてはならない。もしかかる決議または提案がクラブの会合で提起されたならば、討議に付することなく理事会に付託しなければならない。

第13条 議事の順序

開会宣言

来訪ロータリアンの紹介

来信および告示事項

委員会報告 (もしあれば)

審議未終了議事

新規議事

スピーチその他のプログラム

閉 会

第14条 改 正

本細則は、定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分の2の賛成投票によって改正することができる。但し、かかる改正案の予告は当該例会の少なくとも10日前に各会員に郵送されていなければならない。クラブ定款および国際ロータリーの定款および細則と背馳する如き改正または条項追加を本細則に対して行うことはできない。

語彙 (Glossary)

ロータリー用語

Achievement Report【業績報告】 各クラブが1年度間の活動と業績を報告する用紙として、毎年クラブへ送付される書式。

Acting District Governor【アクティング・ガバナー】 地区ガバナーが空席になった場合、新ガバナーが国際大会においてまたは国際ロータリー理事会によって選挙されるまで、その事務を執行するために、国際ロータリー会長から指名された人。

Active Member【正会員】 職業分類の下にクラブ会員として選ばれ、国際ロータリー定款・細則に定められた会員としてのすべての義務、責任、および特典を有するクラブ会員。

Additional Active Member【アディショナル正会員】 (1)クラブの正会員により推薦され、推薦者と同一の職業分類の下にそのクラブの会員として選挙された人、または(2)かつていずれかのロータリー・クラブの正会員であった人で、そのクラブの区域限界内でクラブで分類されていた職業に現実に従事しなくなったために退会し、別のクラブによってそのクラブの当該職業分類保持者の承諾を得て同一職業分類の下に会員として選挙された人。クラブが(2)項によってアディショナル正会員を選挙した場合、当該正会員は(1)項によってアディショナル正会員を推薦する権利を失わない。アディショナル正会員は正会員であり、正会員と同一の義務、責任および特典を有する。

Administrative Adviser【管理顧問】 会長の指名により、国際ロータリー代表として名誉職の資格において、無地区クラブ・グループに接触し、これを監督して国際ロータリー理事会に助力するロータリアン。

Admission Fee【入会金】 クラブ入会申込者がクラブに支払う料金。料金の額は均一でない。各クラブがその細則に規定するところ

によって異なる。

Alternate(delegate)【補欠者(代議員)】 いずれのクラブでも国際大会にその代議員を選出するに当たり、代議員各1名ごとに補欠者1名を選ぶことができる。この補欠者は当該代議員が出席できない場合国際大会において投票する権利を有する。

ANZAO【アンザオ】 オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ(地中海に面する諸国、諸地域を除く)およびその他の地方で他の地域群(すなわち USCB, SACAMA, G. B. & I., CENAEM またはアジア)に含まれない地方を包含する地域群の略語。

Attendance Report (Club)【出席報告(クラブ)】 国際ロータリー細則に基づき、各クラブが地区ガバナーに対し毎月提出する、例会出席報告。無地区クラブは国際ロータリー事務総長に提出する。

Attendance Report (Governor)【出席報告(ガバナー)】 所管地区内のクラブから受け取った月例出席報告を要約した一覧表。ガバナーはこれを1部国際ロータリー事務総長に送付する。

Balanced Membership【均衡のとれた会員組織】 職業的に片寄らないクラブの会員構成。

Birthplace of Rotary【ロータリーの発祥地】 最初のロータリー・クラブが設立された米国伊利ノイ州シカゴ市。

Board of Directors (Club)【クラブ理事会】 クラブ細則の規定により構成されたクラブの管理主体。

Branch Office【支局】 エバンストンの中央事務局(同項参照)以外の地に設置されたR. I.事務局。各支局は担当地域のロータリー・クラブおよび地区ガバナーのための事務を取り扱う(チューリッヒ、ノルディック、

ブラジル、南西太平洋、日本、および南アジアの各支局の項参照)。

Brazil Branch【ブラジル支局】 ブラジル、サンパウロにある R. I. 事務局。ブラジルのロータリーのための事務を取り扱う。

Brief Report of the Convention【国際大会略報】 国際大会終了後直ちに全加盟クラブに送付される大会報告書の要約のみを特集して、大会直後に発行される R. I. ニュース。

CENAEM【セナエム】 ヨーロッパ大陸、北アフリカおよび東地中海地域の略語。

Central Office (C. O.)【中央事務局】 米国イリノイ州エバンストンにある国際ロータリー中央事務局。

Certificate of Nomination of District Governor【地区ガバナー指名証明書】 ロータリアンが地区内クラブにより正式に地区ガバナー職に指名された事を証明する、地区ガバナーおよび場合によっては併せて地区大会幹事の署名した証明書。

Charter Member【創立会員】 ロータリー・クラブの創立会員、すなわち国際ロータリー加盟前に選ばれた会員。

Classification【職業分類】 地域社会に貢献する別個のかつ明確な実業または専門職業活動を表示する字句。用語としては、正会員の所属する商社、会社または団体の主要かつ一般世間がそのように認めている活動を最も正確に表示する字句である。

Classification Roster【職業分類表】 地域社会における実業および専門職業活動のすべてを含む一覧表で、クラブで既に充填されているもの、未充填のものを明記したもの。

Club Assembly【クラブ協議会】 クラブの計画および活動について協議する目的で開かれる、クラブ役員、理事および委員長全員の会合。

Club Review Checklist【クラブ検討表】 クラブ役員がクラブの実態を検討し、またクラブの慣行および動向についてガバナーと協議する準備のため用意される検討表。

C. O.【中央事務局】 米国イリノイ州エバンストンにある国際ロータリー中央事務局の略

語。

“Considered as Withdrawn”【「撤回と看做す」】 規定審議会および国際大会における立法案の取扱に関連してロータリーで発達した議事採決の方法。選挙体として採択に賛成できないが、否決と議事録に残したくないものは「撤回と看做される」。この議決法は、採決を延ばしその間に更に議題を研究したい場合に時々用いられる。

Convention Proceedings Book【国際大会議事録】 国際大会終了直後毎年国際ロータリーが印刷発行する写真入り大会議事録。

Countries and Geographical Regions【国および地理的地域】 ロータリー・クラブの存在する世界の各地域を指すのに用いられる慣用語。

Delegate【代議員】 国際大会においてロータリー・クラブを代表する人。各クラブは、名誉会員を除き、会員数50名ごとまたはその過半数の端数につき1名の代議員を国際大会に送る権利を有する。

Delegate-at-Large【特別代議員】 国際ロータリーの各役員および元会長で、現在も会員（名誉会員を除く）としてクラブに籍を有する人は、国際ロータリーの定款・細則により国際大会における特別代議員と認められ、各議題につき1票の議決権を有する。

District【地区】 国際ロータリーの管理上一団に集められたクラブ群の所在する一定地域に与えられた名称。

District Conference Report【地区大会報告書】 地区大会決議事項、出席クラブ数、ガバナー・ノミニエーの氏名その他を記載し、ガバナーおよび地区大会幹事より国際ロータリーに提出される報告書。

District Governor Ad Interim【暫定地区ガバナー】 国際大会で選挙されたガバナーがその地区外にあって就任時までに帰着できない場合にはその帰着までの期間、直前ガバナーが暫定地区ガバナーとしてその職務を執行する。

Dues and Fees【会費および入会金】 各正会員、シニア・アクティブ会員およびパスト・

サービス会員はそのクラブの細則に定める入会金および会費をクラブに支払う。その金額は国際ロータリー加盟各クラブ間において同一ではない。

Elector【選挙人】 選挙人は正当に選ばれた代議員、委任状所持者および特別代議員を言い、国際大会の選挙体を構成する。

Enactment【規則制定】 国際ロータリー定款・細則または標準クラブ定款を改正する立法事項。

ENAEM【エナエム】 ヨーロッパ、北アフリカおよび東地中海地域の略語で、CENAEMとG. B. & I.の両方を含む地理的地域を指す。

Extension Aide【拡大補佐】 クラブ結成の仕事に経験のあるロータリアンで、特別代表が援助なくしては任された地域のクラブの結成を完成することができないように思われる場合、およびガバナーが必要な援助を与えることができない場合に、近隣地域に住む特別代表に援助を与えるようガバナーから指名された者を意味する。特殊な事情がある場合には、この「補佐」が自らクラブの結成に当たった方がよいと思われることもありうる。

Extension Within the Club【クラブの内部拡大】 クラブの区域限界内で得られる適格な職業分類代表者をもれなく入会させてクラブ会員数を増加すること。

Extension Work【拡大活動】 ロータリー・クラブが存在しないところにクラブを設立してロータリーを拡大する活動。この活動は、地区においてはガバナーと事務局の協力によって行われ、その他の地域においては特に指名された代理者が事務局の協力を得て行うことを通例とする。

Founder of Rotary【ロータリー創始者】 1905年シカゴに最初のロータリー・クラブを創立したポール P. ハリスを指す用語。ポール P. ハリスは1947年1月27日死去した。

Four Avenues of Rotary Service【ロータリー奉仕の四大部門】 クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、および国際奉仕を指す用語。
G. B. & I.【グレート・ブリテンおよびアイル

ランド】の略語。

General Council (R. I. B. I.)【R. I. B. I. 審議会】 グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの管理機関で、R. I. B. I.の役員(会長、直前会長、副会長、名誉会計および幹事)とグレート・ブリテンおよびアイルランド内の地区における地区ガバナーをもって構成する。グレート・ブリテンおよびアイルランド選出の国際ロータリー理事は職権上本審議会の構成員である。

General Officers of R. I.【国際ロータリー中央役員】 国際ロータリーの会長、副会長、その他の理事会のメンバー15名(会長エレクトを含む)、事務総長並びに財務長。

General Secretary's Letter to District Governors and Other Rotary International Officials【地区ガバナーおよび他の国際ロータリー役員に対する事務総長書翰】 国際ロータリーの役員、委員その他に対し、時に応じて国際ロータリー事務総長が発送する書簡。経費の都合で複写されてはいるが、上記役職者にとって重要な情報が記載されており、各受取人に対する私信と解すべきものである。

“Good Standing”【「瑕疵」なき】 国際ロータリーの定款・細則の中で、ロータリー・クラブ会員もしくは国際ロータリー加盟会員であるロータリー・クラブに関して用いられている「瑕疵なき」という文言は、ロータリー・クラブ会員としてのすべての義務を常に忠実に果たしているロータリアン、もしくは国際ロータリー加盟員としてのすべての義務を常に忠実に果たしているロータリー・クラブを意味するものと解されている。

Governor's Monthly Letter【ガバナー月信】 所管地区内の各クラブの会長および幹事に対して毎月ガバナーから發送される親書的な公文書で特に関心を求むべき重要事項が記載されている。

Group Representatives【分区代理】 地区内であらかじめ区分された地域内のクラブ役員に助力するため、ロータリアンの中からガバナーが指名する非公式代理。ガバナーはそ

の任務を何人にも委譲する権限を持たないのでこの代理は非公式で権限を持つものではない。

Headquarters, R. I. (or Headquarters Building) 【R. I.本部】 米国イリノイ州エバンストン、リッジ街1600にある建物。会長執務室、中央事務局、およびロータリー財団事務局がある。

“He Profits Most Who Serves Best” 【「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」】 ロータリーの文献その他に用いられる標語。

Ibero America 【イベロ・アメリカ】 イベロ・アメリカはヨーロッパのイベリア半島出身のスペイン人およびポルトガル人によって開拓されたアメリカ大陸諸国を言う。国際ロータリー理事会の構成について、国際ロータリー細則は、イベロ・アメリカは南アメリカ、中央アメリカ、メキシコおよびアンティル諸島を含むと規定している。(国際ロータリー理事候補推薦およびその他若干の管理上の目的のためにプエルトリコはイベロ・アメリカから除外されている)

Intercountry Committee 【国際共同委員会】 それぞれの所管ガバナーによりまたはその承認を得て組織される、2ヵ国以上のロータリアン、ロータリー・クラブまたは地区により構成される委員会で、関係国のクラブおよびロータリアン間の交友を奨励し、それによって各国民の間に理解を増進し友好を促進することを目的とする。

International Officers 【国際ロータリー役員】 Officers, R. I.の項参照。

Japan Branch Office 【日本支局】 日本、東京にあるR. I.事務局。日本のロータリー・クラブのための事務を取り扱う。

Lapel Button 【襟章】 ロータリー・クラブの会員の襟章で、金地に紺のエナメルをもって作られたロータリー徽章。

Member Club 【加盟クラブ】 国際ロータリーに正式に加盟を認められたロータリー・クラブ。

Membership Application Card 【会員申込用紙】 会員として推薦された者が入会申込の

際用いるカード。

Membership Identification Card 【会員証】 国際ロータリーが全クラブにその使用を奨めている一定様式の小型会員証。国際ロータリー事務総長の複写印刷署名のほか、会員名、所属クラブ名、職業分類、納入した会費の期限、クラブ幹事の署名および本人の署名のための空欄が設けてある。

Membership Proposal Card 【会員推薦カード】 クラブ会員がクラブに会員を推薦するときに用いるカード。

Membership Report Card 【会員報告カード】 クラブ幹事が国際ロータリー事務総長に対して、新会員、退会者および会員の住所等の変更を報告する書式として、国際ロータリーが供給する3種類の書式。

Memo of Official Visit of District Governor 【地区ガバナー公式訪問報告書】 ガバナーが所管地区の各クラブを公式訪問した際に記入し、(クラブ計画および目標の要約と共に)、日本支局に送付する報告書。この報告は、国際ロータリーに対し各クラブがどのようにロータリーのプログラムを実行しているかについて情報を提供し、かつ国際ロータリーのクラブ業務の参考に供することを目的とする。

Non-Districted Club 【無地区クラブ】 国際ロータリーの地区に属せず、国際ロータリー理事会の直轄下にあるクラブ。

Nordic Branch Office (N. O.) 【ノルディック支局】 スウェーデン、ストックホルムにあるR. I.事務局。デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、およびスウェーデンのロータリーのための事務を取り扱う。

Object of Rotary 【ロータリーの綱領】 国際ロータリー定款第3条および標準クラブ定款第3条に規定するロータリーの綱領。

Officers, Club 【クラブ役員】 クラブの役員は会長、会長エレクト、副会長1名または数名、幹事、会計および会場監督である。

Officers, R. I. 【国際ロータリー役員】 国際ロータリーの役員は、会長、副会長、その他の理事、事務総長、財務長、地区ガバナー、

グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの会長、直前会長、副会長並びに名誉会計である。

Per Capita Dues 【人頭分担金】 各クラブが、国際ロータリーに対して、7月1日および1月1日現在の正会員、シニア・アクティブ会員およびパスト・サービス会員総数に応じて、半年ごとに支払う人頭分担金。

Purposes of Rotary International 【国際ロータリーの目的】 a)全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大しそして管理すること；b)国際ロータリーの活動を調整し、全般的にこれを指導すること。(国際ロータリー定款第2条)

Region 【地域】 地域という用語は、境界が不定または限定されているクラブ集団を表示するときに用いられる。6地域はUSCB, SACAMA, ANZAO, G. B. & I., CENAEM, アジアであり、それぞれ個別に「語彙」に解説されている。

Registration Fee, Convention 【登録料—国際大会】 国際大会に出席を登録する満十六歳以上の参加者が国際ロータリーに支払う料金。登録料はその都度国際ロータリー理事会が決定する。選挙人は登録料を支払わなければ選挙権を与えられない。

Resolution 【決議】 規定審議会または国際ロータリー大会の議決行為で、意見を表明し、或は国際ロータリー定款・細則或は標準クラブ定款を改正することなしに、方針或は手続を設定または廃止するもの。

Revista Rotaria 【レビスタ・ロータリア】 国際ロータリーのスペイン語版機関雑誌。

R. I. 【国際ロータリー】 の略語。

R. I. B. I. 【グレート・ブリテンおよびアイルランドにおける国際ロータリー】 の略語。(同項参照)

Rotary 【ロータリー】 ロータリーはロータリー・クラブおよびロータリアンによって構成される組織、彼等を鼓舞する精神、彼等を指導する原理実践および慣例、そして彼等が達成を期する目的および綱領を示す言葉として用いられる。

Rotary Information 【ロータリー情報】

1)ロータリーの綱領、原則および発展と四大奉仕部門に関する会員の理解を育むこと。
2)ロータリアンひとりひとりがロータリーの理想にみずから献身し奉仕することにより責任感と理解を養うこと。

Rotary International in Great Britain & Ireland (R. I. B. I) 【グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー】 グレート・ブリテン、アイルランド、チャンネル諸島およびマン島におけるロータリー・クラブ連合会の呼称。

Rotary Wheel 【ロータリーの歯車】 ロータリーの徽章を指して時々用いられる呼称。

R. R. (Revista Rotaria) 【(レビスタ・ロータリア)】 の略語。

SACAMA 【サカマ】 南米、中米、メキシコおよびアンティル諸島の略語。

Secretariat 【事務局】 中央事務局およびその職員から成る運営機構。各支局とその職員およびロータリー財団に関する事を担当する全職員を含む。

Semiannual Report 【半期報告】 毎年7月1日および1月1日現在をもって各クラブが国際ロータリー理事会に対して行う会員数の報告。報告はクラブ会長および幹事の署名を要し、中央事務局所定の用紙を用いて、国際ロータリー事務総長に送付する。この報告に基づき、クラブは国際ロータリーの人頭分担金を支払う。

“Service Above Self” 【「超我の奉仕」】 ロータリーの文献その他で用いられる標語。

Similar Organizations 【類似団体】 ロータリー以外の奉仕団体を言う場合に時々用いられる言葉。

South Asia Branch Office 【南アジア支局】 インド、デリーにあるR. I.事務局。バングラデシュ、インド、ネパール、パキスタン、およびスリランカのロータリーのための事務を取り扱う。

Southwest Pacific Branch Office 【南西太平洋支局】 オーストラリア、シドニーにあるR. I.事務局。オーストラリア、ニュージー

ランド、および太平洋諸島のロータリーのための事務を取り扱う。

Special Representative【特別代表】 ガバナーの指名により、ガバナーに代わってクラブ結成の手続一切を行うロータリアン。通常、スポンサー・クラブの会員の中から指名される。

Sponsor Club【スポンサー・クラブ】 新クラブの結成に際して助力し、結成後も国際ロータリーの一員として速やかに成長するよう指導の責任を引き受けたクラブ。新クラブの結成に当たりガバナーに協力する特別代表の所属クラブがスポンサー・クラブになるのが普通である。

Staff【職員】 国際ロータリーの事務総長の配下の職員で、国際ロータリーの活動を推進するため国際ロータリーの中央役員、ガバナー、国際ロータリーの委員会および加盟クラブに協力する。

Standard Club Constitution【標準クラブ定款】 国際大会により採択された、1922年6月6日後の全加盟クラブが採用すべきクラブ定款。

Summary of Club Plans and Objectives【クラブ計画および目標の要約】 地区ガバナーの公式訪問に際してクラブが提出する概要報告で、ガバナーおよび国際ロータリー事務局宛に当該年度におけるクラブ計画および目標を簡潔に記載したもの。

Terms of Reference【職務権限】 委員会および類似機構の権限および任務の解説定義。

Territorial Unit【地域単位】 1922年(ロサンゼルス)大会で採択された加盟クラブの管

理方式。1927年(オステンド)大会は地域単位による管理を廃止したが、当時既存の地域単位に関しては、その権利、特典、権限、義務または任務は全面的に効力を持続することを確認した。

The Rotarian【ロータリアン誌】 国際ロータリーの公式機関雑誌の英語版。

USCB【米国、カナダ、バミューダ】の略語(管理上プエルトリコが含まれる)。

Visiting Rotarian Report Card【訪問ロータリアン報告用紙】 他クラブからの来訪ロータリアンの出席が認められるように、来訪ロータリアンの出席をその人の所属クラブ幹事に報告するためにクラブ幹事が用いるカード。

Vocational Craft Assemblies【職業別協議会】 通常国際大会または地区大会において開催され、それら大会に出席したロータリアンが他地域からの同業者と意見を交換し、職業奉仕問題を協議するための職業別集会。

Voting Delegate's Form【投票代議員用紙】 クラブ幹事がその投票代議員に対して交付する用紙で、国際大会における信任状委員会による確認を要する。この用紙は保持者の投票権を立証するほか、投票代議員として大会に出席する資格を示すものである。

Zurich Office(Z. O.)【チューリッヒ事務所】 スイス、チューリッヒにあるR. I.事務局。ヨーロッパ大陸の一部、北アフリカおよび東地中海地域に加えて、アフリカの全クラブおよび地区のロータリーのための事務を取り扱う。

索 引

ア

R. I., 定義	235
「国際ロータリー」の項参照	
R. R. (レビスタ・ロータリア), 定義	235,
「レビスタ・ロータリア」の項参照	
アクティング・ガバナー, 定義	231
アジア	
R. I. 理事指名	188—190
会長指名委員会	183—185
地域大会リスト	111—112
アディショナル正会員	12, 171, 214, 231
クラブ会員増強	46
クラブ再入会	215
資格	10—11
職業分類	171
制限	12
創立会員名簿中の	51
定義	228
若い人	15
アディショナル理事の指名	190—191
アディショナル・ロータリークラブ, 大	
都市における	52, 169—170
アド・ホック委員会, R. I.	63, 188—189
ANZAO (アンザオ), 定義	231

イ

委員会, R. I.	62—63, 203—205
(各委員会名の項も参照)	
アド・ホック	63, 203
委員長は会長が任命	63, 203
委員の資格条件	204
委員の代理	63
会合	63
会長は職権上の委員	63, 203
幹事	205
欠員	63, 203
諮問	203

常任	202—203
その他の任務, 活動	204
通信による議事の処理	205
通信による投票	63
定足数	205
特別	203
任期	203
報告	63
理事会の承認により効力を生ずる	205
委員会, R. C.	225—226
(各委員会名の項も参照)	
常任	225—226
意義ある業績賞	39—40
移籍, R. C. 会員	11
遺贈, ロータリー財団	145
委任状による代理者	
国際大会	103—104, 178—179
地区大会	197—198
イベロ・アメリカ	
R. I. 理事指名	190
会長指名委員会	184
定義	234
医療保険, 国際青少年交換学生	88—89
インターアクト委員会, 地区	97
インターアクト・クラブ, 「クラブ, インターアクト」の項参照	

エ

営利化, ロータリーの	76, 153
ENAEM (エナエム), 定義	233
襟章	152, 234

オ

王室, ロータリーの後援者	46
オーストラリア, ニュージーランド, 南アフリカ, および他のいずれの地域にも属さない土地	

R. I. 理事指名	190	徽章および記事の使用資格	151, 166
会長指名委員会	184	均衡のとれた会員組織	13-14, 18, 231
		区域限界の変更に影響を受けない	10
		公職者は資格がない	172-173
		個人のもので会社のものではない	10
		再入会	215
力		資格	10-11, 163
会員候補者, R. C.		終結	11, 215-218
クラブの区域限界内で事業にたずさわ		種類	171
る候補者を優先	10	照会	22
クラブ例会へ招待	15	職業分類, 「職業分類」の項参照	
5名で1名の新会員計画	12-13	制限	12-13, 19, 173
推薦	11	増強	46
選挙の方法	228	創立会員	51, 232
理事会へ氏名提出	228	存続	215-218
会員証	24	退会	218
幹事が発行	229	他の都市へ移転するロータリアン	12
定義	234	同一のクラブで同時に正会員および名	
来訪ロータリアンによる提示	24	誉会員になること	11
会員推薦カード, 定義	234	二重会員	11, 172
会員選考委員会, R. C.	12, 226-227	名称	166
会員増強委員会		名簿	151, 153
R. I.	203, 204	元ロータリアンの選挙	15
R. C.	14, 27, 46, 226, 227	やむを得ない事情で退会した元ロータ	
地区	46	リアンの身分	14
会員組織, R. I.	163-164, 169-171	ロータリアン誌購読が条件	25, 208, 218
加盟	53, 169-170	ロータリー財団への寄付はR. C. 会員	
加盟申請	169	資格の条件ではない	15, 144
管理	170	ロータリーの綱領の受諾	219
クラブの再結成	170	若い人	15
クラブの懲戒	170	会員身分, インターアクト・クラブ	96
終結	68, 170-171	会員身分, 他の団体における	
脱会	170	R. I.	56
会員報告カード, 定義	234	R. C.	23, 56
会員身分, R. C. 10-12, 171-173, 213-214		インターアクト・クラブ	98
(各会員身分の項も参照)		ローターアクト・クラブ	78-79
R. I. 職員	173	ロータリアン	11
R. I. への報告	205	会員身分, ローターアクト・クラブ	79
移籍できるという規定はない	11	会員申込用紙, 定義	234
会員数の最少限	47	海外旅行, ロータリー青少年交換学生	90
会員選挙方法	228-229	会議運営手続に関する動議	126-128
会員を増強できない	12	優先順位	126-128
会社合併による問題	19	会計, R. C.	19
会費	51, 172, 214-216, 225, 231	R. C. の財務	228
学生は会員になり得ない	21		
拡大	12-13		
238			

選挙	223	R. C. 会員身分	172
任務	224	職業分類	19
会計監査		会社合併による職業分類の問題	19
R. I.	206	会場監督	
報告書の配布	69	R. C.	19, 223-224
R. C.	228	国際大会	177
会計年度		改正 (「規則制定」の項も参照)	
R. I.	68, 205	起草委員会	187
R. C.	228	細則, R. I.	119, 210
会合, 会議		細則, R. C.	229
R. I. 会長指名委員会	183	審議中の動議	127
R. C.	213, 224-225	制定案もしくは決議案	125-126
会員候補者の招待	15	定款, R. I.	119, 166
例会場	22	定款, R. C.	170, 219-220
学生招待	21	投票	127, 130
仮クラブ	50	立法案	120
議事の順序	229	会長, R. I.	57-58
祈禱	22	規定審議会議員	180
クラブ会長の任務	20	欠員	175
採決の方法	225	広報における責務	26
酒類飲用の可否	22-23	国際大会役員	177
出席, 「出席, クラブ例会」の項参照		資格	175
他の奉仕クラブとの連合会	23	指名	183-188
定足数	123	職権上の委員	
手続規則	123-130	委員会	63, 203
取消	23	元会長審議会	207
プログラム	21, 23-24, 25, 52, 88, 144	選挙	60-61, 174, 195
来賓	21	地域大会議長	110
委員会, R. I.	62-63	地区大会会長代理	43
インターアクト	97-98	任期	58-59, 175
規定審議会	119-120	任務	57-58, 175
国際共同委員会	91	ロータリーの年次プログラムの強調	73
多地区合同会議	44	会長, R. C.	19, 214
他の団体, ロータリアンの出席	16	委員会の職権上の委員	225
地区		委員会の設置	225-226
席次	43	資格	20
日程	44	選挙	223
元会長審議会	207	他のロータリー・クラブ例会へ招待	21
元地区ガバナー	37	地区協議会出席	40, 214
理事会, R. I.	173-174	任務	20, 224
理事会, R. C.	19	会長, R. I. B. I.	
理事ノミニー指名委員会	191	指名	194
ローターアクト	80-83	選挙	195
外交官		会長エレクト, R. I.	

欠員	175,187-188	加盟金 (Charter fee)	51,170
任務	58,175	加盟金, R. I. (Admission fee)	169
会長エレクト, R. C.	19,214	加盟クラブ, 定義	234
研修セミナー	41	加盟認証状, クラブ	52,53
任務	224	加盟認証番号	53
会長ノミニー, R. I.	187	仮クラブ	50
会費および入会金		加盟金	51
R. I., 「人頭分担金」の項参照		標準ロータリー・クラブ定款の採択	50
R. C.	214,225	毎週の会合	50
新クラブ	51	名称	50
定義	232	カリブ海-メキシコ湾, 地域大会リスト	112
不払による終結	215-216	為替レート, ロータリー財団寄付金	143
名誉会員は免除	172	幹事	
インターアクト・クラブ	99	R. I., 「事務総長, R. I.」の項参照	
ロータリーアクト・クラブ	82	R. C.	19
会費不払による加盟の終結	170	選挙	223
学生		地区協議会出席	40
インターアクト・クラブ会員	96	任務	224
クラブ例会への招待	21	規定審議会	180
ロータリーアクト・クラブ会員	78-79	地区	36-37
拡大	12-13,47	地区大会	197
一般方針	47-48	ロータリー財団	135,143
拡大補佐	49-50,233	冠名奨学金授与	146
クラブの区域限界の変更	9	管理委員, ロータリー財団, 「ロータリー財団管理委員」の項参照	
クラブの内部拡大	12-13,46,233	管理上の集団	196
地域の調査	49	管理顧問	64,231
定義	233		
特別代表	49		
拡大委員会, R. I.	203-204		
拡大委員会, 地区	47		
拡大カウンセラー, 地区	47		
拡大補佐	49-50,233		
学友, ロータリー財団	142		
「各ロータリアンは青少年の模範」という標語	94		
「瑕疵なき」, 定義	233		
活動の同格部門3点	39		
カナダ			
ロータリアン誌購読が会員の条件	25		
ロータリー財団への寄付金は税金控除	143-144		
ガバナーのマンスリー・レター	38		
定義	233		
「ガバナー公式訪問報告書」, 定義	234		

青少年クラブ	152	手続規則	123-130,182-183
正しい使用および不当な使用	151	関係規則	129-130
非公式の友好グループ	14	非常時立法	176-177
保全および保護	150,206	副議長	180-181
起草委員会, 規定審議会	130,182	役員	119,180
規則制定	134	祈禱, クラブ例会における	22
(「改正」「立法」「決議」の項も参照)		寄付	
改正	125-126	R. I. 資金を他の団体へ	70
関連手続規則	123,125	災害救済	73-74
規定審議会決議	129-130,165,182-183	ロータリーアクト奉仕プロジェクト	81-82
採択の結果	120	ロータリー財団	144-146
支持および反対	122	R. C. 会員資格の条件ではない	15,144
提案	176	為替レート	143
定義	233	税申告に対する寄付金額控除	143-144
提出	121	表彰	145-146
反対, クラブより	183	パーセンテージ順位	145
非常事態	176-177	業種の調査, 地域社会の	12
様式	122,124	業績賞, 意義ある業績賞	39-40
理事会による点検	121	業績報告, 定義	231
立法手続	176-177	共同提唱	
「貴地域社会へ移転するロータリアンに		インターアクト・クラブ	96-97
関する通知状」書式	14	ロータリーアクト・クラブ	80
規定審議会	119-120,165,180-183	局地的協議会, R. I.	207
運営	129-130	均衡のとれた会員組織, R. C. 13-14,18,231	
幹事	180	近接区域, 定義	9
議員	119,180		
投票権を有しない	119,180		
特別	119,180-181		
議員の選挙	119		
議事運営手続の専門家	180		
議事の順序	129		
議長	180-181		
事務総長への報告	182		
クラブ代表議員	120-121,180-182		
クラブへの報告	120		
決定に対する反対, クラブより	183		
審議			
R. I. 細則改正	210		
R. I. 定款改正	166		
R. C. 定款改正	219-220		
決議	176		
審議会の時期および場所	119		
信任状	182		
定足数	123,182		

ク

区域限界, R. C.	9-10
アディショナル・クラブ	52,169-170
インターアクト・クラブ	97
仮クラブ	50
定義	9
変更	9,220
ロータリーアクト・クラブの提唱	79-80
区域の割譲	10,48,52,169
区域の共有	10
国および地理的地域, 定義	232
クラブ, インターアクト	96-99
会員身分	96
解散	97
徽章	96
共同提唱	96-97
指導者講習会	99

青少年障害者 95-96
 他の団体に加入すること 97
 地区組織および会合 97-98
 定款・細則の採択 97
 ニュースレター 99
 配布 97
 プログラム資金調達 99
 目的 96
 目標 96-97
 クラブ、ローターアクト 78-83
 解散 80
 徽章 79
 資金調達 82
 指導者講習会 83
 組織 79-80
 多地区合同会合 81-82
 地区組織 80-81
 地区代表 80
 ニュースレター 82-83
 標語 79
 目的 78
 クラブ、ロータリー 9-28
 R. I. 会員身分 10, 53
 R. I. 理事との接触 59
 会員数の最少限 47
 会員身分、「会員身分、R. C.」の項参照
 会計年度 228
 会合、「会合、R. C.」の項参照
 加盟金 51
 加盟認証状 52
 仮クラブ 50
 管理、監督 32, 64, 164-165
 議事の順序 229
 徽章 149-150, 206
 規定審議会における代表 120-121, 180-181
 業績の表彰 39-40
 区域限界 9-10, 48, 52, 79, 169-170, 220
 クラブ協議会 25
 クラブの内部拡大 12-13
 研究グループ交換 138-139
 講演者の幹旋 28
 構成 163
 広報 26-27

候補者の推薦
 会長指名委員会 183-188
 理事ノミニー指名委員会 191
 国際青少年交換の責務 90
 国際大会における代表
 103-104, 165, 177-178
 国際理解に関する責務 85-86
 国法の遵守 25
 災害救済 73-74
 財団の活動に対する特別補助金 140
 財務、「財務、R. C.」の項参照
 指名
 R. I. 会長 57-58, 187
 地区ガバナー 201
 理事ノミニー 188-189, 191-194
 社会奉仕活動 27, 77-78
 職員は R. I. 被選役職候補者の資格が
 ない 195
 職業分類、「職業分類」の項参照
 職業奉仕活動 76
 所在 163
 新クラブ、「新クラブ」の項参照
 青少年への奉仕 93-95
 青少年への奉仕団体との関係 94-95
 青年功績賞 94
 世界社会奉仕 86-87
 大都市におけるアディショナル・クラ
 ブ 52, 169-170
 多地区合同活動 44-45
 他の団体に加入すること 23, 56
 地区内のクラブ数 30
 提唱
 インターアクト・クラブ 97
 新クラブ 52
 ローターアクト・クラブ 78-79
 年次総会 213, 224-225
 納入義務金滞納クラブ 68-69
 配布 25, 74, 153
 パナー 24
 反対の意志
 規定審議会の決定 183
 立法案 119-120
 非公式な地域グループ或はクラブ集団 64
 標準定款の採択 170

不本意ながらクラブが解散した後の会
 員の地位 14
 プログラム 21
 新クラブ 52
 世界理解月間 88
 ロータリー財団月間 142
 ロータリー雑誌月間 65
 ロータリー情報 23-24
 ロータリーに人々の注意を引くこと 27
 報道機関との関係 28
 保険と法人組織 24
 名称 9, 150-153
 名簿 153-154
 役員、「役員、R. C.」の項参照
 有望な地域 48
 立法案提出 121
 ロータリアンでない者に対し証明書は
 発行しない 24
 ロータリー財団への寄付 144-145
 クラブ会報委員会、R. C. 226
 クラブ協議会 20, 25
 定義 232
 「クラブ計画および目標の要約」、定義 236
 クラブ検討表、定義 232
 クラブのパナーの交換 24
 クラブ奉仕委員会、R. C. 225-227
 グレート・ブリテンおよびアイルランド
 内国際ロータリー 164-165
 会長指名委員会 189
 会費 205-206
 管理 196-197
 規定審議会クラブ代表議員の選挙 181
 クラブの加盟認証状 53
 クラブの管理 64
 指名
 R. I. 理事 189
 会長 194
 副会長 194
 名誉会計 194
 地区ガバナー
 経費 34-35
 任務 32-33, 199
 定義 235
 被選役職候補者 64

役員ノミニー氏名の国際大会への提出
 194-195

ケ

計画資料書式、世界社会奉仕
 経費 87
 規定審議会代表議員 119
 国際協議会出席者 113
 国際研究会 115
 地域およびゾーン研究会 115
 地区ガバナー 34-36
 欠員
 R. I. 会長 57, 175
 R. I. 会長エレクト 175, 187-188
 R. I. 各種委員会 62-63, 203
 R. I. 財務長 175
 R. I. 事務総長 175
 R. I. 役員 175
 R. I. 理事会 174
 R. C. 理事会 223
 会長指名委員会 186
 地区ガバナー 202
 ロータリー財団管理委員 209
 決議
 改正 125-126
 規定審議会の決定 119, 165, 182-183
 規定審議会または国際大会による採択 176
 クラブの反対 183
 現に効力を有するかどうかの決定 120
 支持および反対 122
 地区大会における
 提案 176
 定義 235
 提出 121
 手続規則 125-126
 投票 179
 様式 122, 124
 理事会の審議 121, 229
 ロータリー財団に関する
 決議案、「決議」の項参照 134, 176
 欠席、クラブ例会 16
 会員身分終結 16, 215-218
 賜暇 16
 243

州議会	16	候補者	
陪審員の職務	16	研究グループ交換	138-139
決定に対する提訴		奨学金	137-138
R. C. 役員	214	小売, 産業区分	17
議長	127-128	国際協議会	113, 206-207
規定審議会議長	182	経費支弁条件	113
理事会, R. I.	173	構成	207
理事会, R. C.	214	国際研究会との関係	115
建議案, R. I. 理事会に対する	122	出席者	113
研究会, 「国際研究会」「地域研究会」「ゾ ーン研究会」の項参照		地区ガバナー・ノミニョーの出席	34
研究グループ交換	138-139	地区編成委員会会合	29
研究グループ交換小委員会, 地区	139	時と場所	206
建築関係, ロータリーの名称使用	152-153	特別または局地的協議会	207
		文献の配布	113
		目的	113
コ		国際共同委員会	
		地区	91
後援者, ロータリーの	46	定義	234
講演者の斡旋		国際研究会	115
R. C.	28	国際青少年交換	88-89
地区	46	国際大会, R. I.	103-107, 165, 177-179
公式名簿	66, 153	開催地	103, 165, 177
公職者, R. C. 会員資格がない	172-173	今までの開催地および日程一覧表	105-107
公職に対する候補者の推薦	218	議事録	105, 232
購読		規則制定, 「規則制定」の項参照	
機関雑誌	208, 218-219	クラブの代表	103-104, 165, 179
地域雑誌	218-219	時期および場所	165, 177
レビスタ・ロータリア	26	指名の提出	188, 194, 203
ロータリアン誌	25	招集	177
広報	26-28	信任状	104, 178
クラブ・プロジェクト	27	選挙人	104, 195, 233
責務		装飾用品に徽章の使用	151
国際ロータリー	26	大会招致	103
個々のロータリアン	26	代議員	104, 165, 177-178
ロータリー・クラブ	26	座席	179
地域大会	111	定義	232
不利な広報	27	特別	103, 165, 178, 232
目的	26	補欠者	177, 231
役員就任式は広報の機会	21	提訴	173
ロータリーに人々の注意を引くこと	27	定足数	123, 178
広報委員会		手続規則	123-130, 178-179
R. I.	203, 204	討議	178
R. C.	226-227	投票	60, 104-105, 179, 195
地区	27		
244			

登録料	105, 178	職員	
特別協議会	179	R. I. 被選役職候補者の資格がない	195
バッジおよび名札の使用	150	規定審議会の投票権を有する議員に なれない	180
非常時立法	176-177	クラブ会員になる資格がある	195
プログラム	178	人道的援助と設備に関する方針	74
目的	103	席次	59
役員	177	地域大会	109-112, 207
役員の選挙	195	地域の承認	9
立法, 「立法」の項参照		定款, 「定款, R. I.」の項参照	
臨時	165	パンフレット	66-67
ロータリー国際理解賞の授与	87	名称の使用	151-152
国際大会委員会, R. I.	203	目的	163, 235
国際大会議事録	105	役員, 「役員, R. I.」の項参照	
定義	232	ロータリー・クラブおよびロータリ アンの名簿	153-154
国際大会略報, 定義	232	国際ロータリー地域大会幹事	110
国際奉仕	85-92	国際ロータリー中央役員, 定義	233
研究グループ交換	138-139	(「役員, R. I.」, 各役員名の項も参照)	
国際共同委員会	91-92	国際ロータリー・ニュース	66
国際青少年交換	88-89	国際ロータリー役員, 「役員, R. I.」の項 参照	
個々のロータリアンの責務	85	国法	
国家間の連合会	90	遵守	25, 170
世界社会奉仕	86-87	批判	86
特別補助金の目的	140	国家間に跨る地区	30-31
保健, 飢餓追放および人間性尊重プロ ジェクト	141	国家間の訪問	91
目的	85	国家間の連合会	90
ロータリー国際職業人交換	90	国家的問題	218
ロータリーの方針	85-86	R. I. の方針	56
国際奉仕委員会, R. C.	225, 227	5名で1名の新会員計画	12-13
国際問題	218	顧問, レビスタ・ロータリア	65
国際ロータリー	55-70	顧問ロータリアン, 選定, 発表された奨 学生の	138
および国際奉仕	86	合同インターアクト委員会	97
および他の団体	56	合同ローターアクト委員会	80
会員組織, 「会員組織, R. I.」の項参照			
会計年度	68, 205	サ	
会費, 「人頭分担金」の項参照		サービス, 産業区分	17
管理	56	災害救済	73-74
公式名簿	66, 153	再結成, クラブ	170
広報における責務	26	細則, R. I.	168-210
国事	56	改正	210
国際的レベルにおける共同事業	57		
細則, 「細則, R. I.」の項参照			
財務, 「財務, R. I.」の項参照			
事務局, 「事務局, R. I.」の項参照			
			245

クラブによる承認	164	雑誌委員会, R. C.	226, 227
本文	168-210	産業, 職業分類	16-17
細則, R. C.	222-229	産業区分	17
改正	229	暫定地区ガバナー, 定義	232
採択	219		
本文	222-229		
細則, インターアクト・クラブ	97		
細則, R. I. B. I.	196	C. O., 定義	232
細則, ローターアクト・クラブ	79	「事務局, R. I.」の項参照	
財務, R. I.	67-70	G. B. & I., 定義	233
会計年度	68, 205	「グレート・ブリテンおよびアイル	
監査	69, 206	ランド内国際ロータリー」の項参照	
クラブ訪問費用の負担	22	賜暇	16, 215, 227
資金に対する緊急措置	70	資格	
資金の支出	69	R. I. 役員	175
支出に対する承認	69	R. C. 会長	20
収入の財源	68	アディショナル正会員	12
人頭分担金, 「人頭分担金」の項参照		委員	204
他の団体の活動に対する寄付	70	正会員	163
投資の方針	67	代議員	177
納入義務金滞納クラブ	68-69	地区ガバナー	32, 198
予算	206	ロータリー財団奨学生	137-138
理事会が管理	67	事業場または住居, ロータリアンの, ク	
財務, R. C.	228	ラブの区域限界内	10
会計年度	228	支局, 定義	231
クラブ会長の任務	20	資金	
クラブ資金の取扱	24	R. I.	205
講演者への謝礼	22	R. C.	228
資金募集	23, 78	地区	45-46
予算	228	地区ガバナー	34-35
財務委員会, R. I.	203, 204	資金調達, インターアクト	99
財務委員会, 地区	45	資金調達, ローターアクト	82
財務長, R. I.		資産関与権の放棄	218
欠員	175	実業または専門職業, ロータリアンの,	
国際大会役員	177	職業分類	16-17
選挙	175	執行委員会, R. I. 理事会	58, 63, 174
任務	58, 176	シニア・アクティブ会員	11, 171-172
SACAMA (サカマ), 定義	235	会員候補者の推薦	11
酒類飲用の可否, クラブ例会における	22-23	会員に選挙	15
雑誌, R. I.	65, 207-208, 218	選挙	229
(「レピスタ・ロータリア」「ロータリ		創立会員名簿中の	51
アン誌」の項も参照)		入会金および会費	214
購読	25	バッジと職業分類	19
地域雑誌	54	ロータリアン誌購読が条件	25
246			

索引	
R. I.	203
地区	36
ジャーナリズム奨学金	138
社会奉仕	77-83
クラブ・プロジェクト	27
社会奉仕会議	77-78
特に関心の高い活動	78
募金	78
社会奉仕委員会, R. C.	77, 225, 227
社会奉仕会議	77-78
州議会に出席しなければならないためク	
ラブ例会を欠席	16
住居, ロータリアンの	10
宗教の代表者	19, 172
終結, 会員身分	
R. I.	170
所有権の引渡し	170
納入義務金未払	68
R. C.	215-218
他の奉仕クラブの会員であるため	11
就任式	
クラブ役員	21
主たる動議, 「本動議」の項参照	
出席	
クラブ例会	16, 55
欠席による終結	216-217
欠席補填	16
賜暇	16
出席委員会の任務	226
州議会	16
地域大会	111-112
陪審員の職務による欠席	16
報告	207
来訪ロータリアン	22
出席委員会, R. C.	226
出席競争, 地区	39
出席報告	33
ガバナー	33, 231
クラブ	231
10%を勧告	18
出版物, ロータリー (「文献, ロータリ	
」の項も参照)	
国際ロータリー・ニュース	66
雑誌	65, 208
247	

事務局, R. I.	65	R. I.	203
インターアクト・ニュース	99	地区	36
広報の責務	26-27	ジャーナリズム奨学金	138
世界社会奉仕プロジェクトの登録	87	社会奉仕	77-83
定義	235	クラブ・プロジェクト	27
事務次長, ロータリー財団	135	社会奉仕会議	77-78
事務総長, R. I.	58	特に関心の高い活動	78
幹事		募金	78
R. I. 各種委員会	202-205	社会奉仕委員会, R. C.	77, 225, 227
規定審議会	180	社会奉仕会議	77-78
地域大会	110	州議会に出席しなければならないためク	
元会長審議会	207	ラブ例会を欠席	16
理事会	164	住居, ロータリアンの	10
ロータリー財団	135	宗教の代表者	19, 172
規定審議会議員	180	終結, 会員身分	
欠員	175	R. I.	170
国際大会役員	177	所有権の引渡し	170
選挙	175	納入義務金未払	68
任務	175-176	R. C.	215-218
不利な広報	27	他の奉仕クラブの会員であるため	11
報酬	175	就任式	
事務総長書翰, 地区ガバナーおよび他の		クラブ役員	21
国際ロータリー役員に対する, 定義	233	主たる動議, 「本動議」の項参照	
指名		出席	
R. I. 会長	60, 183-188	クラブ例会	16, 55
クラブによる	187	欠席による終結	216-217
指名委員会による	186	欠席補填	16
規定審議会クラブ代表議員	181	賜暇	16
国際大会へ提出	188, 194-195, 202	出席委員会の任務	226
地区ガバナー	33-34, 200-202	州議会	16
役員, R. C.	223	地域大会	111-112
理事会, R. I.	188-194	陪審員の職務による欠席	16
ロータリー財団奨学金候補者	138	報告	207
指名委員会, R. I. 会長	60, 62, 183-188	来訪ロータリアン	22
委員	183-186	出席委員会, R. C.	226
会合の時と場所	186	出席競争, 地区	39
欠員	186	出席報告	33
定足数	186	ガバナー	33, 231
報告	60, 187	クラブ	231
指名委員会, 地区ガバナー	200	10%を勧告	18
指名委員会, 理事	60, 174, 191-194	出版物, ロータリー (「文献, ロータリ	
通知	193	」の項も参照)	
定足数	193	国際ロータリー・ニュース	66
諮問委員会		雑誌	65, 208

購読	25	職業分類	16-18, 213-214
地域	54	一事業体内の独立部門	17
レビスタ・ロータリア	26, 65, 235	会員候補者の審査	228-229
ロータリアン誌	25, 65, 208, 236	会員身分の終結	215-216
地区または地域	54	会員身分の制限	216
出版物委員会, R. I.	203, 204	外交官	19, 172
趣味グループ, 「世界親睦活動」の項参照		会社合併による問題	19
賞		活動または奉仕で地位ではない	16
青年功績賞	94	均衡のとれた会員組織	13, 18
ロータリー国際理解賞	87	原則固守	18
ロータリー財団への奉仕に対して	146	シニア・アクティブもしくはパスト・サービス会員のバッジ	19
小委員会, 職業情報, R. C.	76	宗教の代表者	19, 172
小委員会, ロータリー財団地区委員会	133	修正	213-214
障害者教師奨学金	138	10%を勧告	18
紹介状, ロータリアンでない者に対する	24	将来クラブを結成するのに有望な地域	48
傷害保険		職業分類の貸与	18
インターアクト会員	97	新クラブ	18
国際青少年交換学生	88-89	創立会員	51
ローターアクト会員	79	調査	12, 17, 226
奨学金, ロータリー財団	137-138	定義	16, 232
冠名	146	報道機関	19, 172
候補者指名締切日	138	60%従事という職業分類に関する勧告	18
国際理解賞受賞者の氏名を冠する	87	職業分類委員会, R. C.	12, 17, 226
資格	138	職業分類表	12, 16-17, 226
商業的活動, 職業分類の趣旨の解釈	17	定義	232
商用名刺, 徽章の使用	150-151	職業別協議会, 定義	236
常任委員会		職業奉仕	75-76
R. I.	63, 203-205	クラブの活動	75-76
R. C.	225	職業指導活動	75-76
商標, 徽章の登録	150	ロータリアンの営利化	76
情報, ロータリー	23-24	職業奉仕委員会, R. C.	75, 225, 227
定義	235	職業奉仕月間	76
情報要請書式, 世界社会奉仕プロジェクト	87	職務権限, 定義	236
将来クラブを結成するのに有望な地域	48	所在地, ロータリアンの事業場	10, 215
使用料手続および免許料, ロータリー徽章の使用	150	所得税申告, ロータリー財団への寄付金の控除	143-144
書簡箋, 四つのテストの使用	75	新会員	
職員, 定義	236	5名で1名の新会員計画の目的	12-13
職員, R. I.		紹介	229
R. I. 役員を務める資格がない	195-196	入会式	15
R. C. 会員の資格がある	173	ロータリー財団への寄付	144
規定審議会の投票権を有する議員にない	180	新クラブ	18
職業研修奨学金	137-138	拡大に関する一般方針	47-48

加盟金	51, 169	七	
加盟認可および会費の支払	68	正会員	171, 231
近隣クラブの激励	53	会員候補者の推薦	228
職業分類	18, 51	クラブ会員増強	46
スポンサー・クラブの援助	50	公職者の会員身分保持	172-173
地区ガバナーの関連経費	36	資格	163
地区の編成	29	事業場または住居の所在地	10
特別代表の任務	49	終結	215-218
プログラム	52	職業分類	16-18, 213-214
申請		制限	13, 214
会員身分, R. I.	169	選挙	228-229
会員身分, R. C.	215-216, 228	退会後の再入会	215
研究グループ交換	139	定義	231
特別補助金	140	同一クラブで同時に名誉会員	11
保健, 飢餓追放および人間性尊重補助金	141	入会金および会費	214-215
ロータリー財団奨学金	137-138	ロータリアン誌購読が条件	25-26
人道的援助と設備に関する R. I. の方針	74	若い人	15
人頭分担金	68, 165, 205-206	生産または製造	
財務事項の変更	220	産業区分	17
支払時期	206	政治運動にロータリーの名称, 徽章, および名簿を使用してはならない	151
定義	235	政治とロータリー	25
払戻し	68	青少年	
不払による加盟の終結	170	国際青少年交換	88-89
信任状		職業指導活動	75-76
規定審議会	182	犯罪行為調査の目的	78
国際大会	104, 178	奉仕, 「青少年への奉仕」の項参照	
ロータリアンでない者に対する証明書	24	青少年活動委員会, R. I.	203, 204
信任状委員会		青少年活動委員会, R. C.	76, 78, 95
規定審議会	182	青少年活動月間	94
国際大会	104, 177-178	青少年クラブ, ロータリーの名称および徽章の使用	152
新聞, 「報道機関」の項参照		青少年交換委員会, 地区	88
親睦委員会, R. C.	227	青少年交換担当役員, 地区	88
		青少年障害者	
スポンサー・クラブ		青少年交換プログラム参加	88
インターアクト・クラブ	96-97	青少年プロジェクトへの奉仕	95-96
新クラブ	50	青少年への奉仕	93-94
定義	236	インターアクト・クラブ	96-97
ローターアクト・クラブ	78-79	社会奉仕活動	78
		青少年活動月間	94
		青少年交換, 国際	88-89
		青少年障害者	95-96

青年功績賞	94	地区大会	198
プログラム, R. C.	93-94	選考委員会, 地区	40
目的	93	宣伝, 「広報」の項参照	
ロータリー青少年指導者養成プログラム	94	専門職業活動, 職業分類の趣旨の解釈	17
製造または生産			
会社合併	19		
産業区分	17		
制定案, 「規則制定」の項参照			
政府の最高指導者, ロータリー後援者としての	46		
席次, 国際ロータリーの	59		
席次, 地区の諸会合	43		
赤十字	73		
世界社会奉仕	86-87		
世界社会奉仕委員会, 地区	87		
世界社会奉仕プロジェクト交換	87		
世界親睦活動	14, 47		
世界理解月間	88		
世界理解と平和の日	88		
CENAEM (セナエム), 定義	232		
「ヨーロッパ大陸, 北アフリカおよび東地中海地域」の項参照			
全員委員会	128-129		
選挙			
R. I. 中央役員を選出	62		
単一移譲式投票方式	104-105, 195, 201-202		
郵便による			
地区ガバナー	31, 34		
理事ノミネー	193		
連続投票方式	201-202		
選挙			
会員, R. C.	228-229		
会長指名委員会	183-184		
地区ガバナー	202		
役員, R. I.	174-175, 180, 195		
役員, R. C.	223		
理事会, R. C.	223		
選挙運動および投票依頼	31, 61-62, 196		
選挙管理委員会			
国際大会	104, 195		
理事ノミネー選出	193, 194		
選挙人			
国際大会	105, 195, 233		
250			

ソ	
創立会員	51
定義	232
ゾーン, 指名	
R. I. 会長	183-185
理事	188-190
ゾーン研究会	115-117
ゾーン代表, インターアクト	98
ゾーン代表, ローターアクト地区	80
タ	
大会, 各大会名の項参照	
大学院課程奨学金	137-138
大学課程奨学金	137-138
大学教員のための補助金	139
代議員, 定義	232
「国際大会, 代議員」の項参照	
太平洋地域, 地域大会リスト	111
多地区合同会議	44
多地区合同活動	44-45
多地区合同組織	37
脱会, R. I.	170
退会, R. C.	218
他の団体	
R. I. 会員身分	56
R. C. 会員身分	23, 56
R. C. との連合会	23, 77, 94-95
インターアクト・クラブ会員身分	97
および R. I.	56
活動に対する R. I. 資金の寄付	70
新ロータリー・クラブ結成を阻む要因	53
配布, R. C.	25
ローターアクト・クラブ会員身分	79
ロータリアンの会員身分	10-12
ロータリアンの諸会合出席	16
単一移譲式投票	104-105, 195, 201-202
団体的活動, 職業分類の趣旨の解釈	17

地域	9, 48-49, 169
地域, 定義	235
地域研究会	115-117
地域社会の問題	218
地域出版物	54
地域大会	109-112, 207
委員長	110
開催地の選定	109
幹事	110
広報	111
財務	110
出席	111
手続規則	110
日程	109
目的	109
余興	111
リスト	111-112
地域大会委員会, R. I.	110
地域単位, 定義	236
地域的クラブ或はクラブ集団, 非公式な	64
地域の慣習	
遵守	170
批判	86
地区, 定義	29
地区, インターアクト	97-98
地区, ローターアクト	80-81
地区, ロータリー	29-54, 197-202
インターアクト指導者講習会	99
会議, 会合	
席次	43
多地区合同会議	44
日程	44
拡大活動	47-50
幹事	37
規定審議会会合における代表議員	120-121
クラブ数	30
研究グループ交換	138-139
講演者の幹旋	46
広報	26-27
国際奉仕プロジェクトに対する特別補助金	140
国家間に跨る地区	30-31

財団学友会	142
資金	45-46
社会奉仕活動	77
出席競争	39
出版物	54
奨学金受領資格	137
世界親睦活動	47
創設	197
組織	36-37
多地区合同	37
多地区合同活動	44-45
定義	29, 232
ロータリー財団への寄付	145
ロータリー・プログラムの支援	73
地区委員会 (個々の委員会名で参照のこと)	
委員長	37
国際共同	91
諮問	35, 204
地区ガバナー	31-36
解任	202
拡大補佐	49-50
記録および書類	38
クラブの監督	64
クラブの業績の表彰	39-40
クラブ訪問	30, 32-33, 38-39
グレート・ブリテンおよびアイルランドにおいて	33, 35
経費	34-35
欠員	202
広報における責務	27
候補者の調査	31
国際共同活動	91
国際青少年交換の責務	88-90
資格条件	32, 198-199
指名	198-202
必要な資格の取得	33-34
責務の委任	37
選出	195-196, 202
地区大会報告書	197-198
特別代表	49
任期	32, 175
任務	32-33, 199-200
グレート・ブリテンおよびアイルランドにおいて	33
251	

任命
顧問ロータリアン 138
青少年担当役員および青少年委員会 88
ロータリー財団委員会 133
半期報告 38
分区代理 35-36
報道機関とロータリーとの関係 28
身分 32
理事会のメンバーとの接触 59
地区ガバナー指名証明書, 定義 232
地区ガバナー代理, 研究グループ交換 138-139
地区ガバナー・ノミネー
拒否 34, 199
国際協議会出席 34
国際大会への提出 195
責務 31
選出 31, 199
地区編成委員会との協議 29-30
地区幹事
インターアクト 98
ローターアクト 80
地区協議会 40, 197
クラブ会長の出席 20
新会員の入会式実演 15
日程 44
目的 40
地区組織図 37
地区大会 41-42
会長代理 43
幹事 197
規定審議会への代表議員の選挙 120, 181-182
機能 197
時と場所 197
地区ガバナー・ノミネーの選出 198-199
投票 198
日程 44
プログラム 42
目的 41
立法案の討議 43, 121
連合地区大会の開催 41-42
地区大会委員会 41
地区大会報告書 197-198, 232

地区再編成 「地区の編成」の項参照
地区の編成 29-30, 197
地区編成委員会, R. I. 29-30, 204
地区編成委員会, 地区 30
地区編成委員会, R. I. B. I. 196
地区編成連合委員会 30
地元の新聞, 「報道機関」の項参照
中央アジア, 地域大会リスト 112
中央事務局, 定義 232
「事務局, R. I.」の項参照
仲裁, 会員間の係争 219
チューリッヒ事務所, 定義 236
懲戒, クラブの 170
「超我の奉仕」 141, 153, 235
長期間同一人の来賓, ロータリー・クラブ例会 21
調査
将来クラブを結成するのに有望な地域 48-49
職業分類 12, 17, 226
青少年に影響を及ぼしている地域社会の状態 93
地域社会の業種 12
地域社会のニーズ 77
地区ガバナー候補者 31

ツ

通貨, ロータリー財団寄付金の換算 143
通告, 会員身分終結 218
通知, R. I. 理事会の会合 173
通知, ロータリー財団への寄付金を替レート 143

テ

定款, R. I. 163-166
改正 119, 122, 166
 (「規則制定」の項も参照)
承認 164
本文 163-166
定款, R. C. 170, 212-220
改正 10, 170, 219-220
 (「規則制定」の項も参照)

採択 9, 50
標準定款でない定款 9
標準 170
本文 212-220
定款, R. I. B. I. 164-165, 196-197
定款, インターアクト・クラブ 96
定款, ローターアクト・クラブ 79
定款・細則委員会, R. I. 119, 121, 180, 182, 203
定足数 123
委員会, R. I. 205
会議, R. I. 123
会合, R. C. 224
 年次総会 224-225
 例会 123, 182
規定審議会 123, 182
国際大会 123, 178
指名委員会
会長 186
地区ガバナー 200
理事 193
理事会
R. I. 173
R. C. 225
「撤回と看做す」, 定義 232
手続規則 207
R. I. の諸会合 123-130
管理上の集団 196
規定審議会 182-183
国際大会 178-179
社会奉仕会議 77-78
その他の事項 130
地域大会組織 110
展示, 地区大会における 42

ト

討議
国際大会 178-179
手続規則 124-125
動議 124-125
同業組合, ロータリアンの役割 76
投資, R. I. 67-68
投資諮問委員会, R. I. 203, 204

投票
国際大会 60, 104-105, 130, 165, 179, 195
賛否分離方法による採決 128
単一移譲式投票 104-105, 195, 201-202
通信による 63, 173-174
連続投票方式 200-202
投票代議員用紙, 定義 236
投票用紙による投票 179
登録料
国際大会 104, 105, 178, 235
地域大会 111
特別委員会, R. I. 63, 203
特別議員, 規定審議会 119, 181
特別協議会 179, 207
特別選挙, 地区ガバナー 202
特別代議員, 定義 232
 「国際大会, 代議員」の項参照
特別代表, ガバナーの 49
 定義 236
特別補助金, ロータリー財団 140
特権の問題, 定義 126
富くじ類 23
取消, クラブ例会 23

ナ

名を呼び合う習慣 21
南西太平洋支局, 定義 235-236
南米地域, 地域大会リスト 112

ニ

二重会員, ロータリー・クラブにおける 11, 172
にせロータリアン 22
日本支局, 定義 234
入会金, R. C. 51, 214-215, 225
 会員選挙の方法 228-229
新クラブ 51
定義 231
バスト・サービス会員 172
名誉会員は免除 172
入会金および会費, 「入会金, R. C.」「加盟金, R. I.」「会費および入会金」「人頭

分担金」の項参照
 入会式 15
 新会員 15
 ニュースレター
 インターアクト 99
 ローターアクト 82-83
 任期
 委員会, R. I. 203
 会長, R. I. 59,175
 地区ガバナー 32,175
 役員, R. I. 58-59,175
 理事会, R. I. 59,175
 ローター財団管理委員 209

ネ

年会費, R. C., 「入会金および会費」の
 項参照 年次総会, R. C. 213,224

ノ

農村区域, R. C. 定款の定義 10
 ノルディック支局, 定義 234

ハ

賠償責任保険
 インターアクト会員 97
 および法人組織, クラブの 24
 国際青少年交換学生 88
 ローターアクト会員 79
 陪審員の職務, クラブ例会欠席理由 16
 配布 (Circularizing)
 インターアクト・クラブ 97
 クラブおよび会員の名簿を使用しては
 ならない 153-154
 ローターアクト・クラブ 80
 ローター・クラブまたはロータリア
 ン 25,74
 配布 (Distributing)
 会社合併 19
 産業区分 17
 定義 17
 パスト・サービス会員 172

会員候補者の推薦 11
 終結 215
 正会員になること 15,215
 選挙 228
 創立会員名簿中の
 入会金および会費 214-215
 バッジと職業分類 19
 ローターアクト誌購読が条件 25
 バッジ 206
 会員の使用 150
 徽章 151
 職業分類, シニア・アクチブもしくは
 パスト・サービス会員 20
 バナー 24,151
 半期報告, 定義 235
 パンフレット 66-67

ヒ

非公式な地域的クラブ或はクラブ集団 64
 非公式のロータリアン会合 16
 非公式のロータリアン友好グループ 14
 訪問ロータリアン報告用紙 22
 定義 236
 被選役職候補者, R. I., 選挙運動および投
 票依頼 31,61-62,196
 避難者, 不本意ながらクラブが解散した後
 の地位 14
 標語
 ローターアクト 79
 ローター 153
 標準定款でない定款, R. C., ローター・
 クラブによる保持 9
 標準ロータリアン・クラブ定款, 定義 236
 「定款, R. C.」の項参照
 便箋, 徽章の使用 150-151

フ

副会長
 R. I. 58
 会長職欠員 175
 国際大会役員 177
 選任 175
 R. C. 19,223-224

R. I. B. I.
 指名 195
 選挙 195
 複製, 四つのテスト 75
 婦人親族の団体, ローターアクトの
 ブラジル支局, 定義 232
 プログラム
 クラブ 21
 新クラブ 52
 青少年活動月間 94
 世界理解月間 88
 ローター財団月間 142
 ローター雑誌月間 65
 ローター情報 23-24
 ローターに人々の注意を引くこと 27
 国際大会 178
 地域およびゾーン研究会 117
 ローターアクト・クラブ 82
 プログラム, ローター 73-74
 (4章-8章も参照)
 プログラム委員会, R. C. 226-227
 分区代理 35-36
 定義 233
 文献, 他の団体の, 国際協議会にて配布 113
 文献, ローター (「出版物, ローター
 ー」の項も参照) 67
 翻訳 67
 へ
 米国
 定義 195
 ローターアクト誌購読が会員の条件 25
 ローター徽章, 商標登録 150
 ローター財団への寄付金額の税控除 143-144
 米国, カナダ, バミューダおよびプエル
 トリコ
 R. I. 理事指名 188-189
 会長指名委員会 184
 ベナント交換, ローター 24

ホ

奉仕基金, ローターアクト地区 81
 奉仕クラブ, ローター以外の, 「他の団
 体」の項参照
 「奉仕を通じての親睦」 79
 報酬, R. I. 役員 175
 法人組織と賠償責任保険, クラブの 24
 法人組織, 非公式のロータリアン友好グ
 ループ 14-15
 報道機関
 会員身分, R. C. 24,172
 クラブ例会における長期間同一人の来賓21
 広報におけるローター・クラブの責務26
 職業分類 19
 ローターとの関係 28
 訪問, ローター・クラブ 24
 会員証の提示 91
 国家間 30,32-33,39
 地区ガバナー 37
 パスト・ガバナー 22
 元役員の経費支弁 22
 来訪ロータリアン 59
 理事会のメンバー 146
 ボール・ハリス準フェロー, ローター
 財団 145-146
 ボール・ハリス・フェロー, ローター
 財団 145-146
 募金運動, クラブの
 社会奉仕プロジェクトのため 78
 富くじ類 23
 補欠代議員 177,231
 保険
 インターアクト会員 97
 および法人組織, クラブの 24
 国際青少年交換学生 88
 ローターアクト会員 79
 保健, 飢餓追放および人間性尊重補助金 141
 補佐, 地区ガバナー 36-37
 補助金, ローター財団 138-139
 研究グループ交換 134,141
 受領無資格者 87,137-138
 奨学金 28
 青年ジャーナリスト 255

大学教員のための補助金	139
特別補助金	140
保健, 飢餓追放および人間性尊重補助金	141
ホスト・クラブ, 地域大会	110-111
ホスト・ファミリー, 国際青少年交換学生	89
本動議	124-125
本部, R. I. (または本部建物), 定義	234
翻訳, ロータリー文献	67

マ

毎週の会合, R. C.	213, 224-225
仮クラブ	50
欠席による終結	216-217
定足数	225
麻薬関連問題の研究	78

ミ

南アジア支局, 定義	235
身分証明書	
会員証	24, 229, 234
来訪ロータリアンによる提示	24
ロータリアンでない者に対する	24

ム

無地区クラブ	
監督	64
管理	64
規定審議会への代表	119
国際大会への代表	178
地区に編入	29
定義	234

メ

名称, 国際ロータリー	163, 206
名称, ロータリー	149-152
使用	
建築関係	152-153
諸団体による使用は認められていない	151-152
青少年クラブ	152

正しい使用および不当な使用	151
非公式の友好グループ	14-15
やむを得ない事情で退会した元ロータリアン	14
保護	150
名称, ロータリー・クラブ	
仮クラブ	50
採用	9
変更	9, 220

名簿, 「公式名簿」の項参照	
名簿, ロータリー会員	151, 153
名誉会員, R. C.	11, 172
終結	215
選挙	229
同一のクラブで同時に正会員になること	11
ロータリー財団奨学生に贈るべきでない	11
名誉会計, グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー	
指名	195
選挙	195
メモリアル・コントリビューター, ロータリー	
財団	145
免疫付与, 児童の, 社会奉仕プロジェクト	78
免許料および使用手続, ロータリー徽章の使用	150

モ

目的, R. I.	163, 235
「最もよく奉仕する者, 最も多く報いられる」	153, 234
元会長審議会, R. I.	207
元役員, R. I.	
会長	
規定審議会議員	180
国際大会特別代議員	165, 178
元会長審議会	207
クラブ訪問費用の支弁	22
事務総長	180
地区ガバナー	37-38
元ロータリアン	
新しい地域社会へ移転した場合の会員としての適否	14
シニア・アクティブ会員資格	11

ユ

「Yours Rotarily」という表現	76
USCB, 定義	236
郵便投票	181-182, 201-202

ヨ

ヨーロッパ大陸, 北アフリカおよび東地中海地域	
地域大会リスト	112
R. I. 理事指名委員会	189
会長指名委員会	183-185
余興, 地域大会における	111
四つのテスト	75

ラ

来賓, クラブ例会	21
来訪ロータリアン	
会員証の提示	24
国家間の訪問	91
ラテン・アメリカ, 「イベロ・アメリカ」の項参照	

リ

理事, 「理事会, R. I.」「理事会, R. C.」の項参照	
理事会, R. I.	57, 164, 173-174
R. I. 資金の投資	67
R. C. 標準定款と異なる規定の承認	170
会合	173
幹事	164
管理上の集団	196
規定審議会議員	180
クラブおよび地区との接触	59
クラブの懲戒	170
欠員	174
決議の効力決定	120
決定権限	174
決定に対する提訴	174
建議案の提出	122
権限	164, 173

選挙

アディショナル正会員	171
会員	15
シニア・アクティブ会員	171-172
やむを得ない事情で退会した元ロータリアンの身分	14

ヤ

役員, R. I.	57-59, 164, 174-176
R. I. 職員は資格がない	195
クラブ訪問費用の支弁	22
国際大会特別代議員	165, 178
資格	175
選挙	164, 175, 178-179, 195
選出	60
地域およびゾーン研究会出席	116-117
定義	234-235
任期	58-59, 175
任務	175-176
報酬	175
役職名を公表してはならない	56
理事会による管理および監督	173
役員, R. C.	19, 214, 234-235
決定に対する提訴	214
就任式	21
選挙	223
選出	20-21
定義	234-235
任務	224
名簿	153
役職名を公表してはならない	151
役員, 規定審議会	180-181
役員, 国際大会	177
役員, 元会長審議会	207
役員エレクト, R. I., 理事会による管理および監督	173
役員エレクト, R. C., 欠員	223
やむを得ない事情で退会した元ロータリアンのグループ	14

構成	164	様式	122
国際大会特別代議員	178	R. I. B. I., 定義 「グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー」	
再審		の項参照	
決議案	183	R. I. B. I. 審議会, 定義	233
制定案	121, 183	旅行, 国際青少年交換学生	90
立法案	119, 121	臨時会合, R. C.	225
資格条件	175	臨時国際大会	165
執行委員会	57, 63, 174		
指名	188-195, 223		
選挙	174-175, 195		
選挙運動および投票依頼という違反			
	61-62, 196		
地域大会の組織	110		
地区の創設	197		
通信による投票	173-174		
定足数	173		
任期	59, 175		
任務	57, 175-176		
ノミネー	60-61		
国際大会への提出	194-195		
指名	188-195		
役員管理および監督	173		
ロータリー財団管理委員会との関係			
	133-134		
理事会, R. C.	19, 214, 224		
クラブ会長の任務	20, 224		
欠員	223		
審議			
会員候補者	228-229		
決議	229		
選挙	223		
定義	231		
定足数	225		
名誉会員身分の継続	215		
立法	119		
(「規定審議会」「規則制定」「決議」の項も参照)			
起草委員会	182		
提出	119, 121-122		
定義	119		
非常事態	176-177		
立法案			
地区大会および地区の諸会合における	43, 121		

営利化	76, 153	助金	141
および政治	25	目標	133
徽章	14, 149-152, 206	ロータリー財団委員会, 地区	133
講演者	28	ロータリー財団管理委員	208-210
後援者	46	R. I. 理事会との関係	134-135
定義	55, 235	委員会	133
特色	55	欠員	209
旗	151, 153	就任中は受賞資格はない	146
標語	153	責務	134-135, 208-210
プログラム	73-74	任期	209
報道機関との関係	28	任命	209
名称の使用	151	罷免	209
ロータリー教育	15, 23	ロータリー財団管理委員会	133
ロータリー・クラブ, 「クラブ, ロータリー」の項参照		ロータリー財団月間	142
ロータリー国際職業人交換	90, 96	ロータリー雑誌月間	65
ロータリー国際理解賞	87	ロータリー情報	23-24
ロータリー財団	133-146, 165, 208-210	定義	235
遺贈	145	ロータリー情報委員会, R. C.	23-24, 226-227
学友	142	ロータリー青少年指導者養成プログラム	96
寄付	15, 144-146	ロータリー創始者, 定義	233
基本財産からの支出	134, 144, 209	ロータリー創立記念日	88
研究グループ交換	138-139	ロータリーの色	149-150, 153
財務と表彰に関する事項	143-146	ロータリーの綱領	55, 73, 163, 213, 234
資金支出の目的	143	ロータリーの歯車, 定義	235
資金募集	144	「徽章, ロータリー」の項参照	
収入からの支出	134, 209	ロータリーの旗	151, 153
賞		ロータリーの発祥地, 定義	231
国際理解賞	87	ロータリーに人々の注意を引くこと	27
ロータリー財団への奉仕に対して	146	ロータリー奉仕の四大部門	73, 233
奨学金	87, 137-138, 146	ROVE, 「ロータリー国際職業人交換」の項参照	
事務長	135	60%従事という職業分類に関する勧告	18
組織および目的	133-135		
特別補助金	140		
プログラム	137-142		
奉仕の表彰	146		
補助金			
受領無資格者	134, 141		
大学教員のための補助金	139		
保健, 飢餓追放および人間性尊重補			

RI日本支局殿寄贈

0012

0089

ロータリー文庫

CALENDAR FOR 1984

Calendar grid for 1984 showing months from January to December with days of the week and dates.

CALENDAR FOR 1985

Calendar grid for 1985 showing months from January to December with days of the week and dates.

CALENDAR FOR 1986

Calendar grid for 1986 showing months from January to December with days of the week and dates.